

---

地域福祉に関する  
アンケート調査及び住民座談会  
報告書

---

令和元年7月  
春日井市



# 目次

I	調査の概要	1
	第1章 アンケート調査の概要	3
	1-1 調査の概要	3
	(1) 調査の目的	3
	(2) 調査の種類・概要	3
	(3) 集計表・グラフについて	4
	第2章 住民座談会の概要	6
	2-1 調査の概要	6
	(1) 調査の目的	6
	(2) 住民座談会の実施	6
	第3章 地域団体アンケート調査の概要	8
	3-1 調査の概要	8
	(1) 調査の目的	8
	(2) 調査の種類・概要	8
II	アンケート調査結果の概要	10
	第1章 市民アンケート調査	12
	1-1 回答者の属性	12
	1-2 ご近所づきあいや助け合いについて	17
	1-3 ボランティアや地域活動について	25
	1-4 日常生活に関する悩みや相談等について	29
	1-5 災害時の助け合いについて	37
	1-6 社会福祉協議会や民生委員・児童委員について	39
	1-7 地域福祉全般について	44
	1-8 圏域別の分析	46
	1-9 自由意見	51
	第2章 活動団体調査	52
	2-1 団体の概要	52
	2-2 活動の状況	58
	2-3 地域福祉活動について	65

2-4	地域福祉全般について.....	68
2-5	自由意見 .....	69
<b>第3章 民生委員・児童委員、主任児童委員調査.....</b>		<b>70</b>
3-1	委員活動の状況 .....	70
3-2	地域の状況 .....	78
3-3	活動に必要な情報や地域における連携について.....	81
3-4	支え合いなど地域活動の推進について.....	87
3-5	地域福祉全般について.....	89
3-6	自由意見 .....	90
<b>第4章 地区社会福祉協議会調査.....</b>		<b>91</b>
4-1	地区社会福祉協議会の概要 .....	91
4-2	活動の現状について.....	94
4-3	活動・取組について.....	98
<b>Ⅲ 住民座談会の意見の概要 .....</b>		<b>110</b>
<b>第1章 意見の分析.....</b>		<b>112</b>
1-1	意見の数量的分析 .....	112
	(1) 分類・分析の方法.....	112
	(2) 数量的分析.....	113
1-2	主な意見 .....	114
	(1) 今ある良いこと（強み） .....	114
	(2) 気になること（弱み） .....	118
1-3	意見の可視化分析 .....	123
	(1) 今ある良いこと .....	123
	(2) 気がかりなこと .....	124
1-4	地域別の分析 .....	125
	(1) 坂下中学校区.....	125
	(2) 高森台・石尾台中学校区.....	126
	(3) 藤山台・岩成台中学校区.....	127
	(4) 高蔵寺中学校区.....	128
	(5) 南城中学校区.....	129
	(6) 松原中学校区.....	130
	(7) 東部中学校区.....	131
	(8) 鷹来中学校区.....	132
	(9) 柏原中学校区.....	133

(10) 中部中学校区	134
(11) 西部中学校区	135
(12) 味美・知多中学校区	136
IV 地域団体アンケート調査の概要	138
第1章 老人クラブ調査	140
1-1 クラブの概要について	140
1-2 クラブの運営状況について	142
1-3 新規会員の加入促進等について	147
1-4 クラブ活動の活性化について	150
第2章 町内会調査	152
2-1 役員の状況	152
2-2 加入状況	154
2-3 会の運営	155
2-4 活動状況	156
2-5 集会施設について	159



# I 調査の概要

---





# 第1章 アンケート調査の概要

## 1-1 調査の概要

### (1) 調査の目的

市が策定する「地域福祉計画」と市社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画」の改定にあたり、地域福祉に関する活動の取組状況や市民の意識、今後の課題などを把握し、計画策定の基礎的資料とするため、アンケート調査を実施しました。

### (2) 調査の種類・概要

#### ①市民調査

調査対象	18歳以上の市民
抽出方法	無作為抽出
配布・回収方法	郵送配布・郵送回収
配布数／回収数（率）	2,000票（人）／852票（42.6%）

#### ②地域活動団体調査

調査対象	市又は市社会福祉協議会が把握している次の団体 ・ボランティア団体                      ・NPO法人 ・市民活動団体                              ・住民主体サービス実施団体
抽出方法	全件（全団体）
配布・回収方法	郵送配布・郵送回収
配布数／回収数（率）	289票（団体）／200票（69.2%）

#### ③民生委員・児童委員等調査

調査対象	・市内の民生委員・児童委員                      ・市内の主任児童委員
抽出方法	全件（全委員）
配布・回収方法	会議を通じて配布・回収
配布数	381票（人）／274票（71.9%）

#### ④地区社会福祉協議会調査

調査対象	市内の地区社会福祉協議会
抽出方法	全件（全団体）
配布・回収方法	会議を通じて配布・回収

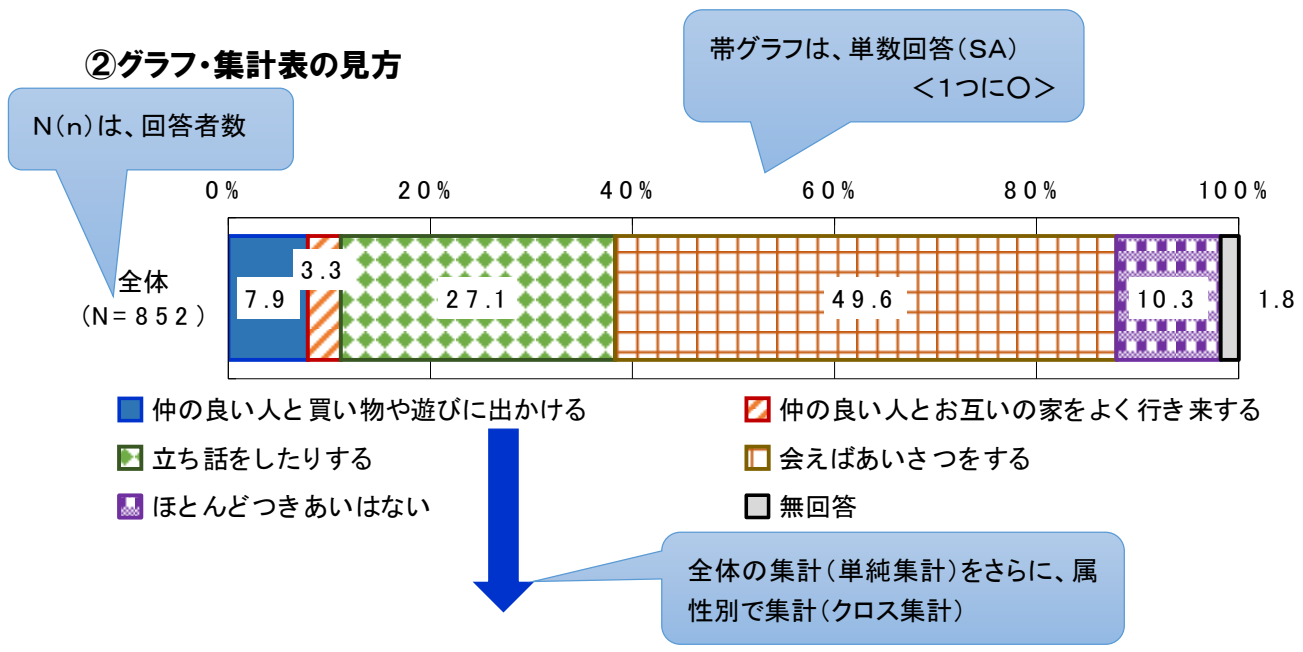
配布数／回収数（率）	42票（団体）／40票（95.2%）
------------	--------------------

### （3）集計表・グラフについて

#### ①集計結果の表記方法

1. グラフのN（n）は、質問に対する無回答を含む集計対象総数で割合算出の基準です。限定設問やクロス集計等で、回答者の一部を集計したものは全体の数と異なります。Nは全回答者、nは限定設問、クロス集計など回答者の一部を集計した母数です。
2. 割合は、N（n）に対する各回答数の百分率（%）です。小数点以下第2位を四捨五入し小数点以下第1位までを表記し、1人の回答者が1つの回答をする設問では、100.0%とならない場合があります。
3. 一人の回答者が2つ以上の回答をすることができる設問は、各選択肢の割合の合計は100.0%を超えています。
4. クロス集計表の表側（分類層）は、無回答を除いているため、各層の実数と集計対象総数が一致しない場合があります。
5. グラフや表の選択肢（カテゴリー）は、文字数の制約のため、簡略して表記している場合があります。

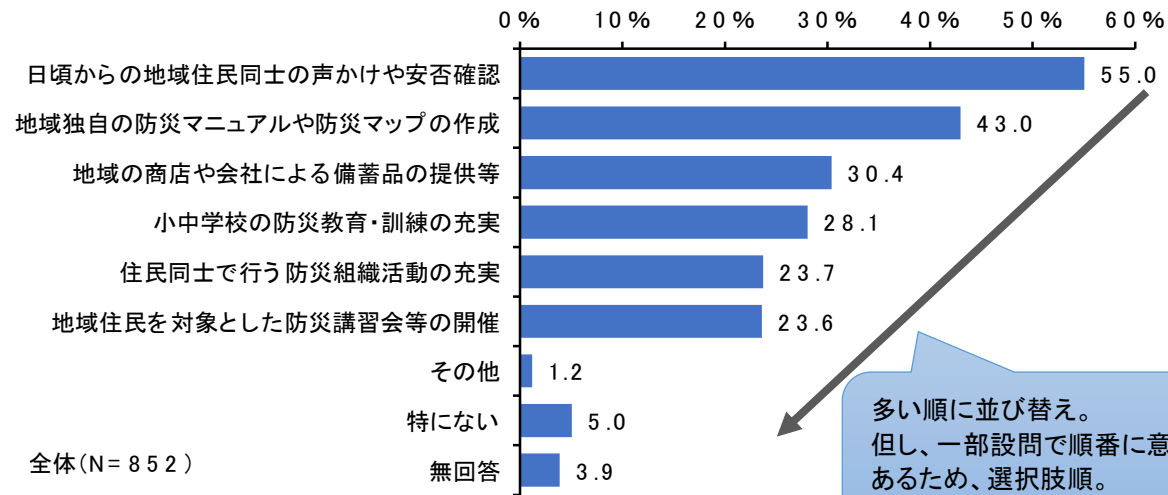
#### ②グラフ・集計表の見方



	合計	仲の良い人と買い物や遊びに出かける	仲の良い人とお互いの家をよく行き来する	立ち話をしたりする	会えばあいさつをする	ほとんどつきあいはない	無回答
全体	852件	7.9%	3.3%	27.1%	49.6%	10.3%	1.8%
性別							
男性	360件	4.7%	2.2%	20.6%	55.8%	15.8%	0.8%
女性	486件	10.3%	4.1%	32.3%	45.5%	6.4%	1.4%
年齢							
10・20代	74件	2.7%	0.0%	6.8%	68.9%	21.6%	0.0%
30代	116件	4.3%	2.6%	16.4%	61.2%	14.7%	0.9%
40代	144件	4.2%	2.8%	20.8%	60.4%	11.1%	0.7%
50代	114件	7.0%	1.8%	28.9%	53.5%	8.8%	0.0%
60代	150件	12.0%	7.3%	27.3%	48.7%	4.7%	2.0%
70代	184件	10.3%	8.2%	27.2%	44.3%	10.3%	3.3%
80歳以上	59件	15.3%	5.1%	25.5%	49.8%	5.1%	0.0%

年齢が高くなるほど、割合も高くなる傾向がみられる

横棒グラフは、複数回答(MA)  
 <○はいくつでも>やく○は3つまで  
 ※一部の単数回答設問では棒グラフで表示。



多い順に並び替え。  
 但し、一部設問で順番に意味があるため、選択肢順。  
 また、クロス集計は選択肢順。

性別や年齢について「無回答」があるため、合計値が全体値と一致しない場合がある。

	合計	確認 同日 頃 の 声 か け や 安 否	組 織 活 動 の 充 実	住 民 同 士 で 行 う 防 災	プ ニ 地 域 の 作 成 や 防 災 マ ツ	催 た 地 域 住 民 を 対 象 と し	育 小 中 学 校 の 防 災 教 育 ・ 訓 練 の 充 実	よ る 地 域 の 商 店 や 会 社 に の 提 供 等	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全 体	852件	55.0%	23.7%	43.0%	23.6%	28.1%	30.4%	1.2%	5.0%	3.9%	
性 別											
男性	360件	52.5%	29.2%	39.4%	27.8%	29.4%	30.8%	0.8%	5.6%	3.9%	
女性	486件	57.0%	19.8%	45.5%	20.2%	27.0%	30.2%	1.4%	4.7%	3.9%	
年 齢											
10・20代	74件	40.5%	18.9%	50.0%	23.0%	43.2%	32.4%	1.4%	8.1%	1.4%	
30代	116件	54.3%	15.5%	39.7%	15.5%	45.7%	41.4%	0.0%	8.6%	0.0%	
40代	144件	47.9%	25.7%	49.3%	26.4%	42.4%	44.4%	1.4%	3.5%	0.7%	
50代	114件	57.9%	17.5%	45.6%	23.7%	26.3%	32.5%	2.6%	2.6%	2.6%	
60代	150件	58.7%	32.7%	43.3%	28.7%	17.3%	26.7%	0.7%	5.3%	4.0%	
70代	184件	59.8%	25.0%	39.7%	26.6%	13.6%	20.7%	1.6%	5.4%	9.2%	
80歳以上	59件	66.1%	27.1%	27.1%	11.9%	16.9%	10.2%	0.0%	1.7%	8.5%	
圏 域											
坂下	49件	61.2%	34.7%	40.8%	16.3%	22.4%	30.6%	2.0%	2.0%	4.1%	
高森台・石尾台	90件	62.2%	26.7%	43.3%	25.6%	22.2%	32.2%	1.1%	1.1%	1.1%	
藤山台・岩成台	61件	49.2%	27.9%	47.5%	26.2%	29.5%	31.1%	1.6%	9.8%	4.9%	
高蔵寺	69件	47.8%	17.4%	42.0%	31.9%	34.8%	31.9%	0.0%	1.4%	4.3%	
南城	64件	56.3%	21.9%	42.2%	18.8%	43.8%	35.9%	1.6%	4.7%	1.6%	
松原	63件	47.6%	19.0%	36.5%	20.6%	20.6%	17.5%	0.0%	9.5%	7.9%	
東部	74件	64.9%	24.3%	39.2%	23.0%	33.8%	44.6%	0.0%	2.7%	1.4%	
鷹来	55件	52.7%	20.0%	21.8%	18.2%	25.5%	36.4%	1.8%	1.8%	3.6%	
柏原	61件	50.8%	18.0%	49.2%	23.0%	21.3%	27.9%	1.6%	9.8%	4.9%	
中部	95件	47.4%	32.6%	53.7%	31.6%	26.3%	24.2%	1.1%	6.3%	5.3%	
西部	83件	62.7%	19.3%	43.4%	15.7%	22.9%	26.5%	2.4%	6.0%	3.6%	
味美・知多	80件	60.0%	22.5%	47.5%	26.3%	33.8%	31.3%	1.3%	3.8%	5.0%	

## 第2章 住民座談会の概要

圏域(地区)により、17.5%~44.6%と、差がみられる。

### 2-1 調査の概要

#### (1) 調査の目的

市が策定する「地域福祉計画」と市社会福祉協議会が策定する「地域福祉活動計画」の改定にあたり、地域における現状と課題などを把握し、基礎的資料とするため、住民座談会を実施しました。

#### (2) 住民座談会の実施

地域における福祉関係者などが集まり、地域の魅力や課題を話し合うワークショップを日常生活圏域ごと(12圏域)に実施

- ・「〇〇中学校内に“今ある良いこと(取り組み)”“気がかりなことは何ですか?”

日常生活圏域	日 時	場 所	参加者数	グループ数
坂下	平成30年11月2日(金)	福祉の里	26名	4
高森台・石尾台	平成30年8月30日(木)	東部市民センター	21名	3
藤山台・岩成台	令和元年5月24日(金)	グルッポふじとう	26名	5

高蔵寺	令和元年5月21日(火)	高蔵寺ふれあいセンター	24名	4
南城	平成31年4月13日(土)	南城中学校	29名	4
松原	令和元年5月16日(木)	春日井市勤労福祉会館	23名	4
東部	平成30年9月26日(水)	総合福祉センター	17名	3
鷹来	平成30年8月28日(火)	総合体育館	16名	3
柏原	平成30年8月22日(水)	レディヤン春日井	26名	5
中部	令和元年5月28日(火)	第2春緑苑	31名	5
西部	平成30年7月18日(水)	西部ふれあいセンター	18名	3
味美・知多	平成30年7月31日(火)	味美ふれあいセンター	31名	5

## 第3章 地域団体アンケート調査の概要

---

### 3-1 調査の概要

#### (1) 調査の目的

団体の活動の活性化を検討するにあたり、団体における現状や課題などを把握し、基礎的資料とするため、アンケート調査を実施しました。

#### (2) 調査の種類・概要

##### ①老人クラブ調査

調査対象	市内の老人クラブ
抽出方法	全件（全団体）
配布・回収方法	会議を通じて配布・回収
配布数／回収数（率）	112票（団体）／108票（96.4%）

##### ②町内会調査

調査対象	市内の町内会
抽出方法	全件（全団体）
配布・回収方法	広報配布を通じて配布・回収
配布数	565票（団体）／481票（85.1%）



## II アンケート調査結果の概要

---



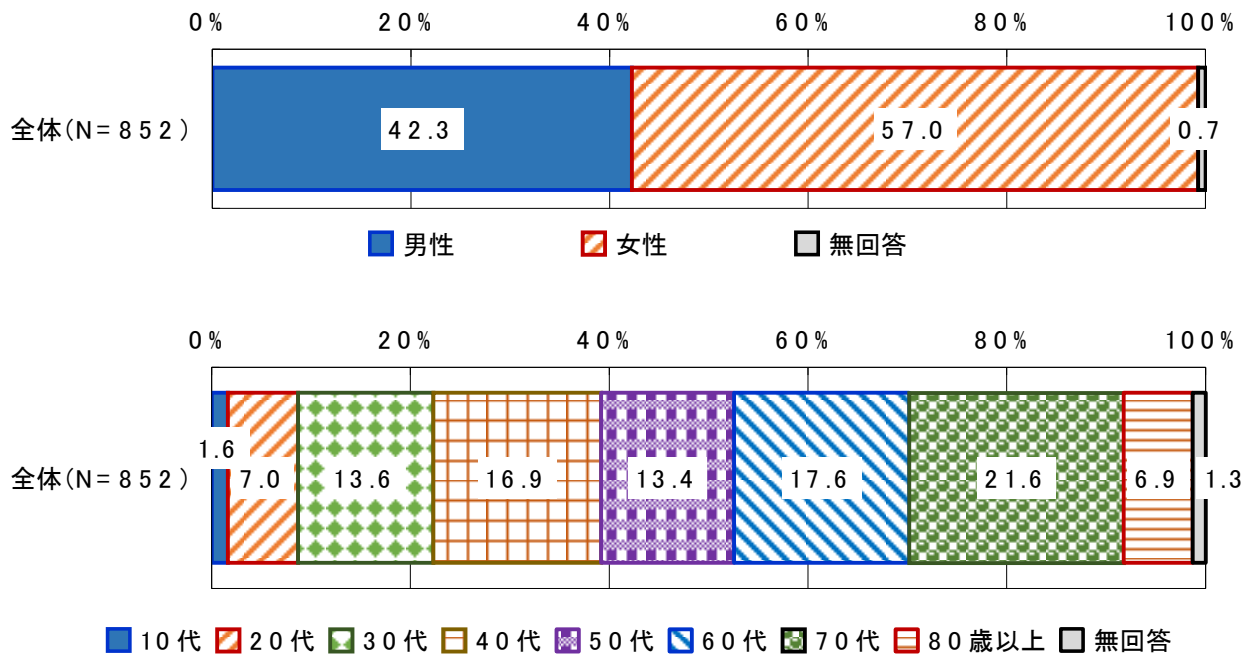


# 第1章 市民アンケート調査

## 1-1 回答者の属性

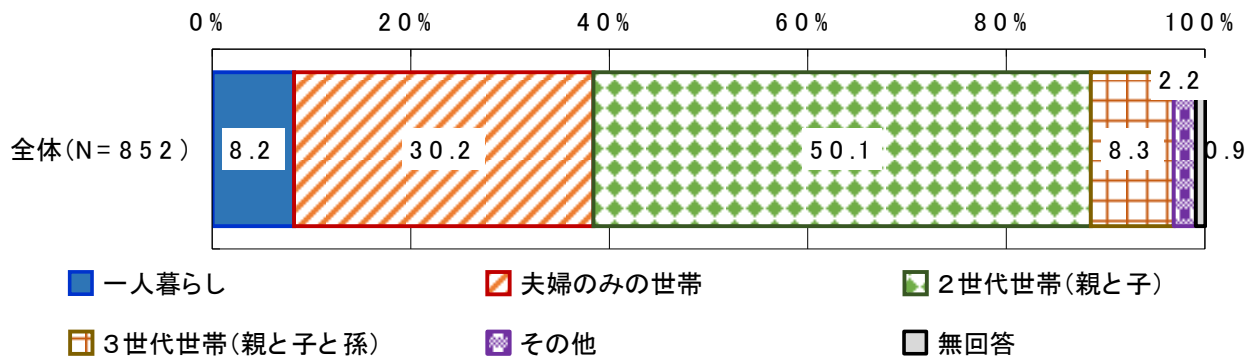
問1 あなたの性別・年齢（平成30年10月1日現在）をお答えください。

- ・「男性」が42.3%、「女性」が57.0%と、女性の割合が高くなっています。
- ・「70代」が21.6%と最も多く、次いで「60代」が17.6%、「40代」が16.9%、「30代」が13.6%の順です。
- ・「60歳以上」の割合が46.1%となっています。



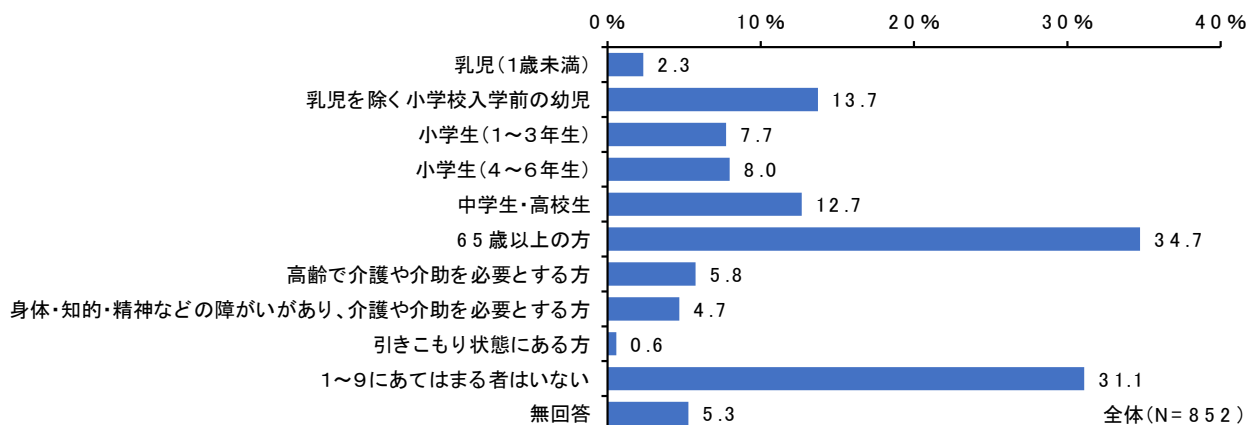
問2 現在の家族構成についてお答えください。（○は1つ）

- ・「2世代世帯（親と子）」が50.1%と最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」が30.2%、「3世代世帯（親と子と孫）」が8.3%、「一人暮らし」が8.2%の順です。



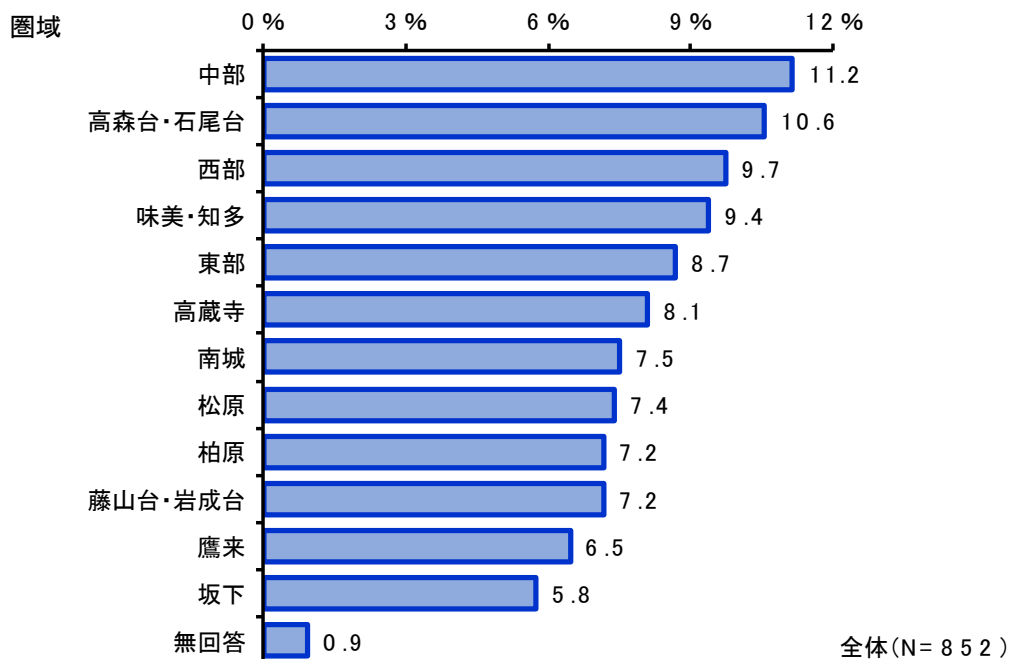
問3 現在、あなた自身、もしくはあなたが同居している家族の中に、次の方はいますか。(〇はいくつでも)

・「65歳以上の方」が34.7%と最も多く、次いで「乳児を除く小学校入学前の幼児」が13.7%、「中学生・高校生」が12.7%、「小学生（4～6年生）」が8.0%の順です。



問4 お住まいの中学校区はどちらですか。(〇は1つ)

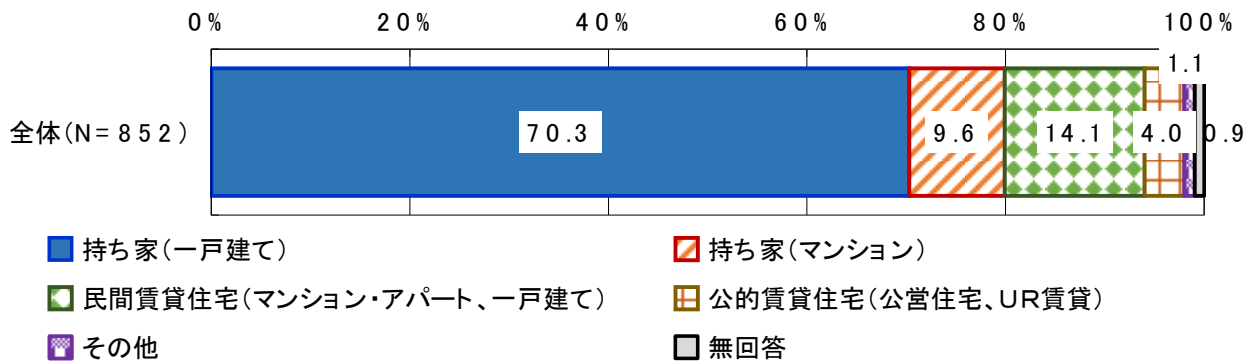
・圏域（地域包括支援センター担当圏域）別では、「中部」が11.2%と最も多く、次いで「高森台・石尾台」が10.6%、「西部」が9.7%、「味美・知多」が9.4%の順です。



※中学校区を圏域で集計

問5 あなたのお住まいは、次のどれですか。(〇は1つ)

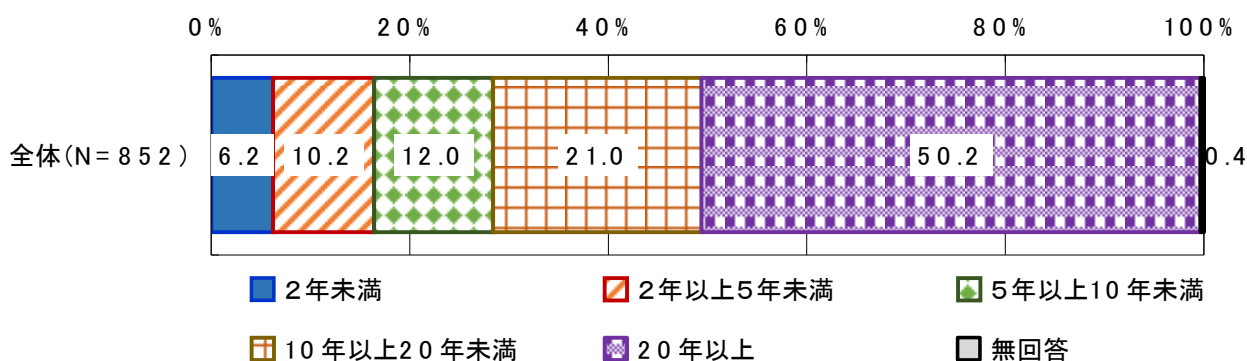
- ・「持ち家（一戸建て）」が70.3%と最も多く、次いで「民間賃貸住宅（マンション・アパート、一戸建て）」が14.1%、「持ち家（マンション）」が9.6%、「公的賃貸住宅（公営住宅、UR賃貸）」が4.0%の順です。
- ・「民間賃貸住宅（マンション・アパート、一戸建て）」の割合を年齢別にみると、「10・20代」では28.4%、「30代」では30.2%と高く、年齢が高くなるほど、割合が低くなる傾向がみられます。また、圏域別にみると、「高蔵寺」（26.1%）、「味美・知多」（25.0%）、「柏原」（24.6%）、「中部」（23.2%）での割合が高くなっています。また、家族構成では「一人暮らし」（32.9%）での割合が高くなっています。
- ・春日井市の居住年数が短いほど、「民間賃貸住宅（マンション・アパート、一戸建て）」の割合が高くなっています。



	合計	持ち家（一戸建て）	持ち家（マンション）	民間賃貸住宅（マンション・アパート、一戸建て）	公的賃貸住宅（公営住宅、UR賃貸）	その他	無回答	
全体	852件	70.3%	9.6%	14.1%	4.0%	1.1%	0.9%	
年齢	10・20代	74件	58.1%	10.8%	28.4%	2.7%	0.0%	0.0%
	30代	116件	55.2%	12.9%	30.2%	0.9%	0.9%	0.0%
	40代	144件	70.8%	6.9%	18.8%	2.8%	0.7%	0.0%
	50代	114件	63.2%	13.2%	14.0%	6.1%	2.6%	0.9%
	60代	150件	79.3%	11.3%	4.0%	4.7%	0.0%	0.7%
	70代	184件	77.2%	7.6%	7.1%	4.9%	1.6%	1.6%
	80歳以上	59件	84.7%	5.1%	1.7%	6.8%	1.7%	0.0%
	圏域	坂下	49件	93.9%	0.0%	2.0%	2.0%	0.0%
高森台・石尾台		90件	75.6%	8.9%	1.1%	12.2%	1.1%	1.1%
藤山台・岩成台		61件	55.7%	18.0%	1.6%	21.3%	3.3%	0.0%
高蔵寺		69件	60.9%	10.1%	26.1%	2.9%	0.0%	0.0%
南城		64件	84.4%	3.1%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
松原		63件	82.5%	3.2%	11.1%	1.6%	1.6%	0.0%
東部		74件	67.6%	20.3%	10.8%	1.4%	0.0%	0.0%
鷹来		55件	89.1%	3.6%	7.3%	0.0%	0.0%	0.0%
柏原		61件	60.7%	11.5%	24.6%	1.6%	0.0%	1.6%
中部		95件	56.8%	13.7%	23.2%	2.1%	3.2%	1.1%
西部		83件	75.9%	10.8%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%
味美・知多	80件	61.3%	7.5%	25.0%	2.5%	2.5%	1.3%	
家族構成	一人暮らし	70件	37.1%	15.7%	32.9%	10.0%	4.3%	0.0%
	夫婦のみの世帯	257件	67.3%	10.9%	15.2%	5.8%	0.4%	0.4%
	2世代世帯（親と子）	427件	72.8%	9.4%	13.3%	2.8%	1.2%	0.5%
	3世代世帯（親と子と孫）	71件	94.4%	2.8%	1.4%	0.0%	0.0%	1.4%
	その他	19件	94.7%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
居住年数	2年未満	53件	34.0%	15.1%	47.2%	3.8%	0.0%	0.0%
	2年以上5年未満	87件	48.3%	9.2%	35.6%	5.7%	0.0%	1.1%
	5年以上10年未満	102件	54.9%	8.8%	30.4%	3.9%	1.0%	1.0%
	10年以上20年未満	179件	69.3%	13.4%	10.1%	5.6%	1.1%	0.6%
	20年以上	428件	83.9%	7.7%	3.5%	3.0%	1.4%	0.5%

問6 現在の所に居住して何年になりますか。(〇は1つ)

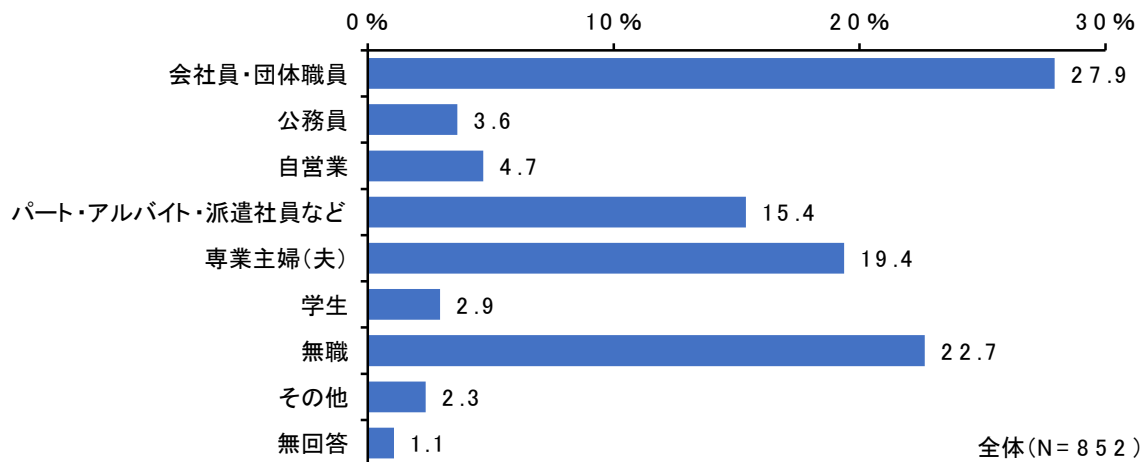
- ・「20年以上」が50.2%と最も多く、次いで「10年以上20年未満」が21.0%、「5年以上10年未満」が12.0%、「2年以上5年未満」が10.2%の順です。
- ・「2年未満」の割合を圏域別にみると、「柏原」(13.1%)で高く、「西部」(1.2%)で低くなっています。



		合計	2年未満	2年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上	無回答
全体		852件	6.2%	10.2%	12.0%	21.0%	50.2%	0.4%
性別	男性	360件	4.7%	10.6%	13.1%	20.8%	50.8%	0.0%
	女性	486件	7.4%	10.1%	11.3%	21.2%	50.0%	0.0%
年齢	10・20代	74件	20.3%	14.9%	5.4%	37.8%	21.6%	0.0%
	30代	116件	23.3%	37.1%	19.0%	9.5%	11.2%	0.0%
	40代	144件	4.2%	13.9%	28.5%	35.4%	18.1%	0.0%
	50代	114件	0.9%	1.8%	7.9%	40.4%	49.1%	0.0%
	60代	150件	2.0%	4.0%	8.7%	9.3%	76.0%	0.0%
	70代	184件	0.5%	2.2%	4.9%	11.4%	81.0%	0.0%
	80歳以上	59件	0.0%	0.0%	3.4%	11.9%	84.7%	0.0%
圏域	坂下	49件	4.1%	6.1%	6.1%	20.4%	63.3%	0.0%
	高森台・石尾台	90件	3.3%	5.6%	8.9%	28.9%	53.3%	0.0%
	藤山台・岩成台	61件	4.9%	11.5%	8.2%	18.0%	57.4%	0.0%
	高蔵寺	69件	4.3%	11.6%	18.8%	27.5%	37.7%	0.0%
	南城	64件	6.3%	9.4%	17.2%	31.3%	35.9%	0.0%
	松原	63件	4.8%	9.5%	12.7%	15.9%	57.1%	0.0%
	東部	74件	9.5%	9.5%	5.4%	20.3%	55.4%	0.0%
	鷹来	55件	7.3%	5.5%	7.3%	25.5%	54.5%	0.0%
	柏原	61件	13.1%	8.2%	16.4%	9.8%	52.5%	0.0%
	中部	95件	8.4%	15.8%	17.9%	21.1%	36.8%	0.0%
	西部	83件	1.2%	8.4%	10.8%	14.5%	65.1%	0.0%
	味美・知多	80件	7.5%	16.3%	11.3%	20.0%	45.0%	0.0%
住まいの種類	持ち家(一戸建て)	599件	3.0%	7.0%	9.3%	20.7%	59.9%	0.0%
	持ち家(マンション)	82件	9.8%	9.8%	11.0%	29.3%	40.2%	0.0%
	民間賃貸住宅	120件	20.8%	25.8%	25.8%	15.0%	12.5%	0.0%
	公的賃貸住宅	34件	5.9%	14.7%	11.8%	29.4%	38.2%	0.0%
	その他	9件	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	66.7%	0.0%

問7 あなたの職業を教えてください。兼業されている場合は、主なもの1つをお答えください。(〇は1つ)

- ・「会社員・団体職員」が27.9%と最も多く、次いで「無職」が22.7%、「専業主婦(夫)」が19.4%、「パート・アルバイト・派遣社員など」が15.4%の順です。
- ・「10・20代」では、「会社員・団体職員」が39.2%、「学生」が33.8%となっています。

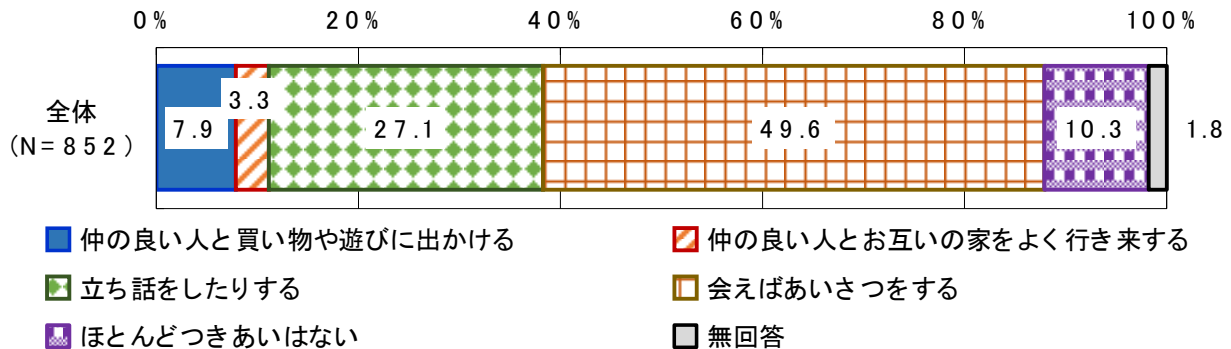


	合計	会社員・ 団体職員	公務員	自営業	パート・ アルバイト・ 派遣 社員など	専業主婦 (夫)	学生	無職	その他	無回答
全 体	852件	27.9%	3.6%	4.7%	15.4%	19.4%	2.9%	22.7%	2.3%	1.1%
性 別										
男性	360件	42.5%	5.0%	6.7%	5.3%	0.3%	3.1%	33.6%	3.1%	0.6%
女性	486件	17.1%	2.7%	3.3%	23.0%	33.7%	2.9%	14.6%	1.9%	0.8%
年 齢										
10・20代	74件	39.2%	4.1%	0.0%	6.8%	8.1%	33.8%	4.1%	2.7%	1.4%
30代	116件	47.4%	9.5%	2.6%	12.1%	25.0%	0.0%	2.6%	0.9%	0.0%
40代	144件	46.5%	4.2%	4.2%	26.4%	12.5%	0.0%	0.7%	4.2%	1.4%
50代	114件	41.2%	8.8%	7.0%	22.8%	15.8%	0.0%	2.6%	1.8%	0.0%
60代	150件	17.3%	0.7%	6.0%	21.3%	25.3%	0.0%	23.3%	4.0%	2.0%
70代	184件	6.0%	0.0%	5.4%	7.1%	24.5%	0.0%	56.0%	1.1%	0.0%
80歳以上	59件	0.0%	0.0%	5.1%	1.7%	18.6%	0.0%	72.9%	1.7%	0.0%
家 族 構 成										
一人暮らし	70件	25.7%	1.4%	2.9%	21.4%	5.7%	0.0%	40.0%	2.9%	0.0%
夫婦のみの世帯	257件	19.8%	1.9%	4.3%	9.7%	24.5%	0.0%	37.0%	1.6%	1.2%
2世代世帯(親と子)	427件	35.1%	5.4%	4.4%	16.9%	19.7%	4.4%	10.5%	2.8%	0.7%
3世代世帯(親と子と孫)	71件	19.7%	2.8%	8.5%	21.1%	15.5%	8.5%	22.5%	1.4%	0.0%
その他	19件	26.3%	0.0%	10.5%	15.8%	15.8%	0.0%	26.3%	5.3%	0.0%

## 1-2 ご近所づきあいや助け合いについて

問8 あなたは、ふだん近所の人とどの程度のおつきあいをしていますか。(〇は1つ)

- ・「会えばあいさつをする」が49.6%と最も多く、次いで「立ち話をしたりする」が27.1%、「ほとんどつきあいはない」が10.3%の順です
- ・「仲の良い人と買い物や遊びに出かける」(7.9%)と「仲の良い人とお互いの家をよく行き来する」(3.3%)を合わせた割合は全体では11.2%で、年齢別に割合をみると「10・20代」では2.7%、「30代」では4.3%、「70代」では10.3%、「80歳以上」では15.3%と、年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向がみられます。また、区・町内会・自治会に「加入している」(13.4%)と「加入していない」(4.6%)では、8.8ポイントの差がみられます。



		合計	仲の良い人と 買い物や 遊びに出か ける	仲の良い人 とお互いの 家をよく行 き来する	立ち話をし たりする	会えばあい さつをする	ほとんどつ きあいはな い	無回答
全	体	852件	7.9%	3.3%	27.1%	49.6%	10.3%	1.8%
性 別	男性	360件	4.7%	2.2%	20.6%	55.8%	15.8%	0.8%
	女性	486件	10.3%	4.1%	32.3%	45.5%	6.4%	1.4%
年 齢	10・20代	74件	2.7%	0.0%	6.8%	68.9%	21.6%	0.0%
	30代	116件	4.3%	2.6%	16.4%	61.2%	14.7%	0.9%
	40代	144件	4.2%	2.8%	20.8%	60.4%	11.1%	0.7%
	50代	114件	7.0%	1.8%	28.9%	53.5%	8.8%	0.0%
	60代	150件	12.0%	0.7%	35.3%	45.3%	4.7%	2.0%
	70代	184件	10.3%	8.2%	37.0%	31.0%	10.3%	3.3%
	80歳以上	59件	15.3%	5.1%	37.3%	37.3%	5.1%	0.0%
圏 域	坂下	49件	10.2%	6.1%	18.4%	63.3%	0.0%	2.0%
	高森台・石尾台	90件	12.2%	5.6%	32.2%	41.1%	7.8%	1.1%
	藤山台・岩成台	61件	9.8%	1.6%	19.7%	52.5%	16.4%	0.0%
	高蔵寺	69件	7.2%	5.8%	15.9%	65.2%	4.3%	1.4%
	南城	64件	7.8%	4.7%	28.1%	53.1%	6.3%	0.0%
	松原	63件	4.8%	4.8%	36.5%	47.6%	4.8%	1.6%
	東部	74件	6.8%	4.1%	28.4%	45.9%	12.2%	2.7%
	鷹来	55件	9.1%	3.6%	21.8%	56.4%	9.1%	0.0%
	柏原	61件	13.1%	1.6%	26.2%	37.7%	18.0%	3.3%
	中部	95件	4.2%	1.1%	30.5%	49.5%	14.7%	0.0%
	西部	83件	6.0%	1.2%	32.5%	43.4%	14.5%	2.4%
味美・知多	80件	6.3%	1.3%	30.0%	50.0%	10.0%	2.5%	
自 町 治 内 会 会	加入している	641件	9.5%	3.9%	32.8%	45.9%	6.4%	1.6%
	加入していない	172件	2.9%	1.7%	10.5%	65.1%	19.2%	0.6%
	わからない	34件	2.9%	0.0%	8.8%	47.1%	41.2%	0.0%

問9 あなたの世帯は、区・町内会・自治会に加入されていますか。(〇は1つ)

- ・「加入している」が75.2%、「加入していない」が20.2%、「わからない」が4.0%です。
- ・「加入している」割合を圏域別にみると、「坂下」(95.9%)、「高森台・石尾台」(92.2%)で高く、「柏原」(62.3%)で低くなっています。また、「民間賃貸住宅」に住んでいる人では19.2%と、低い割合です。

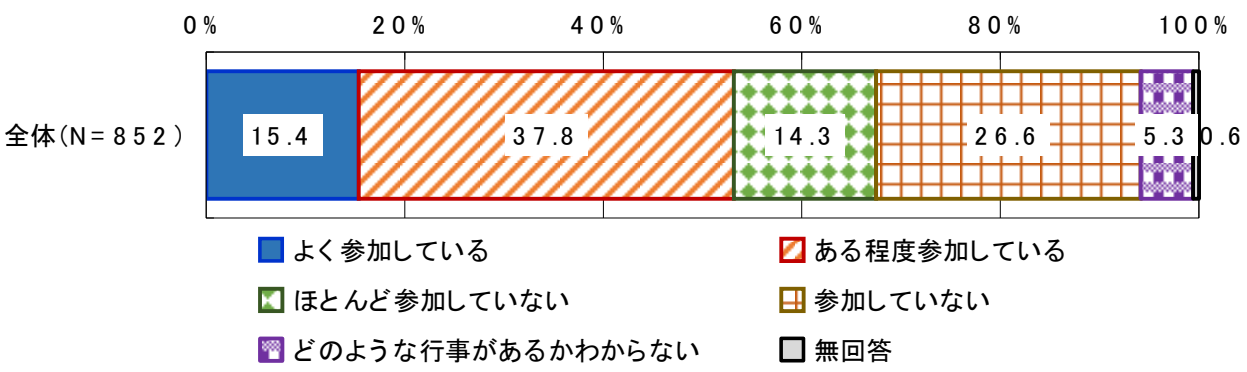


		合計	加入している	加入していない	わからない	無回答
全体		852件	75.2%	20.2%	4.0%	0.6%
性別	男性	360件	76.1%	20.0%	3.6%	0.3%
	女性	486件	74.9%	20.6%	4.3%	0.2%
年齢	10・20代	74件	50.0%	33.8%	14.9%	1.4%
	30代	116件	61.2%	30.2%	8.6%	0.0%
	40代	144件	73.6%	22.9%	2.8%	0.7%
	50代	114件	75.4%	23.7%	0.9%	0.0%
	60代	150件	87.3%	10.7%	2.0%	0.0%
	70代	184件	82.1%	15.2%	2.7%	0.0%
	80歳以上	59件	86.4%	13.6%	0.0%	0.0%
圏域	坂下	49件	95.9%	4.1%	0.0%	0.0%
	高森台・石尾台	90件	92.2%	7.8%	0.0%	0.0%
	藤山台・岩成台	61件	68.9%	27.9%	3.3%	0.0%
	高蔵寺	69件	68.1%	27.5%	4.3%	0.0%
	南城	64件	81.3%	15.6%	3.1%	0.0%
	松原	63件	76.2%	20.6%	3.2%	0.0%
	東部	74件	77.0%	16.2%	5.4%	1.4%
	鷹来	55件	78.2%	18.2%	3.6%	0.0%
	柏原	61件	62.3%	27.9%	9.8%	0.0%
	中部	95件	72.6%	22.1%	5.3%	0.0%
	西部	83件	67.5%	28.9%	3.6%	0.0%
	味美・知多	80件	71.3%	23.8%	3.8%	1.3%
住まいの種類	持ち家（一戸建て）	599件	89.5%	9.3%	1.0%	0.2%
	持ち家（マンション）	82件	68.3%	23.2%	7.3%	1.2%
	民間賃貸住宅	120件	19.2%	64.2%	16.7%	0.0%
	公的賃貸住宅	34件	41.2%	52.9%	5.9%	0.0%
	その他	9件	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
居住年数	2年未満	53件	37.7%	37.7%	24.5%	0.0%
	2年以上5年未満	87件	51.7%	40.2%	8.0%	0.0%
	5年以上10年未満	102件	64.7%	30.4%	3.9%	1.0%
	10年以上20年未満	179件	72.6%	23.5%	3.4%	0.6%
	20年以上	428件	88.8%	10.3%	0.9%	0.0%



問10 あなたは、地域の行事（清掃、お祭り、運動会など）に参加していますか。（○は1つ）

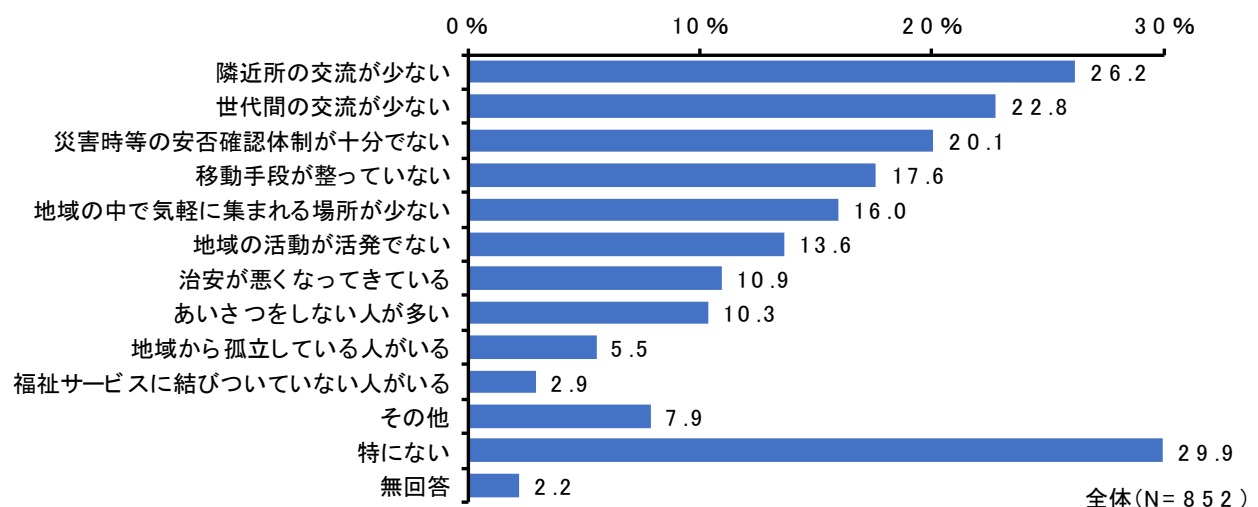
- ・「よく参加している」（15.4%）と「ある程度参加している」（37.8%）を合わせた割合は、53.2%です。一方、「ほとんど参加していない」（14.3%）と「参加していない」（26.6%）を合わせた割合は40.9%です。
- ・「（よく・ある程度）参加している」の割合は、年齢が高くなるほど、また、居住年数が長くなるほどが高くなる傾向がみられます。圏域別では、「坂下」（79.6%）で高く、「味美・知多」（40.1%）、「柏原」（41.0%）、「西部」（43.3%）で低くなっています。



		合計	よく参加している	ある程度参加している	ほとんど参加していない	参加していない	どのような行事があるかわからない	無回答
全体		852件	15.4%	37.8%	14.3%	26.6%	5.3%	0.6%
性別	男性	360件	16.4%	36.4%	12.5%	28.1%	6.7%	0.0%
	女性	486件	14.4%	39.3%	15.6%	25.9%	4.3%	0.4%
年齢	10・20代	74件	4.1%	16.2%	25.7%	43.2%	10.8%	0.0%
	30代	116件	8.6%	28.4%	15.5%	31.9%	15.5%	0.0%
	40代	144件	11.8%	43.1%	16.0%	26.4%	2.8%	0.0%
	50代	114件	11.4%	33.3%	14.9%	34.2%	6.1%	0.0%
	60代	150件	15.3%	52.7%	16.0%	15.3%	0.7%	0.0%
	70代	184件	27.2%	36.4%	8.7%	23.4%	3.3%	1.1%
	80歳以上	59件	23.7%	45.8%	8.5%	22.0%	0.0%	0.0%
圏域	坂下	49件	26.5%	53.1%	8.2%	10.2%	2.0%	0.0%
	高森台・石尾台	90件	16.7%	48.9%	12.2%	20.0%	2.2%	0.0%
	藤山台・岩成台	61件	11.5%	39.3%	26.2%	18.0%	4.9%	0.0%
	高蔵寺	69件	13.0%	34.8%	18.8%	29.0%	2.9%	1.4%
	南城	64件	25.0%	35.9%	12.5%	21.9%	4.7%	0.0%
	松原	63件	17.5%	31.7%	17.5%	30.2%	3.2%	0.0%
	東部	74件	20.3%	40.5%	12.2%	20.3%	6.8%	0.0%
	鷹来	55件	23.6%	30.9%	9.1%	32.7%	3.6%	0.0%
	柏原	61件	6.6%	34.4%	14.8%	37.7%	6.6%	0.0%
	中部	95件	13.7%	41.1%	11.6%	26.3%	7.4%	0.0%
	西部	83件	12.0%	31.3%	18.1%	31.3%	7.2%	0.0%
	味美・知多	80件	6.3%	33.8%	12.5%	36.3%	10.0%	1.3%
居住年数	2年未満	53件	0.0%	20.8%	15.1%	47.2%	17.0%	0.0%
	2年以上5年未満	87件	3.4%	31.0%	12.6%	39.1%	13.8%	0.0%
	5年以上10年未満	102件	15.7%	33.3%	13.7%	28.4%	8.8%	0.0%
	10年以上20年未満	179件	11.7%	38.5%	17.9%	26.8%	5.0%	0.0%
	20年以上	428件	21.3%	42.3%	13.3%	21.3%	1.4%	0.5%
自町内会	加入している	641件	20.3%	47.4%	14.8%	15.6%	1.7%	0.2%
	加入していない	172件	0.6%	7.6%	14.5%	63.4%	13.4%	0.6%
	わからない	34件	0.0%	11.8%	5.9%	52.9%	29.4%	0.0%

問 11 あなたの住んでいる地域の中での問題点・不足していると思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

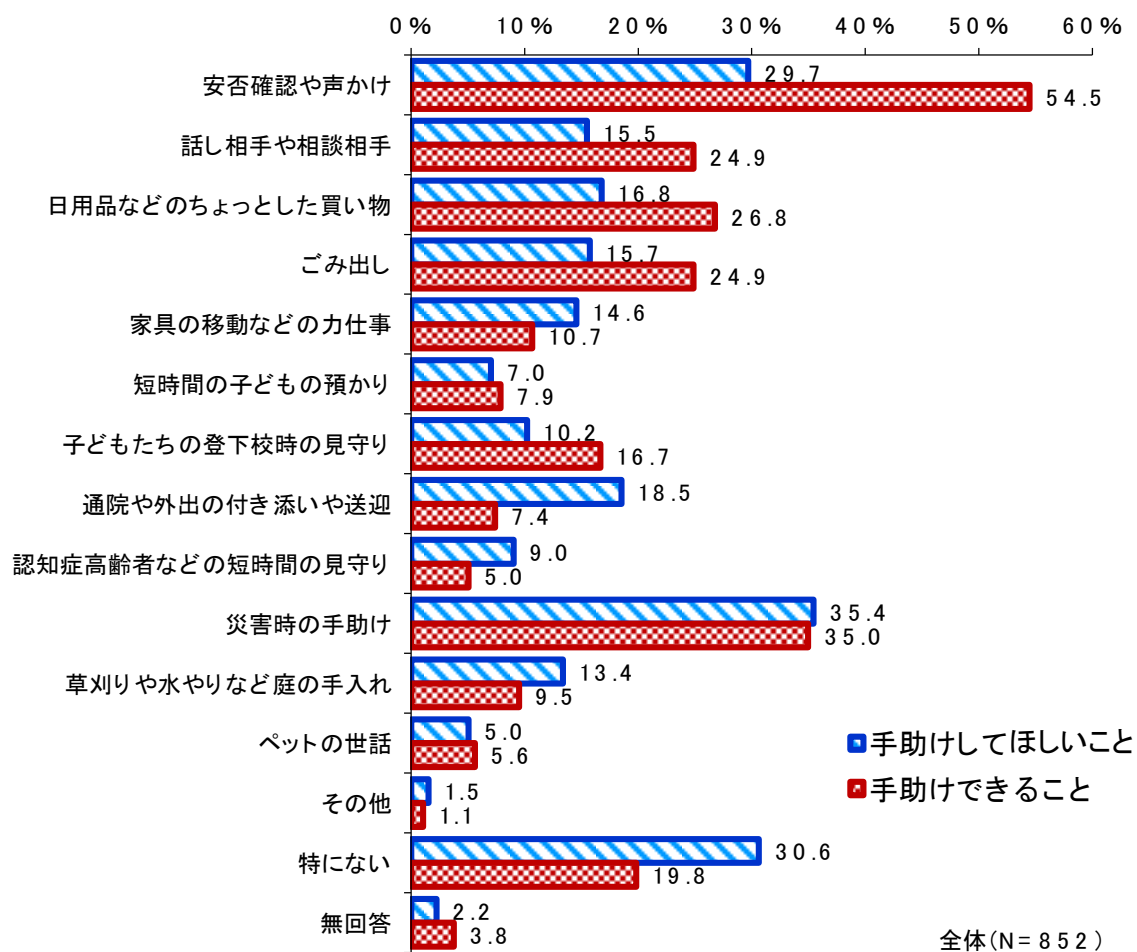
- ・「隣近所の交流が少ない」が 26.2%と最も多く、次いで「世代間の交流が少ない」が 22.8%、「災害時等の安否確認体制が十分でない」が 20.1%、「移動手段が整っていない」が 17.6%の順です。
- ・「隣近所の交流が少ない」「世代間の交流が少ない」の割合は、年齢が高くなるほど高くなる傾向がみられます。「移動手段が整っていない」は「10・20代」「60歳以上」での割合が高くなっています。
- ・一方、「特にない」の割合は全体では 29.9%で、「10～40代」で高くなっています。



	合計	多	隣	い	世	地	い	制	災	い	人	地	い	福	そ	特	無
		い	近	地	代	域	移	災	害	安	が	域	福	他	に	回	
		あ	所	域	間	中	動	害	時	治	人	域	社	そ	特	無	
		い	の	の	の	の	手	等	等	安	が	中	サ	他	に	回	
		さ	交	活	交	場	段	の	の	否	悪	所	ー				
		つ	流	動	流	が	が	中	中	確	く	集	ビ				
		し	が	が	が	ま	整	の	認	な	な	立	ス				
		な	少	で	少	ま	っ	気	体	い	っ	し	に				
		い	な	な	な	ま	て	軽	制	て	て	て	結				
		人	い	い	い	い	い	い	体	き	き	き	び				
		が	る	な	な	な	な	な	制	て	て	つ	つ				
		が	る	い	い	い	い	い	体	き	き	つ	つ				
		多	少	活	交	場	手	等	の	な	な	立	に				
		い	な	動	流	中	段	の	確	い	域	結	結				
		さ	い	が	が	の	が	中	認	な	中	び	び				
		つ	な	が	少	気	整	の	体	い	所	つ	つ				
		し	い	が	な	ま	っ	場	制	て	集	つ	つ				
		な	い	で	な	ま	て	が	体	き	ま	つ	つ				
		い	な	な	な	ま	い	な	制	な	な	つ	つ				
		人	い	い	い	い	い	い	体	な	な	つ	つ				
		が	る	な	な	な	な	な	制	い	な	つ	つ				
		が	る	い	い	い	い	い	体	な	な	つ	つ				
		多	少	活	交	場	手	等	の	な	な	つ	つ				
		い	な	動	流	中	段	の	確	い	域	結	び				
		さ	い	が	が	の	が	中	認	な	中	び	つ				
		つ	な	が	少	気	整	の	体	い	所	つ	つ				
		し	い	が	な	ま	っ	場	制	て	集	つ	つ				
		な	い	で	な	ま	て	が	体	な	な	つ	つ				
		人	い	い	い	い	い	い	制	い	な	つ	つ				
		が	る	な	な	な	な	な	体	な	な	つ	つ				
		が	る	い	い	い	い	い	制	な	な	つ	つ				
		多	少	活	交	場	手	等	の	な	な	つ	つ				
		い	な	動	流	中	段	の	確	い	域	結	び				
		さ	い	が	が	の	が	中	認	な	中	び	つ				
		つ	な	が	少	気	整	の	体	い	所	つ	つ				
		し	い	が	な	ま	っ	場	制	て	集	つ	つ				
		な	い	で	な	ま	て	が	体	な	な	つ	つ				
		人	い	い	い	い	い	い	制	い	な	つ	つ				
		が	る	な	な	な	な	な	体	な	な	つ	つ				
		が	る	い	い	い	い	い	制	な	な	つ	つ				
		多	少	活	交	場	手	等	の	な	な	つ	つ				
		い	な	動	流	中	段	の	確	い	域	結	び				
		さ	い	が	が	の	が	中	認	な	中	び	つ				
		つ	な	が	少	気	整	の	体	い	所	つ	つ				
		し	い	が	な	ま	っ	場	制	て	集	つ	つ				
		な	い	で	な	ま	て	が	体	な	な	つ	つ				
		人	い	い	い	い	い	い	制	い	な	つ	つ				
		が	る	な	な	な	な	な	体	な	な	つ	つ				
		が	る	い	い	い	い	い	制	な	な	つ	つ				
		多	少	活	交	場	手	等	の	な	な	つ	つ				
		い	な	動	流	中	段	の	確	い	域	結	び				
		さ	い	が	が	の	が	中	認	な	中	び	つ				
		つ	な	が	少	気	整	の	体	い	所	つ	つ				
		し	い	が	な	ま	っ	場	制	て	集	つ	つ				
		な	い	で	な	ま	て	が	体	な	な	つ	つ				
		人	い	い	い	い	い	い	制	い	な	つ	つ				
		が	る	な	な	な	な	な	体	な	な	つ	つ				
		が	る	い	い	い	い	い	制	な	な	つ	つ				
		多	少	活	交	場	手	等	の	な	な	つ	つ				
		い	な	動	流	中	段	の	確	い	域	結	び				
		さ	い	が	が	の	が	中	認	な	中	び	つ				
		つ	な	が	少	気	整	の	体	い	所	つ	つ				
		し	い	が	な	ま	っ	場	制	て	集	つ	つ				
		な	い	で	な	ま	て	が	体	な	な	つ	つ				
		人	い	い	い	い	い	い	制	い	な	つ	つ				
		が	る	な	な	な	な	な	体	な	な	つ	つ				
		が	る	い	い	い	い	い	制	な	な	つ	つ				
		多	少	活	交	場	手	等	の	な	な	つ	つ				
		い	な	動	流	中	段	の	確	い	域	結	び				
		さ	い	が	が	の	が	中	認	な	中	び	つ				
		つ	な	が	少	気	整	の	体	い	所	つ	つ				
		し	い	が	な	ま	っ	場	制	て	集	つ	つ				
		な	い	で	な	ま	て	が	体	な	な	つ	つ				
		人	い	い	い	い	い	い	制	い	な	つ	つ				
		が	る	な	な	な	な	な	体	な	な	つ	つ				
		が	る	い	い	い	い	い	制	な	な	つ	つ				
		多	少	活	交	場	手	等	の	な	な	つ	つ				
		い	な	動	流	中	段	の	確	い	域	結	び				
		さ	い	が	が	の	が	中	認	な	中	び	つ				
		つ	な	が	少	気	整	の	体	い	所	つ	つ				
		し	い	が	な	ま	っ	場	制	て	集	つ	つ				
		な	い	で	な	ま	て	が	体	な	な	つ	つ				
		人	い	い	い	い	い	い	制	い	な	つ	つ				
		が	る	な	な	な	な	な	体	な	な	つ	つ				
		が	る	い	い	い	い	い	制	な	な	つ	つ				
		多	少	活	交	場	手	等	の	な	な	つ	つ				
		い	な	動	流	中	段	の	確	い	域	結	び				
		さ	い	が	が	の	が	中	認	な	中	び	つ				
		つ	な	が	少	気	整	の	体	い	所	つ	つ				
		し	い	が	な	ま	っ	場	制	て	集	つ	つ				
		な	い	で	な	ま	て	が	体	な	な	つ	つ				
		人	い	い	い	い	い	い	制	い	な	つ	つ				
		が	る	な	な	な	な	な	体	な	な	つ	つ				
		が	る	い	い	い	い	い	制	な	な	つ	つ				
		多	少	活	交	場	手	等	の	な	な	つ	つ				
		い	な	動	流	中	段	の	確	い	域	結	び				
		さ	い	が	が	の	が	中	認	な	中	び	つ				
		つ	な	が	少	気	整	の	体	い	所	つ	つ				
		し	い	が	な	ま	っ	場	制	て	集	つ	つ				
		な	い	で	な												

問 12 あなたやご家族が、ご近所や地域に「手助けしてほしい」と思うことは、どのようなものがありますか。反対にあなたがご近所や地域の方に対して「手助けできる」と思うことは、どのようなことがありますか。

- ・「手助けしてほしい」は、「災害時の手助け」が35.4%と最も多く、次いで「安否確認や声かけ」が29.7%、「通院や外出の付き添いや送迎」が18.5%、「日用品などのちょっとした買い物」が16.8%の順です。また、「特にない」が30.6%となっています。
- ・「手助けできること」は、「安否確認や声かけ」が54.5%と最も多く、次いで「災害時の手助け」が35.0%、「日用品などのちょっとした買い物」が26.8%、「話し相手や相談相手」と「ごみ出し」が24.9%の順です。



- ・「手助けしてほしいこと」では、「災害時の手助け」の割合は「80歳以上」で低く、「通院や外出の付き添いや送迎」の割合は、「50歳以上」で高くなっています。
- ・「災害時の手助け」を圏域別にみると、「西部」（50.6%）で割合が高くなっています。
- ・「短時間の子どもの預かり」「子どもたちの登下校時の見守り」の割合は、「30代」で高く、「乳幼児」「小学生」のいる世帯でも高くなっています。

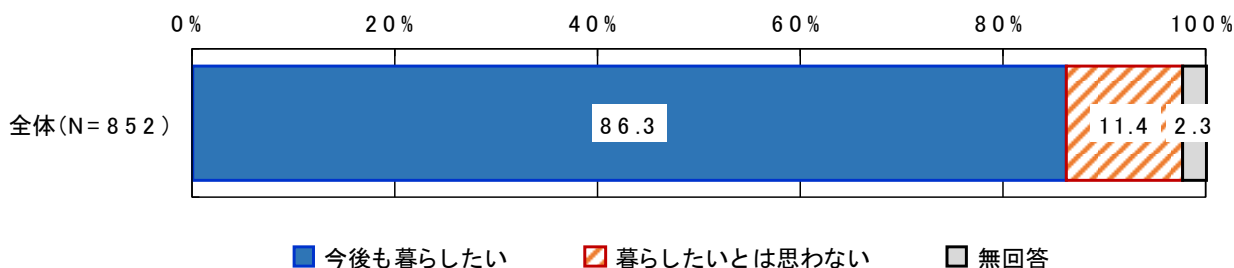
	合計	問12(1) 手助けしてほしいと思うこと																
		安否確認や声かけ	話し相手や相談相手	日用品などのちよつとした買い物	ごみ出し	仕事	家具の移動などの力	短時間の子ども預かり	子どもの見守り	子どもたちの登下校	通院や外出の付き添いや送迎	短時間の見守り	認知症高齢者などの見守り	災害時の手助け	庭草刈りや水やりなど	ペットの世話	その他	特にない
全体	852件	29.7%	15.5%	16.8%	15.7%	14.6%	7.0%	10.2%	18.5%	18.5%	9.0%	35.4%	13.4%	5.0%	1.5%	30.6%	2.2%	
性別	男性	360件	27.2%	15.3%	13.9%	14.4%	11.4%	6.7%	8.6%	16.4%	9.2%	31.9%	11.1%	5.6%	1.1%	35.8%	2.8%	
	女性	486件	31.3%	15.4%	18.3%	16.5%	16.9%	7.2%	11.1%	20.0%	8.8%	37.9%	15.0%	4.5%	1.9%	26.7%	1.9%	
年齢	10・20代	74件	29.7%	9.5%	8.1%	6.8%	12.2%	5.4%	10.8%	10.8%	9.5%	37.8%	9.5%	5.4%	1.4%	39.2%	2.7%	
	30代	116件	19.0%	13.8%	11.2%	8.6%	9.5%	25.0%	30.2%	7.8%	7.8%	37.9%	5.2%	3.4%	0.0%	26.7%	0.0%	
	40代	144件	30.6%	15.3%	20.1%	16.7%	11.1%	14.6%	18.8%	15.3%	9.7%	37.5%	13.2%	6.9%	0.7%	29.2%	1.4%	
	50代	114件	35.1%	15.8%	18.4%	18.4%	13.2%	3.5%	5.3%	22.8%	10.5%	39.5%	11.4%	5.3%	0.9%	28.1%	0.9%	
	60代	150件	35.3%	14.7%	18.0%	21.3%	20.0%	0.7%	2.7%	24.0%	7.3%	37.3%	20.7%	7.3%	0.7%	26.7%	2.7%	
	70代	184件	29.9%	16.8%	15.8%	14.7%	16.3%	0.0%	2.2%	21.7%	8.7%	31.5%	12.0%	2.7%	3.3%	33.2%	4.3%	
	80歳以上	59件	23.7%	22.0%	23.7%	20.3%	18.6%	0.0%	3.4%	25.4%	11.9%	23.7%	23.7%	3.4%	5.1%	33.9%	3.4%	
	圏域	坂下	49件	20.4%	8.2%	16.3%	24.5%	16.3%	6.1%	8.2%	24.5%	6.1%	34.7%	26.5%	2.0%	4.1%	28.6%	2.0%
高森台・石尾台		90件	34.4%	16.7%	22.2%	18.9%	16.7%	6.7%	6.7%	16.7%	8.9%	34.4%	20.0%	8.9%	2.2%	30.0%	1.1%	
藤山台・岩成台		61件	31.1%	19.7%	13.1%	14.8%	13.1%	8.2%	9.8%	13.1%	6.6%	39.3%	8.2%	4.9%	1.6%	29.5%	1.6%	
高蔵寺		69件	30.4%	13.0%	14.5%	11.6%	11.6%	10.1%	14.5%	13.0%	33.3%	11.6%	2.9%	1.4%	31.9%	1.4%		
南城		64件	26.6%	18.8%	12.5%	20.3%	20.3%	10.9%	14.1%	15.6%	4.7%	31.3%	21.9%	7.8%	0.0%	23.4%	0.0%	
松原		63件	25.4%	12.7%	12.7%	12.7%	11.1%	4.8%	7.9%	14.3%	1.6%	31.7%	9.5%	6.3%	0.0%	41.3%	4.8%	
東部		74件	35.1%	20.3%	25.7%	23.0%	17.6%	10.8%	12.2%	21.6%	14.9%	37.8%	16.2%	8.1%	1.4%	27.0%	2.7%	
鷹来		55件	27.3%	14.5%	16.4%	14.5%	14.5%	5.5%	5.5%	21.8%	10.9%	29.1%	14.5%	3.6%	1.8%	30.9%	0.0%	
柏原		61件	31.1%	14.8%	16.4%	23.0%	14.8%	4.9%	6.6%	21.3%	14.8%	34.4%	11.5%	6.6%	0.0%	34.4%	3.3%	
中部		95件	31.6%	11.6%	15.8%	11.6%	11.6%	9.5%	15.8%	15.8%	6.3%	30.5%	9.5%	3.2%	0.0%	31.6%	3.2%	
西部		83件	33.7%	19.3%	16.9%	12.0%	16.9%	3.6%	13.3%	28.9%	10.8%	50.6%	6.0%	2.4%	3.6%	22.9%	2.4%	
味美・知多		80件	23.8%	15.0%	15.0%	7.5%	12.5%	3.8%	8.8%	16.3%	10.0%	36.3%	11.3%	3.8%	2.5%	33.8%	3.8%	
家族構成		一人暮らし	70件	27.1%	18.6%	14.3%	11.4%	20.0%	0.0%	4.3%	18.6%	5.7%	31.4%	10.0%	4.3%	5.7%	31.4%	5.7%
		夫婦のみの世帯	257件	32.3%	16.7%	18.3%	18.7%	19.1%	1.9%	4.7%	21.4%	8.6%	35.0%	15.2%	4.7%	0.8%	32.3%	1.2%
	2世代世帯（親と子）	427件	28.8%	14.5%	16.4%	15.7%	11.5%	11.2%	14.8%	15.9%	9.6%	37.5%	11.9%	4.9%	0.9%	28.8%	1.9%	
	3世代世帯（親と子と孫）	71件	26.8%	15.5%	12.7%	11.3%	11.3%	7.0%	8.5%	22.5%	12.7%	29.6%	15.5%	9.9%	4.2%	35.2%	1.4%	
	その他	19件	36.8%	10.5%	26.3%	10.5%	21.1%	5.3%	10.5%	26.3%	0.0%	31.6%	31.6%	0.0%	0.0%	31.6%	0.0%	
障がい・高齢者のある家族	乳幼児	125件	18.4%	12.8%	9.6%	10.4%	8.8%	33.6%	33.6%	8.0%	7.2%	35.2%	8.0%	2.4%	0.8%	27.2%	0.8%	
	小学生	113件	23.0%	11.5%	9.7%	11.5%	3.5%	23.0%	31.0%	14.2%	7.1%	31.9%	10.6%	3.5%	0.9%	24.8%	1.8%	
	中学生・高校生	108件	28.7%	14.8%	13.0%	13.0%	9.3%	7.4%	13.9%	13.0%	4.6%	33.3%	11.1%	6.5%	0.9%	31.5%	3.7%	
	65歳以上の方	296件	30.7%	15.9%	18.9%	17.9%	15.9%	2.0%	4.7%	23.3%	9.8%	34.8%	15.5%	4.4%	1.4%	32.1%	2.0%	
	高齢で介護や介助が必要	49件	28.6%	16.3%	20.4%	26.5%	24.5%	2.0%	6.1%	32.7%	16.3%	36.7%	30.6%	12.2%	4.1%	18.4%	0.0%	
	障がいがあり、介護や介助が必要	40件	27.5%	22.5%	20.0%	32.5%	30.0%	10.0%	12.5%	32.5%	27.5%	55.0%	27.5%	12.5%	2.5%	22.5%	0.0%	
	引きこもり状態にある方	5件	40.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	
1～9にあてはまる者はいない	265件	32.1%	16.2%	16.6%	15.1%	18.1%	2.3%	4.2%	18.9%	11.3%	38.9%	14.7%	5.3%	2.6%	33.2%	2.3%		

- ・「手助けできること」を男女別にみると、男性では「家具の移動など力仕事」「災害時の手助け」「草刈や水やりなど庭の手入れ」等の割合が女性よりも高く、女性では「安否確認や声かけ」「話し相手や相談相手」「日用品などのちょっとした買い物」等の割合が男性よりも高くなっています。
- ・「手助けできること」で「安否確認や声かけ」について回答者の属性別みると、「30～50代」で割合が高くなっています。
- ・「安否確認や声かけ」の割合を地域との関係性をみると、区・町内会、自治会の加入の有無に関わらず55%前後と同程度であることや、地域行事に参加していない人や、ボランティア活動への参加を希望しない人でも40%以上と高くなっています。
- ・「日用品などのちょっとした買い物」の割合を圏域別にみると、「味美・知多」（40.0%）で高くなっています。

	合計	問12(2) 手助けできること																	
		安否確認や声かけ	話し相手や相談相手	日用品などのちょっとした買い物	ごみ出し	仕事家具の移動などの力	かり短時間の子ども預	時の見守り	子どもたちの登下校	い通院や外出の付き添	短時間の見守り	認知症高齢者などの	災害時の手助け	庭の手入れ	草刈りや水やりなど	ペットの世話	その他	特にな	無回答
全体	852件	54.5%	24.9%	26.8%	24.9%	10.7%	7.9%	16.7%	7.4%	5.0%	35.0%	9.5%	5.6%	1.1%	19.8%	3.8%			
性別	男性	360件	50.0%	20.8%	21.7%	22.8%	18.1%	6.4%	16.1%	7.5%	4.2%	39.2%	11.7%	5.6%	0.8%	20.8%	3.9%		
	女性	486件	57.4%	27.6%	30.2%	26.3%	4.9%	8.8%	16.9%	7.0%	5.3%	31.5%	7.8%	5.3%	1.0%	19.1%	3.7%		
年齢	10・20代	74件	43.2%	21.6%	29.7%	23.0%	17.6%	5.4%	14.9%	2.7%	2.7%	39.2%	12.2%	5.4%	1.4%	27.0%	2.7%		
	30代	116件	56.0%	22.4%	20.7%	14.7%	12.1%	13.8%	21.6%	6.9%	4.3%	40.5%	5.2%	5.2%	0.0%	15.5%	0.9%		
	40代	144件	61.1%	23.6%	34.0%	25.0%	20.8%	12.5%	19.4%	8.3%	4.9%	45.1%	10.4%	9.0%	0.7%	11.1%	1.4%		
	50代	114件	68.4%	31.6%	30.7%	32.5%	13.2%	6.1%	14.9%	9.6%	3.5%	49.1%	10.5%	7.9%	0.9%	13.2%	0.0%		
	60代	150件	53.3%	24.0%	29.3%	32.7%	6.0%	7.3%	18.7%	10.0%	7.3%	31.3%	14.7%	5.3%	1.3%	21.3%	2.7%		
	70代	184件	50.5%	24.5%	22.3%	23.4%	3.8%	4.9%	14.1%	6.5%	6.5%	25.0%	6.5%	2.2%	1.6%	25.5%	8.2%		
	80歳以上	59件	37.3%	25.4%	15.3%	15.3%	0.0%	1.7%	8.5%	1.7%	0.0%	10.2%	5.1%	3.4%	0.0%	28.8%	13.6%		
圏域	坂下	49件	57.1%	18.4%	18.4%	20.4%	10.2%	6.1%	8.2%	10.2%	6.1%	30.6%	16.3%	6.1%	2.0%	12.2%	10.2%		
	高森台・石尾台	90件	62.2%	24.4%	30.0%	30.0%	8.9%	7.8%	16.7%	8.9%	3.3%	36.7%	12.2%	6.7%	1.1%	18.9%	1.1%		
	藤山台・岩成台	61件	55.7%	31.1%	32.8%	36.1%	14.8%	6.6%	19.7%	9.8%	3.3%	49.2%	11.5%	3.3%	0.0%	16.4%	1.6%		
	高蔵寺	69件	56.5%	21.7%	27.5%	29.0%	11.6%	10.1%	15.9%	4.3%	5.8%	29.0%	10.1%	4.3%	0.0%	18.8%	1.4%		
	南城	64件	59.4%	31.3%	29.7%	23.4%	12.5%	15.6%	18.8%	6.3%	6.3%	29.7%	12.5%	7.8%	0.0%	15.6%	3.1%		
	松原	63件	34.9%	11.1%	12.7%	17.5%	4.8%	6.3%	19.0%	6.3%	3.2%	31.7%	1.6%	3.2%	3.2%	31.7%	7.9%		
	東部	74件	66.2%	32.4%	21.6%	23.0%	10.8%	9.5%	13.5%	8.1%	8.1%	32.4%	10.8%	9.5%	1.4%	13.5%	4.1%		
	鷹来	55件	43.6%	23.6%	23.6%	16.4%	12.7%	3.6%	14.5%	9.1%	1.8%	34.5%	7.3%	5.5%	0.0%	21.8%	3.6%		
	柏原	61件	55.7%	24.6%	32.8%	36.1%	6.6%	8.2%	24.6%	9.8%	9.8%	42.6%	9.8%	6.6%	0.0%	14.8%	4.9%		
	中部	95件	58.9%	25.3%	27.4%	21.1%	9.5%	9.5%	12.6%	4.2%	2.1%	31.6%	2.1%	0.0%	0.0%	22.1%	2.1%		
	西部	83件	47.0%	27.7%	19.3%	19.3%	9.6%	6.0%	20.5%	4.8%	4.8%	39.8%	9.6%	7.2%	2.4%	24.1%	3.6%		
味美・知多	80件	51.3%	22.5%	40.0%	27.5%	15.0%	5.0%	17.5%	7.5%	7.5%	32.5%	11.3%	7.5%	2.5%	22.5%	5.0%			
自治内会	加入している	641件	56.0%	25.0%	26.2%	26.4%	11.2%	8.4%	18.3%	7.6%	5.3%	35.3%	10.9%	5.8%	1.1%	18.7%	4.2%		
	加入していない	172件	52.3%	25.0%	29.7%	20.9%	7.6%	7.0%	12.2%	6.4%	4.1%	33.1%	6.4%	5.2%	1.2%	21.5%	2.3%		
	わからない	34件	35.3%	23.5%	17.6%	14.7%	11.8%	2.9%	11.8%	5.9%	5.9%	35.3%	0.0%	2.9%	0.0%	32.4%	2.9%		
地域参加への	よく参加している	131件	62.6%	32.8%	26.7%	32.8%	14.5%	10.7%	27.5%	11.5%	12.2%	32.8%	14.5%	6.9%	1.5%	15.3%	2.3%		
	ある程度参加している	322件	59.9%	27.3%	30.7%	27.0%	10.2%	9.0%	17.1%	8.1%	5.3%	35.4%	11.2%	5.6%	0.3%	17.1%	4.3%		
	ほとんど参加していない	122件	55.7%	18.9%	23.0%	23.0%	8.2%	10.7%	17.2%	1.6%	2.5%	36.9%	9.0%	4.1%	0.0%	20.5%	3.3%		
	参加していない	227件	41.0%	18.5%	20.3%	18.9%	11.0%	4.0%	11.9%	7.5%	3.1%	34.4%	5.7%	6.2%	2.6%	25.6%	3.5%		
ボランティア	今後も参加したい	79件	67.1%	34.2%	41.8%	32.7%	16.5%	13.9%	30.4%	13.9%	13.9%	45.6%	16.5%	5.1%	0.0%	10.1%	1.3%		
今後参加したい	237件	70.5%	35.0%	35.0%	32.9%	16.9%	13.9%	26.6%	10.5%	8.0%	50.2%	15.2%	7.6%	1.7%	6.8%	0.8%			
適当な時期に辞めたい	33件	69.7%	33.3%	36.4%	30.3%	9.1%	3.0%	12.1%	9.1%	12.1%	27.3%	15.2%	6.1%	3.0%	15.2%	6.1%			
以前は参加していた	56件	55.4%	30.4%	30.4%	19.6%	3.6%	5.4%	8.9%	3.6%	1.8%	26.8%	5.4%	3.6%	0.0%	23.2%	7.1%			
今後参加したくない	399件	44.1%	16.8%	19.3%	18.8%	7.8%	4.0%	9.5%	4.8%	1.3%	28.1%	5.0%	5.0%	0.8%	29.8%	2.3%			

問13 あなたは、今住んでいる地域に、今後も暮らしたいですか。(〇は1つ)

- ・「今後も暮らしたい」が86.3%、「暮らしたいとは思わない」が11.4%です。
- ・「今後も暮らしたい」の割合を回答者の属性別にみると、性別や年齢、居住年数による大きな差はみられません。
- ・「暮らしたいとは思わない」の割合を区・町内会、自治会の加入の有無別にみると、大きな差はみられませんが、近所つきあいが「ほとんどない」人がやや高くなっています。

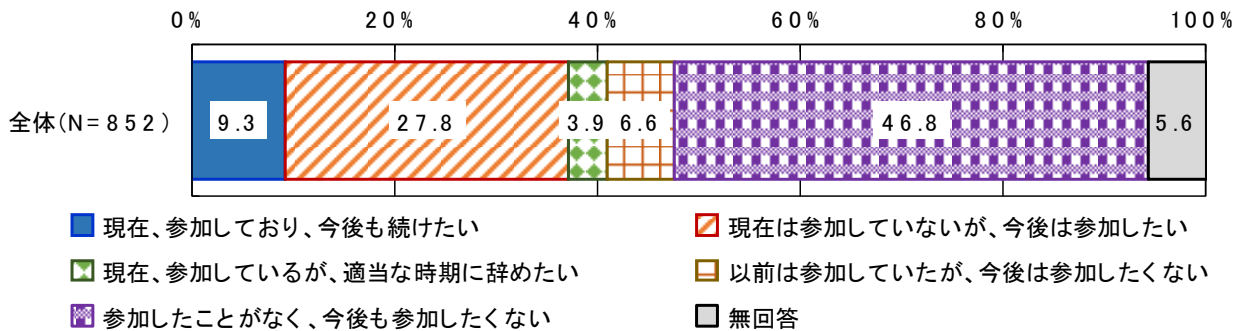


		合計	今後も暮らし たい	暮らしたい とは思わない	無回答
全 体		852件	86.3%	11.4%	2.3%
性別	男性	360件	87.8%	11.1%	1.1%
	女性	486件	85.0%	11.7%	3.3%
年齢	10・20代	74件	83.8%	16.2%	0.0%
	30代	116件	86.2%	13.8%	0.0%
	40代	144件	87.5%	9.7%	2.8%
	50代	114件	82.5%	16.7%	0.9%
	60代	150件	84.0%	12.7%	3.3%
	70代	184件	90.2%	6.5%	3.3%
	80歳以上	59件	88.1%	6.8%	5.1%
圏 域	坂下	49件	81.6%	18.4%	0.0%
	高森台・石尾台	90件	85.6%	14.4%	0.0%
	藤山台・岩成台	61件	83.6%	14.8%	1.6%
	高蔵寺	69件	88.4%	10.1%	1.4%
	南城	64件	93.8%	4.7%	1.6%
	松原	63件	88.9%	6.3%	4.8%
	東部	74件	81.1%	14.9%	4.1%
	鷹来	55件	83.6%	12.7%	3.6%
	柏原	61件	82.0%	16.4%	1.6%
	中部	95件	87.4%	7.4%	5.3%
	西部	83件	88.0%	9.6%	2.4%
味美・知多	80件	87.5%	11.3%	1.3%	
居住 年 数	2年未満	53件	83.0%	17.0%	0.0%
	2年以上5年未満	87件	82.8%	16.1%	1.1%
	5年以上10年未満	102件	87.3%	11.8%	1.0%
	10年以上20年未満	179件	88.8%	9.5%	1.7%
	20年以上	428件	86.0%	10.5%	3.5%
近所 つき あ い	買い物や遊びに出かける	67件	88.1%	9.0%	3.0%
	お互いの家をよく行き来する	28件	92.9%	3.6%	3.6%
	立ち話をしたりする	231件	90.0%	6.9%	3.0%
	会えばあいさつをする	423件	85.1%	13.2%	1.7%
	ほとんどつきあいはない	88件	78.4%	19.3%	2.3%
自町 治内 会 会	加入している	641件	87.2%	10.0%	2.8%
	加入していない	172件	83.7%	15.1%	1.2%
	わからない	34件	79.4%	20.6%	0.0%

# 1-3 ボランティアや地域活動について

問 14 あなたは、ボランティアや地域活動に参加していますか。また、参加したいと思いますか。(〇は1つ)

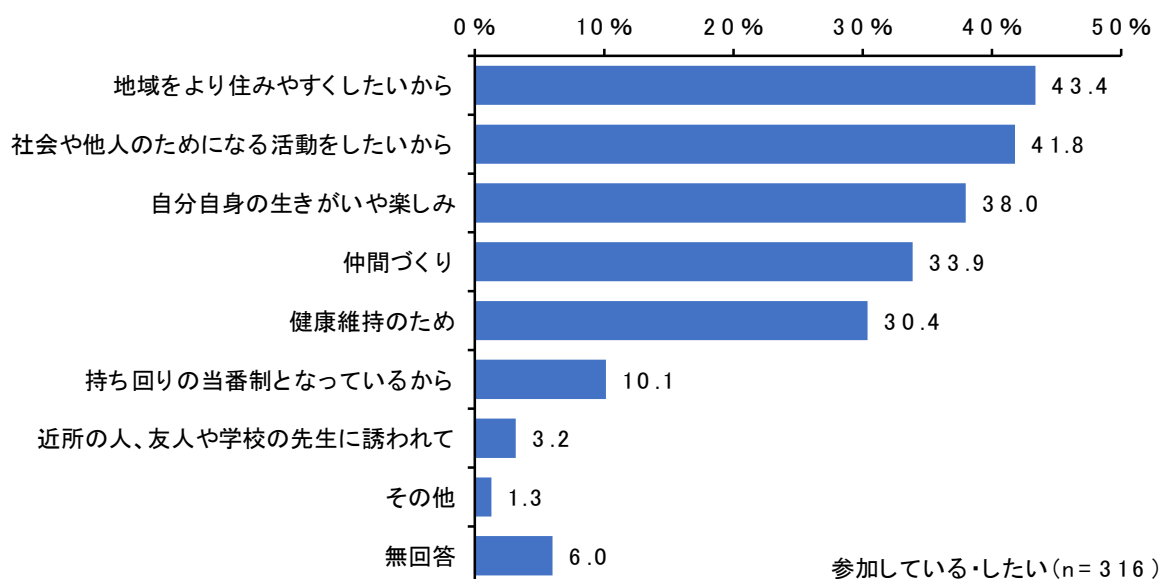
- ・「参加したことがなく、今後も参加したくない」が46.8%と最も多くなっています。
- ・「現在、参加しており、今後も続けたい」(9.3%)と「現在は参加していないが、今後は参加したい」(27.8%)を合わせた割合は、37.1%です。一方、「現在、参加しているが、適当な時期に辞めたい」(3.9%)と「以前は参加していたが、今後は参加したくない」(6.6%)を合わせた割合は、10.5%です。
- ・「現在、参加しており、今後も続けたい」を圏域別にみると、「高森台・石尾台」(18.9%)、「東部」(13.5%)、「南城」(10.9%)での割合が高くなっています。一方、「藤山台・岩成台」(3.3%)、「松原」(4.8%)での割合が低くなっています。また、区・町内会、自治会に「加入している」(11.9%)と、「加入していない」(0.6%)では11.3ポイントの差がみられます。



	合計	現在、参加して おり、今後も続け たい	現在は参加して いないが、今後は 参加したい	現在、参加して いるが、適当な時 期に辞めたい	以前は参加して いたが、今後は 参加したくない	参加したことが なく、今後も参加 したくない	無回答
全 体	852件	9.3%	27.8%	3.9%	6.6%	46.8%	5.6%
性別							
男性	360件	9.7%	27.5%	5.3%	5.0%	47.8%	4.7%
女性	486件	8.8%	28.0%	2.9%	7.8%	46.3%	6.2%
年齢							
10・20代	74件	6.8%	36.5%	1.4%	2.7%	48.6%	4.1%
30代	116件	5.2%	31.0%	0.0%	2.6%	60.3%	0.9%
40代	144件	10.4%	26.4%	4.9%	8.3%	49.3%	0.7%
50代	114件	7.0%	41.2%	1.8%	4.4%	43.9%	1.8%
60代	150件	14.7%	29.3%	3.3%	5.3%	42.0%	5.3%
70代	184件	10.9%	19.6%	7.6%	8.7%	44.0%	9.2%
80歳以上	59件	3.4%	6.8%	5.1%	16.9%	44.1%	23.7%
圏域							
坂下	49件	8.2%	20.4%	8.2%	6.1%	51.0%	6.1%
高森台・石尾台	90件	18.9%	24.4%	2.2%	5.6%	44.4%	4.4%
藤山台・岩成台	61件	3.3%	34.4%	3.3%	8.2%	45.9%	4.9%
高蔵寺	69件	8.7%	33.3%	1.4%	7.2%	46.4%	2.9%
南城	64件	10.9%	34.4%	1.6%	6.3%	45.3%	1.6%
松原	63件	4.8%	23.8%	3.2%	3.2%	47.6%	17.5%
東部	74件	13.5%	24.3%	2.7%	2.7%	50.0%	6.8%
鷹来	55件	5.5%	25.5%	5.5%	7.3%	50.9%	5.5%
柏原	61件	9.8%	27.9%	3.3%	9.8%	45.9%	3.3%
中部	95件	6.3%	28.4%	5.3%	7.4%	47.4%	5.3%
西部	83件	8.4%	21.7%	8.4%	9.6%	48.2%	3.6%
味美・知多	80件	8.8%	35.0%	2.5%	6.3%	40.0%	7.5%
家族構成							
一人暮らし	70件	5.7%	25.7%	4.3%	5.7%	51.4%	7.1%
夫婦のみの世帯	257件	8.9%	24.5%	6.2%	7.0%	45.9%	7.4%
2世代世帯(親と子)	427件	8.9%	30.4%	2.6%	6.3%	47.8%	4.0%
3世代世帯(親と子と孫)	71件	11.3%	28.2%	2.8%	7.0%	45.1%	5.6%
その他	19件	26.3%	21.1%	0.0%	10.5%	36.8%	5.3%
町内会 自治会							
加入している	641件	11.9%	27.0%	4.5%	6.7%	43.4%	6.6%
加入していない	172件	0.6%	30.8%	2.3%	7.0%	55.8%	3.5%
わからない	34件	2.9%	23.5%	0.0%	2.9%	70.6%	0.0%

(1) 参加している又は参加したいと思う目的・理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- ・参加目的・理由についてみると「地域をより住みやすくしたいから」が43.4%と最も多く、次いで「社会や他人のためになる活動をしたいから」が41.8%、「自分自身の生きがいや楽しみ」が38.0%、「仲間づくり」が33.9%、「健康維持のため」が30.4%の順です。
- ・年齢別にみると、「10・20代」では「社会や他人のためになる活動をしたいから」(53.1%)の割合が最も高くなっています。また、「自分自身の生きがいや楽しみ」「健康維持のため」では、年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向がみられます。

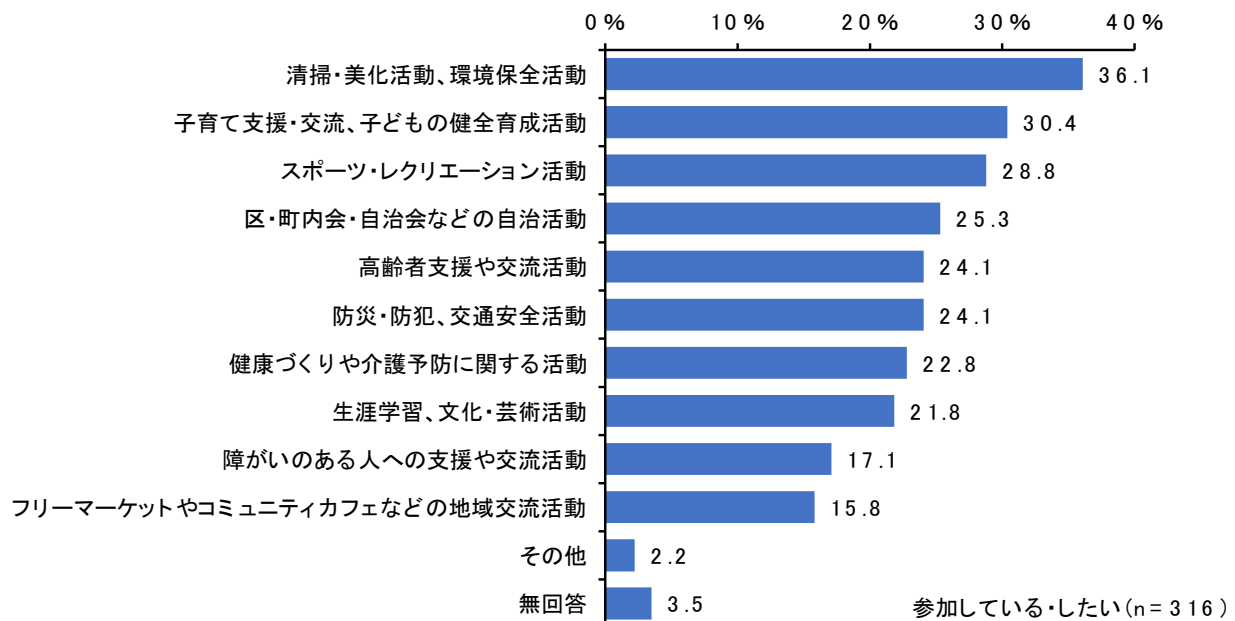


		合計	地域をより住みやすくしたいから	社会や他人のためになる活動をしたいから	仲間づくり	自分自身の生きがいや楽しみ	健康維持のため	近所の人、友人や学校の先生に誘われて	持ち回りの当番制となっているから	その他	無回答
全体		316件	43.4%	41.8%	33.9%	38.0%	30.4%	3.2%	10.1%	1.3%	6.0%
性別	男性	134件	47.8%	46.3%	33.6%	35.1%	35.1%	3.7%	10.4%	1.5%	5.2%
	女性	179件	39.7%	38.0%	34.6%	40.2%	26.8%	2.8%	10.1%	1.1%	6.7%
年齢	10・20代	32件	28.1%	53.1%	18.8%	18.8%	15.6%	3.1%	6.3%	0.0%	6.3%
	30代	42件	54.8%	31.0%	35.7%	23.8%	7.1%	4.8%	7.1%	0.0%	2.4%
	40代	53件	49.1%	47.2%	35.8%	34.0%	22.6%	11.3%	9.4%	1.9%	11.3%
	50代	55件	36.4%	45.5%	25.5%	40.0%	23.6%	1.8%	16.4%	1.8%	7.3%
	60代	66件	39.4%	39.4%	42.4%	50.0%	39.4%	0.0%	13.6%	3.0%	4.5%
	70代	56件	50.0%	33.9%	41.1%	46.4%	55.4%	0.0%	5.4%	0.0%	5.4%
	80歳以上	6件	50.0%	50.0%	33.3%	66.7%	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
圏域	坂下	14件	50.0%	28.6%	35.7%	42.9%	50.0%	0.0%	14.3%	0.0%	7.1%
	高森台・石尾台	39件	46.2%	41.0%	35.9%	38.5%	30.8%	2.6%	12.8%	0.0%	5.1%
	藤山台・岩成台	23件	60.9%	34.8%	43.5%	39.1%	39.1%	0.0%	13.0%	0.0%	0.0%
	高蔵寺	29件	51.7%	34.5%	37.9%	27.6%	27.6%	0.0%	6.9%	0.0%	3.4%
	南城	29件	27.6%	48.3%	48.3%	31.0%	34.5%	6.9%	6.9%	0.0%	3.4%
	松原	18件	27.8%	44.4%	22.2%	38.9%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	5.6%
	東部	28件	42.9%	50.0%	28.6%	35.7%	35.7%	7.1%	7.1%	7.1%	10.7%
	鷹来	17件	29.4%	23.5%	29.4%	41.2%	35.3%	0.0%	17.6%	0.0%	17.6%
	柏原	23件	43.5%	47.8%	21.7%	39.1%	34.8%	8.7%	8.7%	0.0%	0.0%
	中部	33件	42.4%	36.4%	36.4%	42.4%	15.2%	3.0%	9.1%	6.1%	12.1%
	西部	25件	40.0%	44.0%	24.0%	40.0%	32.0%	4.0%	12.0%	0.0%	0.0%
	味美・知多	35件	48.6%	54.3%	37.1%	42.9%	22.9%	2.9%	8.6%	0.0%	5.7%



(2) 参加している又は参加したい活動は次のどの分野ですか。(〇はいくつでも)

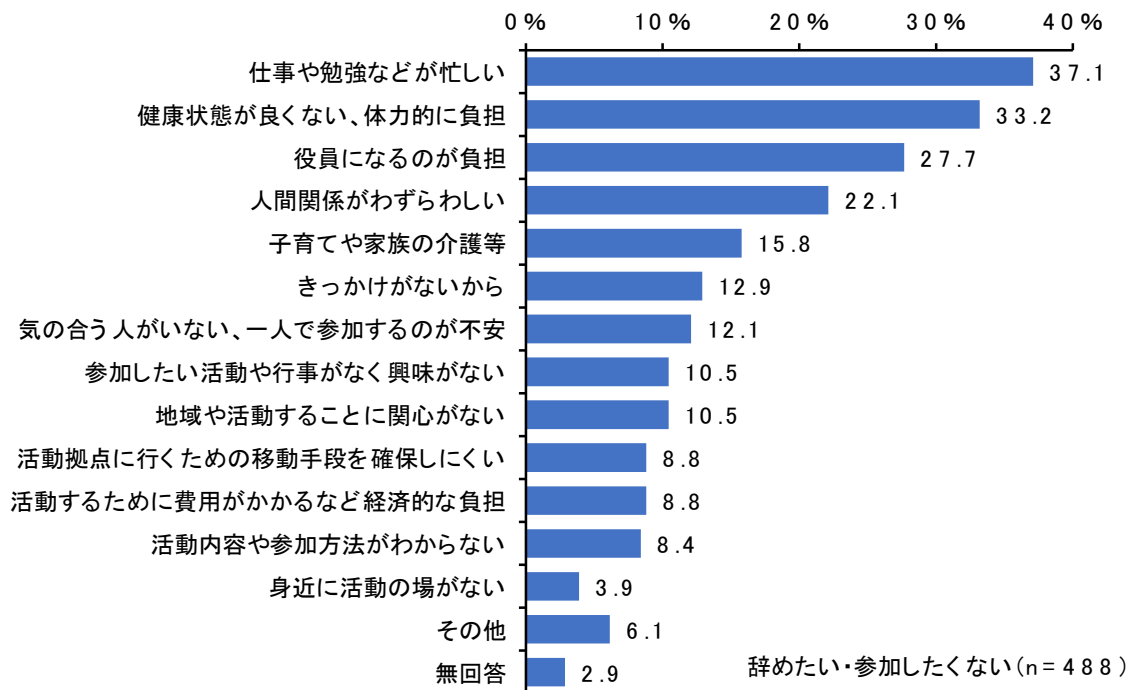
- ・参加している・したい活動についてみると「清掃・美化活動、環境保全活動」が36.1%と最も多く、次いで「子育て支援・交流、子どもの健全育成活動」が30.4%、「スポーツ・レクリエーション活動」が28.8%の順です。
- ・年齢別にみると、「10～40代」では「子育て支援・交流、子どもの健全育成活動」の割合が最も高く、「50歳以上」では「清掃・美化活動、環境保全活動」、「60歳以上」では「健康づくりや介護予防に関する活動」の割合が高くなる傾向がみられます。



	合計	高齢者支援や交流活動	障がいのある人への支援や交流活動	子育て支援・交流、子どもの健全育成活動	健康づくりや介護予防に関する活動	区・町内会・自治会などの自治活動	フリーマーケットやコミュニティカフェなどの地域交流活動	防災・防犯、交通安全活動	清掃・美化活動、環境保全活動	生涯学習、文化・芸術活動	スポーツ・レクリエーション活動	その他	無回答
		24.1%	17.1%	30.4%	22.8%	25.3%	15.8%	24.1%	36.1%	21.8%	28.8%	2.2%	3.5%
全体	316件	24.1%	17.1%	30.4%	22.8%	25.3%	15.8%	24.1%	36.1%	21.8%	28.8%	2.2%	3.5%
性別	男性	134件	20.9%	14.2%	20.1%	19.4%	35.1%	12.7%	38.8%	15.7%	35.8%	3.0%	4.5%
	女性	179件	26.3%	18.4%	38.0%	25.1%	18.4%	17.9%	12.8%	29.6%	26.3%	23.5%	1.7%
年齢	10・20代	32件	25.0%	25.0%	40.6%	9.4%	21.9%	18.8%	21.9%	34.4%	3.1%	12.5%	3.1%
	30代	42件	16.7%	11.9%	54.8%	7.1%	26.2%	11.9%	21.4%	33.3%	26.2%	38.1%	0.0%
	40代	53件	24.5%	22.6%	54.7%	22.6%	26.4%	24.5%	30.2%	34.0%	26.4%	34.0%	0.0%
	50代	55件	20.0%	12.7%	23.6%	16.4%	21.8%	21.8%	21.8%	38.2%	25.5%	32.7%	5.5%
	60代	66件	24.2%	18.2%	15.2%	33.3%	24.2%	9.1%	27.3%	31.8%	25.8%	22.7%	4.5%
	70代	56件	30.4%	10.7%	8.9%	35.7%	30.4%	10.7%	19.6%	41.1%	16.1%	26.8%	0.0%
	80歳以上	6件	33.3%	16.7%	16.7%	33.3%	50.0%	0.0%	16.7%	66.7%	33.3%	50.0%	0.0%
	坂下	14件	21.4%	28.6%	42.9%	21.4%	28.6%	28.6%	21.4%	35.7%	7.1%	35.7%	0.0%
圏域	高森台・石尾台	39件	23.1%	12.8%	23.1%	20.5%	12.8%	12.8%	15.4%	28.2%	28.2%	25.6%	0.0%
	藤山台・岩成台	23件	34.8%	13.0%	13.0%	26.1%	26.1%	13.0%	34.8%	56.5%	26.1%	17.4%	0.0%
	高蔵寺	29件	17.2%	17.2%	27.6%	27.6%	20.7%	17.2%	24.1%	41.4%	24.1%	37.9%	0.0%
	南城	29件	17.2%	17.2%	37.9%	10.3%	31.0%	24.1%	17.2%	37.9%	17.2%	37.9%	0.0%
	松原	18件	16.7%	16.7%	38.9%	22.2%	16.7%	22.2%	11.1%	22.2%	16.7%	22.2%	0.0%
	東部	28件	25.0%	14.3%	35.7%	21.4%	35.7%	17.9%	25.0%	39.3%	21.4%	25.0%	7.1%
	鷹来	17件	17.6%	5.9%	23.5%	35.3%	11.8%	11.8%	35.3%	35.3%	17.6%	17.6%	5.9%
	柏原	23件	30.4%	17.4%	30.4%	34.8%	34.8%	17.4%	39.1%	52.2%	21.7%	21.7%	0.0%
	中部	33件	21.2%	15.2%	42.4%	24.2%	33.3%	9.1%	27.3%	30.3%	27.3%	24.2%	6.1%
	西部	25件	20.0%	16.0%	16.0%	16.0%	20.0%	8.0%	20.0%	28.0%	20.0%	32.0%	4.0%
	味美・知多	35件	37.1%	28.6%	34.3%	20.0%	31.4%	14.3%	22.9%	31.4%	20.0%	40.0%	2.9%
活動	今後も続けたい	79件	17.7%	10.1%	22.8%	16.5%	45.6%	10.1%	17.7%	38.0%	13.9%	27.8%	3.8%
	今後は参加したい	237件	26.2%	19.4%	32.9%	24.9%	18.6%	17.7%	26.2%	24.5%	29.1%	1.7%	

(3) 辞めたい又は参加したくないのは、どのような理由からですか。(〇はいくつでも)

- ・「仕事や勉強などが忙しい」が37.1%と最も多く、次いで「健康状態が良くない、体力的に負担」が33.2%、「役員になるのが負担」が27.7%、「人間関係がわずらわしい」が22.1%の順です。
- ・年齢別にみると、「10～50代」では「仕事や勉強などが忙しい」、「60歳以上」では「健康状態が良くない、体力的に負担」の割合が最も高くなっています。
- ・「現在、参加しているが、適当な時期に辞めたい」では、「健康状態が良くない、体力的に負担」(48.5%)、「役員になるのが負担」(54.5%)の割合が高くなっています。

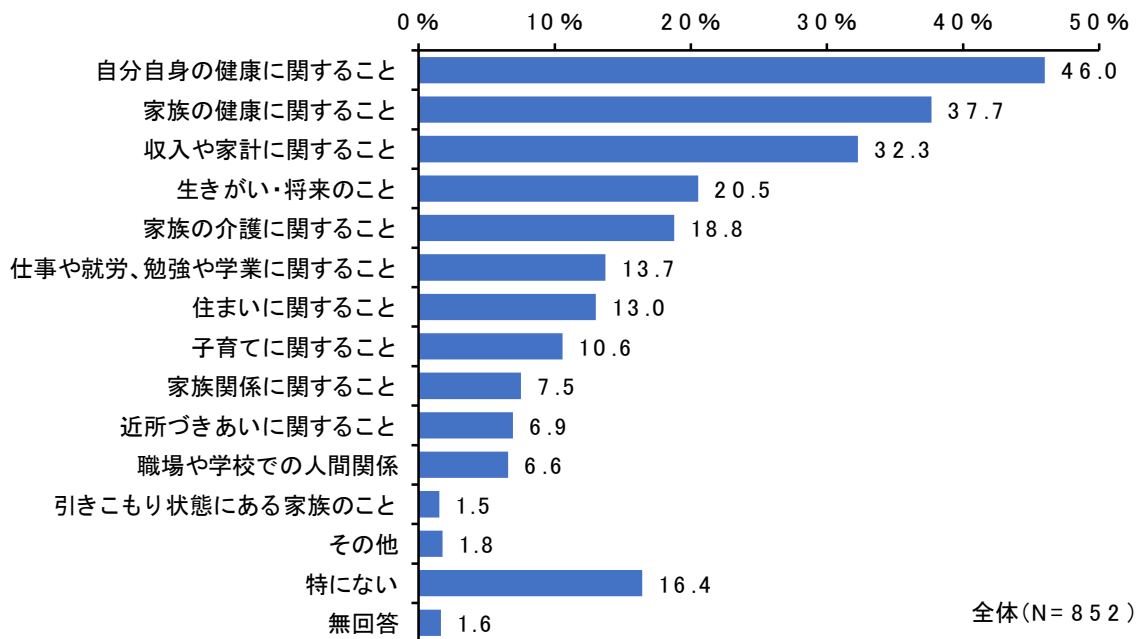


		合計	仕事や勉強などが忙しい	健康状態が良くない、体力的に負担	子育てや家族の介護等	保め活動しにくい	活動の場がない	身の回りに活動の場がない	気の合う人がいない、一人で参加するのが不安	人間関係がわずらわしい	行事が楽しくない	参加したい活動や行事がなく興味がない	活動内容や参加方法がわからない	活動するために費用がかかるなど経済的な負担	活動内容や参加方法がわからない	身近に活動の場がない	その他	無回答
全体		488件	37.1%	33.2%	15.8%	8.8%	3.9%	12.1%	22.1%	10.5%	8.4%	8.8%	27.7%	10.5%	12.9%	6.1%	2.9%	
性別	男性	209件	41.6%	28.2%	10.5%	7.2%	4.8%	11.0%	26.8%	12.0%	7.7%	7.2%	26.3%	14.8%	15.3%	5.7%	2.4%	
	女性	277件	33.9%	36.8%	19.9%	10.1%	3.2%	13.0%	18.4%	9.4%	10.1%	10.1%	28.5%	7.2%	11.2%	6.5%	3.2%	
年齢	10・20代	39件	64.1%	12.8%	7.7%	2.6%	2.6%	12.8%	20.5%	12.8%	15.4%	7.7%	10.3%	7.7%	12.8%	7.7%	0.0%	
	30代	73件	52.1%	11.0%	45.2%	5.5%	1.4%	19.2%	21.9%	6.8%	12.3%	9.6%	28.8%	20.5%	17.8%	2.7%	0.0%	
	40代	90件	65.6%	15.6%	26.7%	5.6%	5.6%	10.0%	30.0%	15.6%	6.7%	13.3%	46.7%	11.1%	16.7%	5.6%	1.1%	
	50代	57件	56.1%	28.1%	14.0%	3.5%	3.5%	17.5%	31.6%	15.8%	14.0%	8.8%	31.6%	17.5%	12.3%	5.3%	1.8%	
	60代	76件	25.0%	40.8%	3.9%	15.8%	2.6%	10.5%	26.3%	10.5%	2.6%	13.2%	30.3%	10.5%	9.2%	5.3%	1.3%	
	70代	111件	6.3%	55.9%	4.5%	11.7%	6.3%	9.9%	15.3%	6.3%	8.1%	5.4%	20.7%	1.8%	11.7%	9.0%	5.4%	
	80歳以上	39件	2.6%	61.5%	2.6%	15.4%	2.6%	5.1%	5.1%	7.7%	2.6%	0.0%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	10.3%	
職業	会社員・団体職員	137件	72.3%	13.9%	18.2%	4.4%	3.6%	10.2%	26.3%	11.7%	10.9%	8.0%	29.2%	14.6%	17.5%	4.4%	1.5%	
	公務員	16件	56.3%	6.3%	50.0%	0.0%	0.0%	6.3%	31.3%	18.8%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	18.8%	0.0%	0.0%	
	自営業	21件	66.7%	19.0%	9.5%	4.8%	4.8%	9.5%	14.3%	19.0%	0.0%	4.8%	47.6%	14.3%	14.3%	4.8%	4.8%	
	パート・アルバイトなど	64件	57.8%	31.3%	20.3%	7.8%	4.7%	12.5%	23.4%	10.9%	6.3%	18.8%	40.6%	7.8%	9.4%	4.7%	1.6%	
	専業主婦(夫)	97件	5.2%	41.2%	25.8%	13.4%	3.1%	15.5%	17.5%	8.2%	10.3%	8.2%	29.9%	6.2%	11.3%	10.3%	3.1%	
	学生	10件	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	30.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	
	無職	126件	3.2%	57.1%	3.2%	13.5%	4.0%	11.1%	20.6%	8.7%	5.6%	7.1%	19.8%	6.3%	10.3%	7.1%	5.6%	
	その他	11件	45.5%	18.2%	0.0%	9.1%	18.2%	18.2%	9.1%	0.0%	18.2%	9.1%	18.2%	9.1%	18.2%	9.1%	0.0%	
テポイラン	適当な時期に辞めたい	33件	33.3%	48.5%	15.2%	6.1%	6.1%	15.2%	15.2%	0.0%	6.1%	54.5%	0.0%	3.0%	18.2%	0.0%		
	以前は参加していた	56件	25.0%	48.2%	10.7%	7.1%	1.8%	1.8%	14.3%	5.4%	0.0%	7.1%	33.9%	1.8%	1.8%	10.7%	3.6%	
	今後も参加したくない	399件	39.1%	29.8%	16.5%	8.5%	4.0%	14.0%	23.8%	10.8%	10.3%	9.3%	24.6%	12.5%	15.3%	4.5%	3.0%	

# 1-4 日常生活に関する悩みや相談等について

問 15 あなたは、ふだんの暮らしの中で、どのような悩みや不安を感じていますか。(〇はいくつでも)

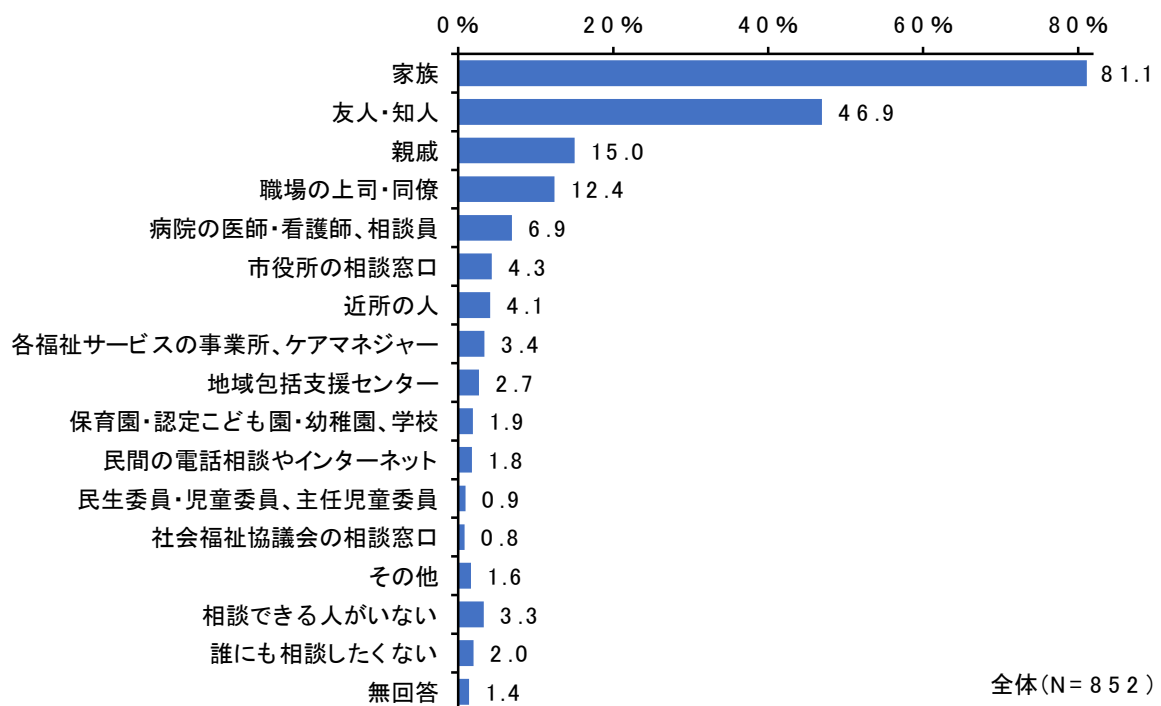
- ・「自分自身の健康に関すること」が46.0%と最も多く、次いで「家族の健康に関すること」が37.7%、「収入や家計に関すること」が32.3%、「生きがい・将来のこと」が20.5%の順です。
- ・「自分自身の健康に関すること」の割合は年齢とともに高くなる傾向があり、「収入や家計に関すること」は年齢が低いほど割合が高くなる傾向がみられます。「生きがい・将来のこと」は、「10・20代」(36.5%)で割合が高くなっています。



	合計	自分自身の健康に関すること	家族の健康に関すること	家族の介護に関すること	引きこもり状態にある家族のこと	子育てに関すること	生きがい・将来のこと	近所づきあいに関すること	仕事や就労、勉強や学業に関すること	職場や学校での人間関係	住まいに関すること	収入や家計に関すること	家族関係に関すること	その他	特になし	無回答
全体	852件	46.0%	37.7%	18.8%	1.5%	10.6%	20.5%	6.9%	13.7%	6.6%	13.0%	32.3%	7.5%	1.8%	16.4%	1.6%
性別																
男性	360件	45.6%	36.1%	15.8%	1.9%	9.2%	20.6%	7.5%	16.7%	7.2%	11.7%	30.0%	5.8%	1.4%	16.7%	1.1%
女性	486件	46.1%	38.9%	20.8%	1.0%	11.5%	20.4%	6.4%	11.1%	6.0%	13.6%	33.3%	8.6%	2.1%	16.3%	2.1%
年齢																
10・20代	74件	25.7%	27.0%	6.8%	1.4%	14.9%	36.5%	6.8%	47.3%	18.9%	10.8%	40.5%	6.8%	0.0%	14.9%	1.4%
30代	116件	31.9%	33.6%	7.8%	0.9%	35.3%	16.4%	11.2%	22.4%	6.9%	14.7%	44.8%	10.3%	0.9%	21.6%	0.0%
40代	144件	43.1%	36.8%	14.6%	0.0%	22.9%	31.3%	4.2%	26.4%	13.2%	15.3%	39.6%	11.1%	1.4%	15.3%	0.7%
50代	114件	39.5%	39.5%	29.8%	0.0%	1.8%	21.9%	6.1%	10.5%	7.0%	12.3%	37.7%	8.8%	0.0%	14.0%	2.6%
60代	150件	50.7%	38.0%	22.0%	0.7%	0.7%	20.0%	6.0%	1.3%	4.0%	14.7%	33.3%	4.7%	3.3%	15.3%	2.0%
70代	184件	59.8%	41.3%	22.3%	3.3%	0.0%	9.8%	7.1%	1.1%	0.0%	9.8%	17.4%	4.9%	2.7%	15.8%	2.2%
80歳以上	59件	66.1%	49.2%	23.7%	3.4%	0.0%	13.6%	6.8%	0.0%	0.0%	8.5%	10.2%	3.4%	3.4%	18.6%	3.4%
家族構成																
一人暮らし	70件	51.4%	7.1%	8.6%	0.0%	1.4%	20.0%	10.0%	12.9%	2.9%	25.7%	37.1%	7.1%	2.9%	21.4%	2.9%
夫婦のみの世帯	257件	53.3%	49.4%	21.4%	1.2%	2.7%	15.2%	6.6%	2.3%	2.7%	10.9%	26.8%	4.7%	3.5%	13.6%	1.2%
2世代世帯(親と子)	427件	40.7%	37.0%	16.9%	1.2%	17.6%	23.4%	6.8%	20.4%	9.8%	13.1%	35.6%	8.9%	0.5%	16.4%	1.6%
3世代世帯(親と子と孫)	71件	46.5%	35.2%	26.8%	5.6%	8.5%	19.7%	5.6%	15.5%	7.0%	5.6%	29.6%	9.9%	1.4%	22.5%	0.0%
その他	19件	52.6%	31.6%	36.8%	5.3%	5.3%	31.6%	5.3%	10.5%	0.0%	15.8%	26.3%	10.5%	5.3%	10.5%	0.0%
障がい者																
乳幼児	125件	28.8%	28.8%	8.0%	0.8%	41.6%	13.6%	8.0%	22.4%	5.6%	12.0%	38.4%	8.8%	0.8%	21.6%	0.0%
小学生	113件	42.5%	34.5%	8.8%	0.9%	35.4%	22.1%	6.2%	24.8%	11.5%	13.3%	34.5%	12.4%	0.0%	14.2%	0.0%
中学生・高校生	108件	35.2%	29.6%	16.7%	0.9%	16.7%	34.3%	3.7%	26.9%	12.0%	11.1%	38.9%	7.4%	0.0%	11.1%	3.7%
65歳以上の方	296件	52.7%	45.6%	26.7%	2.4%	2.7%	18.2%	6.1%	7.4%	3.4%	9.8%	26.0%	6.4%	1.4%	14.9%	2.0%
高齢で介護や介助が必要	49件	69.4%	57.1%	73.5%	4.1%	0.0%	18.4%	4.1%	2.0%	2.0%	8.2%	34.7%	8.2%	4.1%	4.1%	0.0%
障がいがあり、介護や介助が必要	40件	65.0%	57.5%	62.5%	5.0%	5.0%	25.0%	12.5%	12.5%	5.0%	7.5%	32.5%	15.0%	0.0%	10.0%	0.0%
引きこもり状態にある方	5件	80.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%
1～9にあてはまる者はいない	265件	45.3%	35.5%	13.2%	0.4%	3.4%	23.8%	6.8%	13.6%	9.4%	12.8%	34.7%	8.7%	3.0%	20.8%	1.9%

問 16 あなたに悩みや不安があったり生活に困ったとき、誰に相談していますか。(〇はいくつでも)

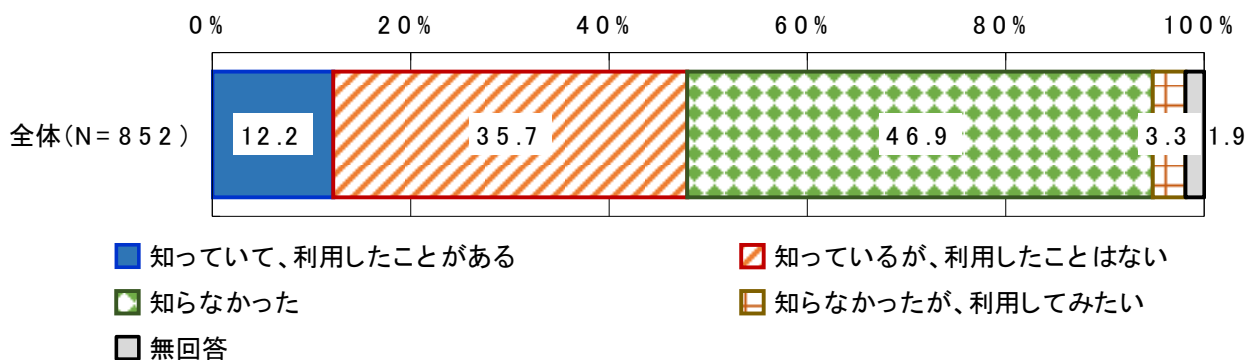
- ・「家族」が81.1%と最も多く、次いで「友人・知人」が46.9%、「親戚」が15%、「職場の上司・同僚」が12.4%の順です。
- ・「友人・知人」の割合は年齢が低いほど、高くなっています。
- ・「市役所の相談窓口」の割合は、「10～30代」では0（ゼロ）ですが、「40歳以上」では、年齢が高くなるほど高くなっています。
- ・「相談できる人がいない」「誰にも相談したくない」は、近所つきあいが「ほとんどない」人での割合が高くなっています。



	合計	家族	親戚	友人・知人	近所の人	職場の上司・同僚	園・幼稚園、認定こども園・認定こども園	保育園・認定こども園・幼稚園、学校	主任児童委員・児童委員	市役所の相談窓口	地域包括支援センター	相談員、病院の医師・看護師、	所、ケアマネジャーの事業	各福祉サービスの事業	社会福祉協議会の相談	民間の電話相談やインターネット	その他	相談できる人がいない	誰にも相談したくない	無回答
全体	852件	81.1%	15.0%	46.9%	4.1%	12.4%	1.9%	0.9%	4.3%	2.7%	6.9%	3.4%	0.8%	1.8%	1.6%	3.3%	2.0%	1.4%		
性別																				
男性	360件	77.2%	14.4%	34.2%	2.8%	12.5%	0.3%	0.8%	5.3%	3.3%	7.2%	2.8%	1.4%	1.9%	1.9%	4.2%	3.3%	1.7%		
女性	486件	84.2%	15.4%	56.4%	4.9%	11.9%	2.9%	0.8%	3.3%	1.9%	6.6%	3.7%	0.2%	1.4%	1.2%	2.7%	1.0%	1.2%		
年齢																				
10・20代	74件	86.5%	4.1%	67.6%	0.0%	20.3%	2.7%	0.0%	0.0%	1.4%	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%	1.4%	1.4%	2.7%	0.0%		
30代	116件	92.2%	9.5%	66.4%	0.9%	19.8%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.9%	0.9%	1.7%	0.9%	0.0%		
40代	144件	82.6%	7.6%	60.4%	4.9%	27.8%	4.9%	0.0%	1.4%	0.0%	4.2%	2.1%	0.7%	2.8%	1.4%	4.9%	2.8%	0.0%		
50代	114件	77.2%	16.7%	45.6%	1.8%	14.9%	0.0%	0.9%	4.4%	2.6%	3.5%	3.5%	0.0%	1.8%	1.8%	4.4%	3.5%	0.9%		
60代	150件	77.3%	20.0%	44.7%	4.7%	4.0%	0.0%	0.0%	6.0%	3.3%	10.0%	2.0%	2.0%	3.3%	2.7%	3.3%	2.0%	2.0%		
70代	184件	78.8%	23.9%	29.3%	8.2%	1.6%	0.5%	3.3%	6.5%	4.3%	10.9%	4.9%	1.1%	1.1%	1.1%	2.7%	1.1%	3.3%		
80歳以上	59件	74.6%	13.6%	15.3%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	10.2%	6.8%	13.6%	13.6%	0.0%	0.0%	1.7%	5.1%	1.7%	3.4%		
家族構成																				
一人暮らし	70件	55.7%	12.9%	48.6%	7.1%	11.4%	1.4%	2.9%	2.9%	2.9%	1.4%	1.4%	0.0%	1.4%	1.4%	10.0%	2.9%	1.4%		
夫婦のみの世帯	257件	79.8%	19.1%	36.6%	5.4%	8.2%	0.4%	1.9%	7.4%	3.1%	8.2%	5.1%	0.8%	1.6%	1.2%	4.3%	1.9%	3.1%		
2世代世帯(親と子)	427件	85.7%	11.9%	52.2%	3.3%	15.0%	2.6%	0.0%	3.3%	2.3%	6.3%	1.9%	0.7%	1.4%	1.6%	2.3%	2.1%	0.5%		
3世代世帯(親と子と孫)	71件	85.9%	25.4%	53.5%	2.8%	16.9%	2.8%	1.4%	1.4%	2.8%	12.7%	7.0%	1.4%	4.2%	1.4%	0.0%	1.4%	0.0%		
その他	19件	84.2%	5.3%	42.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%	5.3%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%		
近所つきあい																				
買い物や遊びに出かける	67件	79.1%	16.4%	70.1%	11.9%	11.9%	1.5%	1.5%	9.0%	6.0%	7.5%	3.0%	1.5%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%		
お互いの家をよく行き来する	28件	89.3%	32.1%	46.4%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%	14.3%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%		
立ち話をしたりする	231件	85.7%	19.5%	43.3%	6.5%	7.4%	3.0%	0.0%	3.5%	2.2%	9.1%	3.0%	0.4%	2.2%	0.9%	1.7%	1.7%	1.3%		
会えばあいさつをする	423件	81.8%	13.2%	47.8%	1.2%	16.1%	1.2%	0.5%	3.8%	1.7%	5.7%	3.3%	0.7%	1.9%	1.4%	3.5%	1.4%	0.9%		
ほとんどつきあいはない	88件	65.9%	5.7%	36.4%	2.3%	12.5%	2.3%	4.5%	3.4%	3.4%	3.4%	3.4%	1.1%	0.0%	3.4%	9.1%	8.0%	3.4%		

問 17 高齢者やそのご家族などからの相談窓口として地域包括支援センターがあることをあなたにご存じでしたか。(〇は1つ)

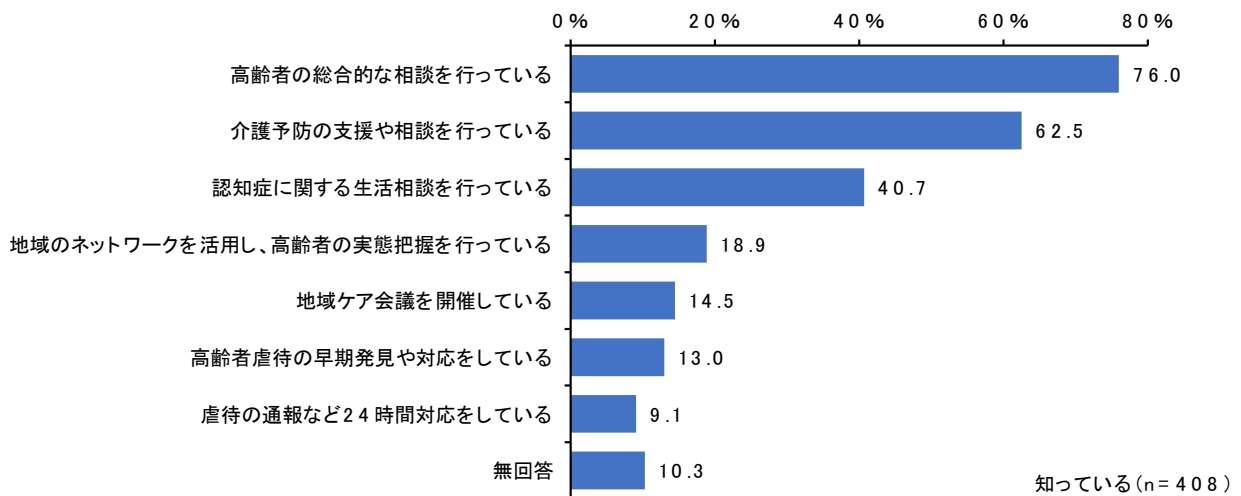
- ・「知らなかった」が46.9%と最も多く、次いで「知っているが、利用したことはない」が35.7%、「知っている、利用したことがある」が12.2%、「知らなかったが、利用してみたい」が3.3%の順です。
- ・「知らなかった」の割合を年齢別にみると、「10～40代」は70%弱と高くなっています。



		合計	知っている、利用したことがある	知っているが、利用したことはない	知らなかった	知らなかったが、利用してみたい	無回答
全体		852件	12.2%	35.7%	46.9%	3.3%	1.9%
性別	男性	360件	12.2%	30.3%	51.9%	3.6%	1.9%
	女性	486件	11.9%	39.7%	43.4%	3.1%	1.9%
年齢	10・20代	74件	1.4%	28.4%	66.2%	2.7%	1.4%
	30代	116件	0.9%	26.7%	67.2%	4.3%	0.9%
	40代	144件	5.6%	22.2%	68.1%	4.2%	0.0%
	50代	114件	16.7%	35.1%	44.7%	2.6%	0.9%
	60代	150件	16.0%	42.7%	35.3%	2.7%	3.3%
	70代	184件	17.4%	46.2%	28.8%	3.8%	3.8%
	80歳以上	59件	27.1%	47.5%	23.7%	0.0%	1.7%
	圏域	坂下	49件	16.3%	40.8%	32.7%	8.2%
高森台・石尾台		90件	13.3%	37.8%	45.6%	2.2%	1.1%
藤山台・岩成台		61件	11.5%	37.7%	47.5%	1.6%	1.6%
高蔵寺		69件	4.3%	31.9%	59.4%	1.4%	2.9%
南城		64件	7.8%	34.4%	51.6%	4.7%	1.6%
松原		63件	11.1%	31.7%	46.0%	6.3%	4.8%
東部		74件	20.3%	35.1%	41.9%	2.7%	0.0%
鷹来		55件	16.4%	27.3%	50.9%	1.8%	3.6%
柏原		61件	9.8%	39.3%	44.3%	3.3%	3.3%
中部		95件	7.4%	44.2%	43.2%	3.2%	2.1%
西部		83件	19.3%	30.1%	45.8%	4.8%	0.0%
味美・知多		80件	8.8%	37.5%	51.3%	1.3%	1.3%
障がいのある高齢者家族	乳幼児	125件	4.0%	28.0%	64.8%	2.4%	0.8%
	小学生	113件	0.9%	24.8%	69.0%	4.4%	0.9%
	中学生・高校生	108件	8.3%	22.2%	61.1%	4.6%	3.7%
	65歳以上の方	296件	17.6%	40.2%	36.1%	3.0%	3.0%
	高齢で介護や介助が必要	49件	69.4%	10.2%	16.3%	0.0%	4.1%
	障がいがあり、介護や介助が必要	40件	40.0%	12.5%	40.0%	5.0%	2.5%
	引きこもり状態にある方	5件	20.0%	0.0%	60.0%	0.0%	20.0%
	1～9にあてはまる者はいない	265件	8.3%	41.9%	44.5%	3.8%	1.5%

(1) 地域包括支援センターでは次の活動を行っていることをご存じですか。(〇はいくつでも)

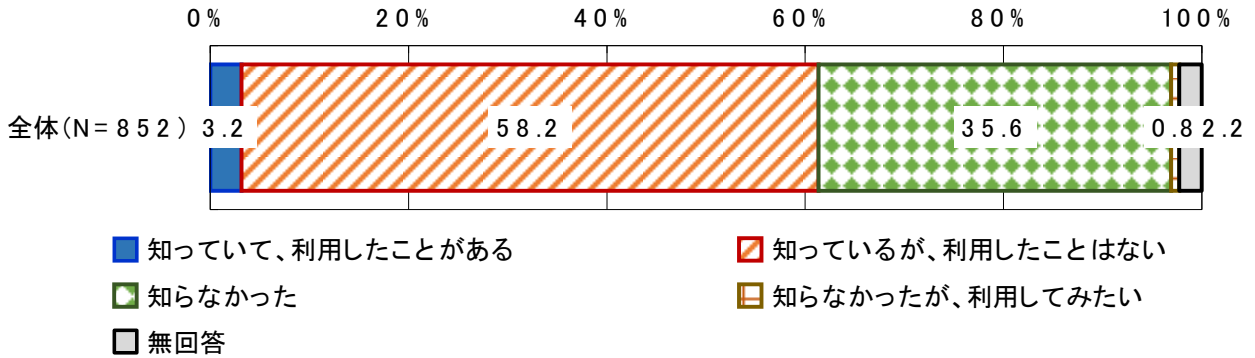
- ・「知っているが、利用したことはない」又は「知っていて、利用したことがある」と回答した人(408件)が地域包括支援センターについて知っている活動は、「高齢者の総合的な相談を行っている」が76.0%と最も多く、次いで「介護予防の支援や相談を行っている」が62.5%、「認知症に関する生活相談を行っている」が40.7%の順です。
- ・一方、知っている割合が最も低いことは「虐待の通報など24時間対応をしている」が全体では9.1%で、年齢別にみると、年齢が低いほど知っている割合が高くなっています。



		合計	高齢者の総合的な相談を行っている	介護予防の支援や相談を行っている	認知症に関する生活相談を行っている	高齢者虐待の早期発見や対応をしている	地域のネットワークを活用し、高齢者の実態把握を行っている	地域ケア会議を開催している	虐待の通報など24時間対応をしている	無回答
全体		408件	76.0%	62.5%	40.7%	13.0%	18.9%	14.5%	9.1%	10.3%
性別	男性	153件	76.5%	66.0%	41.8%	12.4%	18.3%	12.4%	5.9%	9.2%
	女性	251件	75.3%	60.6%	39.8%	13.1%	19.1%	15.9%	10.8%	11.2%
年齢	10・20代	22件	86.4%	54.5%	50.0%	22.7%	31.8%	31.8%	27.3%	13.6%
	30代	32件	68.8%	56.3%	43.8%	21.9%	25.0%	18.8%	18.8%	3.1%
	40代	40件	82.5%	65.0%	47.5%	22.5%	20.0%	17.5%	17.5%	10.0%
	50代	59件	83.1%	71.2%	42.4%	15.3%	20.3%	20.3%	11.9%	5.1%
	60代	88件	75.0%	63.6%	39.8%	8.0%	15.9%	12.5%	5.7%	10.2%
	70代	117件	74.4%	62.4%	39.3%	9.4%	18.8%	9.4%	3.4%	10.3%
	80歳以上	44件	68.2%	56.8%	31.8%	9.1%	11.4%	11.4%	2.3%	20.5%
	乳幼児	40件	70.0%	55.0%	37.5%	17.5%	25.0%	20.0%	12.5%	12.5%
障がい児童のある・高齢者家族	小学生	29件	65.5%	51.7%	44.8%	13.8%	24.1%	10.3%	10.3%	17.2%
	中学生・高校生	33件	78.8%	54.5%	39.4%	18.2%	15.2%	15.2%	9.1%	12.1%
	65歳以上の方	171件	73.7%	63.2%	42.7%	8.2%	15.8%	10.5%	4.7%	11.7%
	高齢で介護や介助が必要	39件	89.7%	76.9%	41.0%	7.7%	12.8%	17.9%	2.6%	5.1%
	障がいがあり、介護や介助が必要	21件	76.2%	76.2%	57.1%	19.0%	23.8%	14.3%	4.8%	9.5%
	引きこもり状態にある方	1件	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
1～9にあてはまる者はいない		133件	80.5%	66.2%	42.1%	16.5%	24.1%	18.0%	12.8%	7.5%

問 18 生活に困窮している方への相談窓口が市役所（生活支援課）にあることを、あなたはご存じでしたか。（〇は1つ）

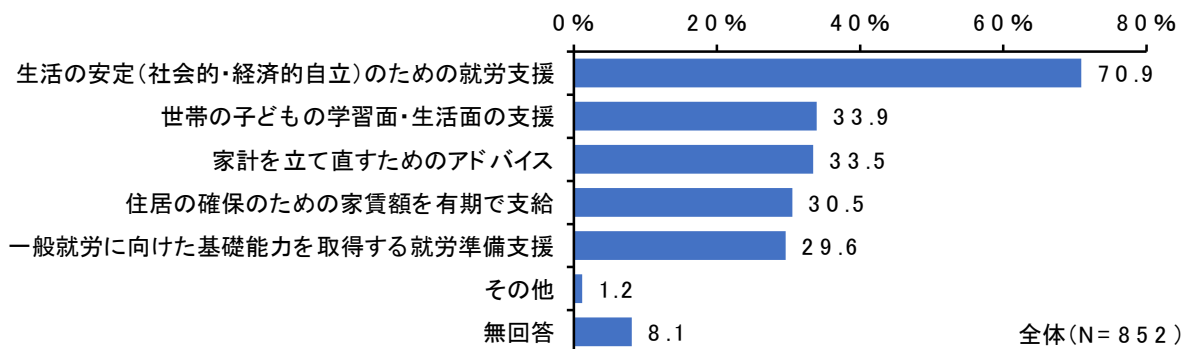
- ・「知っているが、利用したことはない」が58.2%と最も多く、次いで「知らなかった」が35.6%、「知っていて、利用したことがある」が3.2%、「知らなかったが、利用してみたい」が0.8%の順です。
- ・「知らなかった」の割合を年齢別にみると、「10～30代」で高くなっています。



		合計	知っている、利用したことがある	知っているが、利用したことはない	知らなかった	知らなかったが、利用してみたい	無回答
全体		852件	3.2%	58.2%	35.6%	0.8%	2.2%
性別	男性	360件	3.3%	55.6%	37.2%	1.4%	2.5%
	女性	486件	2.9%	60.1%	34.6%	0.4%	2.1%
年齢	10・20代	74件	1.4%	50.0%	45.9%	1.4%	1.4%
	30代	116件	0.0%	55.2%	42.2%	2.6%	0.0%
	40代	144件	0.7%	58.3%	39.6%	0.7%	0.7%
	50代	114件	6.1%	61.4%	32.5%	0.0%	0.0%
	60代	150件	5.3%	56.0%	36.7%	0.7%	1.3%
	70代	184件	4.3%	58.2%	31.0%	0.5%	6.0%
	80歳以上	59件	1.7%	72.9%	20.3%	0.0%	5.1%
住 種 ま 類 の	持ち家（一戸建て）	599件	2.2%	58.3%	35.9%	0.8%	2.8%
	持ち家（マンション）	82件	4.9%	57.3%	36.6%	0.0%	1.2%
	民間賃貸住宅	120件	7.5%	58.3%	32.5%	1.7%	0.0%
	公的賃貸住宅	34件	2.9%	50.0%	44.1%	0.0%	2.9%
	その他	9件	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
居 住 年 数	2年未満	53件	1.9%	56.6%	39.6%	1.9%	0.0%
	2年以上5年未満	87件	0.0%	58.6%	40.2%	1.1%	0.0%
	5年以上10年未満	102件	7.8%	51.0%	38.2%	1.0%	2.0%
	10年以上20年未満	179件	2.2%	59.8%	37.4%	0.0%	0.6%
	20年以上	428件	3.3%	59.3%	32.7%	0.9%	3.7%
職 業	会社員・団体職員	238件	2.5%	55.5%	40.8%	0.8%	0.4%
	公務員	31件	0.0%	67.7%	32.3%	0.0%	0.0%
	自営業	40件	0.0%	60.0%	37.5%	2.5%	0.0%
	パート・アルバイト・派遣社員など	131件	2.3%	58.8%	35.1%	1.5%	2.3%
	専業主婦（夫）	165件	3.0%	61.2%	34.5%	0.0%	1.2%
	学生	25件	4.0%	52.0%	44.0%	0.0%	0.0%
	無職	193件	5.7%	56.5%	31.6%	0.5%	5.7%
	その他	20件	5.0%	65.0%	20.0%	5.0%	5.0%

問 19 生活困窮者自立支援制度では、生活困窮者に対して、次のような取組がありますが、重要だと思うものは何ですか。(〇は3つまで)

- ・「生活の安定（社会的・経済的自立）のための就労支援」が70.9%と最も多く、次いで「世帯の子どもの学習面・生活面の支援」が33.9%、「家計を立て直すためのアドバイス」が33.5%、「住居の確保のための家賃額を有期で支給」が30.5%、「一般就労に向けた基礎能力を取得する就労準備支援」が29.6%の順です。
- ・年齢別にみると、「全世代」で「生活の安定（社会的・経済的自立）のための就労支援」の割合が最も高くなっています。また、「世帯の子どもの学習面・生活面の支援」と「家計を立て直すためのアドバイス」の割合は「30～40代」で高くなっています。

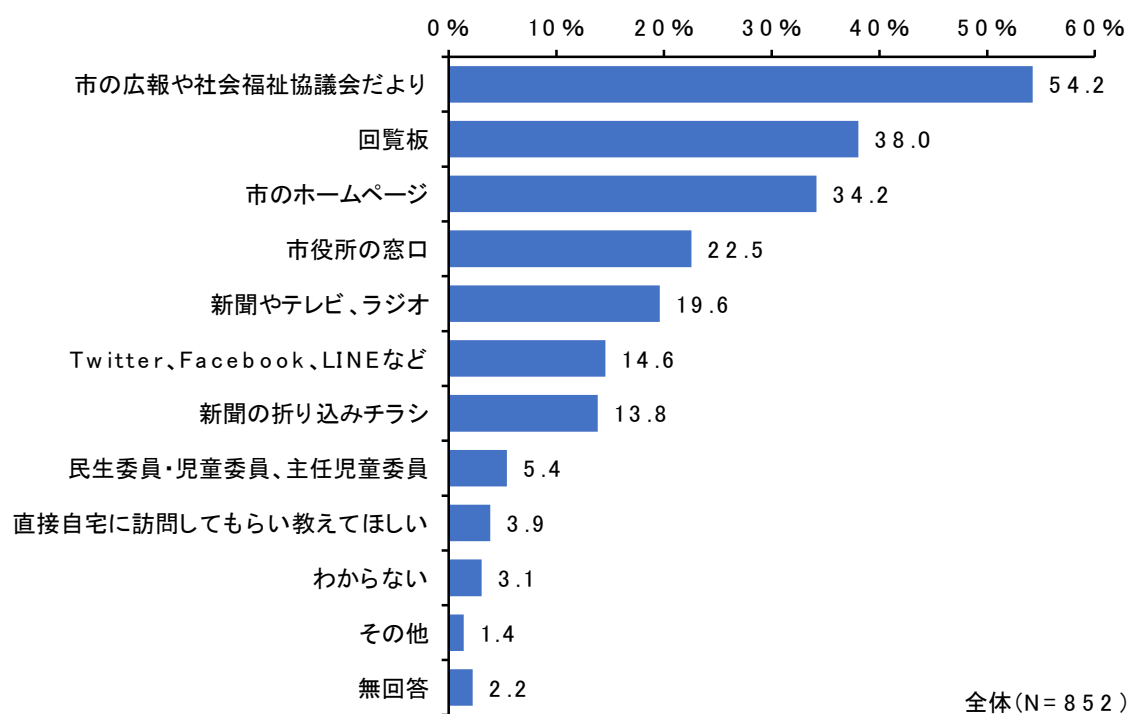


	合計	住居の確保のための家賃額を有期で支給	生活の安定(社会的・経済的自立)のための就労支援	一般就労に向けた基礎能力を取得する就労準備支援	家計を立て直すためのアドバイス	世帯の子どもの学習面・生活面の支援	その他	無回答
全体	852件	30.5%	70.9%	29.6%	33.5%	33.9%	1.2%	8.1%
性別								
男性	368件	27.8%	72.2%	30.8%	30.6%	30.0%	1.7%	8.1%
女性	486件	32.3%	69.8%	28.4%	35.2%	37.0%	0.8%	8.2%
年齢								
10・20代	74件	35.1%	79.7%	39.2%	23.0%	31.1%	1.4%	2.7%
30代	116件	27.6%	77.6%	35.3%	39.7%	50.0%	0.0%	0.9%
40代	144件	31.3%	72.9%	38.9%	42.4%	49.3%	1.4%	0.7%
50代	114件	37.7%	73.7%	28.9%	31.6%	40.4%	1.8%	1.8%
60代	150件	28.7%	76.0%	32.0%	26.7%	30.0%	0.7%	5.3%
70代	184件	28.8%	59.2%	17.9%	35.9%	19.0%	2.2%	17.9%
80歳以上	59件	22.0%	61.0%	15.3%	23.7%	11.9%	0.0%	33.9%
障がい児童・高齢者家族								
乳幼児	125件	33.6%	72.8%	25.6%	38.4%	55.2%	1.6%	1.6%
小学生	113件	24.8%	62.8%	31.9%	46.0%	46.9%	1.8%	3.5%
中学生・高校生	108件	30.6%	74.1%	32.4%	30.6%	34.3%	0.9%	2.8%
65歳以上の方	296件	27.7%	70.9%	28.4%	32.1%	26.0%	1.0%	10.8%
高齢で介護や介助が必要	49件	34.7%	65.3%	20.4%	28.6%	28.6%	0.0%	18.4%
障がいがあり、介護や介助が必要	40件	35.0%	65.0%	32.5%	30.0%	25.0%	0.0%	12.5%
引きこもり状態にある方	5件	60.0%	80.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%
1～9にあてはまる者はいない	265件	31.3%	76.2%	29.8%	35.1%	34.7%	1.1%	6.0%
住まいの種類								
持ち家（一戸建て）	599件	25.9%	72.1%	29.4%	33.2%	33.9%	0.7%	10.0%
持ち家（マンション）	82件	32.9%	68.3%	29.3%	41.5%	34.1%	2.4%	1.2%
民間賃貸住宅	120件	43.3%	71.7%	32.5%	31.7%	37.5%	1.7%	3.3%
公的賃貸住宅	34件	50.0%	50.0%	26.5%	32.4%	23.5%	5.9%	5.9%
その他	9件	55.6%	55.6%	22.2%	11.1%	22.2%	0.0%	22.2%
職業								
会社員・団体職員	238件	29.0%	78.2%	33.2%	35.7%	36.1%	0.8%	1.7%
公務員	31件	35.5%	83.9%	29.0%	38.7%	45.2%	3.2%	3.2%
自営業	40件	27.5%	77.5%	20.0%	27.5%	42.5%	0.0%	7.5%
パート・アルバイト・派遣社員など	131件	33.6%	71.0%	40.5%	33.6%	35.9%	0.8%	3.1%
専業主婦（夫）	165件	33.9%	71.5%	27.3%	35.8%	41.8%	0.6%	6.7%
学生	25件	32.0%	72.0%	56.0%	28.0%	28.0%	4.0%	0.0%
無職	193件	24.4%	59.6%	20.2%	31.1%	18.1%	2.1%	21.2%
その他	20件	60.0%	65.0%	15.0%	15.0%	65.0%	0.0%	10.0%



問 20 あなたは、市の福祉や健康づくりに関する情報をどのような方法で得たいと思いますか。(〇はいくつでも)

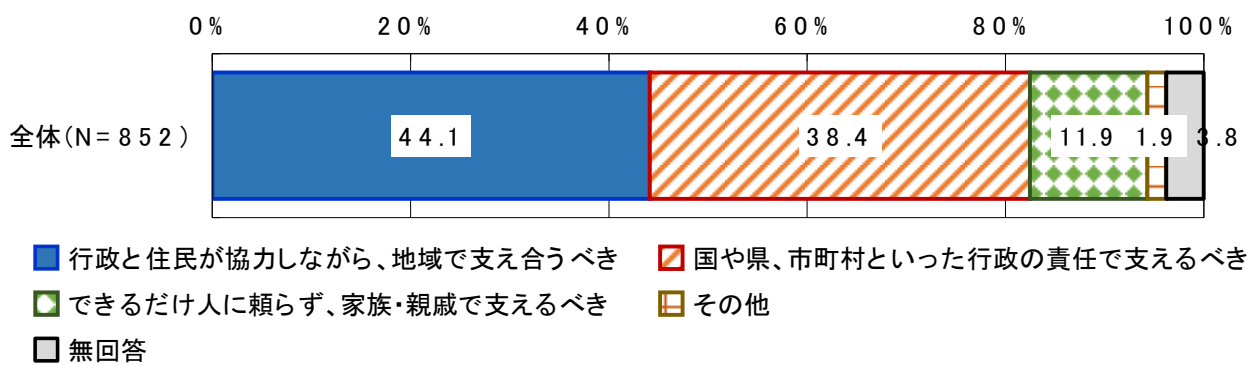
- ・「市の広報や社会福祉協議会だより」が54.2%と最も多く、次いで「回覧板」が38.0%、「市のホームページ」が34.2%、「市役所の窓口」が22.5%の順です。
- ・区・町内会、自治会加入者は、「市の広報や社会福祉協議会だより」(61.2%)、「回覧板」(47.6%)等の割合が高く、加入していない人は「市のホームページ」(45.9%)の割合が高くなっています。
- ・「市のホームページ」「Twitter、Facebook、LINEなど」の割合は、年齢が低いほど高くなる傾向があります。



	合計	市役所の窓口	民生委員・児童委員	市の広報や社会福祉協議会だより	回覧板	新聞やテレビ、ラジオ	新聞の折り込みチラシ	Twitter、Facebook、LINEなど	市のホームページ	直接自宅に訪問してもらい教えてほしい	その他	わからない	無回答
全体	852件	22.5%	5.4%	54.2%	38.0%	19.6%	13.8%	14.6%	34.2%	3.9%	1.4%	3.1%	2.2%
性別	男性	360件	22.5%	4.7%	51.9%	39.7%	19.2%	12.5%	34.2%	4.4%	1.7%	3.3%	2.5%
	女性	486件	22.4%	5.6%	56.0%	36.6%	20.0%	14.6%	34.2%	3.3%	1.2%	2.9%	2.1%
年齢	10・20代	74件	13.5%	2.7%	29.7%	17.6%	24.3%	45.9%	37.8%	0.0%	1.4%	5.4%	2.7%
	30代	116件	21.6%	1.7%	48.3%	25.9%	15.5%	24.1%	50.0%	0.9%	3.4%	4.3%	0.0%
	40代	144件	16.0%	4.2%	50.0%	36.8%	11.8%	22.2%	56.3%	1.4%	3.5%	1.4%	1.4%
	50代	114件	21.1%	2.6%	50.9%	36.0%	18.4%	14.9%	50.9%	1.8%	0.9%	4.4%	0.0%
	60代	150件	20.7%	5.3%	69.3%	54.0%	22.0%	16.0%	25.3%	3.3%	0.0%	2.0%	0.7%
	70代	184件	29.3%	9.2%	62.0%	45.1%	22.3%	15.2%	10.3%	7.6%	0.5%	1.6%	4.9%
	80歳以上	59件	32.2%	10.2%	52.5%	33.9%	30.5%	8.5%	1.7%	8.5%	10.2%	0.0%	6.8%
自治内会	加入している	641件	21.4%	5.9%	61.2%	47.6%	19.3%	12.9%	30.9%	4.2%	1.1%	1.7%	2.0%
	加入していない	172件	27.9%	4.7%	32.0%	8.1%	21.5%	17.4%	23.3%	3.5%	2.9%	6.4%	2.3%
	わからない	34件	17.6%	0.0%	32.4%	11.8%	14.7%	14.7%	23.5%	32.4%	0.0%	11.8%	5.9%

問 21 「福祉」を必要とする人の支援は、どのようにあるべきだと思いますか。(〇は1つ)

- ・「行政と住民が協力しながら、地域で支え合うべき」が44.1%と最も多く、次いで「国や県、市町村といった行政の責任で支えるべき」が38.4%、「できるだけ人に頼らず、家族・親戚で支えるべき」が11.9%の順です。
- ・「行政と住民が協力しながら、地域で支え合うべき」の割合は、ボランティアや地域活動の参加状況でみると、「現在は参加していないが、今後は参加したい」では60.8%と、高くなっています。
- ・「できるだけ人に頼らず、家族・親戚で支えるべき」の割合は、年齢が高いほど高くなる傾向がみられ、特に「80歳以上」(30.5%)で高くなっています。

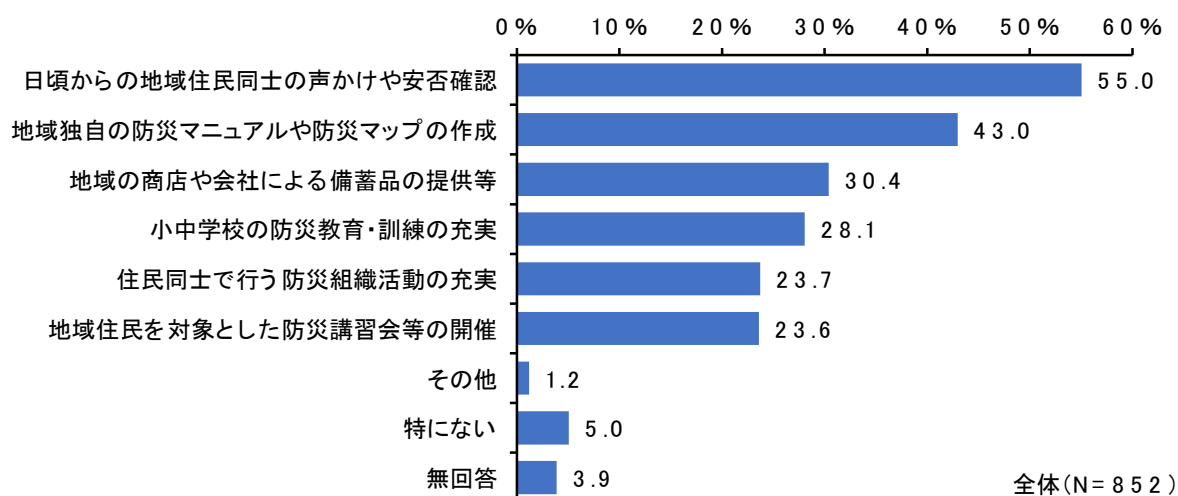


		合計	できるだけ人に頼らず、家族・親戚で支えるべき	国や県、市町村といった行政の責任で支えるべき	行政と住民が協力しながら、地域で支え合うべき	その他	無回答
全体		852件	11.9%	38.4%	44.1%	1.9%	3.8%
性別	男性	360件	14.2%	36.7%	43.3%	1.7%	4.2%
	女性	486件	9.9%	39.9%	44.9%	2.1%	3.3%
年齢	10・20代	74件	6.8%	37.8%	52.7%	1.4%	1.4%
	30代	116件	7.8%	37.1%	52.6%	0.9%	1.7%
	40代	144件	5.6%	44.4%	44.4%	4.2%	1.4%
	50代	114件	9.6%	40.4%	47.4%	1.8%	0.9%
	60代	150件	12.0%	34.7%	47.3%	2.0%	4.0%
	70代	184件	16.3%	38.6%	37.0%	1.6%	6.5%
	80歳以上	59件	30.5%	33.9%	25.4%	0.0%	10.2%
障がい児童のある高齢家族	乳幼児	125件	4.8%	39.2%	52.8%	2.4%	0.8%
	小学生	113件	4.4%	42.5%	47.8%	3.5%	1.8%
	中学生・高校生	108件	6.5%	47.2%	39.8%	2.8%	3.7%
	65歳以上の方	296件	16.6%	37.2%	39.2%	1.4%	5.7%
	高齢で介護や介助が必要	49件	18.4%	34.7%	38.8%	0.0%	8.2%
	障がいがあり、介護や介助が必要	40件	12.5%	37.5%	42.5%	0.0%	7.5%
	引きこもり状態にある方	5件	20.0%	20.0%	60.0%	0.0%	0.0%
1～9にあてはまる者はいない	265件	12.5%	35.8%	47.5%	1.1%	3.0%	
ボランティア	今後も続けたい	79件	11.4%	34.2%	46.8%	3.8%	3.8%
	今後は参加したい	237件	5.1%	29.5%	60.8%	1.7%	3.0%
	適当な時期に辞めたい	33件	21.2%	27.3%	48.5%	3.0%	0.0%
	以前は参加していた	56件	19.6%	44.6%	26.8%	5.4%	3.6%
	今後も参加したくない	399件	13.3%	45.4%	37.6%	1.3%	2.5%



問 23 災害に備えて、地域で取り組むと良いと思うことはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

- ・「日頃からの地域住民同士の声かけや安否確認」が55.0%と最も多く、次いで「地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成」が43.0%、「地域の商店や会社による備蓄品の提供等」が30.4%、「小中学校の防災教育・訓練の充実」が28.1%の順です。
- ・年齢別に割合をみると、「日頃からの地域住民同士の声かけや安否確認」は、「30代」「50歳以上」で、「地域独自の防災マニュアルや防災マップの作成」は「10・20代」「40代」で最も高くなっています。

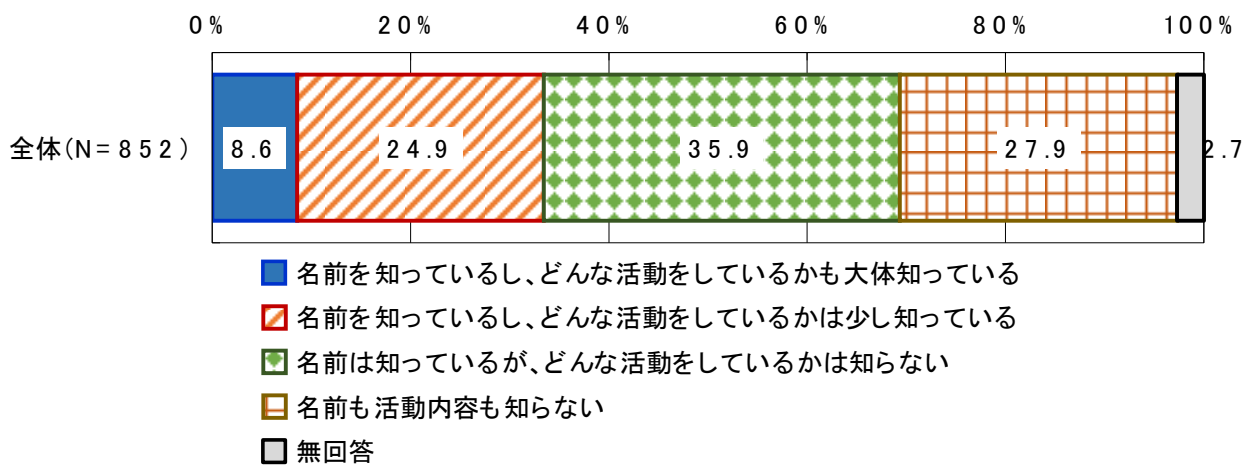


	合計	確	日	組	住	プ	地	催	た	地	育	小	よ	地	そ	特	無	
		認	頃	織	民	ニ	域	た	地	小	域	他	に	回				
		士	の	民	の	ユ	独	防	防	域	中	小	域	の			答	
		の	声	同	充	ア	自	災	災	住	学	学	商	店				
		か	け	士	行	ル	の	を	を	民	校	品	や	会				
		や	地	で	う	や	防	対	対	を	の	社	社	に				
		安	域	防	防	防	災	象	象	等	防	等	に					
		住	住	災	災	災	マ	と	と	開	教	に						
		民	民	マ	ッ	ッ	ッ	し	し	し	育	に						
全 体	852件	55.0%	23.7%	43.0%	23.6%	28.1%	30.4%	1.2%	5.0%	3.9%								
性 別																		
男性	360件	52.5%	29.2%	39.4%	27.8%	29.4%	30.8%	0.8%	5.6%	3.9%								
女性	486件	57.0%	19.8%	45.5%	20.2%	27.0%	30.2%	1.4%	4.7%	3.9%								
年 齢																		
10・20代	74件	40.5%	18.9%	50.0%	23.0%	43.2%	32.4%	1.4%	8.1%	1.4%								
30代	116件	54.3%	15.5%	39.7%	15.5%	45.7%	41.4%	0.0%	8.6%	0.0%								
40代	144件	47.9%	25.7%	49.3%	26.4%	42.4%	44.4%	1.4%	3.5%	0.7%								
50代	114件	57.9%	17.5%	45.6%	23.7%	26.3%	32.5%	2.6%	2.6%	2.6%								
60代	150件	58.7%	32.7%	43.3%	28.7%	17.3%	26.7%	0.7%	5.3%	4.0%								
70代	184件	59.8%	25.0%	39.7%	26.6%	13.6%	20.7%	1.6%	5.4%	9.2%								
80歳以上	59件	66.1%	27.1%	27.1%	11.9%	16.9%	10.2%	0.0%	1.7%	8.5%								
圏 域																		
坂下	49件	61.2%	34.7%	40.8%	16.3%	22.4%	30.6%	2.0%	2.0%	4.1%								
高森台・石尾台	90件	62.2%	26.7%	43.3%	25.6%	22.2%	32.2%	1.1%	1.1%	1.1%								
藤山台・岩成台	61件	49.2%	27.9%	47.5%	26.2%	29.5%	31.1%	1.6%	9.8%	4.9%								
高蔵寺	69件	47.8%	17.4%	42.0%	31.9%	34.8%	31.9%	0.0%	1.4%	4.3%								
南城	64件	56.3%	21.9%	42.2%	18.8%	43.8%	35.9%	1.6%	4.7%	1.6%								
松原	63件	47.6%	19.0%	36.5%	20.6%	20.6%	17.5%	0.0%	9.5%	7.9%								
東部	74件	64.9%	24.3%	39.2%	23.0%	33.8%	44.6%	0.0%	2.7%	1.4%								
鷹来	55件	52.7%	20.0%	21.8%	18.2%	25.5%	36.4%	1.8%	1.8%	3.6%								
柏原	61件	50.8%	18.0%	49.2%	23.0%	21.3%	27.9%	1.6%	9.8%	4.9%								
中部	95件	47.4%	32.6%	53.7%	31.6%	26.3%	24.2%	1.1%	6.3%	5.3%								
西部	83件	62.7%	19.3%	43.4%	15.7%	22.9%	26.5%	2.4%	6.0%	3.6%								
味美・知多	80件	60.0%	22.5%	47.5%	26.3%	33.8%	31.3%	1.3%	3.8%	5.0%								

## 1-6 社会福祉協議会や民生委員・児童委員について

問 24 あなたは市社会福祉協議会のことをご存じですか。(○は1つ)

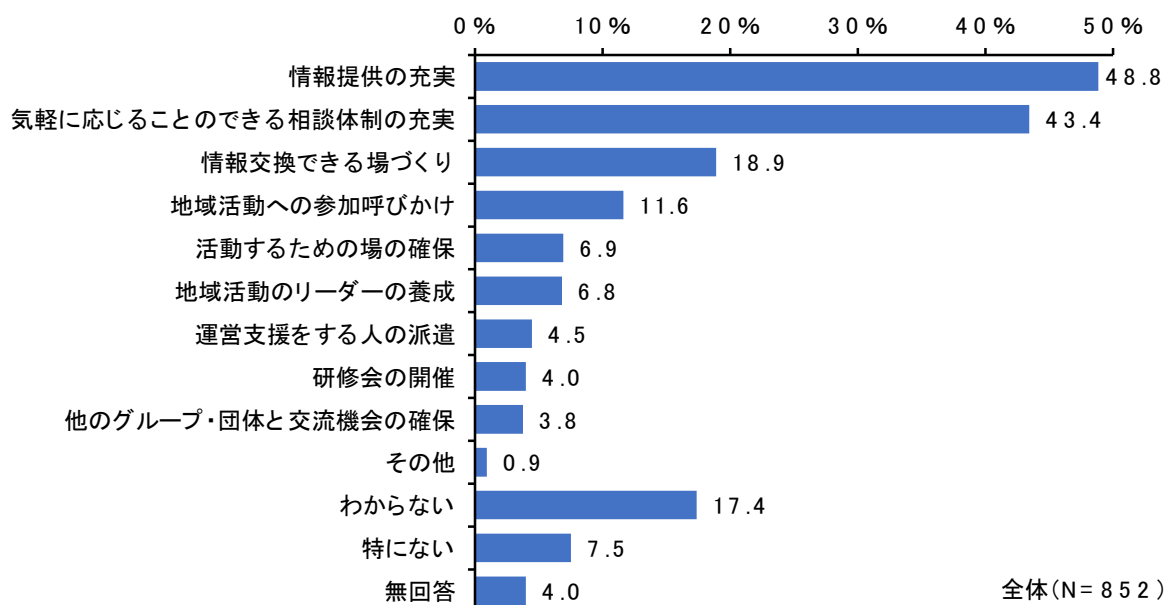
- ・「名前は知っているが、どんな活動をしているかは知らない」が35.9%と最も多く、次いで「名前も活動内容も知らない」が27.9%、「名前を知っているし、どんな活動をしているかは少し知っている」が24.9%、「名前を知っているし、どんな活動をしているかも大体知っている」が8.6%の順です。
- ・「(大体・少し)知っている」の割合は、年齢が高くなるほど高くなる傾向がみられます。また、圏域別にみると、「高森台・石尾台」(47.8%)、「坂下」(40.8%)、「東部」(39.2%)、「中部」(38.9%)で高く、「鷹来」(18.2%)で低くなっています。



	合計	名前を知っているし、どんな活動をしているかも大体知っている	名前を知っているし、どんな活動をしているかは少し知っている	名前は知っているが、どんな活動をしているかは知らない	名前も活動内容も知らない	無回答
全体	852件	8.6%	24.9%	35.9%	27.9%	2.7%
性別						
男性	360件	9.2%	21.7%	36.7%	29.7%	2.8%
女性	486件	8.0%	27.2%	35.4%	27.0%	2.5%
年齢						
10・20代	74件	4.1%	8.1%	23.0%	63.5%	1.4%
30代	116件	7.8%	15.5%	31.9%	44.8%	0.0%
40代	144件	2.1%	16.0%	43.8%	38.2%	0.0%
50代	114件	2.6%	28.9%	47.4%	19.3%	1.8%
60代	150件	10.0%	31.3%	36.7%	18.7%	3.3%
70代	184件	15.2%	33.2%	32.1%	12.0%	7.6%
80歳以上	59件	20.3%	30.5%	30.5%	18.6%	0.0%
圏域						
坂下	49件	12.2%	28.6%	36.7%	18.4%	4.1%
高森台・石尾台	90件	15.6%	32.2%	32.2%	18.9%	1.1%
藤山台・岩成台	61件	4.9%	29.5%	31.1%	29.5%	4.9%
高蔵寺	69件	5.8%	23.2%	43.5%	26.1%	1.4%
南城	64件	4.7%	26.6%	26.6%	40.6%	1.6%
松原	63件	11.1%	15.9%	52.4%	15.9%	4.8%
東部	74件	9.5%	29.7%	33.8%	24.3%	2.7%
鷹来	55件	5.5%	12.7%	49.1%	29.1%	3.6%
柏原	61件	6.6%	29.5%	24.6%	37.7%	1.6%
中部	95件	4.2%	34.7%	40.0%	20.0%	1.1%
西部	83件	9.6%	14.5%	34.9%	38.6%	2.4%
味美・知多	80件	12.5%	16.3%	30.0%	36.3%	5.0%

問 25 地域福祉を推進していくうえで、市社会福祉協議会に期待されることは何ですか。(〇は3つまで)

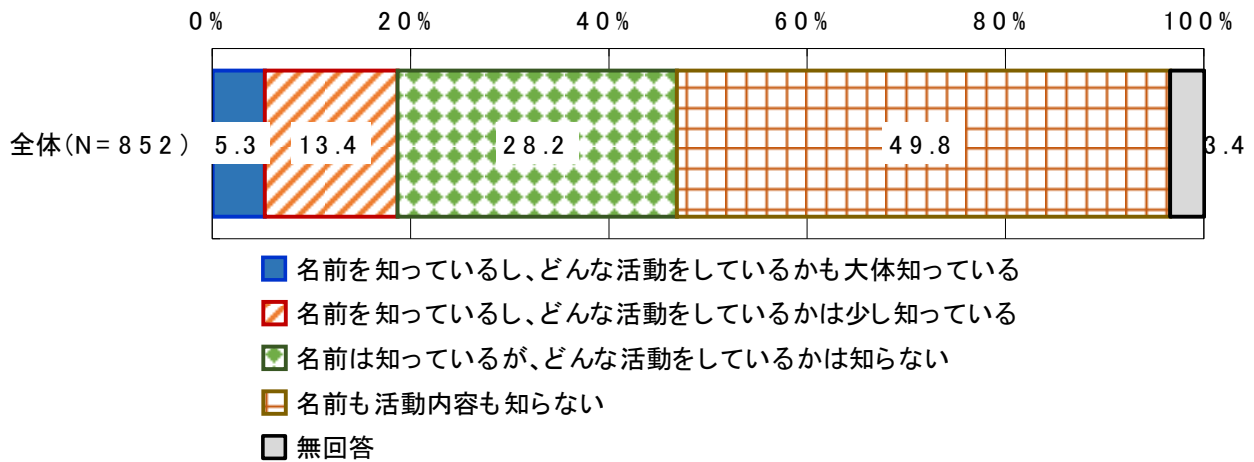
- ・「情報提供の充実」が48.8%と最も多く、次いで「気軽に応じることのできる相談体制の充実」が43.4%、「情報交換できる場づくり」が18.9%、「わからない」が17.4%の順です。
- ・「情報提供の充実」の割合は、ボランティアや地域活動の参加状況でみると、「現在は参加していないが、今後は参加したい」(60.3%)が最も高くなっています。



	合計	情報提供の充実	情報交換できる場づくり	気軽に応じることのできる相談体制の充実	地域活動への参加呼びかけ	地域活動のリーダーの養成	活動するための場の確保	他のグループ・団体と交流機会の確保	研修会の開催	運営支援をする人の派遣	その他	わからない	特にない	無回答	
全体	852件	48.8%	18.9%	43.4%	11.6%	6.8%	6.9%	3.8%	4.0%	4.5%	0.9%	17.4%	7.5%	4.0%	
性別	男性	360件	47.5%	18.9%	40.8%	14.4%	5.8%	10.0%	4.4%	3.9%	4.4%	1.7%	16.7%	7.5%	3.9%
	女性	486件	49.8%	18.5%	45.1%	9.5%	7.2%	4.7%	3.3%	4.1%	4.1%	0.4%	18.1%	7.6%	4.1%
年齢	10・20代	74件	52.7%	27.0%	39.2%	6.8%	2.7%	6.8%	6.8%	4.1%	5.4%	1.4%	20.3%	9.5%	0.0%
	30代	116件	44.0%	21.6%	37.1%	14.7%	5.2%	7.8%	5.2%	3.4%	0.0%	19.8%	9.5%	0.0%	
	40代	144件	50.7%	15.3%	41.7%	6.9%	4.2%	5.6%	2.1%	6.3%	4.2%	1.4%	26.4%	4.9%	1.4%
	50代	114件	53.5%	25.4%	44.7%	11.4%	6.1%	4.4%	5.3%	2.6%	5.3%	2.6%	15.8%	7.0%	1.8%
	60代	150件	48.0%	12.7%	48.0%	11.3%	8.0%	11.3%	2.7%	4.0%	5.3%	0.7%	16.7%	7.3%	4.0%
	70代	184件	48.4%	16.3%	45.7%	15.2%	9.2%	6.5%	3.3%	2.7%	4.3%	0.5%	10.9%	7.6%	10.9%
	80歳以上	59件	44.1%	18.6%	39.0%	13.6%	8.5%	5.1%	0.0%	3.4%	1.7%	0.0%	15.3%	8.5%	6.8%
自町内会	加入している	641件	50.5%	19.0%	44.5%	11.7%	7.5%	7.5%	3.3%	3.7%	5.0%	0.8%	15.9%	6.9%	4.2%
	加入していない	172件	44.8%	16.9%	43.6%	11.6%	5.2%	5.2%	5.8%	4.7%	3.5%	1.7%	20.9%	8.7%	2.3%
	わからない	34件	32.4%	26.5%	20.6%	5.9%	0.0%	5.9%	2.9%	2.9%	0.0%	0.0%	29.4%	14.7%	8.8%
ボランティア	今後も続けたい	79件	50.6%	27.8%	45.6%	20.3%	12.7%	8.9%	6.3%	7.6%	7.6%	2.5%	8.9%	3.8%	6.3%
	今後は参加したい	237件	60.3%	23.2%	53.2%	22.4%	11.4%	11.4%	8.0%	5.5%	5.9%	0.4%	8.0%	3.0%	1.7%
	適当な時期に辞めたい	33件	54.5%	33.3%	60.6%	9.1%	9.1%	12.1%	0.0%	3.0%	3.0%	0.0%	15.2%	3.0%	6.1%
	以前は参加していた	56件	44.6%	10.7%	42.9%	7.1%	5.4%	1.8%	1.8%	3.6%	3.6%	0.0%	25.0%	7.1%	1.8%
	今後は参加したくない	399件	42.9%	14.8%	37.1%	5.0%	2.3%	4.8%	1.5%	2.3%	3.5%	1.3%	24.3%	11.0%	3.0%
市社協	活動も大体知っている	73件	54.8%	21.9%	49.3%	28.8%	17.8%	9.6%	5.5%	8.2%	4.1%	0.0%	5.5%	8.2%	4.1%
	活動を少し知っている	212件	53.8%	25.9%	58.5%	10.4%	9.0%	5.7%	5.2%	2.8%	4.7%	0.9%	7.1%	9.0%	2.4%
	名前は知っている	306件	52.3%	16.0%	45.8%	13.7%	6.2%	8.2%	2.9%	5.2%	5.2%	1.0%	18.6%	4.6%	2.0%
	名前も活動内容も知らない	238件	41.2%	16.4%	28.2%	5.9%	2.5%	5.9%	3.4%	2.5%	3.4%	1.3%	29.8%	10.5%	0.8%

問 26 あなたは地区社会福祉協議会のことをご存じですか。(〇は1つ)

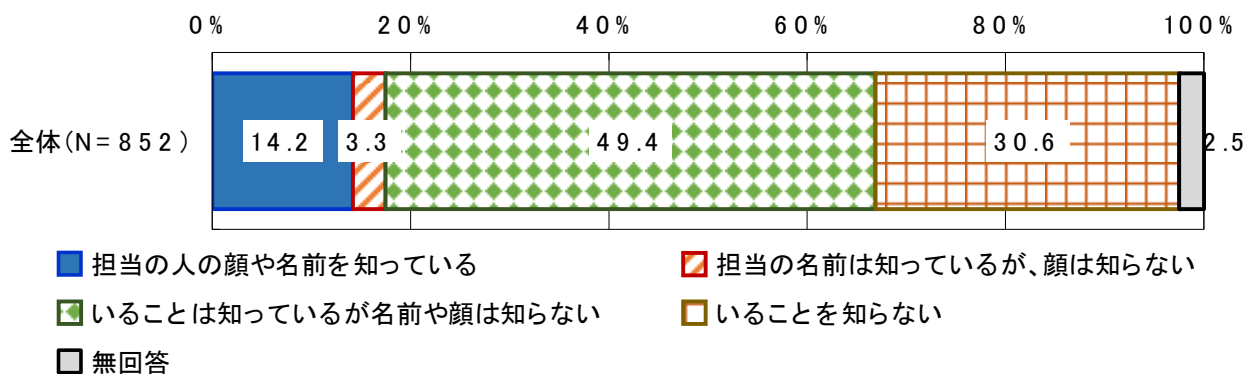
- ・「名前も活動内容も知らない」が49.8%と最も多く、次いで「名前は知っているが、どんな活動をしているかは知らない」が28.2%、「名前を知っているし、どんな活動をしているかは少し知っている」が13.4%、「名前を知っているし、どんな活動をしているかも大体知っている」が5.3%の順です。
- ・「(大体・少し) 知っている」の割合は、「60歳以上」で高くなっています。圏域別にみると、「高森台・石尾台」(33.3%)、「藤山台・岩成台」(26.2%)、「坂下」(24.5%)で高く、「鷹来」(9.1%)で低く、市社会福祉協議会を知っている割合と同様な傾向がみられます。



		合計	名前を知っているし、どんな活動をしているかも大体知っている	名前を知っているし、どんな活動をしているかは少し知っている	名前は知っているが、どんな活動をしているかは知らない	名前も活動内容も知らない	無回答
全体		852件	5.3%	13.4%	28.2%	49.8%	3.4%
性別	男性	360件	5.6%	13.1%	27.5%	50.3%	3.6%
	女性	486件	5.1%	13.8%	28.2%	49.6%	3.3%
年齢	10・20代	74件	1.4%	2.7%	16.2%	77.0%	2.7%
	30代	116件	3.4%	6.9%	22.4%	67.2%	0.0%
	40代	144件	2.1%	6.3%	21.5%	68.8%	1.4%
	50代	114件	2.6%	12.3%	28.9%	55.3%	0.9%
	60代	150件	8.0%	18.7%	28.7%	40.0%	4.7%
	70代	184件	7.6%	21.7%	37.5%	25.0%	8.2%
	80歳以上	59件	13.6%	15.3%	37.3%	30.5%	3.4%
圏域	坂下	49件	8.2%	16.3%	40.8%	34.7%	0.0%
	高森台・石尾台	90件	10.0%	23.3%	25.6%	35.6%	5.6%
	藤山台・岩成台	61件	4.9%	21.3%	21.3%	45.9%	6.6%
	高蔵寺	69件	1.4%	15.9%	30.4%	47.8%	4.3%
	南城	64件	4.7%	12.5%	26.6%	54.7%	1.6%
	松原	63件	4.8%	6.3%	27.0%	57.1%	4.8%
	東部	74件	5.4%	16.2%	32.4%	43.2%	2.7%
	鷹来	55件	1.8%	7.3%	30.9%	56.4%	3.6%
	柏原	61件	6.6%	9.8%	21.3%	60.7%	1.6%
	中部	95件	3.2%	14.7%	31.6%	48.4%	2.1%
	西部	83件	4.8%	7.2%	22.9%	61.4%	3.6%
	味美・知多	80件	7.5%	8.8%	26.3%	53.8%	3.8%

問 27 あなたのお住まいの地域に民生委員・児童委員、主任児童委員がいることをご存じですか。(〇は1つ)

- ・「いることは知っているが名前や顔は知らない」が49.4%と最も多く、次いで「いることを知らない」が30.6%、「担当の人の顔や名前を知っている」が14.2%、「担当の名前は知っているが、顔は知らない」が3.3%の順です。
- ・「担当の人の顔や名前を知っている」と「担当の名前は知っているが、顔は知らない」を合わせた割合は全体では17.5%で、年齢が高くなるほど高くなる傾向がみられます。

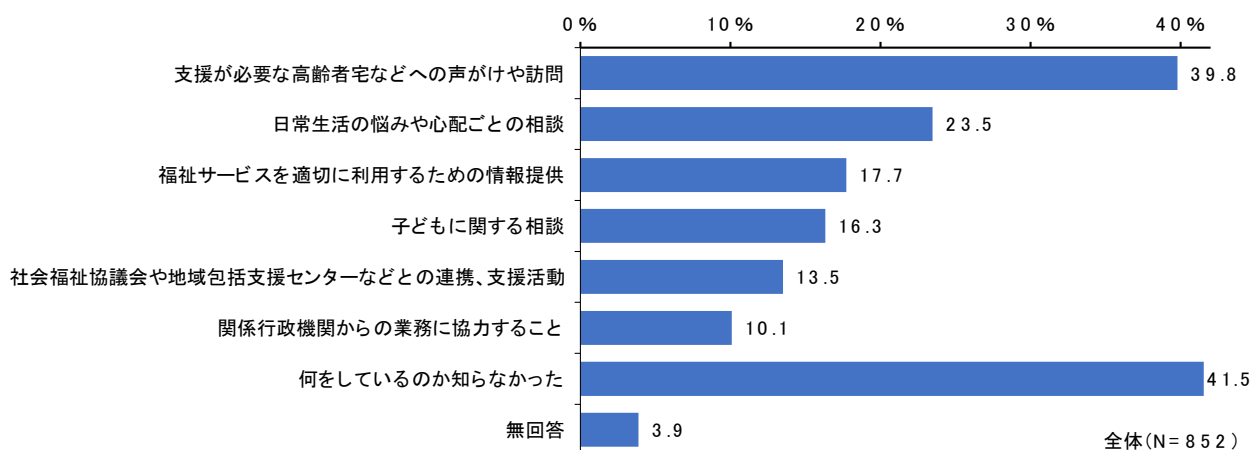


		合計	担当の人の顔や名前を知っている	担当の名前は知っているが、顔は知らない	いることは知っているが名前や顔は知らない	いることを知らない	無回答
全	体	852件	14.2%	3.3%	49.4%	30.6%	2.5%
性別	男性	360件	10.0%	3.6%	47.5%	35.8%	3.1%
	女性	486件	17.3%	3.1%	50.6%	27.2%	1.9%
年齢	10・20代	74件	1.4%	0.0%	33.8%	62.2%	2.7%
	30代	116件	0.9%	0.9%	38.8%	59.5%	0.0%
	40代	144件	6.3%	2.8%	45.8%	45.1%	0.0%
	50代	114件	5.3%	2.6%	62.3%	28.9%	0.9%
	60代	150件	18.0%	2.7%	60.0%	16.7%	2.7%
	70代	184件	27.2%	4.3%	51.1%	10.9%	6.5%
	80歳以上	59件	40.7%	13.6%	42.4%	1.7%	1.7%
圏域	坂下	49件	22.4%	4.1%	46.9%	26.5%	0.0%
	高森台・石尾台	90件	18.9%	5.6%	45.6%	28.9%	1.1%
	藤山台・岩成台	61件	6.6%	0.0%	57.4%	31.1%	4.9%
	高蔵寺	69件	11.6%	0.0%	47.8%	39.1%	1.4%
	南城	64件	10.9%	3.1%	42.2%	42.2%	1.6%
	松原	63件	14.3%	6.3%	49.2%	25.4%	4.8%
	東部	74件	16.2%	4.1%	50.0%	27.0%	2.7%
	鷹来	55件	16.4%	3.6%	45.5%	30.9%	3.6%
	柏原	61件	11.5%	3.3%	54.1%	29.5%	1.6%
	中部	95件	12.6%	1.1%	57.9%	27.4%	1.1%
	西部	83件	12.0%	4.8%	50.6%	30.1%	2.4%
味美・知多	80件	16.3%	3.8%	45.0%	30.0%	5.0%	
障がい者・高齢者等	乳幼児	125件	1.6%	1.6%	40.0%	56.8%	0.0%
	小学生	113件	4.4%	0.9%	49.6%	42.5%	2.7%
	中学生・高校生	108件	8.3%	1.9%	49.1%	37.0%	3.7%
	65歳以上の方	296件	18.6%	4.4%	58.8%	14.2%	4.1%
	高齢で介護や介助が必要	49件	20.4%	4.1%	59.2%	12.2%	4.1%
	障がいがあり、介護や介助が必要	40件	12.5%	2.5%	60.0%	25.0%	0.0%
	引きこもり状態にある方	5件	60.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%
あてはまる者はいない	265件	15.5%	3.0%	45.3%	34.7%	1.5%	



問 28 民生委員・児童委員、主任児童委員が、地域福祉に関する次の活動を行っていることをご存じですか。（〇はいくつでも）

- ・「支援が必要な高齢者宅などへの声かけや訪問」が 39.8%と最も多く、次いで「日常生活の悩みや心配ごとの相談」が 23.5%、「福祉サービスを適切に利用するための情報提供」が 17.7%、「子どもに関する相談」が 16.3%の順です。
- ・「日常生活の悩みや心配ごとの相談」「福祉サービスを適切に利用するための情報提供」「支援が必要な高齢者宅などへの声かけや訪問」は、年齢が高くなるほど割合が高くなる傾向がみられます。一方、「子どもに関する相談」は、年齢による大きな差はみられません。
- ・「何をしているのか知らなかった」の割合は全体では 41.5%で、「10・20代」は 73.0%、「80歳以上」は 16.9%と、年齢が高くなるほど低くなっています。

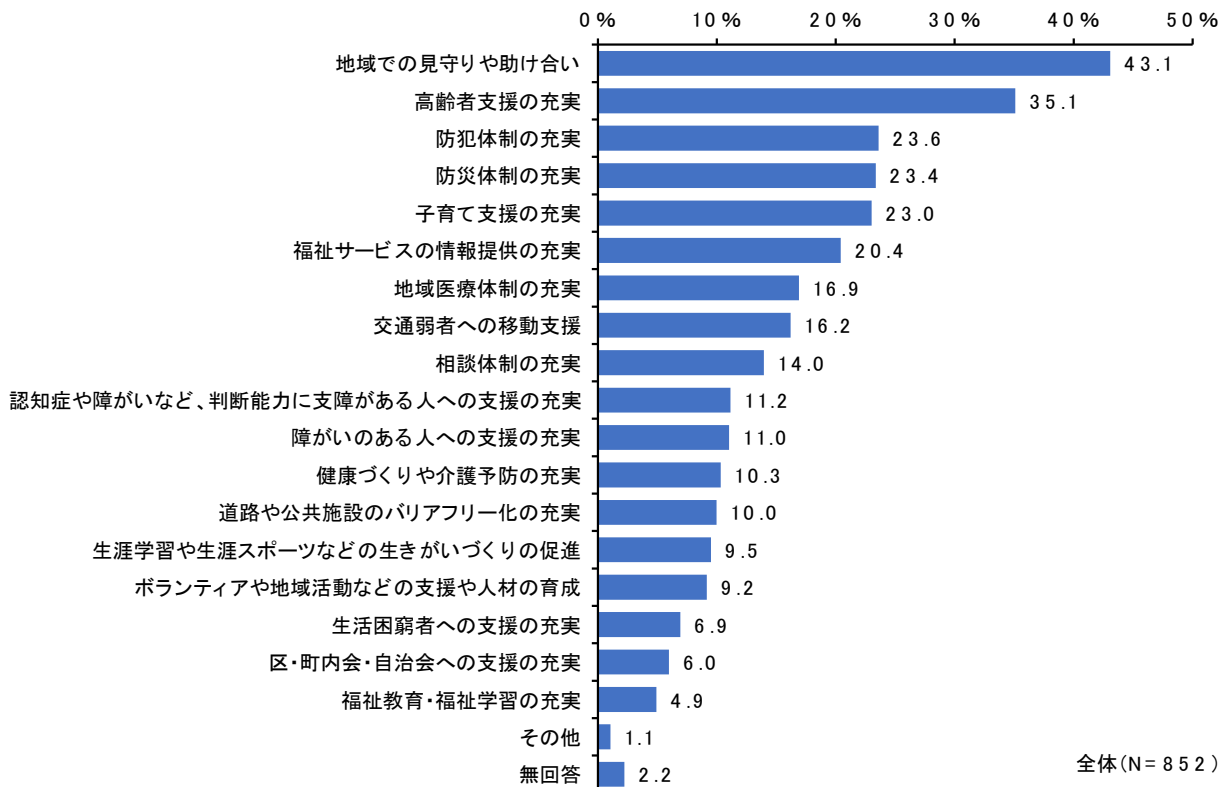


	合計	ご日常の相談の悩みや心配	利用するサービスの適切に	支援が必要な高齢者宅への声かけや訪問	子どもに関する相談	関係行政機関からの業務に協力すること	社会福祉協議会や地域包括支援センターなどとの連携、支援活動	何をしているのか知らなかった	無回答
		割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
全体	852件	23.5%	17.7%	39.8%	16.3%	10.1%	13.5%	41.5%	3.9%
性別									
男性	360件	23.3%	17.8%	35.3%	12.5%	9.4%	11.7%	48.1%	3.3%
女性	486件	23.5%	17.7%	42.4%	19.1%	10.5%	15.0%	37.2%	4.3%
年齢									
10・20代	74件	9.5%	9.5%	13.5%	18.9%	2.7%	9.5%	73.0%	1.4%
30代	116件	14.7%	6.9%	17.2%	14.7%	5.2%	7.8%	69.0%	0.0%
40代	144件	12.5%	9.7%	31.9%	17.4%	6.3%	10.4%	59.0%	0.7%
50代	114件	26.3%	20.2%	46.5%	21.1%	14.9%	15.8%	33.3%	1.8%
60代	150件	34.0%	21.3%	49.3%	16.0%	12.0%	13.3%	28.0%	5.3%
70代	184件	28.8%	25.5%	50.0%	14.1%	13.6%	19.6%	23.4%	9.2%
80歳以上	59件	35.6%	32.2%	61.0%	13.6%	13.6%	11.9%	16.9%	6.8%
民生委員									
担当の人の顔や名前を知っている	121件	37.2%	32.2%	73.6%	17.4%	22.3%	24.8%	6.6%	2.5%
担当の名前は知っている	28件	42.9%	39.3%	71.4%	25.0%	25.0%	32.1%	3.6%	3.6%
名前や顔は知らない	421件	29.9%	19.7%	47.3%	21.4%	11.2%	15.2%	31.1%	2.6%
いることを知らない	261件	5.4%	6.1%	11.1%	8.0%	1.9%	4.6%	82.0%	0.0%

## 1-7 地域福祉全般について

問 29 あなたの地域で誰もが安心して暮らしていくために、必要なことは何だと思えますか。  
(〇は3つまで)

- ・「地域での見守りや助け合い」が43.1%と最も多く、次いで「高齢者支援の充実」が35.1%、「防犯体制の充実」が23.6%、「防災体制の充実」が23.4%、「子育て支援の充実」が23.0%の順です。
- ・年齢別にみると、「10～30代」では「子育て支援の充実」、「40～70代」では「地域での見守りや助け合い」、「80歳以上」では「高齢者支援の充実」が最も高い割合となっています。
- ・圏域別にみると、「味美・知多」では「地域での見守りや助け合い」の割合が51.3%と、他の圏域と比べて高くなっています。また、「高齢者支援の充実」の割合は、「高森台・石尾台」(44.4%)、「南城」(43.8%)、「西部」(43.4%)で高くなっています。
- ・「交通弱者への移動支援」の割合は全体では16.2%で、年齢が高くなるほど高くなっています。また、圏域別にみると、「高森台・石尾台」(24.4%)、「鷹来」(23.6%)、「坂下」(22.4%)、「東部」(21.6%)、「西部」(20.5%)での割合が高くなっています。



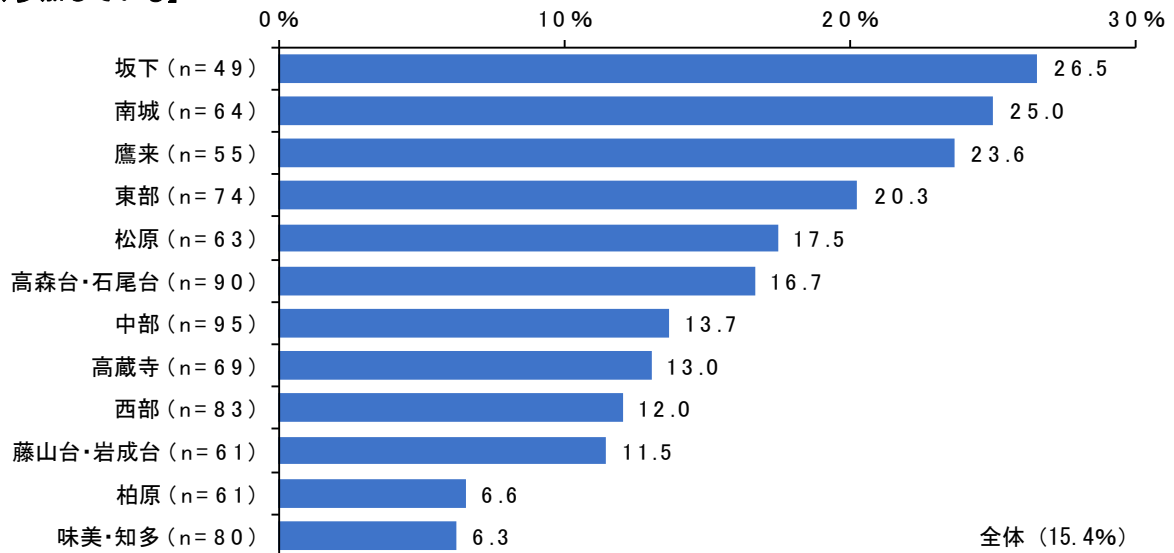
	合計	地域での見守りや助け合い	育成	ボランティアや地域活動などの支援や人材の	福祉教育・福祉学習の充実	福祉サービスの情報提供の充実	相談体制の充実	子育て支援の充実	高齢者支援の充実	障がいのある人への支援の充実	地域医療体制の充実	健康づくりや介護予防の充実	生涯学習や生涯スポーツなどの生きがいづくりの促進	防犯体制の充実	防災体制の充実	道路や公共施設のバリアフリー化の充実	交通弱者への移動支援	生活困窮者への支援の充実	区・町内会・自治会への支援の充実	認知症や障がいなど、判断能力に支障がある人への支援の充実	その他	無回答
全体	852件	43.1	9.2	4.9	20.4	14.0	23.0	35.1	11.0	16.9	10.3	9.5	23.6	23.4	10.0	16.2	6.9	6.0	11.2	1.1	2.2	
性別																						
男性	360件	40.0	10.0	4.7	19.2	14.4	20.6	33.6	11.1	17.2	11.4	9.7	24.4	22.8	11.1	12.5	7.5	8.3	9.7	0.8	3.1	
女性	486件	45.3	8.4	4.9	21.4	13.4	25.1	36.2	10.7	16.7	9.5	9.5	22.6	23.7	9.3	18.7	6.2	3.9	12.1	1.2	1.6	
年齢																						
10・20代	74件	40.5	9.5	9.5	13.5	12.2	50.0	21.6	14.9	17.6	6.8	10.8	18.9	36.5	18.9	2.7	9.5	4.1	6.8	1.4	1.4	
30代	116件	36.2	4.3	5.2	10.3	12.1	57.8	30.2	7.8	14.7	2.6	12.1	31.0	31.0	13.8	11.2	3.4	0.9	6.0	0.9	0.9	
40代	144件	38.9	8.3	9.0	20.8	16.7	29.2	37.5	10.4	19.4	11.1	9.7	28.5	29.2	6.9	11.8	6.9	4.9	11.1	1.4	1.4	
50代	114件	45.6	8.8	5.3	28.1	18.4	14.9	35.1	7.9	21.1	10.5	8.8	25.4	25.4	7.9	16.7	7.9	1.8	13.2	0.9	0.0	
60代	150件	40.0	9.3	3.3	21.3	14.7	14.0	31.3	14.0	18.0	16.7	10.7	29.3	22.0	10.0	20.0	7.3	10.0	9.3	0.0	2.0	
70代	184件	52.2	10.3	2.2	23.4	12.0	5.4	37.5	10.9	14.7	12.0	7.6	16.8	13.6	9.2	21.7	5.4	9.2	12.5	1.1	5.4	
80歳以上	59件	44.1	15.3	0.0	20.3	8.5	1.7	55.9	5.1	10.2	6.8	8.5	5.1	10.2	6.8	23.7	8.5	8.5	18.6	3.4	3.4	
圏域																						
坂下	49件	40.8	10.2	2.0	18.4	4.1	12.2	26.5	12.2	22.4	6.1	10.2	24.5	22.4	12.2	22.4	4.1	8.2	22.4	2.0	2.0	
高森台・石尾台	90件	35.6	10.0	6.7	22.2	13.3	23.3	44.4	14.4	20.0	10.0	15.6	12.2	18.9	11.1	24.4	8.9	3.3	12.2	0.0	1.1	
藤山台・岩成台	61件	42.6	14.8	6.6	21.3	14.8	18.0	36.1	6.6	24.6	21.3	13.1	26.2	27.9	13.1	9.8	6.6	3.3	6.6	1.6	3.3	
高蔵寺	69件	40.6	2.9	4.3	24.6	14.5	31.9	34.8	11.6	21.7	10.1	2.9	36.2	23.2	7.2	10.1	10.1	5.8	15.9	1.4	1.4	
南城	64件	43.8	4.7	1.6	20.3	10.9	29.7	43.8	9.4	10.9	6.3	10.9	28.1	29.7	15.6	18.8	4.7	0.0	6.3	0.0	0.0	
松原	63件	41.3	7.9	6.3	17.5	12.7	23.8	28.6	12.7	7.9	14.3	4.8	23.8	25.4	6.3	6.3	6.3	7.9	9.5	0.0	6.3	
東部	74件	44.6	10.8	5.4	25.7	12.2	31.1	39.2	13.5	8.1	8.1	5.4	23.0	13.5	10.8	21.6	13.5	8.1	12.2	2.7	4.1	
鷹来	55件	43.6	9.1	1.8	21.8	20.0	10.9	27.3	7.3	20.0	10.9	9.1	20.0	30.9	10.9	23.6	7.3	9.1	10.9	0.0	0.0	
柏原	61件	44.3	6.6	3.3	18.0	16.4	23.0	29.5	13.1	14.8	6.6	8.2	29.5	24.6	4.9	13.1	8.2	3.3	8.2	4.9	1.6	
中部	95件	47.4	9.5	6.3	23.2	15.8	21.1	27.4	7.4	17.9	11.6	12.6	20.0	22.1	11.6	13.7	3.2	7.4	8.4	1.1	2.1	
西部	83件	41.0	13.3	2.4	19.3	13.3	15.7	43.4	14.5	21.7	8.4	10.8	27.7	27.7	7.2	20.5	3.6	6.0	13.3	0.0	0.0	
味美・知多	80件	51.3	8.8	10.0	12.5	17.5	32.5	37.8	7.5	13.8	10.0	8.8	16.3	20.0	8.8	8.8	3.8	10.0	8.8	0.0	3.8	
児童・高齢者等																						
乳幼児	125件	44.8	5.6	6.4	12.0	12.0	64.0	32.8	9.6	11.2	4.8	7.2	24.0	26.4	9.6	8.0	8.8	3.2	6.4	0.0	0.8	
小学生	113件	44.2	7.1	5.3	13.3	12.4	44.2	25.7	8.8	13.3	6.2	9.7	29.2	31.0	10.6	14.2	9.7	7.1	8.8	0.9	0.9	
中学生・高校生	108件	41.7	3.7	10.2	17.6	13.0	25.0	34.3	10.2	19.4	13.9	11.1	25.0	19.4	10.2	12.0	5.6	5.6	11.1	0.9	0.9	
65歳以上の方	296件	44.3	8.4	3.7	28.0	16.2	11.5	37.5	10.1	16.6	11.1	9.1	17.9	17.6	9.5	17.9	6.1	9.1	13.5	1.0	3.0	
高齢で介護や介助が必要	49件	53.1	12.2	2.0	22.4	16.3	10.2	36.7	6.1	10.2	8.2	10.2	26.5	8.2	12.2	22.4	4.1	14.3	14.3	0.0	4.1	
障がいがあり、介護や介助が必要	40件	42.5	7.5	5.0	20.0	25.0	12.5	30.0	37.5	10.0	2.5	12.5	12.5	15.0	10.0	5.0	5.0	25.0	0.0	2.5		
引きこもり状態にある方	5件	60.0	20.0	0.0	60.0	0.0	20.0	20.0	0.0	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0	
あてはまる者はいない	265件	40.8	12.5	4.9	21.1	15.5	20.0	34.7	11.7	17.4	13.2	10.6	28.3	29.1	9.1	18.5	7.9	5.7	10.9	1.5	0.8	
自治会																						
加入している	641件	44.6	9.4	4.2	22.0	13.4	19.8	35.9	10.5	16.4	10.3	9.7	23.2	22.8	10.5	17.8	5.3	6.9	11.9	1.1	2.0	
加入していない	172件	38.4	8.1	7.0	14.5	15.7	30.2	34.9	12.2	17.4	10.5	9.9	26.2	25.0	9.9	10.5	10.5	2.9	8.7	0.6	2.9	
わからない	34件	38.2	5.9	5.9	17.6	14.7	44.1	17.6	11.8	20.6	5.9	5.9	14.7	26.5	2.9	8.8	11.8	5.9	5.9	2.9	2.9	
地域行事への参加																						
よく参加している	131件	53.4	16.0	4.6	19.1	6.9	16.0	35.1	14.5	9.9	11.5	9.9	23.7	21.4	13.7	17.6	3.1	12.2	12.2	0.0	1.5	
ある程度参加している	322件	44.7	8.1	5.0	23.6	12.1	23.9	34.8	10.6	20.2	10.6	9.6	22.4	21.1	8.4	16.8	7.8	5.9	11.8	1.9	2.5	
ほとんど参加していない	122件	41.8	8.2	3.3	17.2	15.6	24.6	37.7	5.7	13.1	9.8	9.0	27.0	29.5	12.3	18.9	5.7	6.6	12.3	1.6	0.8	
参加していない	227件	34.8	8.4	5.7	19.8	18.1	21.6	33.9	12.8	15.9	8.8	10.1	24.2	25.6	9.7	13.7	7.9	2.6	10.6	0.0	2.6	
どのような行事があるかわからない	45件	46.7	2.2	6.7	13.3	22.2	42.2	35.6	8.9	28.9	11.1	6.7	17.8	17.8	6.7	11.1	6.7	4.4	2.2	2.2	2.2	
地域活動																						
今後も続けたい	79件	41.8	12.7	5.1	24.1	10.1	26.6	35.4	11.4	13.9	15.2	13.9	20.3	20.3	10.1	16.5	8.9	8.9	10.1	1.3	2.5	
今後は参加したい	237件	57.0	16.5	5.9	23.2	13.5	27.8	34.2	13.9	11.0	11.8	11.8	19.0	20.3	8.9	14.3	7.2	6.8	10.1	0.8	0.0	
適当な時期に辞めたい	33件	48.5	24.2	3.0	6.1	21.2	9.1	30.3	9.1	24.2	12.1	6.1	36.4	39.4	6.1	21.2	9.1	15.2	9.1	6.1	0.0	
以前は参加していた	56件	44.6	12.5	10.7	21.4	10.7	17.9	28.6	10.7	21.4	8.9	10.7	28.6	26.8	5.4	19.6	8.9	5.4	12.5	1.8	0.0	
今後は参加したくない	399件	34.8	2.5	3.5	19.3	16.0	23.6	37.8	10.0	20.3	8.5	8.0	25.1	25.6	12.3	16.8	5.8	4.0	11.3	0.5	3.0	

## 1-8 圏域別の分析

### ①地域活動への参加状況(問 10)

・地域活動へ「よく参加している」の割合では、「坂下」で26.5%と最も高く、次いで「南城」が25.0%、「鷹来」が23.6%の順です。一方、「味美・知多」(6.3%)、「柏原」(6.6%)での割合が低くなっています。

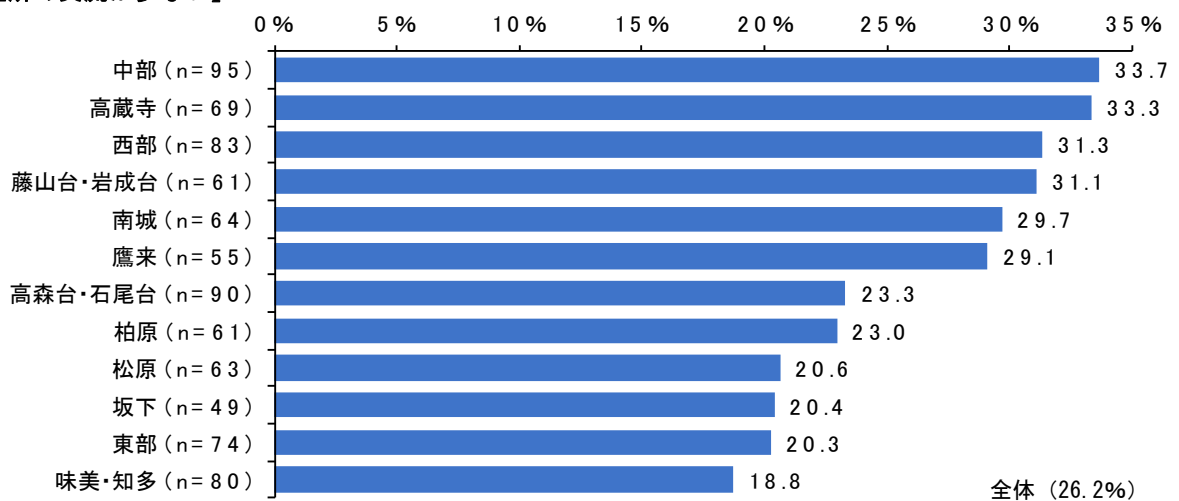
#### 【よく参加している】



### ②地域の問題点・不足していると思うこと(問 11)

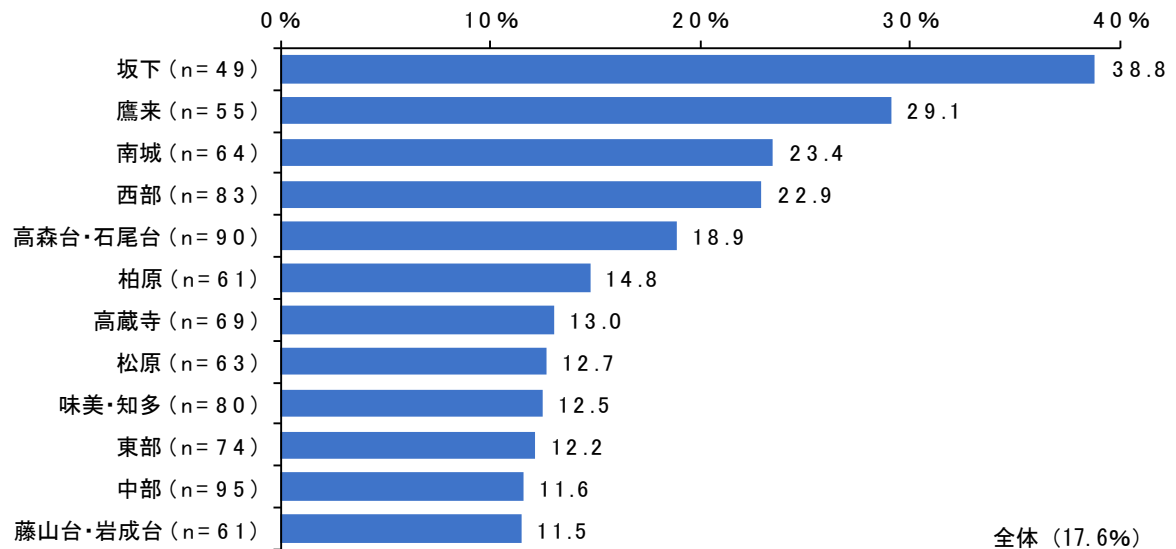
・地域の問題点・不足していると思うことで「隣近所の交流が少ない」の割合では、「中部」で33.7%と最も高く、次いで「高蔵寺」が33.3%、「西部」が31.3%、「藤山台・岩成台」が31.1%の順です。

#### 【隣近所の交流が少ない】



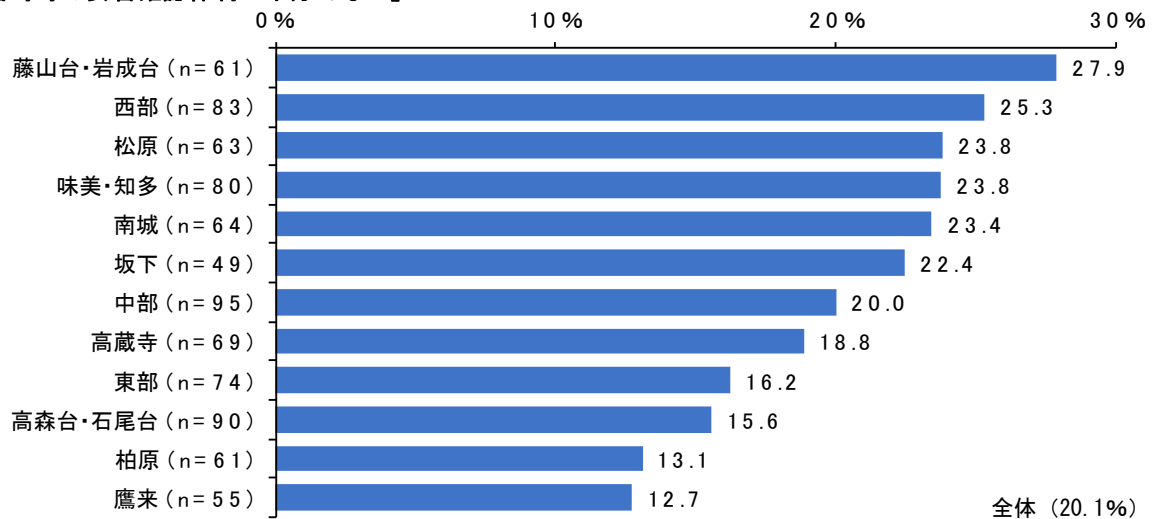
・「移動手段が整っていない」の割合では、「坂下」で38.8%と最も高く、次いで「鷹来」が29.1%、「南城」が23.4%、「西部」が22.9%の順です。

**【移動手段が整っていない】**



・「災害時等の安否確認体制が十分でない」の割合では、「藤山台・岩成台」で27.9%と最も高く、次いで「西部」が25.3%、「松原」「味美・知多」がともに23.8%、「南城」が23.4%の順です。

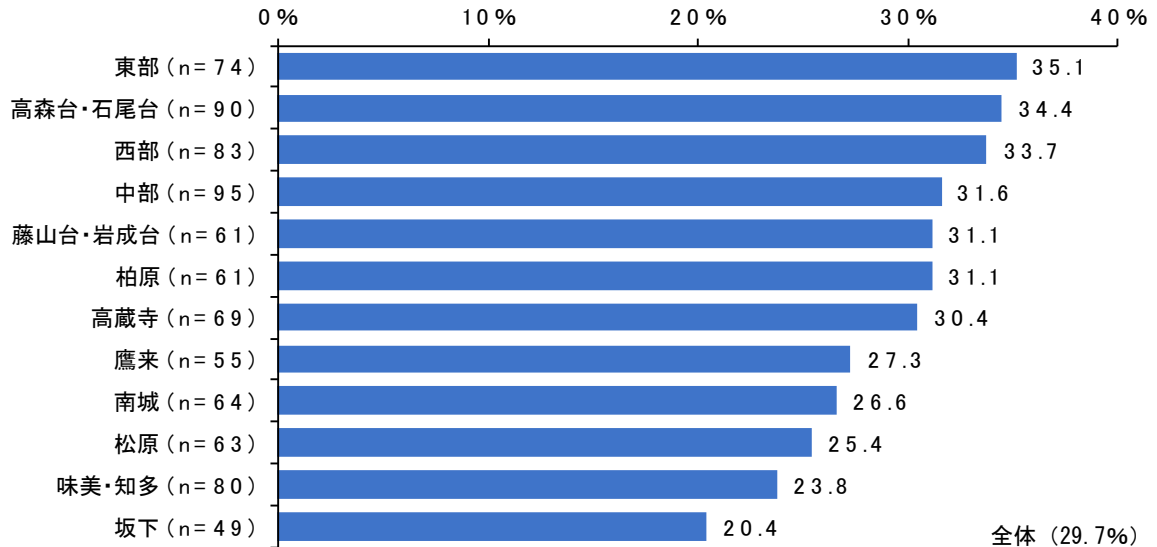
**【災害時等の安否確認体制が十分でない】**



### ③地域に手助けしてほしいこと・手助けできること(問 12)

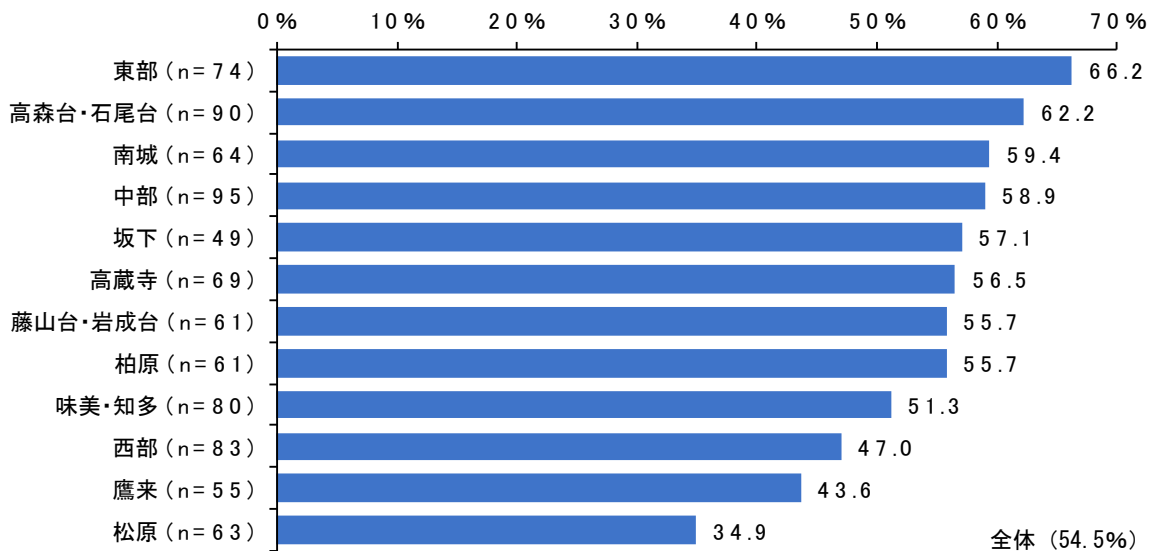
・自分や家族が地域に手助けしてほしいことで「安否確認や声かけ」の割合では、「東部」で 35.1%と最も高く、次いで「高森台・石尾台」が 34.4%、「西部」が 33.7%の順です。

【手助けしてほしいこと／安否確認や声かけ】



・一方、手助けできることで「安否確認や声かけ」の割合では、「東部」で 66.2%と最も高く、次いで「高森台・石尾台」が 62.2%、「南城」が 59.4%、「中部」が 58.9%の順です。

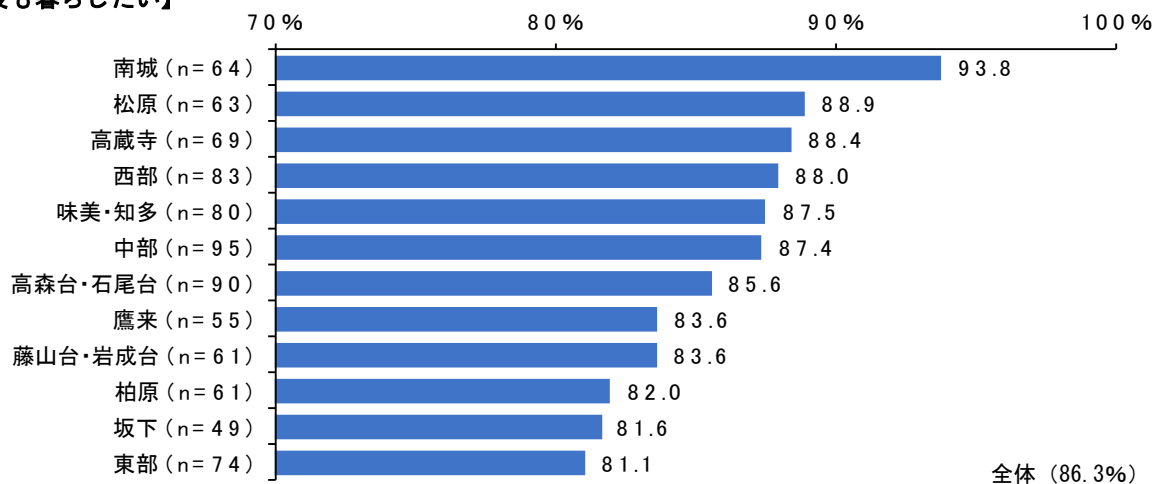
【手助けできること／安否確認や声かけ】



#### ④居住継続意向(問 13)

- ・今住んでいる地域に「今後も暮らしたい」の割合では、「南城」で93.8%と最も高く、次いで「松原」が88.9%、「高蔵寺」が88.4%、「西部」が88.0%の順です。
- ・一方、「東部」(81.1%)、「坂下」(81.6%)、「柏原」(82.0%)での割合が低くなっています。

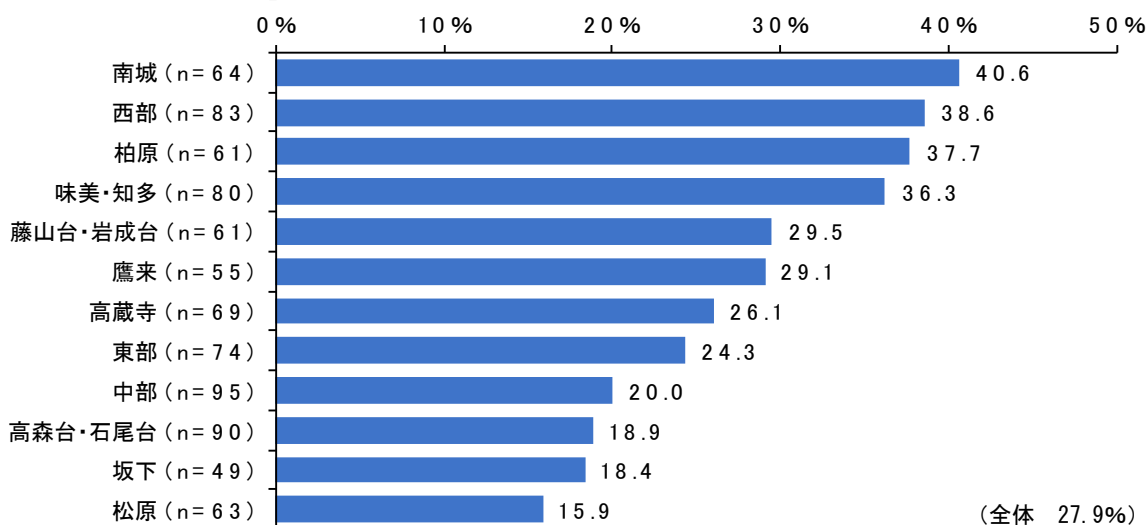
##### 【今後も暮らしたい】



#### ⑤市社会福祉協議会の認知度(問 24)

- ・市社会福祉協議会について「名前も活動内容も知らない」の割合では、「南城」で40.6%と最も高く、次いで「西部」が38.6%、「柏原」が37.7%、「味美・知多」が36.3%の順です。
- ・一方、「松原」(15.9%)、「坂下」(18.4%)、「高森台・石尾台」(18.9%)、「中部」(20.0%)での割合が低くなっています。

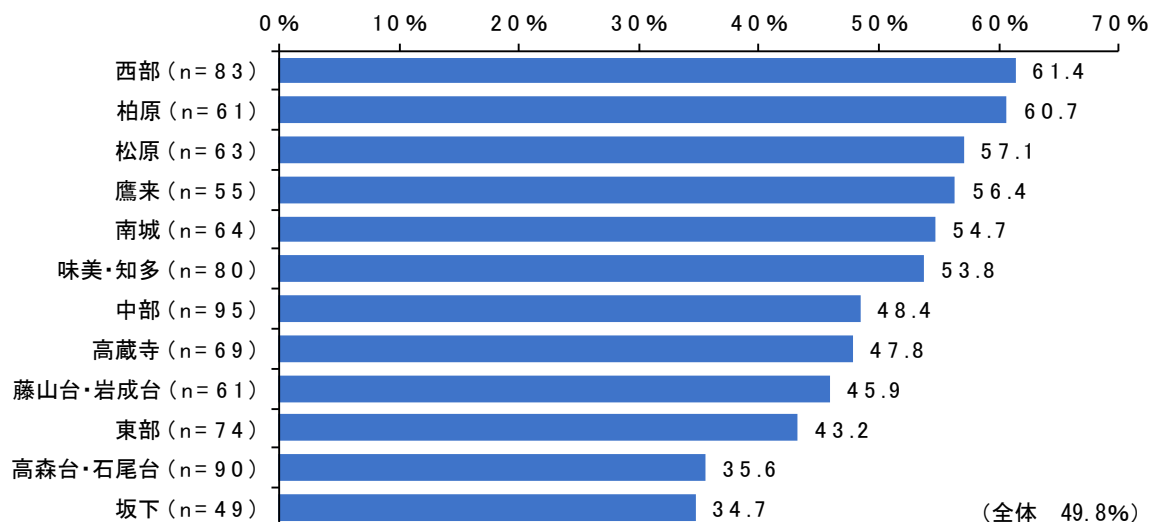
##### 【名前も活動内容も知らない】



## ⑥地区社会福祉協議会の認知度(問 26)

- ・地区社会福祉協議会について「名前も活動内容も知らない」の割合では、「西部」で61.4%と最も高く、次いで「柏原」が60.7%、「松原」が57.1%の順です。
- ・一方、「坂下」(34.7%)、「高森台・石尾台」(35.6%)での割合が低くなっています。

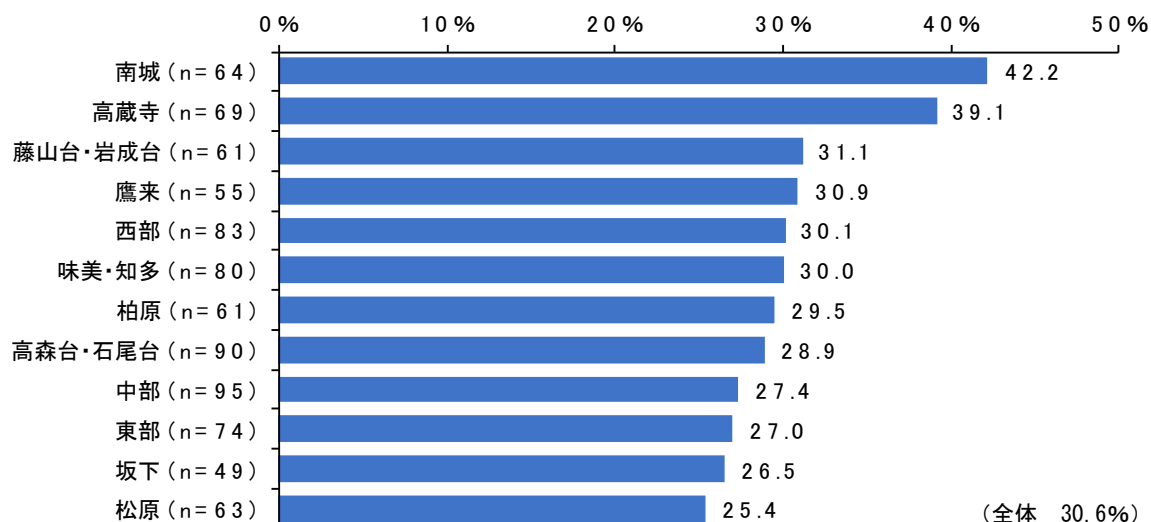
### 【名前も活動内容も知らない】



## ⑦民生委員・児童委員、主任児童委員の認知度(問 27)

- ・地域に民生委員・児童委員、主任児童委員が「いることを知らない」の割合では、「南城」で42.2%と最も高く、次いで「高蔵寺」が39.1%となっています。

### 【いることを知らない】





## 1-9 自由意見

問 30 誰もが安心して暮らせる地域づくりについて、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

「地域やご近所、町内会」「高齢者」「車やバス、移動手段」「防犯」「各種情報」「各種活動への参加」などに関する 204 件の意見がありました。

### 【主な意見】

- ・マンションに住んでいるので何かを相談したくてもできない。コミュニケーションできる人がいない。
- ・2年半前に引越してきましたが、町内会への勧誘が無く、淋しいやら、ホッとしてやら。町内のつながりをもう少し実感したいなあとも思います。
- ・地域の町内会加入者が減り、運営がむずかしくなっています。それにともない、高齢者支援など、地域をもっと活動的にするシステムができる事を願います。
- ・高齢になると移動手段が必要です。出掛けたくても交通手段がないと無理です。
- ・高蔵寺ニュータウンは高齢化が進んでいます。高齢者と若い世代がお互い助け合いながら（若い世代は保育園、待機児童などの問題あり）、共有できたらいいと思います。
- ・ご近所仲良く交流していくことにより、地域の防犯体制の充実も図れ、その他相談も出来、安心して暮らしていけるような気がします。
- ・少子高齢化が進むなかで、子どもを1人の担い手と捉えることも必要だと思う。登下校時や放課後に遊びに行く子どもが、認知症高齢者や独居高齢者の安否確認をすることも可能だと思う。そのためには、「福祉学習」をもっと盛んに行うべき。
- ・人によって価値は様々で、ボランティアで得られるものがあると思う人もいれば、そうでない人もいるので、いろいろな方法を試すと参加率が上がるのでは。
- ・リタイア後に社会貢献に取り組みたいので、どこでどのような活動が行われ、参加方法等の情報が、市のホームページ等にまとまっているといいと思います。
- ・今はネット社会ですが、スマホやパソコンなどを持っていない人もいるので、何かあった時の情報手段を考えてもらいたい。
- ・社協、地区社協についての知識がありませんでした。知る機会を増やしていただきたい。
- ・人が集まりやすい場所（スーパー、銀行、駅など）に、相談窓口等があるといい。
- ・現在の防災体制は不十分ではないかと思います。仮に大地震が発生した時、どの家に何名住んでいるのか把握している人がいるのだろうか。
- ・弱者と呼ばれる人たちへの理解が必要。市役所で障がいのある方などがパンを販売していることは、ふれあいになり、よいと思った。
- ・高蔵寺地区は最近外国人が多く暮らしている。今のままではコミュニケーション不足。
- ・地域福祉計画を策定後、小・中学校で児童や保護者にもわかりやすく、興味をもってもらいやすく披露してほしい。
- ・こういったアンケートを他のテーマでも度々やっただけだと、知ったり考えるき

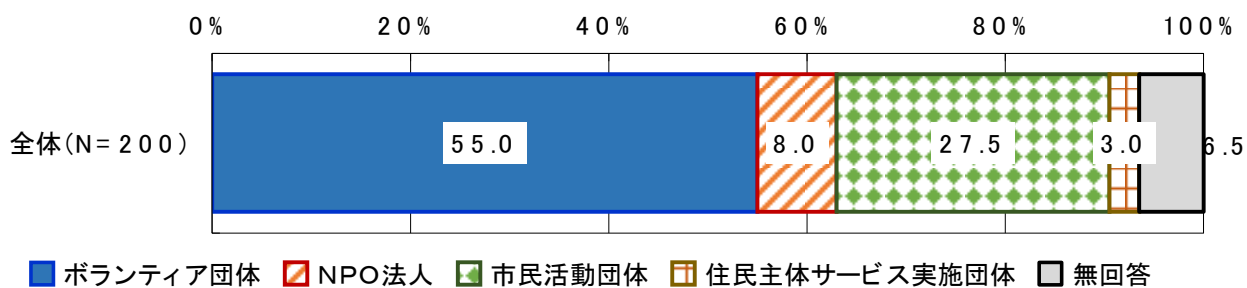
かけになると思います。

## 第2章 活動団体調査

### 2-1 団体の概要

問1 貴団体は、次のうちどれですか。(〇は1つ)

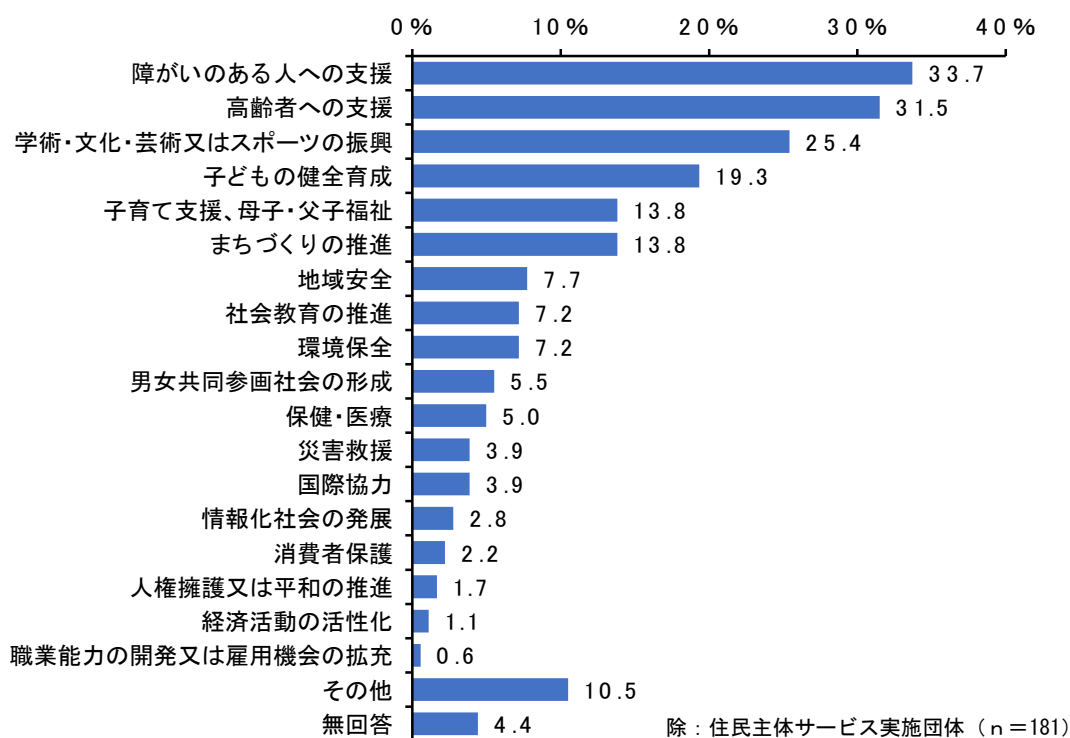
・「ボランティア団体」が55.0%と最も多く、次いで「市民活動団体」が27.5%、「NPO法人」が8.0%、「住民主体サービス実施団体」が3.0%の順です。



【ボランティア団体、NPO法人、市民活動団体にうかがいます】

(1) 貴団体は、どのような分野の活動をされていますか。(〇はいくつでも)

- ・活動分野についてみると、「障がいのある人への支援」が33.7%と最も多く、次いで「高齢者への支援」が31.5%、「学術・文化・芸術又はスポーツの振興」が25.4%、「子どもの健全育成」が19.3%の順です。
- ・団体の種類別で割合をみると、ボランティア団体では、「高齢者への支援」が40.0%と最も高く、次いで「障がいのある人への支援」が38.2%となっています。NPO法人では、「障がいのある人への支援」が68.8%と最も高く、次いで「まちづくりの推進」が50.0%となっています。市民活動団体では、「学術・文化・芸術又はスポーツの振興」が45.5%と最も多く、次いで「子どもの健全育成」が21.8%となっています。



		合計	高齢者への支援	障がいのある人への支援	子育て支援、母子・父子福祉	まちづくりの推進	学術・文化・芸術又はスポーツの振興	子どもの健全育成	その他(合算)※2	無回答
全体		181件	31.5%	33.7%	13.8%	13.8%	25.4%	19.3%	35.4%	4.4%
団体の種類	ボランティア団体	110件	40.0%	38.2%	12.7%	6.4%	16.4%	16.4%	27.3%	5.5%
	NPO法人	16件	31.3%	68.8%	25.0%	50.0%	18.8%	31.3%	56.3%	0.0%
	市民活動団体	55件	14.5%	14.5%	12.7%	18.2%	45.5%	21.8%	45.5%	3.6%
構成人数	10人以下	49件	44.9%	38.8%	16.3%	8.2%	24.5%	16.3%	26.5%	0.0%
	11人～20人	53件	37.7%	37.7%	17.0%	7.5%	17.0%	15.1%	28.3%	7.5%
	21人～50人	38件	18.4%	34.2%	10.5%	18.4%	31.6%	21.1%	44.7%	0.0%
	51人以上	38件	21.1%	23.7%	10.5%	26.3%	34.2%	28.9%	50.0%	2.6%
活動年数	5年未満	23件	34.8%	34.8%	26.1%	21.7%	17.4%	26.1%	34.8%	8.7%
	5年以上10年未満	27件	37.0%	29.6%	11.1%	11.1%	18.5%	14.8%	51.9%	3.7%
	10年以上20年未満	55件	27.3%	30.9%	12.7%	18.2%	29.1%	20.0%	36.4%	3.6%
	20年以上	76件	31.6%	36.8%	11.8%	9.2%	27.6%	18.4%	28.9%	3.9%

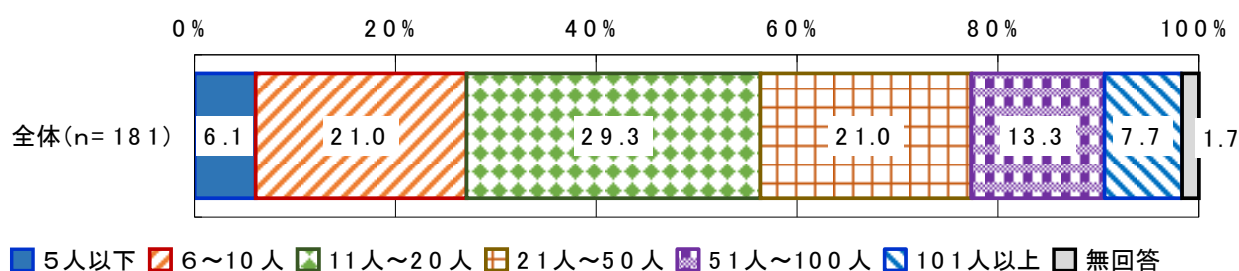
※1 活動分野は20件以上 6分野)を表示

※2：「その他(合算)」は、「地域安全」「社会教育」「環境保全」などいずれかの活動をしている場合1件とした割合

【ボランティア団体、NPO法人、市民活動団体にうかがいます】

(2) 貴団体の構成人数はどのくらいですか。(〇は1つ)

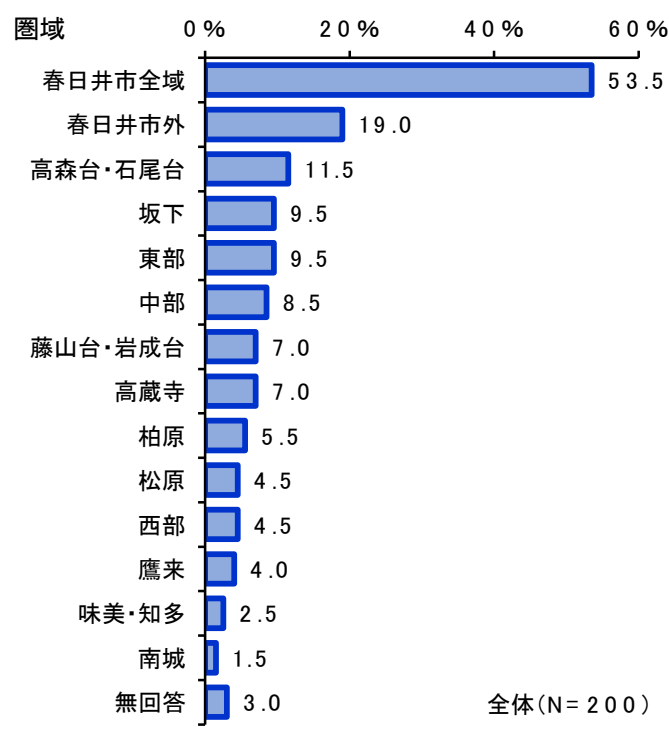
- ・団体の構成人数についてみると「11人～20人」が29.3%と最も多く、次いで「6～10人」と「21人～50人」がともに21.0%、「51人～100人」が13.3%の順です。
- ・団体の種類別で割合をみると、「ボランティア団体」では、「11～20人」が33.6%と高く、次いで「6～10人」が30.0%となっています。「NPO法人」では、「21～50人」が43.8%と最も高く、次いで「11～20人」が25.0%となっています。「市民活動団体」では、「21人～50人」が27.3%と最も高く、次いで「51人～100人」が25.5%、「11～20人」が21.8%の順です。



		合計	5人以下	6～10人	11人～20人	21人～50人	51人～100人	101人以上	無回答
種類の 団体の	全体	181件	6.1%	21.0%	29.3%	21.0%	13.3%	7.7%	1.7%
	ボランティア団体	110件	9.1%	30.0%	33.6%	14.5%	7.3%	4.5%	0.9%
	NPO法人	16件	6.3%	6.3%	25.0%	43.8%	12.5%	6.3%	0.0%
	市民活動団体	55件	0.0%	7.3%	21.8%	27.3%	25.5%	14.5%	3.6%

問2 貴団体が活動している地域（中学校区）はどちらですか。（〇はいくつでも）

- ・「春日井市全域」が53.5%と最も多く、次いで「春日井市外」が19.0%、「高森台・石尾台」が11.5%、「坂下」「東部」がそれぞれ9.5%となっています。
- ・「春日井市全域」の割合は、「ボランティア団体」では60.9%、「NPO法人」では62.5%、「市民活動団体」では50.9%と大きな差はみられません。また、「春日井市外」の割合は19.1%～25.0%と、団体の種類別による大きな差はみられません。



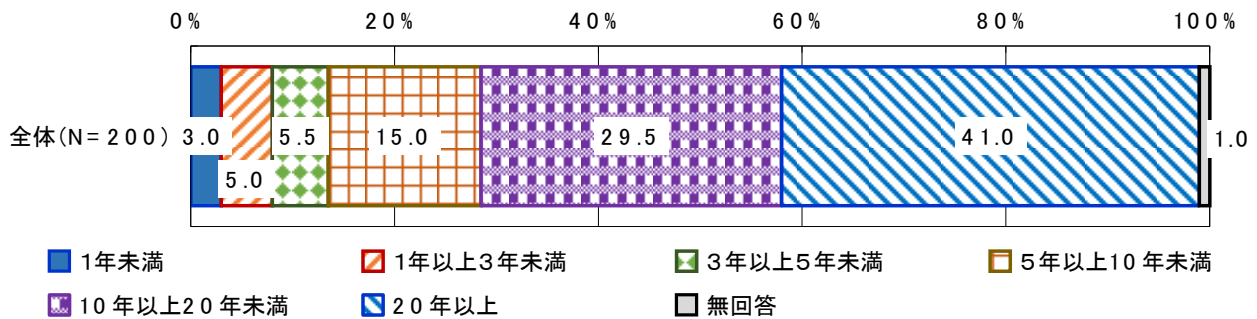
※中学校区を圏域別で集計

	合計	坂下	高森台・石尾台	藤山台・岩成台	高蔵寺	南城	松原	東部	鷹来	柏原	中部	西部	味美・知多	春日井市全域	春日井市外	無回答
全体	200件	9.5%	11.5%	7.0%	7.0%	1.5%	4.5%	9.5%	4.0%	5.5%	8.5%	4.5%	2.5%	53.5%	19.0%	3.0%
団体の種類	ボランティア団体	110件	9.1%	8.2%	8.2%	1.8%	4.5%	7.3%	3.6%	6.4%	10.0%	5.5%	1.8%	60.9%	19.1%	1.8%
	NPO法人	16件	0.0%	18.8%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	62.5%	25.0%	6.3%
	市民活動団体	55件	10.9%	14.5%	1.8%	3.6%	0.0%	7.3%	14.5%	7.3%	5.5%	5.5%	3.6%	50.9%	21.8%	0.0%
	住民主体サービス実施団体	6件	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※「住民主体サービス実施団体」（6件）のクロス集計結果は、1件当たりの割合が大きい（16.7%）ことから集計表のみ掲載で、分析結果には含んでいません。

問3 貴団体の活動年数はどのくらいですか。(〇は1つ)

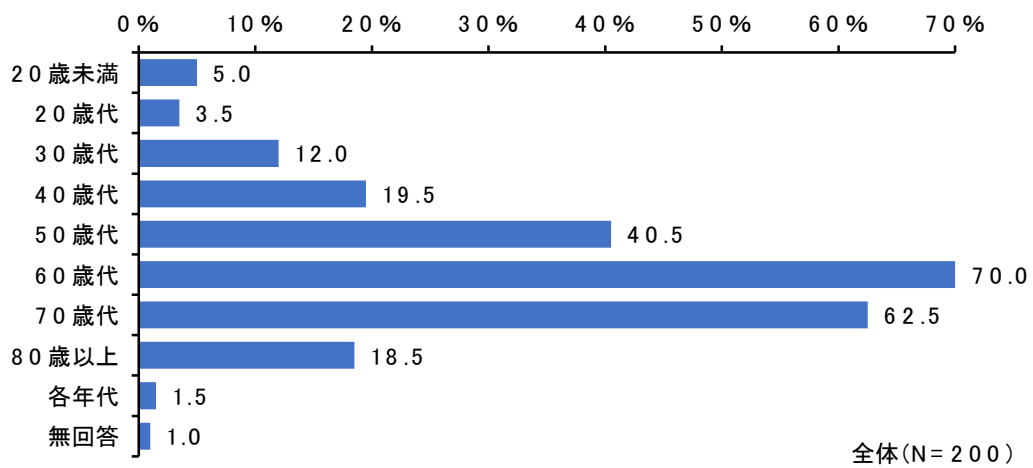
- ・「20年以上」が41.0%と最も多く、次いで「10年以上20年未満」が29.5%、「5年以上10年未満」が15.0%の順です。
- ・団体の種類別に割合をみると、「ボランティア団体」では、「10年以上20年未満」(33.6%)と「20年以上」(38.2%)が多く、「NPO法人」では「10年以上20年未満」(43.8%)が多く、「市民活動団体」では、「20年以上」(58.2%)が高くなっています。
- ・「20年以上」の割合を活動分野別にみると、「障がいのある人への支援」(45.9%)、「学術・文化・芸術又はスポーツの振興」(45.7%)で高くなっています。
- ・「20年以上」の割合を構成人数別にみると、「10人以下」では24.5%、一方、「51人以上」では65.8%と、構成人数が多いほど、割合が高くなっています。



		合計	1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上	無回答
全体		200件	3.0%	5.0%	5.5%	15.0%	29.5%	41.0%	1.0%
団体の種類	ボランティア団体	110件	3.6%	5.5%	5.5%	13.6%	33.6%	38.2%	0.0%
	NPO法人	16件	0.0%	6.3%	12.5%	25.0%	43.8%	12.5%	0.0%
	市民活動団体	55件	1.8%	1.8%	3.6%	14.5%	20.0%	58.2%	0.0%
	住民主体サービス実施団体	6件	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%
活動分野	高齢者への支援	57件	5.3%	5.3%	3.5%	17.5%	26.3%	42.1%	0.0%
	障がいのある人への支援	61件	3.3%	4.9%	4.9%	13.1%	27.9%	45.9%	0.0%
	子育て支援、母子・父子福祉	25件	4.0%	8.0%	12.0%	12.0%	28.0%	36.0%	0.0%
	まちづくりの推進	25件	4.0%	8.0%	8.0%	12.0%	40.0%	28.0%	0.0%
	学術・文化・芸術又はスポーツの振興	46件	2.2%	2.2%	4.3%	10.9%	34.8%	45.7%	0.0%
	子どもの健全育成	35件	2.9%	2.9%	11.4%	11.4%	31.4%	40.0%	0.0%
	その他	64件	3.1%	4.7%	4.7%	21.9%	31.3%	34.4%	0.0%
構成人数	10人以下	49件	8.2%	4.1%	10.2%	24.5%	28.6%	24.5%	0.0%
	11人～20人	53件	0.0%	9.4%	3.8%	15.1%	37.7%	34.0%	0.0%
	21人～50人	38件	2.6%	2.6%	5.3%	10.5%	28.9%	50.0%	0.0%
	51人以上	38件	0.0%	0.0%	2.6%	5.3%	26.3%	65.8%	0.0%

問4 主に活動している年齢層を教えてください。(〇は多いほうから3つまで)

- ・「60歳代」が70.0%と最も多く、次いで「70歳代」が62.5%、「50歳代」が40.5%の順です。
- ・団体の種類別に割合をみると、「ボランティア団体」では「60歳代」(75.5%)、「70歳代」(71.8%)が高く、「NPO法人」では、「50歳代」(56.3%)、「60歳代」(56.3%)が高く、「市民活動団体」では、「60歳代」(67.3%)が高くなっています。
- ・「子育て支援、母子・父子福祉」分野では「30歳代」(32.0%)の割合が他の分野と比べて高く、「50・60歳代」(60.0%)が最も高くなっています。

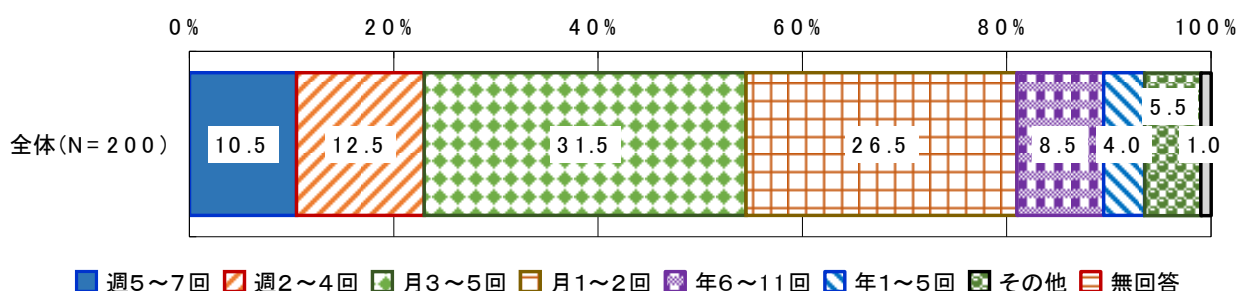


		合計	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	各年代	無回答
全体		200件	5.0%	3.5%	12.0%	19.5%	40.5%	70.0%	62.5%	18.5%	1.5%	1.0%
団体の種類	ボランティア団体	110件	4.5%	1.8%	6.4%	13.6%	42.7%	75.5%	71.8%	15.5%	0.9%	0.0%
	NPO法人	16件	6.3%	18.8%	50.0%	37.5%	56.3%	56.3%	31.3%	12.5%	0.0%	0.0%
	市民活動団体	55件	7.3%	3.6%	14.5%	30.9%	34.5%	67.3%	49.1%	21.8%	3.6%	0.0%
	住民主体サービス実施団体	6件	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	66.7%	83.3%	50.0%	0.0%	0.0%
活動分野	高齢者への支援	57件	3.5%	0.0%	7.0%	14.0%	38.6%	78.9%	70.2%	19.3%	0.0%	0.0%
	障がいのある人への支援	61件	3.3%	6.6%	19.7%	27.9%	55.7%	77.0%	50.8%	9.8%	0.0%	0.0%
	子育て支援、母子・父子福祉	25件	4.0%	4.0%	32.0%	48.0%	60.0%	60.0%	36.0%	8.0%	0.0%	0.0%
	まちづくりの推進	25件	4.0%	0.0%	20.0%	24.0%	40.0%	80.0%	52.0%	20.0%	4.0%	0.0%
	学術・文化・芸術又はスポーツの振興	46件	8.7%	2.2%	13.0%	17.4%	32.6%	65.2%	52.2%	17.4%	2.2%	0.0%
	子どもの健全育成	35件	20.0%	5.7%	22.9%	25.7%	34.3%	60.0%	45.7%	20.0%	2.9%	0.0%
	その他	64件	4.7%	6.3%	15.6%	18.8%	40.6%	78.1%	65.6%	20.3%	3.1%	0.0%

## 2-2 活動の状況

問5 貴団体の活動は、おおよそどれくらいの頻度で行っていますか。(〇は1つ)

- ・「月3～5回」が31.5%と最も多く、次いで「月1～2回」が26.5%、「週2～4回」が12.5%、「週5～7回」が10.5%の順です。
- ・団体の種類別に割合をみると、「ボランティア団体」では、「月3～5回」(34.5%)、「月1～2回」(26.4%)が高く、「NPO法人」では「週5～7回」(62.5%)、「市民活動団体」では、「月3～5回」(40.0%)が高くなっています。

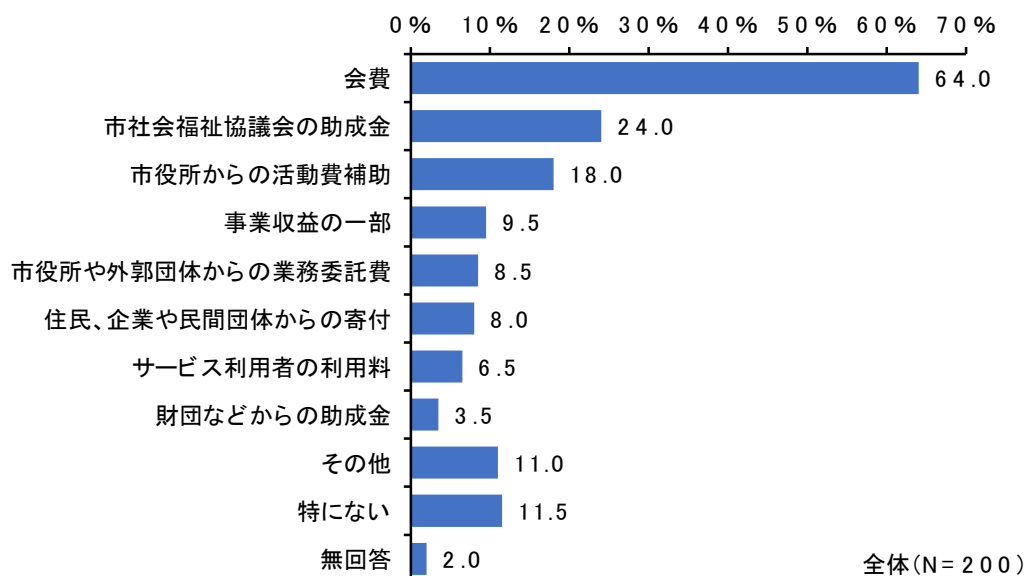


		合計	週5～7回	週2～4回	月3～5回	月1～2回	年6～11回	年1～5回	その他	無回答
全体		200件	10.5%	12.5%	31.5%	26.5%	8.5%	4.0%	5.5%	1.0%
種類の	ボランティア団体	110件	5.5%	12.7%	34.5%	26.4%	7.3%	3.6%	9.1%	0.9%
	NPO法人	16件	62.5%	0.0%	12.5%	18.8%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	市民活動団体	55件	3.6%	10.9%	40.0%	29.1%	12.7%	3.6%	0.0%	0.0%
	住民主体サービス実施団体	6件	33.3%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
活動分野	高齢者への支援	57件	14.0%	5.3%	42.1%	22.8%	7.0%	3.5%	5.3%	0.0%
	障がいのある人への支援	61件	14.8%	9.8%	39.3%	27.9%	6.6%	0.0%	1.6%	0.0%
	子育て支援、母子・父子福祉	25件	24.0%	8.0%	40.0%	16.0%	4.0%	4.0%	4.0%	0.0%
	まちづくりの推進	25件	28.0%	4.0%	36.0%	24.0%	4.0%	4.0%	0.0%	0.0%
	学術・文化・芸術又はスポーツの振興	46件	4.3%	17.4%	30.4%	21.7%	15.2%	6.5%	4.3%	0.0%
	子どもの健全育成	35件	14.3%	11.4%	37.1%	17.1%	8.6%	2.9%	8.6%	0.0%
	その他	64件	15.6%	10.9%	31.3%	25.0%	10.9%	1.6%	3.1%	1.6%



問6 貴団体の基本的な活動資金について教えてください。(〇はいくつでも)

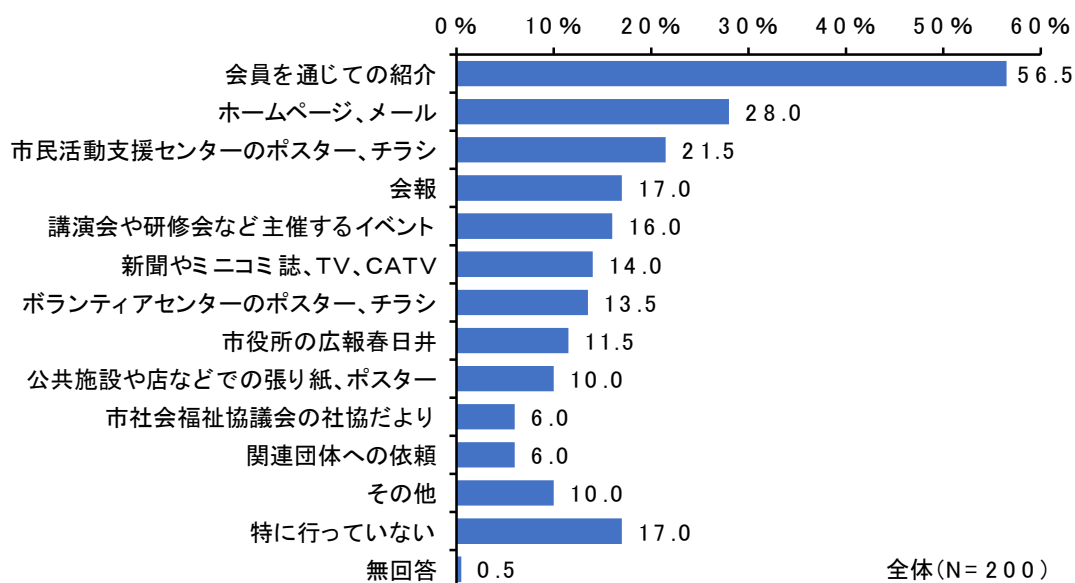
- ・「会費」が64.0%と最も多く、次いで「市社会福祉協議会の助成金」が24.0%、「市役所からの活動費補助」が18.0%の順です。一方、「特にない」が11.5%となっています。
- ・団体の種類別に割合をみると、それぞれ「会費」が最も高く、「ボランティア団体」では56.4%、「NPO法人」では75.0%、「市民活動団体」では78.2%となっています。
- ・「市社会福祉協議会の助成金」の割合は、「ボランティア団体」では38.2%、「NPO法人」では0.0%、「市民活動団体」では5.5%となっています。
- ・「NPO法人」では、「事業収益の一部」(62.5%)や、「住民、企業や民間団体からの寄付」(37.5%)の割合が高くなっています。



	合計	会費	事業収益の一部	市役所や外郭団体からの業務委託費	市役所からの活動費補助	市社会福祉協議会の助成金	財団などからの助成金	住民、企業や民間団体からの寄付	サービス利用者の利用料	その他	特にない	無回答	
全体	200件	64.0%	9.5%	8.5%	18.0%	24.0%	3.5%	8.0%	6.5%	11.0%	11.5%	2.0%	
団体の種類	ボランティア団体	110件	56.4%	2.7%	5.5%	6.4%	38.2%	1.8%	3.6%	0.9%	10.0%	17.3%	1.8%
	NPO法人	16件	75.0%	62.5%	31.3%	25.0%	0.0%	6.3%	37.5%	31.3%	12.5%	0.0%	0.0%
	市民活動団体	55件	78.2%	5.5%	9.1%	34.5%	5.5%	7.3%	3.6%	7.3%	9.1%	3.6%	0.0%
	住民主体サービス実施団体	6件	50.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%
構成人数	10人以下	49件	40.8%	2.0%	6.1%	2.0%	28.6%	2.0%	4.1%	2.0%	8.2%	28.6%	2.0%
	11人~20人	53件	64.2%	1.9%	5.7%	5.7%	34.0%	1.9%	3.8%	5.7%	9.4%	9.4%	1.9%
	21人~50人	38件	81.6%	18.4%	10.5%	18.4%	21.1%	2.6%	7.9%	10.5%	5.3%	5.3%	0.0%
	51人以上	38件	78.9%	18.4%	15.8%	44.7%	13.2%	10.5%	13.2%	5.3%	18.4%	0.0%	0.0%
活動年数	5年未満	27件	55.6%	7.4%	7.4%	14.8%	18.5%	7.4%	11.1%	7.4%	11.1%	14.8%	3.7%
	5年以上10年未満	30件	66.7%	10.0%	3.3%	20.0%	16.7%	13.3%	10.0%	13.3%	10.0%	20.0%	0.0%
	10年以上20年未満	59件	62.7%	8.5%	5.1%	8.5%	28.8%	1.7%	8.5%	6.8%	15.3%	10.2%	0.0%
	20年以上	82件	67.1%	11.0%	13.4%	25.6%	25.6%	0.0%	6.1%	3.7%	8.5%	8.5%	2.4%

問7 貴団体では、活動のPRや会員の募集などをどのような方法で行われていますか。(〇はいくつでも)

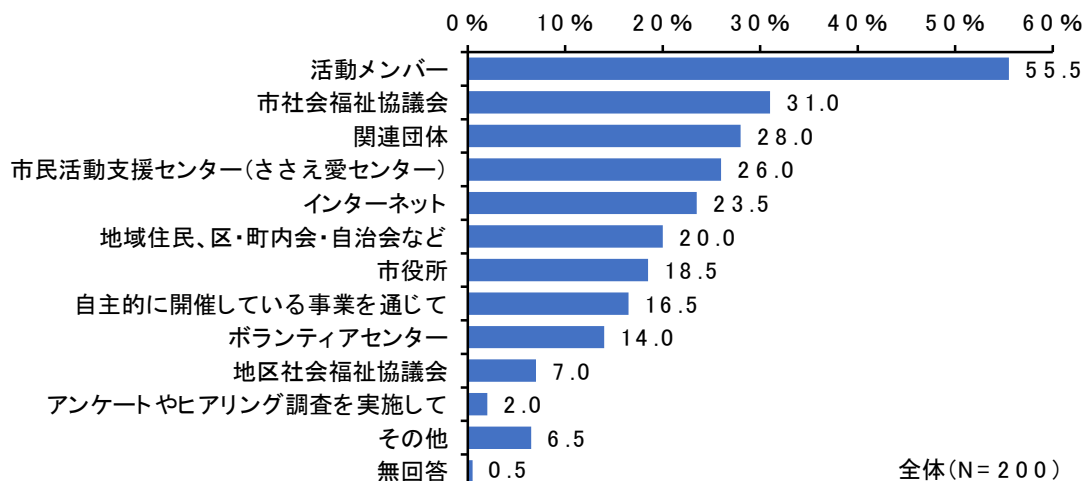
- ・「会員を通じての紹介」が56.5%と最も多く、次いで「ホームページ、メール」が28.0%、「市民活動支援センター（ささえ愛センター）のポスター、チラシ」が21.5%、「会報」が17.0%の順です。一方、「特に行っていない」が17.0%となっています。
- ・「会報」の割合は全体では17.0%で、「ボランティア団体」(5.5%)、「NPO法人」(43.8%)、「市民活動団体」(29.1%)と、団体の種別により違いがみられます。また、構成人数が多くなるほど割合が高くなっています。「会員を通じての紹介」「講演会や研修会など主催するイベント」「ホームページ・メール」「市役所の広報春日井」についても同様な傾向がみられます。



種別	構成人数	活動年数	方法													
			合計	会報	会員を通じての紹介	講演会や研修会など主催するイベント	ホームページ、メール	市役所の広報春日井	市社会福祉協議会の社協だより	市民活動支援センター（ささえ愛センター）のポスター、チラシ	ボランティアセンターのポスター、チラシ	公共施設や店などでの張り紙、ポスター	新聞やミニコミ誌、TV、CATV	関連団体への依頼	その他	特に行っていない
全体	200件		17.0%	56.5%	16.0%	28.0%	11.5%	6.0%	21.5%	13.5%	10.0%	14.0%	6.0%	10.0%	17.0%	0.5%
団体の種類	ボランティア団体	110件	5.5%	50.0%	9.1%	12.7%	4.5%	9.1%	19.1%	21.8%	4.5%	10.0%	2.7%	10.0%	25.5%	0.9%
	NPO法人	16件	43.8%	50.0%	37.5%	62.5%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	18.8%	18.8%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%
	市民活動団体	55件	29.1%	74.5%	23.6%	43.6%	21.8%	0.0%	32.7%	0.0%	12.7%	18.2%	10.9%	5.5%	9.1%	0.0%
	住民主体サービス実施団体	6件	16.7%	83.3%	0.0%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
構成人数	10人以下	49件	4.1%	32.7%	4.1%	14.3%	4.1%	8.2%	8.2%	14.3%	10.2%	8.2%	4.1%	10.2%	34.7%	0.0%
	11人～20人	53件	7.5%	58.5%	7.5%	9.4%	7.5%	5.7%	28.3%	18.9%	3.8%	7.5%	3.8%	9.4%	22.6%	0.0%
	21人～50人	38件	13.2%	71.1%	23.7%	44.7%	13.2%	5.3%	34.2%	13.2%	5.3%	10.5%	5.3%	7.9%	5.3%	2.6%
	51人以上	38件	44.7%	73.7%	34.2%	50.0%	18.4%	2.6%	26.3%	5.3%	15.8%	26.3%	13.2%	7.9%	2.6%	0.0%
活動年数	5年未満	27件	11.1%	37.0%	7.4%	40.7%	11.1%	11.1%	14.8%	11.1%	3.7%	18.5%	3.7%	22.2%	14.8%	0.0%
	5年以上10年未満	30件	10.0%	46.7%	20.0%	20.0%	10.0%	3.3%	10.0%	6.7%	10.0%	16.7%	16.7%	6.7%	26.7%	0.0%
	10年以上20年未満	59件	11.9%	59.3%	8.5%	18.6%	8.5%	6.8%	25.4%	11.9%	8.5%	6.8%	0.0%	8.5%	20.3%	0.0%
	20年以上	82件	23.2%	63.4%	22.0%	32.9%	13.4%	4.9%	25.6%	15.9%	12.2%	17.1%	7.3%	8.5%	12.2%	1.2%

問8 貴団体では、地域活動に必要な情報をどのように（どこから）把握していますか。（〇は

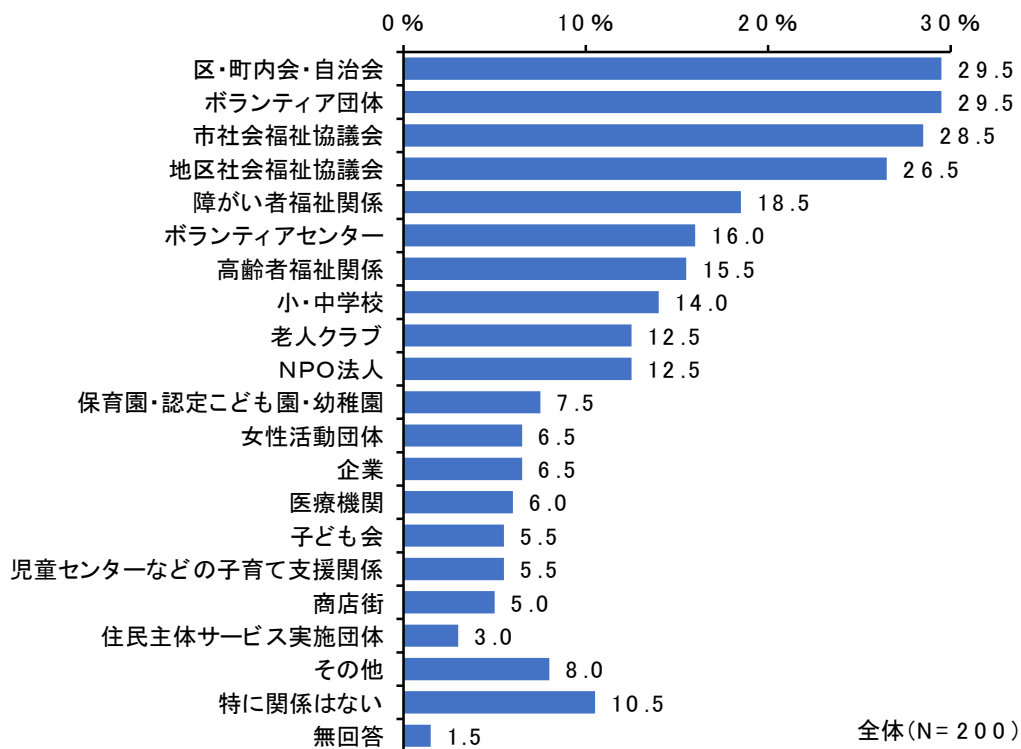
- ・「活動メンバー」が55.5%と最も多く、次いで「市社会福祉協議会」が31.0%、「関連団体」が28.0%、「市民活動支援センター（ささえ愛センター）」が26.0%の順です。
- ・団体の種類別に割合をみると、「活動メンバー」の割合は50.0～67.3%といずれの団体も最も高くなっています。「市社会福祉協議会」の割合は、「ボランティア団体」（45.5%）で高く、「NPO法人」（6.3%）と「市民活動団体」（10.9%）では低い割合です。



	合計	活動メンバー	インターネット	関連団体	アンケートやヒアリング調査を実施して	自主的に開催している事業を通じて	地域住民、区・町内会・自治会など	市役所	市民活動支援センター(ささえ愛センター)	市社会福祉協議会	地区社会福祉協議会	ボランティアセンター	その他	無回答	
全体	200件	55.5%	23.5%	28.0%	2.0%	16.5%	20.0%	18.5%	26.0%	31.0%	7.0%	14.0%	6.5%	0.5%	
団体の種類	ボランティア団体	110件	50.0%	15.5%	22.7%	0.9%	4.5%	14.5%	14.5%	23.6%	45.5%	6.4%	23.6%	6.4%	0.9%
	NPO法人	16件	50.0%	37.5%	50.0%	0.0%	43.8%	25.0%	43.8%	37.5%	6.3%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	市民活動団体	55件	67.3%	38.2%	36.4%	3.6%	25.5%	27.3%	18.2%	34.5%	10.9%	9.1%	0.0%	5.5%	0.0%
	住民主体サービス実施団体	6件	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	33.3%	0.0%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
構成人数	10人以下	49件	49.0%	20.4%	20.4%	0.0%	6.1%	18.4%	12.2%	22.4%	36.7%	10.2%	28.6%	8.2%	0.0%
	11人～20人	53件	45.3%	15.1%	22.6%	1.9%	3.8%	18.9%	13.2%	30.2%	45.3%	5.7%	15.1%	1.9%	1.9%
	21人～50人	38件	71.1%	21.1%	34.2%	0.0%	21.1%	13.2%	26.3%	31.6%	18.4%	2.6%	5.3%	5.3%	0.0%
	51人以上	38件	60.5%	44.7%	47.4%	5.3%	34.2%	26.3%	26.3%	31.6%	18.4%	10.5%	2.6%	2.6%	0.0%
活動年数	5年未満	27件	59.3%	29.6%	25.9%	3.7%	22.2%	25.9%	22.2%	29.6%	25.9%	11.1%	3.7%	7.4%	0.0%
	5年以上10年未満	30件	56.7%	13.3%	30.0%	0.0%	10.0%	20.0%	13.3%	20.0%	46.7%	0.0%	26.7%	10.0%	0.0%
	10年以上20年未満	59件	55.9%	23.7%	20.3%	0.0%	11.9%	18.6%	11.9%	32.2%	28.8%	6.8%	15.3%	5.1%	0.0%
	20年以上	82件	53.7%	24.4%	32.9%	3.7%	19.5%	19.5%	24.4%	23.2%	28.0%	8.5%	12.2%	6.1%	1.2%

問9 貴団体では、他のグループ・団体や公共機関などと交流や協力関係がありますか。(〇はいくつでも)

- ・「区・町内会・自治会」と「ボランティア団体」がともに29.5%、「市社会福祉協議会」が28.5%、「地区社会福祉協議会」が26.5%の順です。
- ・「区・町内会・自治会」の割合を団体の種類別にみると、「ボランティア団体」では23.6%、「NPO法人」では37.5%、「市民活動団体」では34.5%となっています。

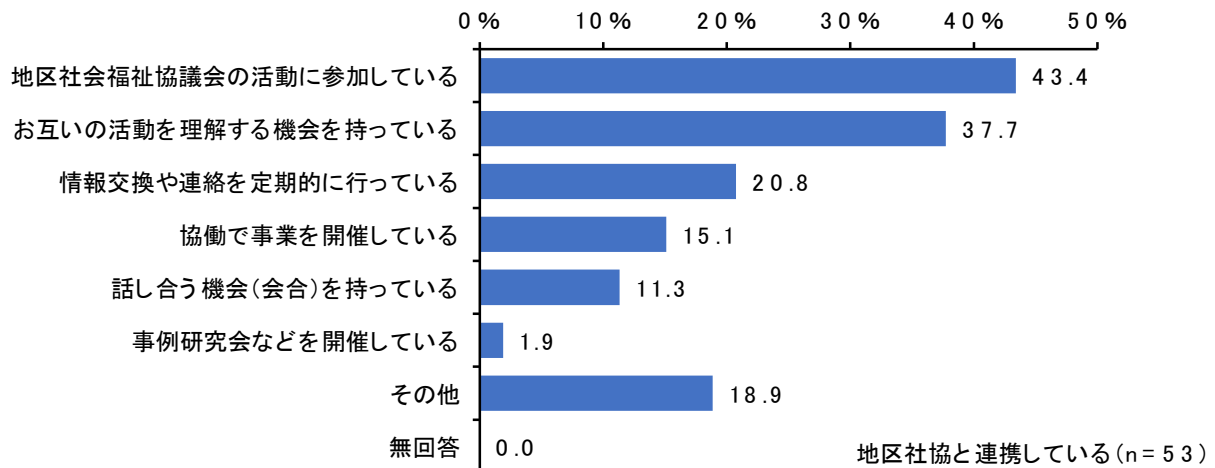


単位: %

団体種類	合計	区・町内会・自治会	老人クラブ	女性活動団体	子ども会	ボランティア団体	NPO法人	商店街	企業	高齢者福祉関係	障がい者福祉関係	児童センターなどの子育て支援関係	保育園・認定こども園・幼稚園	小・中学校	医療機関	ボランティアセンター	市社会福祉協議会	地区社会福祉協議会	住民主体サービス実施団体	その他	特に関係はない	無回答	
		全体	200件	29.5	12.5	6.5	5.5	29.5	12.5	5.0	6.5	15.5	18.5	5.5	7.5	14.0	6.0	16.0	28.5	26.5	3.0	8.0	10.5
団体の種類	ボランティア団体	110件	23.6	10.9	0.9	7.3	39.1	8.2	1.8	4.5	16.4	19.1	6.4	5.5	12.7	5.5	25.5	37.3	29.1	0.0	4.5	10.0	0.0
	NPO法人	16件	37.5	6.3	25.0	0.0	43.8	56.3	12.5	31.3	18.8	56.3	12.5	18.8	31.3	12.5	43.8	31.3	18.8	6.3	6.3	0.0	0.0
	市民活動団体	55件	34.5	14.5	12.7	3.6	7.3	9.1	7.3	3.6	9.1	7.3	3.6	7.3	12.7	1.8	3.6	7.3	12.7	1.8	14.5	10.9	5.5
	住民主体サービス実施団体	6件	66.7	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	16.7	0.0
活動分野	高齢者への支援	57件	33.3	21.1	10.5	12.3	22.8	10.5	7.0	7.0	29.8	24.6	7.0	7.0	10.5	5.3	36.8	45.6	29.8	3.5	1.8	12.3	0.0
	障がいのある人への支援	61件	26.2	11.5	9.8	9.8	37.7	16.4	6.6	6.6	18.0	44.3	9.8	13.1	16.4	9.8	27.9	42.6	26.2	3.3	4.9	9.8	0.0
	子育て支援、母子・父子福祉	25件	36.0	20.0	12.0	20.0	36.0	24.0	8.0	12.0	28.0	32.0	36.0	32.0	20.0	12.0	32.0	40.0	32.0	0.0	16.0	0.0	0.0
	まちづくりの推進	25件	44.0	20.0	28.0	8.0	32.0	32.0	16.0	32.0	28.0	24.0	12.0	20.0	32.0	16.0	16.0	24.0	20.0	12.0	12.0	4.0	0.0
	学術・文化・芸術又はスポーツの振興	46件	28.3	21.7	4.3	8.7	21.7	6.5	8.7	10.9	19.6	10.9	4.3	8.7	10.9	8.7	13.0	19.6	17.4	0.0	10.9	19.6	4.3
活動年数	子どもの健全育成	35件	42.9	17.1	8.6	20.0	31.4	17.1	11.4	14.3	20.0	25.7	17.1	22.9	31.4	8.6	17.1	22.9	31.4	0.0	5.7	2.9	2.9
	その他	64件	37.5	18.8	14.1	9.4	43.8	23.4	6.3	9.4	12.5	20.3	3.1	9.4	18.8	9.4	17.2	25.0	21.9	6.3	9.4	3.1	1.6
	5年未満	27件	40.7	11.1	0.0	7.4	33.3	18.5	7.4	3.7	22.2	14.8	7.4	14.8	7.4	7.4	14.8	18.5	29.6	0.0	3.7	11.1	0.0
	5年以上10年未満	30件	33.3	6.7	13.3	3.3	26.7	20.0	3.3	10.0	16.7	20.0	3.3	0.0	6.7	10.0	26.7	33.3	23.3	6.7	3.3	10.0	0.0
活動年数	10年以上20年未満	59件	25.4	15.3	5.1	3.4	27.1	11.9	5.1	10.2	13.6	16.9	8.5	5.1	10.2	6.8	11.9	30.5	32.2	1.7	10.2	8.5	1.7
	20年以上	82件	28.0	13.4	7.3	7.3	31.7	8.5	3.7	3.7	14.6	20.7	3.7	9.8	22.0	3.7	15.9	28.0	23.2	3.7	8.5	12.2	2.4

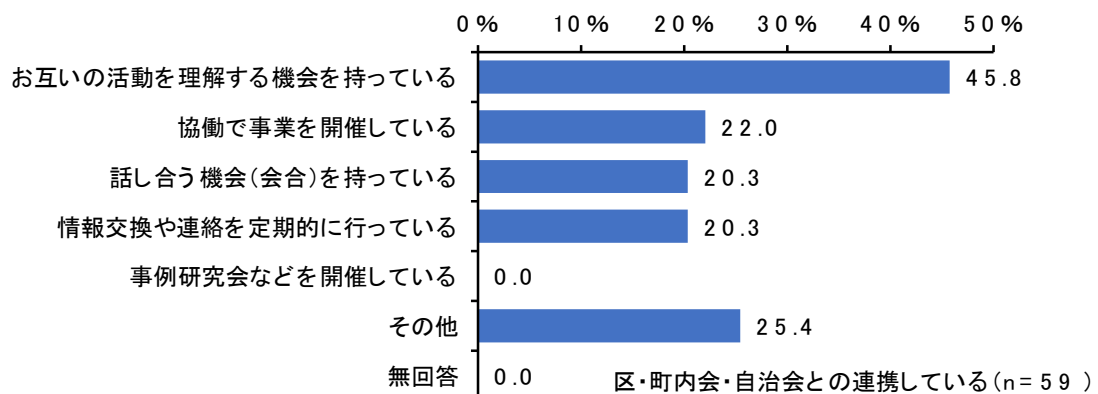
(1) 活動するうえで、地区社会福祉協議会とどのような連携をしていますか。(〇はいくつでも)

・「地区社会福祉協議会の活動に参加している」が43.4%と最も多く、次いで「お互いの活動を理解する機会を持っている」が37.7%、「情報交換や連絡を定期的に行っている」が20.8%、の順です。



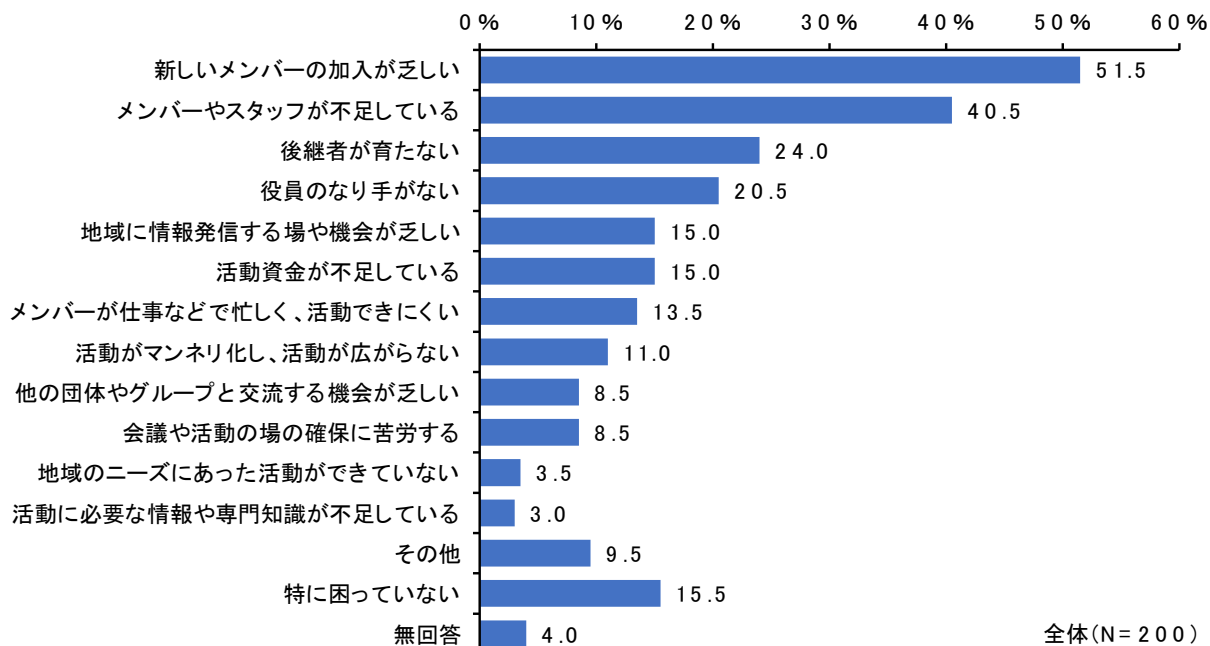
(2) 活動するうえで、区・町内会・自治会とどのような連携をしていますか。(〇はいくつでも)

・「お互いの活動を理解する機会を持っている」が45.8%と最も多く、「協働で事業を開催している」が22.0%、「話し合う機会(会合)を持っている」「情報交換や連絡を定期的に行っている」がそれぞれ20.3%の順です。



問 10 貴団体の活動を行ううえで、困っていることは何ですか。(〇はいくつでも)

- ・「新しいメンバーの加入が乏しい」が51.5%と最も多く、次いで「メンバーやスタッフが不足している（高齢化、世代や男女の偏り）」が40.5%、「後継者が育たない」が24.0%、「役員のみなり手がなくない」が20.5%の順です。
- ・団体の種類別に割合をみると、「ボランティア団体」と「市民活動団体」では「新しいメンバーの加入が乏しい」が高く、「NPO法人」では「メンバーやスタッフが不足している（高齢化、世代や男女の偏り）」が高くなっています。



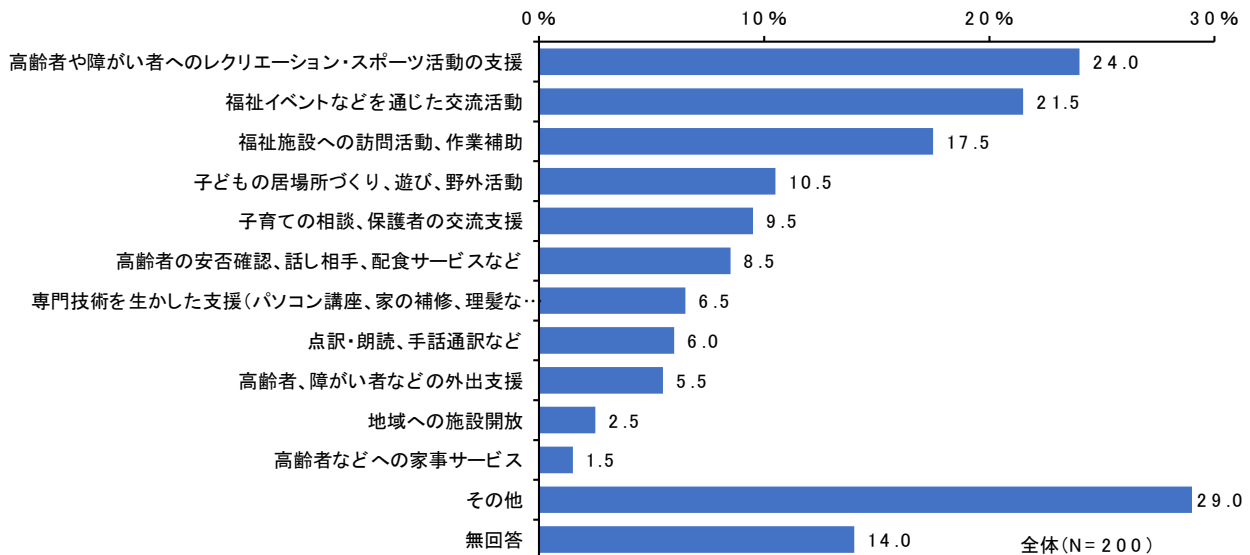
	合計	ない	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い
		活動がマンネリ化し、活動が広がらない	地域のニーズにあった活動ができていない	地域に情報発信する場や機会が乏しい	(高齢化、世代や男女の偏り)メンバーやスタッフが不足している	新しいメンバーの加入が乏しい	メンバーが仕事などで忙しく、活動できにくい	後継者が育たない	役員のみなり手がなくない	他の団体やグループと交流する機会が乏しい	会議や活動の場の確保に苦勞する	活動に必要な情報や専門知識が不足している	活動資金が不足している	その他	特に困っていない	無回答		
全体	200件	11.0%	3.5%	15.0%	40.5%	51.5%	13.5%	24.0%	20.5%	8.5%	8.5%	3.0%	15.0%	9.5%	15.5%	4.0%		
団体の種類	ボランティア団体	110件	4.5%	0.9%	10.0%	36.4%	46.4%	11.8%	21.8%	14.5%	7.3%	9.1%	11.8%	9.1%	20.9%	2.7%		
	NPO法人	16件	18.8%	18.8%	18.8%	56.3%	37.5%	25.0%	18.8%	25.0%	6.3%	12.5%	50.0%	18.8%	6.3%	6.3%		
	市民活動団体	55件	21.8%	5.5%	25.5%	41.8%	65.5%	14.5%	34.5%	34.5%	9.1%	7.3%	9.1%	12.7%	3.6%	9.1%	1.8%	
	住民主体サービス実施団体	6件	16.7%	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	
構成人数	10人以下	49件	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	26.5%	14.3%	18.4%	4.1%	8.2%	8.2%	4.1%	12.2%	18.4%	24.5%	2.0%	
	11人~20人	53件	5.7%	1.9%	9.4%	39.6%	58.5%	11.3%	22.6%	20.8%	9.4%	9.4%	3.8%	9.4%	1.9%	18.9%	1.9%	
	21人~50人	38件	23.7%	7.9%	13.2%	50.0%	57.9%	10.5%	21.1%	21.1%	5.3%	10.5%	0.0%	15.8%	5.3%	13.2%	2.6%	
	51人以上	38件	18.4%	5.3%	26.3%	42.1%	68.4%	18.4%	42.1%	44.7%	5.3%	2.6%	28.9%	2.6%	5.3%	2.6%		
活動年数	5年未満	27件	7.4%	0.0%	25.9%	40.7%	33.3%	14.8%	14.8%	22.2%	22.2%	18.5%	7.4%	25.9%	11.1%	7.4%	3.7%	
	5年以上10年未満	30件	3.3%	6.7%	23.3%	40.0%	36.7%	13.3%	20.0%	10.0%	6.7%	13.3%	6.7%	20.0%	10.0%	16.7%	0.0%	
	10年以上20年未満	59件	13.6%	6.8%	11.9%	30.5%	47.5%	10.2%	23.7%	16.9%	6.8%	6.8%	0.0%	13.6%	13.6%	22.0%	5.1%	
	20年以上	82件	13.4%	1.2%	11.0%	48.8%	67.1%	15.9%	29.3%	26.8%	6.1%	4.9%	2.4%	11.0%	4.9%	13.4%	3.7%	

## 2-3 地域福祉活動について

問 11 現在、貴団体ではどのような地域活動を行っていますか。また、現在は行っていませんが、近い将来（3年以内）に新たに取り組める活動はありますか。

### ①現在行っている活動

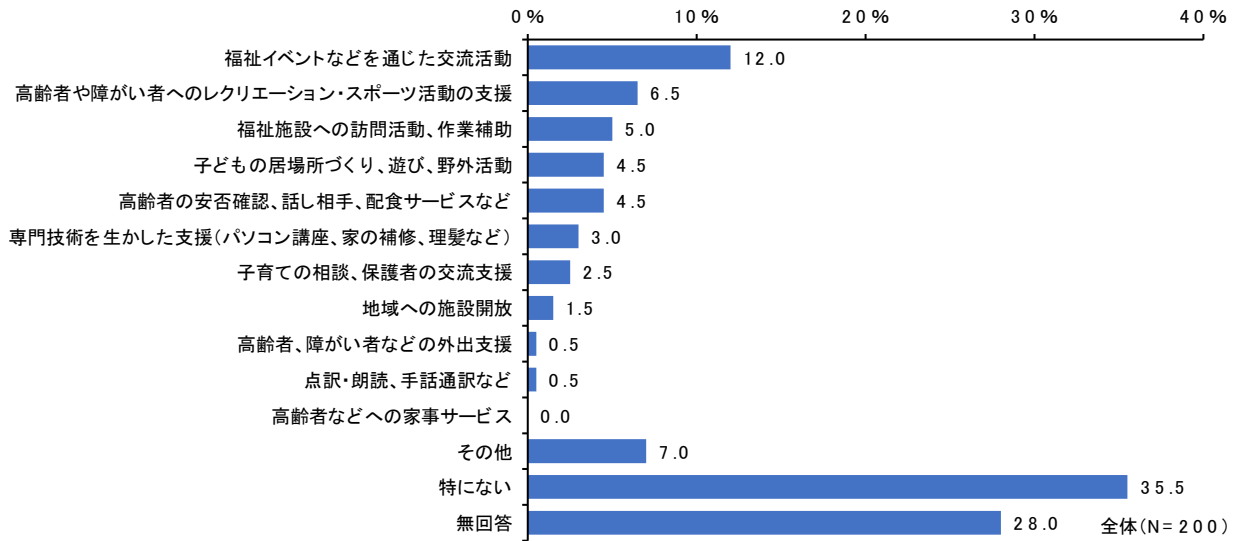
- ・現在行っている活動は、「高齢者や障がい者へのレクリエーション・スポーツ活動の支援」が24.0%と最も多く、次いで「福祉イベントなどを通じた交流活動」が21.5%、「福祉施設への訪問活動、作業補助」が17.5%、「子どもの居場所づくり、遊び、野外活動」が10.5%の順です。
- ・団体の種類別に割合をみると、「ボランティア団体」では、「高齢者や障がい者へのレクリエーション・スポーツ活動の支援」（28.2%）、「福祉施設への訪問活動、作業補助」（25.5%）、「福祉イベントなどを通じた交流活動」（23.6%）が高く、「NPO法人」では、「福祉イベントなどを通じた交流活動」（43.8%）、「子育て相談、保護者の交流支援」（37.5%）が高くなっています。また、「市民活動団体」では、各分野に分かれています。



種類	構成人数	活動年数	合計	子育ての相談、保護者	子どもの居場所づくり、遊び、野外活動	高齢者や障がい者への安否確認、話し相手、配食サービスなど	高齢者などへの家事サービス	高齢者、障がい者などの外出支援	ポレクリエーション活動の支援	高齢者や障がい者へのレクリエーション・スポーツ活動の支援	点訳・朗読、手話通訳など	福祉施設への訪問活動、作業補助	福祉イベントなどを通じた交流活動	福祉施設への訪問活動、作業補助	専門技術を生かした支援(パソコン講座、家の補修、理髪など)	地域への施設開放	その他	無回答
				9.5%	10.5%	8.5%	1.5%	5.5%	24.0%	6.0%	17.5%	21.5%	6.5%	2.5%	29.0%	14.0%		
全体	200件			9.5%	10.5%	8.5%	1.5%	5.5%	24.0%	6.0%	17.5%	21.5%	6.5%	2.5%	29.0%	14.0%		
団体の種類	ボランティア団体	110件	5.5%	7.3%	5.5%	0.0%	5.5%	28.2%	10.0%	25.5%	23.6%	6.4%	0.0%	27.3%	8.2%			
	NPO法人	16件	37.5%	25.0%	12.5%	12.5%	18.8%	0.0%	12.5%	43.8%	25.0%	18.8%	31.3%	0.0%				
	市民活動団体	55件	12.7%	12.7%	5.5%	1.8%	3.6%	10.9%	1.8%	7.3%	10.9%	3.6%	3.6%	32.7%	25.5%			
	住民主体サービス実施団体	6件	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%	50.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%			
構成人数	10人以下	49件	10.2%	6.1%	6.1%	0.0%	4.1%	30.6%	6.1%	26.5%	20.4%	8.2%	0.0%	28.6%	12.2%			
	11人~20人	53件	9.4%	11.3%	3.8%	0.0%	5.7%	20.8%	7.5%	24.5%	11.3%	5.7%	0.0%	30.2%	7.5%			
	21人~50人	38件	13.2%	13.2%	7.9%	5.3%	5.3%	18.4%	7.9%	10.5%	26.3%	7.9%	2.6%	28.9%	10.5%			
	51人以上	38件	10.5%	13.2%	13.2%	2.6%	7.9%	18.4%	5.3%	10.5%	31.6%	7.9%	10.5%	28.9%	18.4%			
活動年数	5年未満	27件	14.8%	14.8%	18.5%	0.0%	7.4%	25.9%	3.7%	14.8%	37.0%	11.1%	0.0%	37.0%	0.0%			
	5年以上10年未満	30件	13.3%	6.7%	10.0%	6.7%	10.0%	23.3%	0.0%	20.0%	16.7%	13.3%	3.3%	40.0%	13.3%			
	10年以上20年未満	59件	10.2%	10.2%	6.8%	0.0%	6.8%	28.8%	3.4%	16.9%	16.9%	8.5%	3.4%	33.9%	8.5%			
	20年以上	82件	6.1%	11.0%	6.1%	1.2%	2.4%	19.5%	11.0%	18.3%	22.0%	1.2%	2.4%	19.5%	22.0%			

## ②新たに取り組みたい活動

- ・新たに取り組みたい活動は、「福祉イベントなどを通じた交流活動」が12.0%と最も高く、次いで「高齢者や障がい者へのレクリエーション・スポーツ活動の支援」が6.5%、「福祉施設への訪問活動、作業補助」が5.0%の順です。
- ・団体の種別にみると、いずれの団体も「福祉イベントなどを通じた交流活動」が高くなっています。
- ・「特にない」は全体で35.5%です。



	合計	子育ての相談、保護者の交流支援	子どもの居場所づくり、遊び、野外活動	高齢者の安否確認、話し相手、配食サービスなど	高齢者などへの家事サービス	高齢者、障がい者などの外出支援	高齢者や障がい者へのレクリエーション・スポーツ活動の支援	点訳・朗読、手話通訳など	福祉施設への訪問活動、作業補助	福祉イベントなどを通じた交流活動	講座、家の補修、理髪など(パソコン)	地域への施設開放	その他	特にない	無回答	
全体	200件	2.5%	4.5%	4.5%	0.0%	0.5%	6.5%	0.5%	5.0%	12.0%	3.0%	1.5%	7.0%	35.5%	28.0%	
団体の種類	ボランティア団体	110件	2.7%	5.5%	2.7%	0.0%	0.0%	5.5%	0.9%	6.4%	10.9%	1.8%	0.9%	6.4%	37.3%	28.2%
	NPO法人	16件	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	6.3%	12.5%	0.0%	6.3%	18.8%	12.5%	12.5%	12.5%	37.5%	6.3%
	市民活動団体	55件	1.8%	5.5%	3.6%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	1.8%	10.9%	3.6%	0.0%	7.3%	34.5%	32.7%
	住民主体サービス実施団体	6件	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
構成人数	10人以下	49件	2.0%	8.2%	4.1%	0.0%	0.0%	8.2%	0.0%	8.2%	18.4%	4.1%	0.0%	6.1%	32.7%	28.6%
	11人~20人	53件	3.8%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	7.5%	5.7%	3.8%	1.9%	5.7%	39.6%	32.1%
	21人~50人	38件	0.0%	7.9%	2.6%	0.0%	0.0%	10.5%	0.0%	0.0%	18.4%	5.3%	5.3%	10.5%	34.2%	21.1%
	51人以上	38件	2.6%	2.6%	7.9%	0.0%	2.6%	7.9%	2.6%	2.6%	5.3%	0.0%	0.0%	7.9%	39.5%	23.7%
活動年数	5年未満	27件	7.4%	7.4%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	7.4%	11.1%	7.4%	0.0%	14.8%	29.6%	11.1%
	5年以上10年未満	30件	0.0%	3.3%	3.3%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	10.0%	13.3%	6.7%	3.3%	10.0%	23.3%	36.7%
	10年以上20年未満	59件	1.7%	3.4%	3.4%	0.0%	1.7%	3.4%	1.7%	3.4%	11.9%	1.7%	0.0%	3.4%	45.8%	23.7%
	20年以上	82件	2.4%	4.9%	3.7%	0.0%	0.0%	7.3%	0.0%	3.7%	11.0%	1.2%	2.4%	6.1%	35.4%	32.9%



(1) 新たな地域福祉活動に取り組むために、市や社会福祉協議会に対してどのようなことを期待しますか。具体的にお書きください。

「他の団体、地域との連携」「活動場所」「担い手、会の運営」「啓発、地域の理解」などに関する54件の意見がありました。

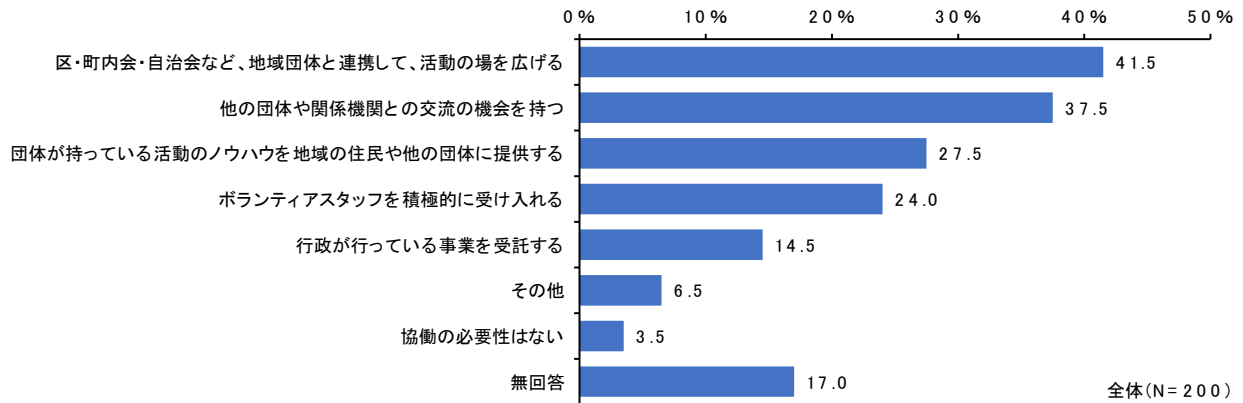
### 【主な意見】

- ・市民活動団体に共通する悩みは人・場・金（活動資金）です。この3点についての行政の支援を期待しています。
- ・ボランティア団体同士の橋渡しをお願いできるとありがたいです。他の団体との情報、一緒に活動できるなど、社協のネットワークに期待したいです。
- ・地域のネットワークの核となる存在でいてほしい。その為の地域の情報を一元化して、発信する方へ力を入れていただけると、社会活動、市民活動など、生涯学習に力を入れるきっかけになると思います。
- ・「住民主体サービス事業」が生まれ、活動を始めているが、将来、こうした団体と交流や活動が出来てくれば良いと考える。
- ・市内学校、町内会、子ども会、病院などとのパイプ役。
- ・色々な場所（市役所、病院、市の施設など）で、活動内容を披露したり、講習会等を開催できると良い。
- ・以前は社協などから助成金を受けていました。各種書類作成・提出が負担となり、今は会費のみで運営しています。会員の高齢化もあり、助成金に関わる書類の簡略化、PCでの作成援助などあると良いと思う。
- ・ボランティア活動に対する理解を深めるよう、お願いしたい。可能でありましたら、長期計画の中でボランティア活動の価値意識を高めるようお願いしたい。
- ・ボランティア活動に参加している者の多くは、60～70代が中心で、仕事や子育ては一段落しているものの、家族の介護に追われ、自分の時間もあまりないという方も多く、役員を引き受ける人がいないため、会の運営に支障が出ています。市や社会福祉協議会は、このような状況についての問題を認識し、どうすれば社会に貢献したいと思う人達の思いを生かすことが出来るのか、考えてほしいと思います。
- ・地域福祉活動を活動者側からでなく、その活動を享受する側のニーズを細かく組み上げる事が出来る社協であってほしい。
- ・地域懇談会に参加しました。中学校区の町内会、老人会、地区社協、民生委員等の参加があり、各々の立場からの発言がありました。感想として、障がい者のことはあまり理解されてないと思いました。障がいのある人の生活課題と共通していることも多いと思います。今後も地域懇談会等の場に障がい者も参加しできたらよいと思います。

## 2-4 地域福祉全般について

問 12 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくりを進めるためには、様々な主体（住民・事業者・ボランティア・NPO団体・行政など）が協働していくことが求められていますが、貴団体の取組として、今後どのようなことが必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

- ・「区・町内会・自治会など、地域団体と連携して、活動の場を広げる」が41.5%と最も多く、次いで「他の団体や関係機関との交流の機会を持つ」が37.5%、「団体が持っている活動のノウハウを地域の住民や他の団体に提供する」が27.5%、「ボランティアスタッフを積極的に受け入れる」が24.0%の順です。
- ・団体の種類別に割合をみると、「ボランティア団体」では「区・町内会・自治会など、地域団体と連携して、活動の場を広げる」（39.1%）が高く、「NPO法人」と「市民活動団体」では、「他の団体や関係機関との交流の機会を持つ」が最も高くなっています。



種類	団体の	活動分野	合計	区・町内会・自治会など、活動の場を広げる	団体が持っている活動のノウハウを地域の住民や他の団体に提供する	行政が行っている事業を受託する	他の団体や関係機関との交流の機会を持つ	ボランティアスタッフを積極的に受け入れる	その他	協働の必要性はない	無回答
				割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)	割合 (%)
全体			200件	41.5%	27.5%	14.5%	37.5%	24.0%	6.5%	3.5%	17.0%
団体の種類	ボランティア団体		110件	39.1%	23.6%	10.9%	31.8%	30.9%	9.1%	2.7%	17.3%
	NPO法人		16件	50.0%	31.3%	43.8%	56.3%	25.0%	6.3%	0.0%	12.5%
	市民活動団体		55件	43.6%	30.9%	10.9%	45.5%	9.1%	3.6%	5.5%	14.5%
	住民主体サービス実施団体		6件	66.7%	16.7%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%
活動分野	高齢者への支援		57件	43.9%	29.8%	17.5%	42.1%	28.1%	5.3%	3.5%	15.8%
	障がいのある人への支援		61件	41.0%	26.2%	19.7%	44.3%	31.1%	8.2%	0.0%	9.8%
	子育て支援、母子・父子福祉		25件	28.0%	28.0%	24.0%	44.0%	28.0%	8.0%	0.0%	12.0%
	まちづくりの推進		25件	60.0%	36.0%	32.0%	48.0%	32.0%	12.0%	0.0%	12.0%
	学術・文化・芸術又はスポーツの振興		46件	37.0%	28.3%	10.9%	39.1%	6.5%	2.2%	8.7%	23.9%
	子どもの健全育成		35件	42.9%	31.4%	17.1%	31.4%	17.1%	5.7%	0.0%	17.1%
その他		64件	54.7%	35.9%	25.0%	45.3%	21.9%	9.4%	1.6%	9.4%	

※活動分野は20件以上（6分野）を表示

## 2-5 自由意見

問 13 誰もが安心して暮らせる地域づくりについて、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

「若年層の参加」「地域、他団体との交流」「情報発信」「移動手段」「障害のある人と地域の関わり」「活動資金」などに関する 67 件の意見がありました。

### 【主な意見】

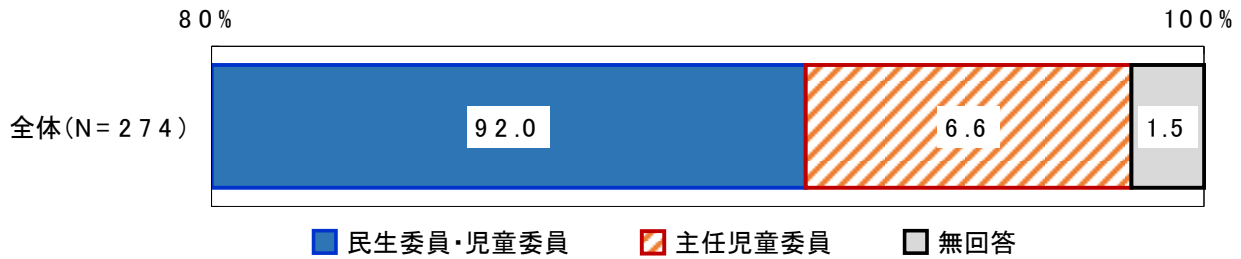
- ・まちづくりの様々な分野で活動していて「次世代の（活躍する）まちづくり」にするために、若い人を巻き込んで発信できるしかけづくりが必要かと思います。
- ・地域コミュニケーションの活発化を目指して活動に取り組んでいるが、高齢者が大半。若者と交流する場がなかなかできない。若者に受け入れられる活動が運営主体のメンバーではいいアイデアが浮かばないので、ヒントがあれば助かる。
- ・既存の団体では概して少子化、高齢化、後継者不足が常に語られ、行きつくところ議論がストップするケースが多いのではないかと、そこで地域の住民である若者、非団体者とも語り合うことで新しい切り口からの展開があるものと期待する。
- ・メンバーが高齢になり、身体的にきつくなり、若いメンバーを探していますが、仕事を持っている人が多く、なかなかみつかりません。
- ・我々の団体の場合は、小学校との連携が必要です。参加チームの代表が小学校と色々と打ち合わせしていますが、もっとこの連携を密にできたらよいと思います。また、地区の他団体との交流の場を設定していただけるとよいと思います。
- ・助け合いや交流の場ができるだけ近い所にあるとよい。または、そういう場（仲間づくり）の手助けをしてほしい。
- ・行政と市民の協働のあり方を福祉の視点から見直す検討会。例えば行政の情報発信レベルは高いが受信側の市民がその活用方法がわからない。
- ・地域の活動を紹介する場として、どういうふうに参加、出展できますか。
- ・ハートフルパーキング事業を、みんなに伝えました。地域力が高まるといいですね。
- ・ボランティアの高齢化などで、移動の手段がないことがあるので、有償でもよいので、ボランティアによる送迎サービスで、予約できるシステムとかあったらよい。
- ・公共交通機関の充実が必要。かすがいシティバスの時間延長などを期待します。
- ・障がい者を抱えている家庭は校区外の学校へ通学したり、子供会へ参加できなかつたり、の延長でそのまま地域との関わりが少ない人が多くいます。
- ・障がい者が疑われる方（いわゆるボーダー）の居場所がないと思わます。
- ・社会的弱者に対し、援助・支援する団体等が多くありますが、まだまだ支援される側のニーズに充分答えているとは思わない。
- ・地域活動団体に対する補助金・助成金の増額を含む見直しと、配分の見直し。

# 第3章 民生委員・児童委員、主任児童委員調査

## 3-1 委員活動の状況

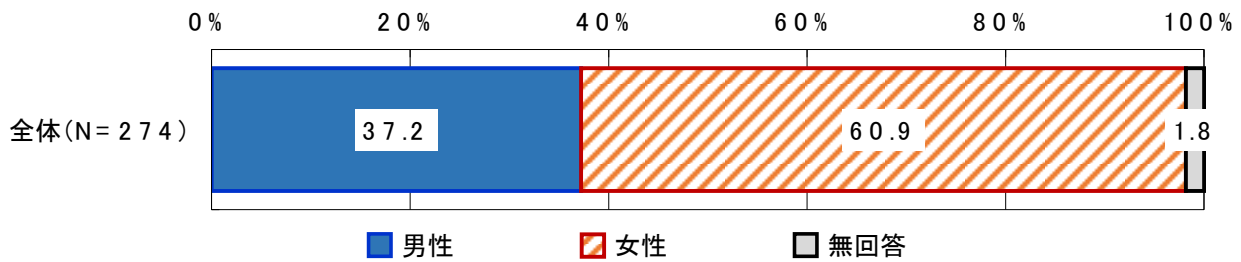
問1 あなたは次のどちらですか。(○は1つ)

・回答者の割合は、「民生委員・児童委員」が92.0%、「主任児童委員」が6.6%です。



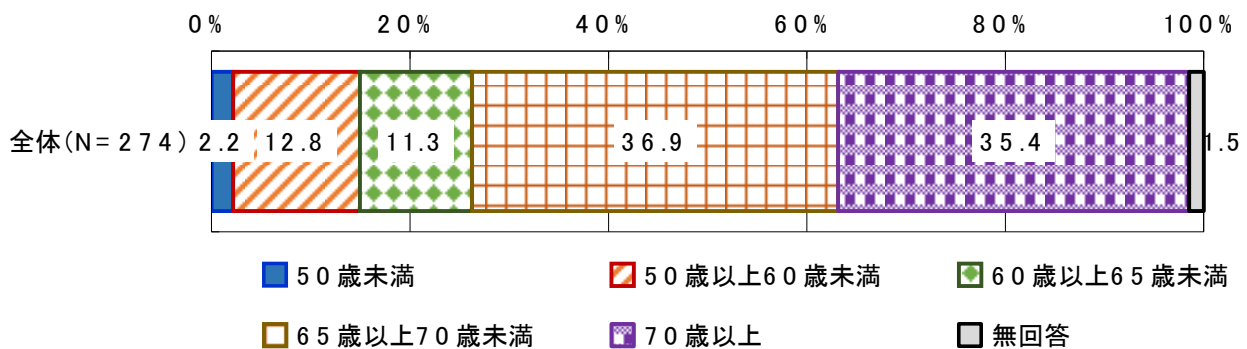
問2 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

・「女性」が60.9%、「男性」が37.2%です。なお、「主任児童委員」は全員女性です。



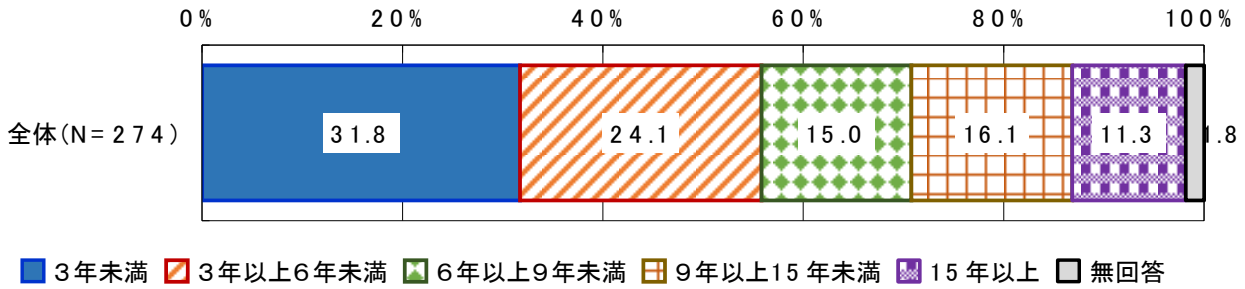
問3 年齢（平成30年9月1日現在）を教えてください。(○は1つ)

・「65歳以上70歳未満」が36.9%と最も多く、次いで「70歳以上」が35.4%、「50歳以上60歳未満」が12.8%、「60歳以上65歳未満」が11.3%の順です。



問4 活動年数を教えてください。(〇は1つ)

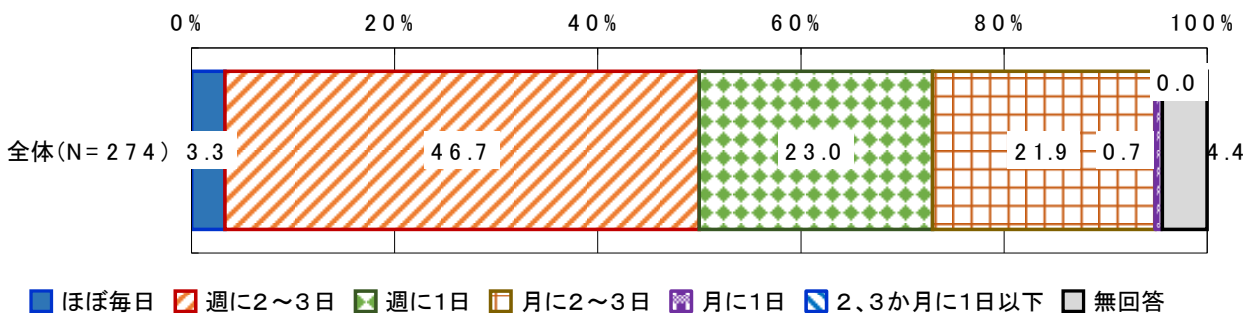
- ・「3年未満」が31.8%と最も多く、次いで「3年以上6年未満」が24.1%、「9年以上15年未満」が16.1%、「6年以上9年未満」が15.0%の順です。
- ・「民生委員・児童委員」と「主任児童委員」とともに「3年未満」の割合が最も高くなっています。



		合計	3年未満	3年以上6年未満	6年以上9年未満	9年以上15年未満	15年以上	無回答
全体		274件	31.8%	24.1%	15.0%	16.1%	11.3%	1.8%
委員の種類	民生委員・児童委員	252件	31.3%	24.6%	15.1%	16.3%	12.3%	0.4%
	主任児童委員	18件	44.4%	22.2%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%

問5 委員として活動をしている1か月のおおよその日数を教えてください。(〇は1つ)

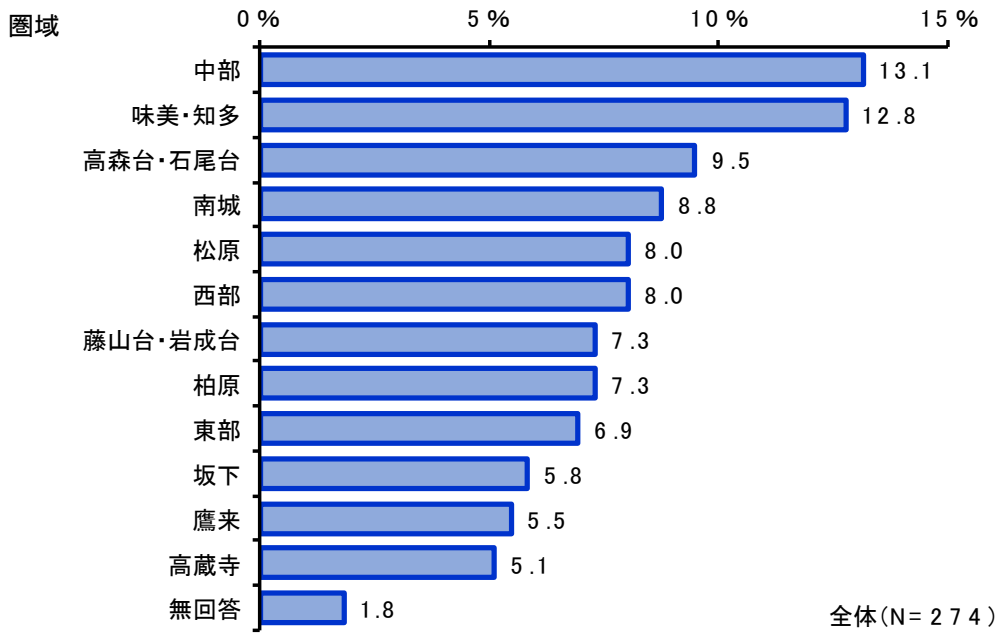
- ・「週に2～3日」が46.7%と最も多く、次いで「週に1日」が23.0%、「月に2～3日」が21.9%、「ほぼ毎日」が3.3%の順です。
- ・「民生委員・児童委員」は、「週に2～3日」が48.4%と最も多く、「主任児童委員」は「週に2～3日」「月に2～3日」がともに33.3%となっています。



		合計	ほぼ毎日	週に2～3日	週に1日	月に2～3日	月に1日	2、3か月に1日以下	無回答
全体		274件	3.3%	46.7%	23.0%	21.9%	0.7%	0.0%	4.4%
委員の種類	民生委員・児童委員	252件	3.2%	48.4%	23.4%	21.4%	0.8%	0.0%	2.8%
	主任児童委員	18件	5.6%	33.3%	22.2%	33.3%	0.0%	0.0%	5.6%

問6 どちらの中学校区の民生委員・児童委員協議会に所属していますか。(〇は2つまで)

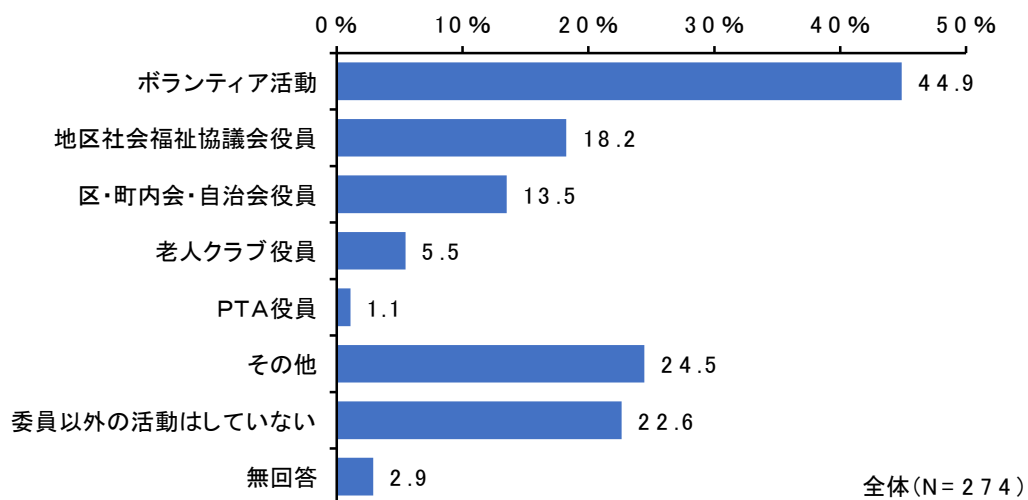
・「中部」が13.1%と最も多く、次いで「味美・知多」が12.8%、「高森台・石尾台」が9.5%の順です。



※中学校区を圏域で集計

問7 現在、委員活動以外の地域活動をされていますか。(〇はいくつでも)

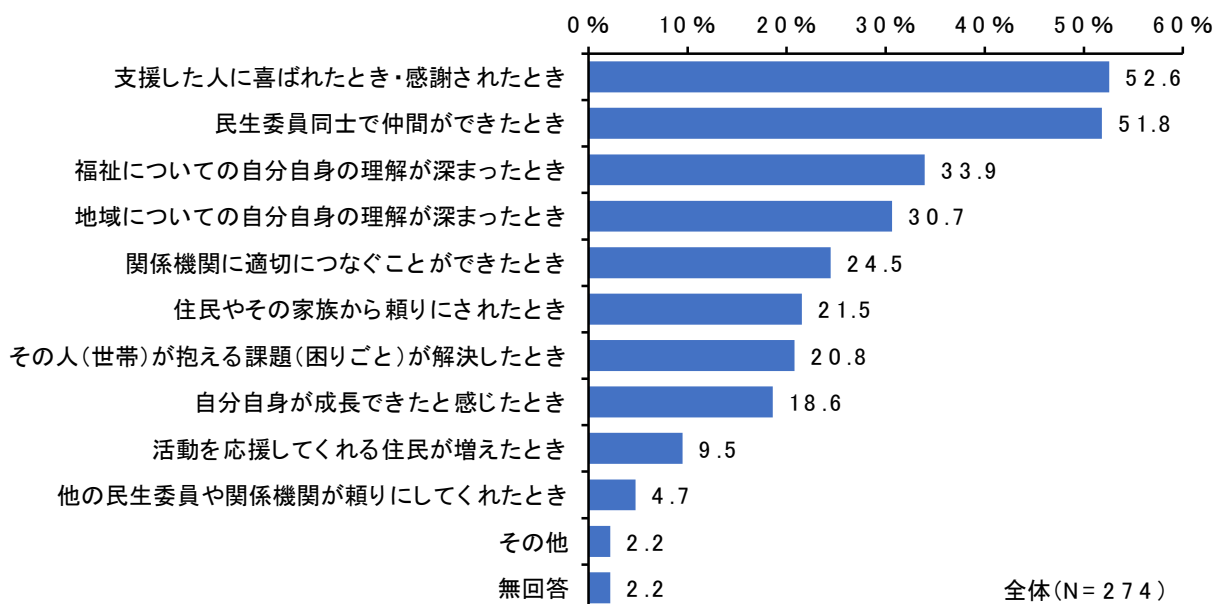
- ・「ボランティア活動」が44.9%と最も多く、「地区社会福祉協議会役員」が18.2%、「区・町内会・自治会役員」が13.5%の順です。
- ・「ボランティア活動」の割合を委員の種類別にみると、「民生委員・児童委員」が43.3%、「主任児童委員」が77.8%となっています。
- ・一方、「委員以外の活動はしていない」は全体では22.6%で、委員の種類別にみると「民生委員・児童委員」が24.2%、「主任児童委員」が5.6%となっています。



		合計	区・町内会・自治会役員	地区社会福祉協議会役員	老人クラブ役員	PTA役員	ボランティア活動	その他	委員以外の活動はしていない	無回答	
全体		274件	13.5%	18.2%	5.5%	1.1%	44.9%	24.5%	22.6%	2.9%	
委員の種類	民生委員・児童委員	252件	14.7%	18.7%	6.0%	0.0%	43.3%	24.6%	24.2%	1.6%	
	主任児童委員	18件	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	77.8%	27.8%	5.6%	0.0%	
民生委員・児童委員	性別	男性	102件	22.5%	24.5%	11.8%	0.0%	37.3%	32.4%	19.6%	1.0%
		女性	149件	9.4%	14.8%	1.3%	0.0%	47.0%	19.5%	27.5%	2.0%
	年齢	60歳未満	23件	8.7%	13.0%	4.3%	0.0%	30.4%	17.4%	47.8%	0.0%
		60歳以上65歳未満	31件	16.1%	6.5%	0.0%	0.0%	35.5%	16.1%	38.7%	0.0%
		65歳以上70歳未満	101件	19.8%	21.8%	2.0%	0.0%	43.6%	26.7%	20.8%	0.0%
		70歳以上	97件	10.3%	20.6%	12.4%	0.0%	48.5%	26.8%	17.5%	4.1%
	活動年数	3年未満	79件	21.5%	22.8%	2.5%	0.0%	32.9%	22.8%	27.8%	0.0%
		3年以上6年未満	62件	8.1%	9.7%	9.7%	0.0%	45.2%	19.4%	35.5%	3.2%
		6年以上9年未満	38件	15.8%	18.4%	7.9%	0.0%	44.7%	31.6%	21.1%	5.3%
		9年以上15年未満	41件	4.9%	22.0%	7.3%	0.0%	51.2%	31.7%	14.6%	0.0%
	15年以上	31件	19.4%	22.6%	3.2%	0.0%	54.8%	22.6%	9.7%	0.0%	

問8 委員活動を通じて良かったことは何ですか。(〇は主なもの3つまで)

- ・「支援した人に喜ばれたとき・感謝されたとき」が52.6%と最も多く、次いで「民生委員同士で仲間ができたとき」が51.8%、「福祉についての自分自身の理解が深まったとき」が33.9%、「地域についての自分自身の理解が深まったとき」が30.7%の順です。
- ・委員の種類別に割合をみると、「民生委員・児童委員」が「主任児童委員」よりも10ポイント以上高いことは、「支援した人に喜ばれたとき・感謝されたとき」や「その人（世帯）が抱える課題（困りごと）が解決したとき」「住民やその家族から頼りにされたとき」で、「主任児童委員」で高いことは、「自分自身が成長できたと感じたとき」や「地域についての自分自身の理解が深まったとき」です。

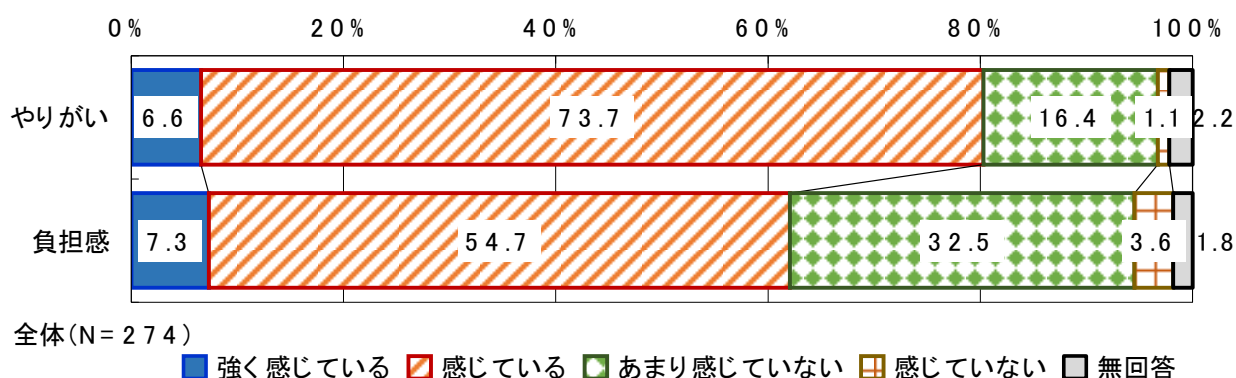


	合計	謝	支	そ	た	住	と	自	が	福	が	地	え	活	き	民	に	他	で	開	そ	無		
		された	援した	の人	住民	時	分	が	祉	深	深	域	た	動	民	して	の	き	係	他	回			
全体	274件	52.6%	20.8%	21.5%	18.6%	33.9%	30.7%	9.5%	51.8%	4.7%	24.5%	2.2%	2.2%											
委員の種類	民生委員・児童委員	54.4%	21.8%	23.0%	17.9%	34.1%	30.2%	9.5%	52.4%	4.8%	25.0%	1.6%	0.8%											
	主任児童委員	38.9%	11.1%	5.6%	33.3%	38.9%	44.4%	11.1%	55.6%	5.6%	22.2%	11.1%	0.0%											
民生委員・児童委員	活動年数	3年未満	53.2%	17.7%	17.7%	15.2%	35.4%	38.0%	6.3%	51.9%	5.1%	16.5%	1.3%	1.3%										
		3年以上6年未満	50.0%	24.2%	21.0%	19.4%	40.3%	25.8%	14.5%	53.2%	0.0%	32.3%	1.6%	0.0%										
		6年以上9年未満	57.9%	18.4%	26.3%	23.7%	28.9%	34.2%	10.5%	55.3%	2.6%	18.4%	2.6%	0.0%										
		9年以上15年未満	58.5%	24.4%	22.0%	14.6%	22.0%	24.4%	4.9%	56.1%	9.8%	22.0%	2.4%	2.4%										
		15年以上	54.8%	29.0%	38.7%	19.4%	41.9%	19.4%	12.9%	41.9%	9.7%	45.2%	0.0%	0.0%										
	地域活動	している	55.1%	24.6%	26.2%	19.8%	31.6%	28.3%	10.7%	50.8%	5.9%	25.1%	2.1%	0.5%										
		していない	52.5%	14.8%	14.8%	9.8%	39.3%	36.1%	6.6%	57.4%	1.6%	26.2%	0.0%	1.6%										
	やりがい	(強く)感じている	57.3%	23.7%	26.5%	18.0%	35.1%	29.9%	10.4%	51.2%	5.7%	28.4%	0.9%	0.0%										
		(あまり)感じていない	41.0%	10.3%	5.1%	15.4%	30.8%	33.3%	5.1%	59.0%	0.0%	7.7%	2.6%	5.1%										
	負担感	(強く)感じている	53.5%	22.9%	19.1%	19.7%	33.1%	35.7%	11.5%	52.9%	3.2%	26.8%	1.3%	1.3%										
(あまり)感じていない		55.3%	20.2%	29.8%	14.9%	36.2%	21.3%	6.4%	52.1%	7.4%	22.3%	2.1%	0.0%											



問9 委員の活動について、どのように感じていますか。

- ・ やりがいについては、「強く感じている」(6.6%)と「感じている」(73.7%)を合わせた割合は、80.3%です。一方、「あまり感じていない」(16.4%)と「感じていない」(1.1%)を合わせた割合は17.5%です。
- ・ 負担については、「強く感じている」(7.3%)と「感じている」(54.7%)を合わせた割合は、62.0%です。一方、「あまり感じていない」(32.5%)と「感じていない」(3.6%)を合わせた割合は36.1%です。
- ・ 委員の種類別に割合をみると、「やりがい」を感じているのは「民生委員・児童委員」で高く、「負担感」を感じているのは「主任児童委員」が高くなっています。

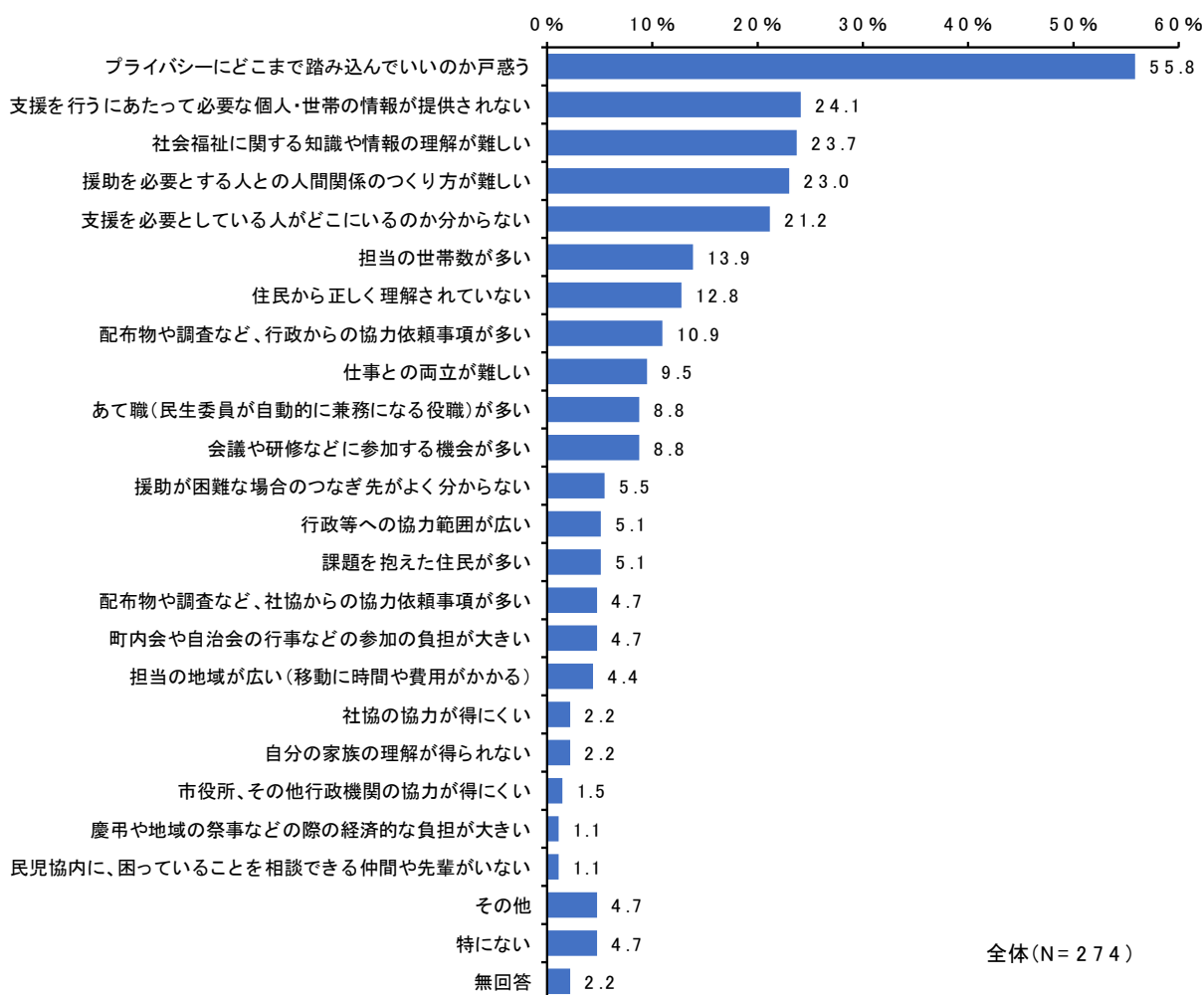


	合計	(1) やりがい				
		強く感じている	感じている	あまり感じていない	感じていない	無回答
全体	274件	6.6%	73.7%	16.4%	1.1%	2.2%
委員の種類	民生委員・児童委員	7.1%	76.6%	14.7%	0.8%	0.8%
	主任児童委員	0.0%	50.0%	44.4%	5.6%	0.0%

	合計	(2) 負担感 (○は1つ)				
		強く感じている	感じている	あまり感じていない	感じていない	無回答
全体	274件	7.3%	54.7%	32.5%	3.6%	1.8%
委員の種類	民生委員・児童委員	7.1%	55.2%	33.3%	4.0%	0.4%
	主任児童委員	11.1%	61.1%	27.8%	0.0%	0.0%

問 10 委員活動の中での悩みや苦勞はどのようなものですか。(○は主なもの3つまで)

- ・「プライバシーにどこまで踏み込んでいいのか戸惑う」が 55.8%と最も多く、次いで「支援を行うにあたって必要な個人・世帯の情報が提供されない」が 24.1%、「社会福祉に関する知識や情報の理解が難しい」が 23.7%、「援助を必要とする人との人間関係の作り方が難しい」が 23.0%、「支援を必要としている人がどこにいるのか分からない」が 21.2%の順です。
- ・委員の種類別に割合をみると、それぞれ「プライバシーにどこまで踏み込んでいいのか戸惑う」が最も高いなど、大きな傾向は変わりませんが、「支援を行うにあたって必要な個人・世帯の情報が提供されない」「援助を必要とする人との人間関係の作り方が難しい」などは、「民生委員・児童委員」で高くなっています。
- ・「プライバシーにどこまで踏み込んでいいのか戸惑う」は、民生委員・児童委員全体では 56.0%で、「男性」(44.1%) よりも「女性」(63.8%) での割合が高くなっています。

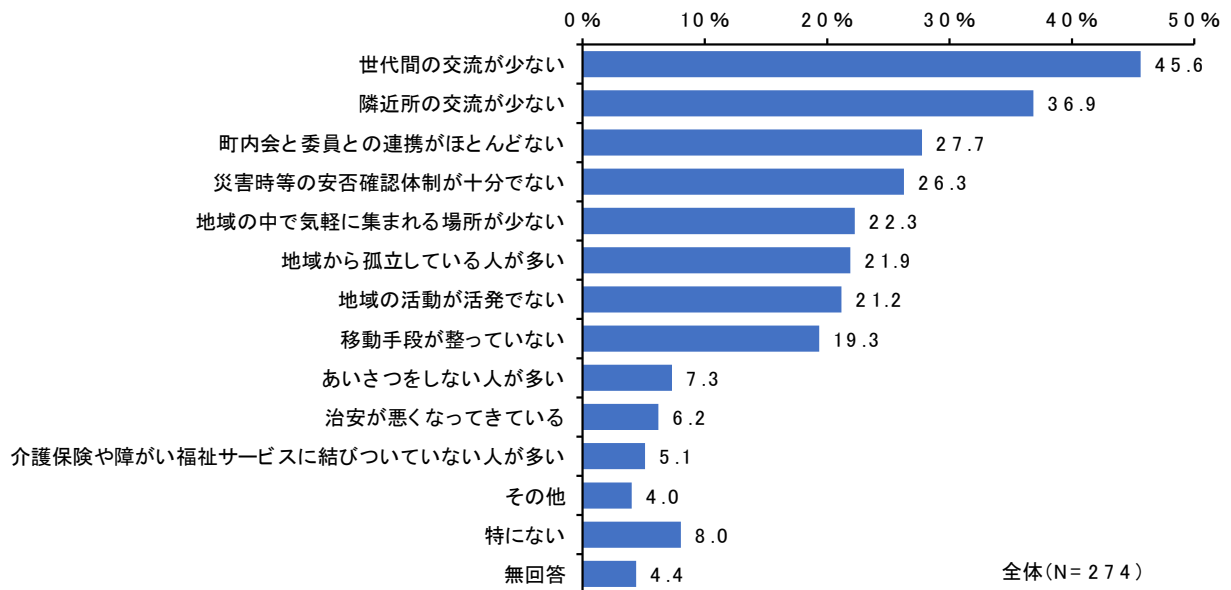




### 3-2 地域の状況

問 11 現在、担当されている地域の中で課題に感じることは何ですか。(〇は主なもの5つまで)

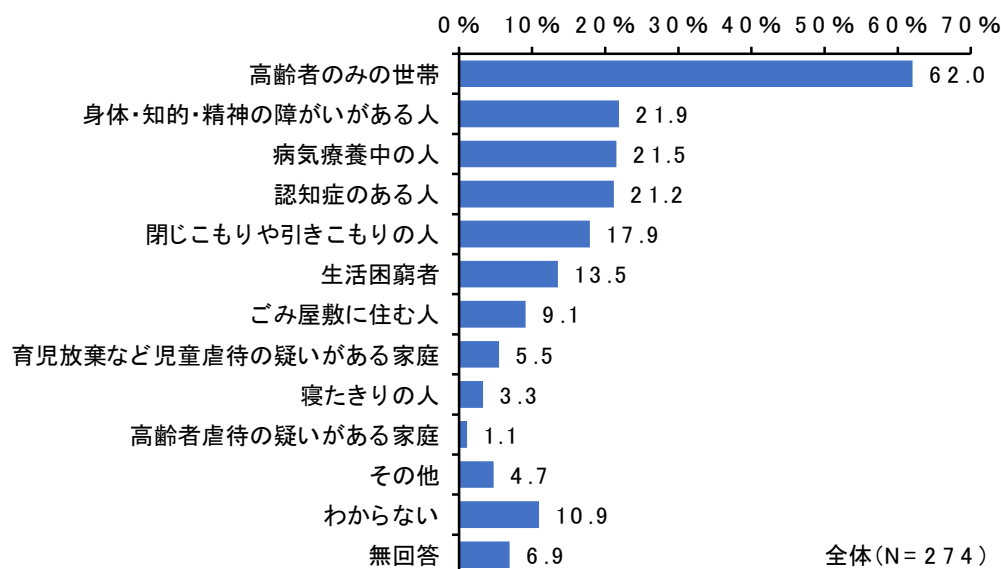
- ・「世代間の交流が少ない」が45.6%と最も多く、次いで「隣近所の交流が少ない」が36.9%、「町内会と委員との連携がほとんどない」が27.7%、「災害時等の安否確認体制が十分でない」が26.3%の順です。
- ・「世代間の交流が少ない」の割合を圏域別にみると、「松原」(66.7%)、「味美・知多」(61.8%)で高くなっています。



	合計	あいさつをしない人が多い	隣近所の交流が少ない	地域の中で気軽に集まれる場所が少ない	世代間の交流が少ない	地域の中で気軽に集まれる場所が少ない	移動手段が整っていない	災害時等の安否確認体制が十分でない	治安が悪くなってきている	地域から孤立している人が多い	介護保険や障がい福祉サービスに結びついていない人が多い	町内会と委員との連携がほとんどない	その他	特になし	無回答	
		7.3%	36.9%	21.2%	45.6%	22.3%	19.3%	26.3%	6.2%	21.9%	5.1%	27.7%	4.0%	8.0%	4.4%	
全体	274件	7.3%	36.9%	21.2%	45.6%	22.3%	19.3%	26.3%	6.2%	21.9%	5.1%	27.7%	4.0%	8.0%	4.4%	
委員の種類	民生委員・児童委員	252件	6.7%	37.3%	22.2%	46.8%	23.4%	19.8%	27.8%	6.3%	21.8%	5.2%	28.2%	4.0%	7.1%	4.8%
	主任児童委員	18件	16.7%	27.8%	11.1%	33.3%	11.1%	11.1%	5.6%	5.6%	22.2%	5.6%	11.1%	5.6%	22.2%	0.0%
民生委員・児童委員 所属圏域	坂下	16件	0.0%	31.3%	31.3%	56.3%	37.5%	25.0%	12.5%	12.5%	25.0%	6.3%	12.5%	0.0%	12.5%	6.3%
	高森台・石尾台	24件	8.3%	33.3%	33.3%	41.7%	16.7%	16.7%	33.3%	4.2%	25.0%	8.3%	12.5%	8.3%	4.2%	8.3%
	藤山台・岩成台	17件	0.0%	47.1%	5.9%	29.4%	23.5%	29.4%	29.4%	0.0%	17.6%	5.9%	35.3%	0.0%	0.0%	5.9%
	高蔵寺	12件	0.0%	33.3%	25.0%	25.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	8.3%	8.3%	8.3%	16.7%	0.0%
	南城	23件	4.3%	26.1%	21.7%	34.8%	34.8%	30.4%	47.8%	21.7%	13.0%	4.3%	30.4%	8.7%	13.0%	0.0%
	松原	21件	4.8%	66.7%	23.8%	66.7%	23.8%	4.8%	38.1%	0.0%	33.3%	4.8%	47.6%	4.8%	0.0%	4.8%
	東部	18件	0.0%	38.9%	22.2%	38.9%	22.2%	5.6%	16.7%	5.6%	27.8%	5.6%	38.9%	5.6%	5.6%	16.7%
	鷹来	14件	0.0%	14.3%	7.1%	50.0%	7.1%	21.4%	28.6%	21.4%	21.4%	7.1%	28.6%	0.0%	14.3%	7.1%
	柏原	18件	5.6%	38.9%	5.6%	38.9%	22.2%	5.6%	33.3%	5.6%	22.2%	5.6%	22.2%	5.6%	0.0%	11.1%
	中部	34件	11.8%	38.2%	32.4%	50.0%	29.4%	8.8%	17.6%	8.8%	17.6%	2.9%	23.5%	5.9%	8.8%	0.0%
	西部	20件	25.0%	40.0%	15.0%	50.0%	15.0%	35.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	40.0%	0.0%	5.0%	0.0%
味美・知多	34件	8.8%	35.3%	26.5%	61.8%	17.6%	29.4%	35.3%	0.0%	17.6%	5.9%	29.4%	0.0%	8.8%	2.9%	

問 12 現在、担当されている地域の中で、次のような、見守り等支援が必要な人や、気にかかる人（何らかの課題を抱えている人）がいますか。（〇はいくつでも）

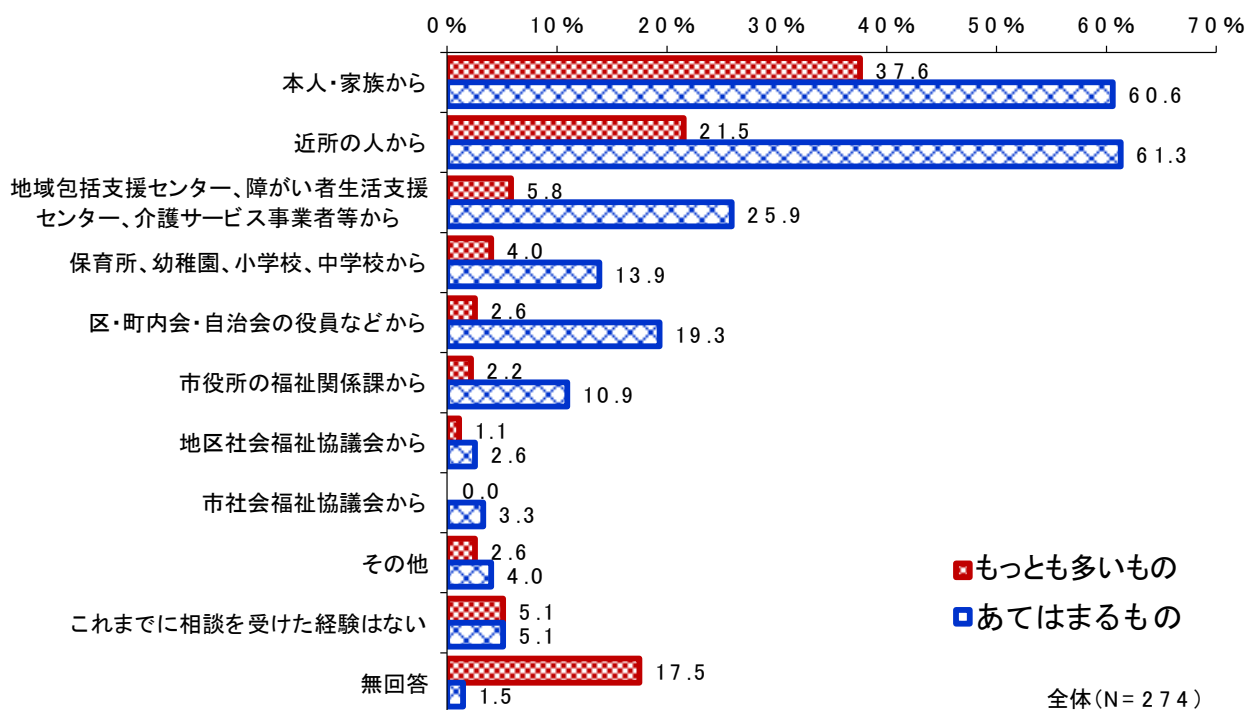
- ・「高齢者のみの世帯」が62.0%と最も多く、次いで「身体・知的・精神の障がいがある人」が21.9%、「病気療養中の人」が21.5%、「認知症のある人」が21.2%の順です。
- ・「育児放棄など児童虐待の疑いがある家庭」は、全体では5.5%ですが、「主任児童委員」では44.4%、「民生委員・児童委員」では2.8%となっています。



		合計	高齢者のみの世帯	寝たきりの人	認知症のある人	病気療養中の人	身体・知的・精神の障がいがある人	育児放棄など児童虐待の疑いがある家庭	高齢者虐待の疑いがある家庭	閉じこもりや引きこもりの人	生活困窮者	ごみ屋敷に住む人	その他	わからない	無回答
全体		274件	62.0%	3.3%	21.2%	21.5%	21.9%	5.5%	1.1%	17.9%	13.5%	9.1%	4.7%	10.9%	6.9%
委員の種類	民生委員・児童委員	252件	65.1%	3.2%	21.8%	22.2%	22.2%	2.8%	1.2%	18.3%	14.3%	8.7%	4.8%	9.1%	6.3%
	主任児童委員	18件	22.2%	5.6%	5.6%	16.7%	22.2%	44.4%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	5.6%	38.9%	5.6%
民生委員・児童委員 所属圏域	坂下	16件	68.8%	0.0%	50.0%	12.5%	25.0%	6.3%	6.3%	6.3%	12.5%	18.8%	12.5%	0.0%	12.5%
	高森台・石尾台	24件	58.3%	0.0%	29.2%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	20.8%	4.2%	12.5%	8.3%	12.5%	4.2%
	藤山台・岩成台	17件	82.4%	0.0%	5.9%	35.3%	23.5%	0.0%	0.0%	23.5%	17.6%	5.9%	5.9%	0.0%	11.8%
	高蔵寺	12件	75.0%	0.0%	8.3%	25.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	8.3%	8.3%	0.0%	16.7%	0.0%
	南城	23件	69.6%	0.0%	17.4%	21.7%	17.4%	4.3%	4.3%	21.7%	17.4%	4.3%	4.3%	4.3%	4.3%
	松原	21件	52.4%	9.5%	23.8%	38.1%	33.3%	4.8%	0.0%	23.8%	23.8%	23.8%	0.0%	19.0%	4.8%
	東部	18件	83.3%	16.7%	16.7%	16.7%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%
	鷹来	14件	42.9%	7.1%	28.6%	14.3%	21.4%	0.0%	0.0%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	7.1%
	柏原	18件	44.4%	0.0%	22.2%	16.7%	5.6%	0.0%	0.0%	22.2%	16.7%	0.0%	0.0%	5.6%	16.7%
	中部	34件	55.9%	0.0%	14.7%	32.4%	32.4%	2.9%	0.0%	17.6%	20.6%	8.8%	2.9%	2.9%	8.8%
	西部	20件	65.0%	5.0%	20.0%	15.0%	25.0%	10.0%	5.0%	15.0%	15.0%	10.0%	10.0%	10.0%	5.0%
味美・知多	34件	82.4%	2.9%	23.5%	17.6%	14.7%	0.0%	0.0%	23.5%	17.6%	8.8%	5.9%	11.8%	2.9%	

問13 あなたは、住民の困りごとの相談をどのような経路で受けていますか。(もっとも多いもの1つに◎、あてはまるものすべてに○)

- ・もっとも多い経路は、「本人・家族から」が37.6%と最も多く、次いで「近所の人から」が21.5%、「地域包括支援センター、障がい者生活支援センター、介護サービス事業者等から」が5.8%の順です。
- ・全体(あてはまるものすべて)では「近所の人から」が61.3%と最も多く、次いで「本人・家族から」が60.6%、「地域包括支援センター、障がい者生活支援センター、介護サービス事業者等から」が25.9%、「区・町内会・自治会の役員などから」が19.3%の順です。
- ・「近所の人から」「区・町内会・自治会の役員などから」「保育所、幼稚園、小学校、中学校」の割合は、民生委員・児童委員以外の地域活動を「している」ほうが、「していない」よりも10ポイント前後高くなっています。

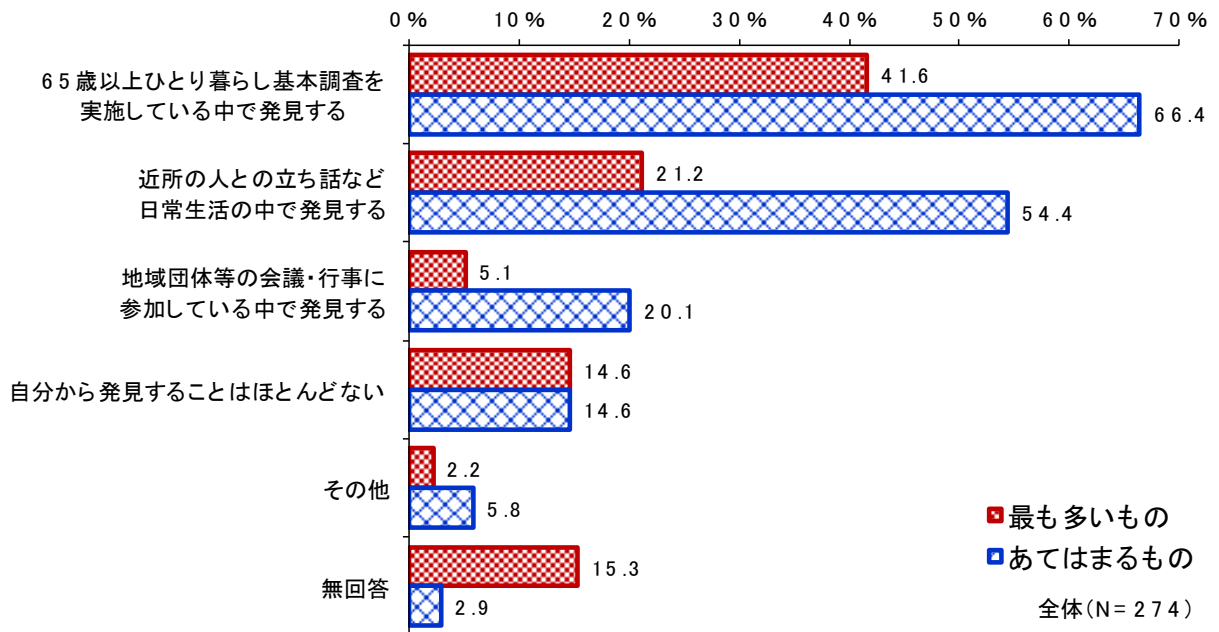


		問13 住民の困りごとの相談をどのような経路(あてはまるもの)											
		合計	本人・家族から	近所の人から	区・町内会・自治会の役員などから	保育所、幼稚園、小学校、中学校から	市役所の福祉関係課から	市社会福祉協議会から	地区社会福祉協議会から	地域包括支援センター、障がい者生活支援センター等から	その他	これまでに相談を受けた経験はない	無回答
全体		274件	60.6%	61.3%	19.3%	13.9%	10.9%	3.3%	2.6%	25.9%	4.0%	5.1%	1.5%
委員の種類	民生委員・児童委員	252件	63.9%	63.9%	20.2%	9.5%	9.9%	3.2%	2.8%	27.4%	3.2%	5.2%	1.6%
	主任児童委員	18件	11.1%	33.3%	11.1%	77.8%	22.2%	5.6%	0.0%	0.0%	16.7%	5.6%	0.0%
民生委員 地域活動	している	187件	64.2%	66.3%	22.5%	12.3%	10.7%	3.7%	2.7%	28.9%	3.7%	4.3%	0.5%
	していない	61件	65.6%	54.1%	14.8%	1.6%	8.2%	1.6%	3.3%	23.0%	1.6%	8.2%	4.9%

### 3-3 活動に必要な情報や地域における連携について

問 14 あなたは、委員として、困りごとを抱えている住民をどのような機会に発見することが多いですか。(もっとも多いもの1つに◎、あてはまるものすべてに○)

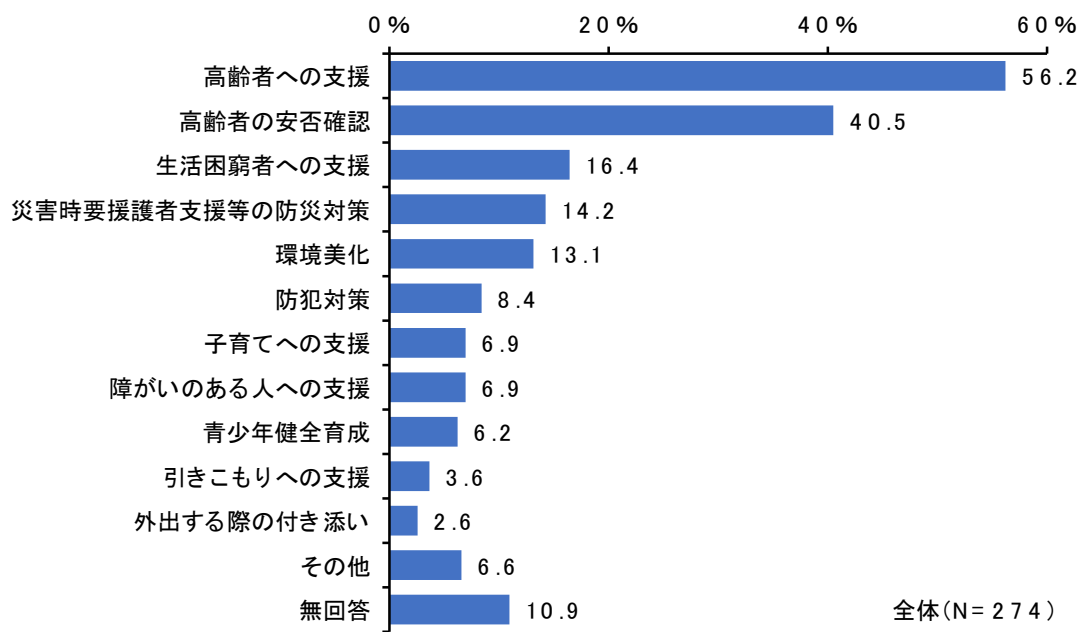
- もっとも多い機会は、「65歳以上ひとり暮らし基本調査を実施している中で発見する」が41.6%と最も多く、次いで「近所の人との立ち話など日常生活の中で発見する」が21.2%、「自分から発見することはほとんどない」が14.6%、「地域団体等の会議・行事に参加している中で発見する」が5.1%の順です。
- 全体(あてはまるものすべて)の割合では、「65歳以上ひとり暮らし基本調査を実施している中で発見する」が66.4%と最も高く、次いで「近所の人との立ち話など日常生活の中で発見する」が54.4%、「地域団体等の会議・行事に参加している中で発見する」が20.1%、「自分から発見することはほとんどない」が14.6%の順です。
- 地域活動に参加してたり、やりがいを感じている委員のほうが、それぞれ割合が高くなっています。



		問14 困りごとを抱えている住民を発見する経路(あてはまるもの)						
		合計	65歳以上ひとり暮らし基本調査を実施している中で発見する	地域団体等の会議・行事に参加している中で発見する	近所の人との立ち話など日常生活の中で発見する	その他	自分から発見することはほとんどない	無回答
全体		274件	66.4%	20.1%	54.4%	5.8%	14.6%	2.9%
委員の種類								
民生委員・児童委員		252件	71.0%	19.8%	56.7%	5.2%	10.7%	2.8%
主任児童委員		18件	5.6%	16.7%	33.3%	11.1%	66.7%	5.6%
民生委員・児童委員	活動年数							
	3年未満	79件	67.1%	21.5%	48.1%	3.8%	13.9%	2.5%
	3年以上6年未満	62件	79.0%	14.5%	62.9%	6.5%	9.7%	1.6%
	6年以上9年未満	38件	57.9%	31.6%	65.8%	2.6%	10.5%	2.6%
	9年以上15年未満	41件	63.4%	9.8%	43.9%	7.3%	12.2%	7.3%
	15年以上	31件	90.3%	25.8%	74.2%	3.2%	3.2%	0.0%
	地域活動							
している	187件	73.3%	25.1%	60.4%	6.4%	8.6%	2.1%	
していない	61件	65.6%	4.9%	44.3%	1.6%	18.0%	4.9%	
やりがい								
(強く)感じている	211件	74.4%	21.3%	59.7%	5.2%	5.7%	3.3%	
(あまり)感じていない	39件	53.8%	12.8%	41.0%	5.1%	35.9%	0.0%	

問 15 市民から依頼されることで多いことは何ですか。(〇はいくつでも)

・「高齢者への支援」が56.2%と最も多く、次いで「高齢者の安否確認」が40.5%、「生活困窮者への支援」が16.4%、「災害時要援護者支援等の防災対策」が14.2%、「環境美化」が13.1%の順です。

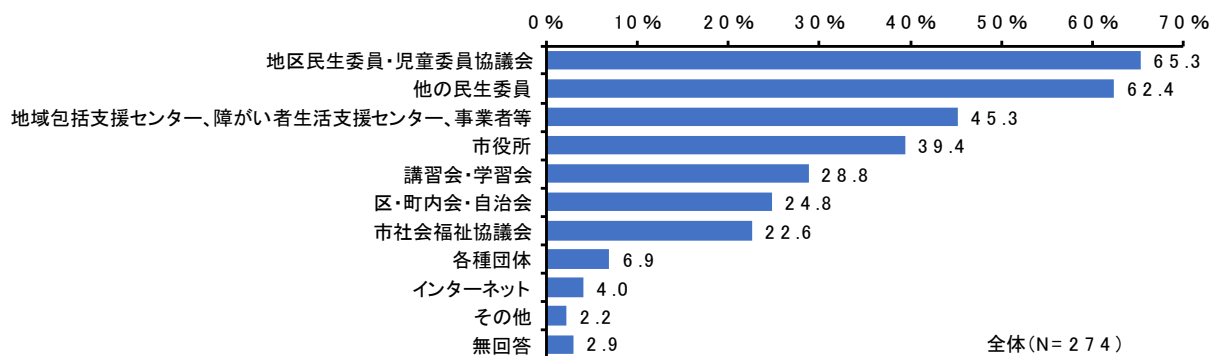


		合計	子育てへの支援	青少年健全育成	高齢者への支援	障がいのある人への支援	生活困窮者への支援	引きこもりへの支援	外出する際の付き添い	環境美化	災害時要援護者支援等の防災対策	防犯対策	高齢者の安否確認	その他	無回答
全体		274件	6.9%	6.2%	56.2%	6.9%	16.4%	3.6%	2.6%	13.1%	14.2%	8.4%	40.5%	6.6%	10.9%
委員の種類	民生委員・児童委員	252件	4.8%	5.6%	59.1%	7.1%	17.1%	3.6%	2.8%	13.9%	15.1%	9.1%	43.7%	5.6%	9.9%
	主任児童委員	18件	38.9%	16.7%	16.7%	5.6%	5.6%	5.6%	0.0%	5.6%	5.6%	0.0%	5.6%	22.2%	16.7%
民生委員・児童委員 所属圏域	坂下	16件	6.3%	6.3%	68.8%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	6.3%	50.0%	6.3%	50.0%	6.3%	12.5%
	高森台・石尾台	24件	4.2%	12.5%	70.8%	16.7%	12.5%	4.2%	0.0%	20.8%	12.5%	4.2%	45.8%	0.0%	4.2%
	藤山台・岩成台	17件	17.6%	0.0%	70.6%	5.9%	23.5%	0.0%	11.8%	23.5%	11.8%	17.6%	58.8%	0.0%	5.9%
	高蔵寺	12件	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	8.3%	16.7%	0.0%	8.3%	16.7%	8.3%	33.3%	16.7%	0.0%
	南城	23件	4.3%	17.4%	65.2%	21.7%	17.4%	8.7%	0.0%	17.4%	13.0%	4.3%	52.2%	8.7%	0.0%
	松原	21件	0.0%	4.8%	47.6%	9.5%	28.6%	4.8%	0.0%	23.8%	14.3%	14.3%	42.9%	4.8%	14.3%
	東部	18件	5.6%	0.0%	50.0%	0.0%	11.1%	0.0%	5.6%	0.0%	16.7%	5.6%	38.9%	16.7%	22.2%
	鷹来	14件	0.0%	0.0%	85.7%	0.0%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	35.7%	0.0%	7.1%
	柏原	18件	0.0%	0.0%	38.9%	0.0%	27.8%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	5.6%	44.4%	5.6%	22.2%
	中部	34件	8.8%	2.9%	64.7%	8.8%	17.6%	0.0%	0.0%	14.7%	14.7%	14.7%	32.4%	2.9%	11.8%
	西部	20件	5.0%	5.0%	65.0%	0.0%	25.0%	0.0%	5.0%	10.0%	20.0%	5.0%	30.0%	10.0%	0.0%
味美・知多	34件	2.9%	8.8%	44.1%	8.8%	14.7%	5.9%	5.9%	14.7%	14.7%	14.7%	52.9%	2.9%	14.7%	



問 16 委員活動に必要な情報を、どこから得ていますか。(〇はいくつでも)

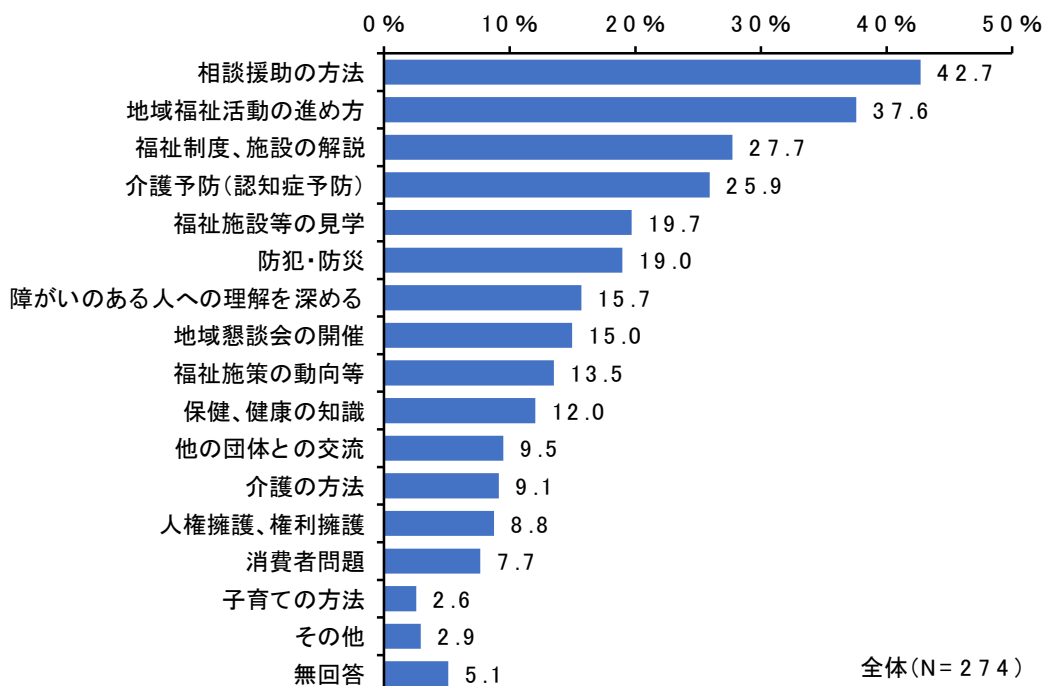
- ・「地区民生委員・児童委員協議会」が 65.3%と最も多く、次いで「他の民生委員」が 62.4%、「地域包括支援センター等」が 45.3%、「市役所」が 39.4%の順です。
- ・「主任児童委員」と比べて「民生委員・児童委員」での割合が 10 ポイント以上高いのは、「区・町内会・自治会」「地域包括支援センター等」です。一方、「主任児童委員」のほうが割合が高いのは、「他の民生委員」「各種団体」「インターネット」「講習会・学習会」です。



		合計	他の民生委員	区・町内会・自治会	各種団体	市役所	市社会福祉協議会	地区民生委員・児童委員協議会	障がい者生活支援センター、介護サービス事業者等	地域包括支援センター、インターネット	講習会・学習会	その他	無回答
全体		274件	62.4%	24.8%	6.9%	39.4%	22.6%	65.3%	45.3%	4.0%	28.8%	2.2%	2.9%
委員の種類	民生委員・児童委員	252件	61.5%	26.2%	6.0%	40.1%	22.2%	65.5%	47.2%	2.8%	27.8%	1.2%	2.8%
	主任児童委員	18件	77.8%	5.6%	22.2%	33.3%	27.8%	61.1%	11.1%	16.7%	44.4%	16.7%	5.6%
性別	男性	102件	51.0%	37.3%	11.8%	39.2%	21.6%	69.6%	43.1%	3.9%	24.5%	1.0%	0.0%
	女性	149件	69.1%	18.1%	1.3%	40.3%	22.8%	62.4%	49.7%	2.0%	29.5%	1.3%	4.7%
年齢	60歳未満	23件	73.9%	8.7%	0.0%	34.8%	26.1%	65.2%	30.4%	4.3%	30.4%	4.3%	0.0%
	60歳以上65歳未満	31件	67.7%	19.4%	0.0%	41.9%	12.9%	61.3%	54.8%	0.0%	22.6%	0.0%	9.7%
	65歳以上70歳未満	101件	70.3%	29.7%	8.9%	41.6%	23.8%	73.3%	50.5%	2.0%	22.8%	1.0%	2.0%
	70歳以上	97件	47.4%	28.9%	6.2%	39.2%	22.7%	58.8%	45.4%	4.1%	34.0%	1.0%	2.1%
活動年数	3年未満	79件	64.6%	30.4%	7.6%	29.1%	21.5%	69.6%	39.2%	3.8%	19.0%	0.0%	3.8%
	3年以上6年未満	62件	59.7%	30.6%	8.1%	38.7%	19.4%	71.0%	51.6%	4.8%	29.0%	0.0%	0.0%
	6年以上9年未満	38件	57.9%	31.6%	7.9%	44.7%	23.7%	68.4%	39.5%	0.0%	36.8%	2.6%	0.0%
	9年以上15年未満	41件	58.5%	12.2%	0.0%	46.3%	22.0%	43.9%	53.7%	2.4%	31.7%	4.9%	7.3%
15年以上	31件	64.5%	19.4%	3.2%	54.8%	29.0%	67.7%	58.1%	0.0%	32.3%	0.0%	3.2%	
民生委員・児童委員所属圏域	坂下	16件	50.0%	37.5%	18.8%	50.0%	43.8%	68.8%	87.5%	0.0%	18.8%	0.0%	0.0%
	高森台・石尾台	24件	75.0%	37.5%	16.7%	29.2%	16.7%	79.2%	37.5%	4.2%	25.0%	0.0%	4.2%
	藤山台・岩成台	17件	70.6%	47.1%	0.0%	47.1%	23.5%	58.8%	58.8%	0.0%	23.5%	5.9%	5.9%
	高蔵寺	12件	58.3%	25.0%	8.3%	33.3%	25.0%	58.3%	41.7%	0.0%	41.7%	0.0%	0.0%
	南城	23件	65.2%	26.1%	8.7%	39.1%	34.8%	60.9%	39.1%	4.3%	39.1%	0.0%	4.3%
	松原	21件	57.1%	38.1%	14.3%	42.9%	14.3%	61.9%	23.8%	0.0%	14.3%	4.8%	0.0%
	東部	18件	66.7%	27.8%	0.0%	50.0%	38.9%	61.1%	50.0%	0.0%	22.2%	0.0%	5.6%
	鷹来	14件	35.7%	7.1%	0.0%	21.4%	7.1%	78.6%	42.9%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	柏原	18件	66.7%	27.8%	0.0%	44.4%	16.7%	77.8%	61.1%	5.6%	22.2%	0.0%	0.0%
	中部	34件	67.6%	14.7%	2.9%	35.3%	11.8%	58.8%	41.2%	2.9%	38.2%	2.9%	5.9%
	西部	20件	60.0%	15.0%	5.0%	45.0%	15.0%	55.0%	60.0%	5.0%	20.0%	0.0%	0.0%
味美・知多	34件	55.9%	20.6%	0.0%	44.1%	26.5%	67.6%	44.1%	5.9%	23.5%	0.0%	2.9%	
地域活動	している	187件	62.6%	29.4%	7.0%	43.9%	26.2%	67.4%	50.3%	2.7%	28.3%	1.6%	1.6%
	していない	61件	60.7%	18.0%	3.3%	29.5%	11.5%	60.7%	39.3%	3.3%	24.6%	0.0%	6.6%
やりがい	(強く)感じている	211件	65.4%	25.6%	6.2%	42.7%	23.2%	65.4%	48.8%	2.8%	30.3%	0.9%	1.9%
	(あまり)感じていない	39件	41.0%	28.2%	5.1%	25.6%	15.4%	66.7%	38.5%	2.6%	12.8%	2.6%	5.1%

問 17 委員活動をすすめていくうえで、受けてみたい研修は何ですか。(〇はいくつでも)

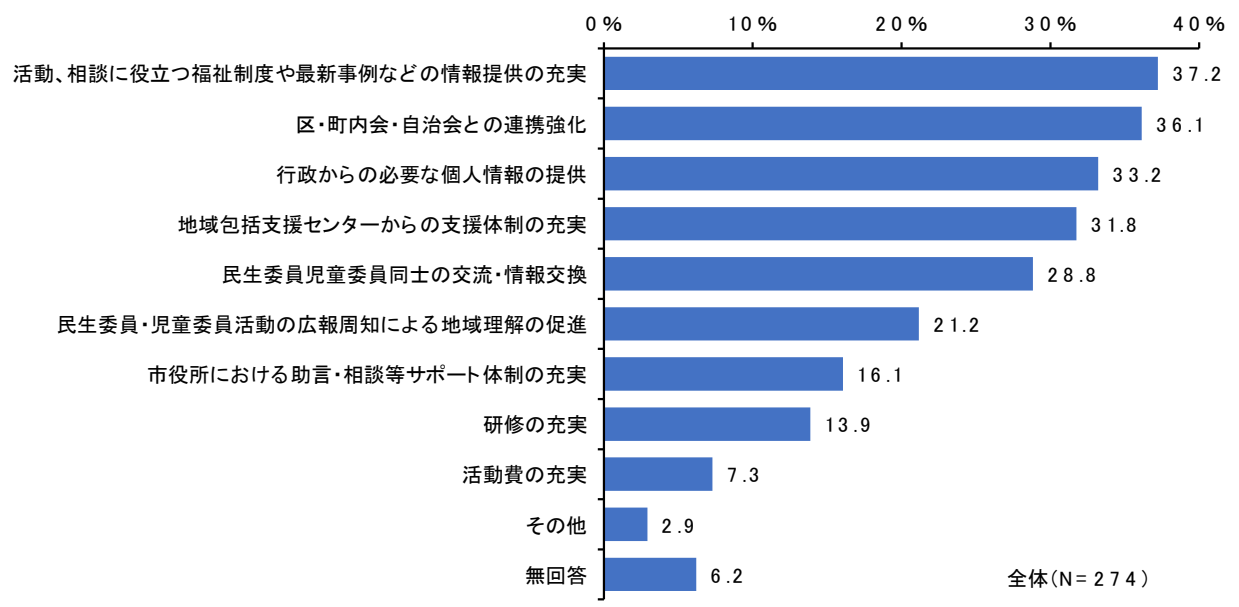
- ・「相談援助の方法」が42.7%と最も多く、次いで「地域福祉活動の進め方」が37.6%、「福祉制度、施設の解説」が27.7%、「介護予防（認知症予防）」が25.9%の順です。
- ・「主任児童委員」と比べて「民生委員・児童委員」での割合が10ポイント以上高いのは、「地域福祉活動の進め方」「介護予防（認知症予防）」「防犯・防災」です。一方、「主任児童委員」での割合が高いのは、「子育ての方法」です。



		合計	相談援助の方法	福祉制度、施設の解説	保健、健康の知識	地域福祉活動の進め方	人権擁護、権利擁護	福祉施策の動向等	福祉施設等の見学	地域懇談会の開催	子育ての方法	介護の方法	介護予防(認知症予防)	障がいのある人への理解を深める	防犯・防災	消費者問題	他の団体との交流	その他	無回答	
全体		274件	42.7%	27.7%	12.0%	37.6%	8.8%	13.5%	19.7%	15.0%	2.6%	9.1%	25.9%	15.7%	19.0%	7.7%	9.5%	2.9%	5.1%	
委員の種類	民生委員・児童委員	252件	42.9%	27.8%	11.9%	38.5%	9.1%	13.9%	19.4%	15.1%	0.8%	9.1%	27.0%	15.5%	20.2%	7.1%	9.9%	2.8%	5.2%	
	主任児童委員	18件	44.4%	22.2%	5.6%	27.8%	5.6%	11.1%	22.2%	11.1%	22.2%	11.1%	22.2%	22.2%	5.6%	11.1%	5.6%	5.6%	5.6%	
民生委員・児童委員	活動年数	3年未満	79件	41.8%	27.8%	12.7%	41.8%	8.9%	8.9%	27.8%	8.9%	1.3%	10.1%	26.6%	12.7%	22.8%	8.9%	8.9%	3.8%	8.9%
		3年以上6年未満	62件	59.7%	32.3%	9.7%	46.8%	9.7%	14.5%	19.4%	14.5%	1.6%	12.9%	32.3%	19.4%	22.6%	6.5%	8.1%	0.0%	1.6%
		6年以上9年未満	38件	34.2%	34.2%	18.4%	31.6%	15.8%	18.4%	13.2%	10.5%	0.0%	2.6%	31.6%	2.6%	23.7%	2.6%	7.9%	5.3%	0.0%
		9年以上15年未満	41件	36.6%	19.5%	12.2%	31.7%	7.3%	19.5%	9.8%	26.8%	0.0%	7.3%	22.0%	17.1%	12.2%	9.8%	9.8%	2.4%	9.8%
		15年以上	31件	32.3%	22.6%	6.5%	32.3%	3.2%	12.9%	19.4%	22.6%	0.0%	6.5%	16.1%	29.0%	16.1%	6.5%	19.4%	3.2%	3.2%
	地域活動	している	187件	44.4%	25.7%	11.8%	38.5%	10.7%	13.4%	19.8%	18.7%	0.5%	7.5%	25.1%	15.5%	21.9%	8.6%	12.3%	2.7%	5.9%
	していない	61件	39.3%	36.1%	11.5%	37.7%	4.9%	13.1%	19.7%	4.9%	1.6%	13.1%	34.4%	14.8%	14.8%	3.3%	3.3%	3.3%	3.3%	
やりがい	(強く)感じている	211件	43.1%	29.4%	13.7%	40.8%	10.4%	15.6%	21.3%	17.5%	0.9%	9.0%	27.0%	17.1%	20.4%	7.6%	10.4%	1.9%	3.8%	
	(あまり)感じていない	39件	43.6%	20.5%	2.6%	28.2%	2.6%	5.1%	10.3%	2.6%	0.0%	10.3%	28.2%	7.7%	20.5%	5.1%	7.7%	7.7%	7.7%	
負担感	(強く)感じている	157件	40.1%	29.9%	8.3%	44.6%	10.8%	14.0%	19.7%	14.0%	1.3%	10.8%	27.4%	17.2%	17.8%	6.4%	8.9%	3.8%	5.7%	
	(あまり)感じていない	94件	46.8%	23.4%	18.1%	28.7%	6.4%	13.8%	19.1%	17.0%	0.0%	6.4%	26.6%	12.8%	24.5%	8.5%	11.7%	1.1%	4.3%	

問 18 委員活動をしやすいするためには、何が必要と思いますか。(〇は主なもの3つまで)

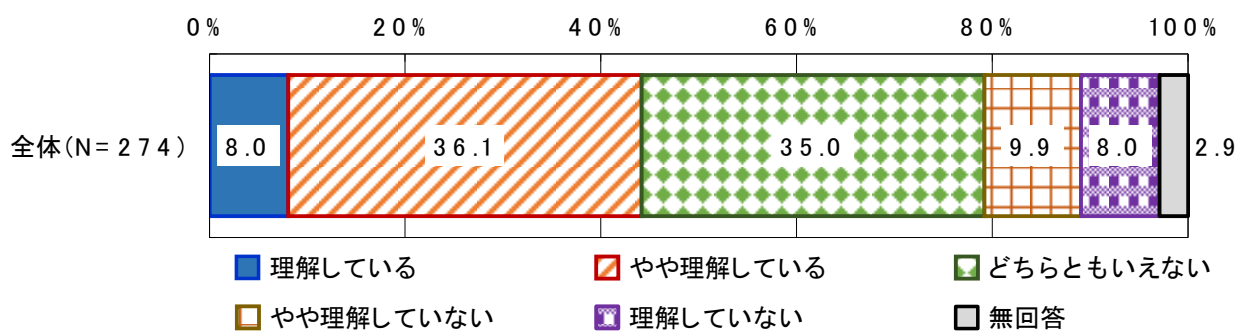
- ・「活動、相談に役立つ福祉制度や最新事例などの情報提供の充実」が 37.2%と最も多く、次いで「区・町内会・自治会との連携強化」が 36.1%、「行政からの必要な個人情報の提供」が 33.2%、「地域包括支援センターからの支援体制の充実」が 31.8%、「民生委員児童委員同士の交流・情報交換」が 28.8%の順です。
- ・「主任児童委員」と比べて「民生委員・児童委員」での割合が 10 ポイント以上高いのは、「行政からの必要な個人情報の提供」「地域包括支援センターからの支援体制の充実」です。一方、「主任児童委員」のほうが高いのは、「民生委員児童委員同士の交流・情報交換」です。



		合計	研修の充実	活動、相談に役立つ福祉制度や最新事例などの情報提供の充実	行政からの必要な個人情報の提供	活動費の充実	知による地域理解の促進	民生委員・児童委員活動の広報周知	市役所における助言・相談等サポート体制の充実	地域包括支援センターからの支援体制の充実	報告交換	民生委員児童委員同士の交流・情報交換	区・町内会・自治会との連携強化	その他	無回答
全体		274件	13.9%	37.2%	33.2%	7.3%	21.2%	16.1%	31.8%	28.8%	36.1%	2.9%	6.2%		
委員の種類	民生委員・児童委員	252件	13.5%	37.3%	35.3%	7.5%	21.0%	15.9%	32.9%	28.2%	36.9%	3.2%	6.0%		
	主任児童委員	18件	22.2%	33.3%	11.1%	5.6%	16.7%	22.2%	11.1%	38.9%	27.8%	0.0%	5.6%		
民生・児童委員	活動年数	3年未満	79件	7.6%	39.2%	21.5%	11.4%	22.8%	20.3%	30.4%	35.4%	34.2%	3.8%	6.3%	
		3年以上6年未満	62件	16.1%	43.5%	43.5%	6.5%	27.4%	16.1%	33.9%	29.0%	32.3%	3.2%	0.0%	
		6年以上9年未満	38件	10.5%	31.6%	31.6%	7.9%	23.7%	13.2%	18.4%	15.8%	31.6%	7.9%	13.2%	
		9年以上15年未満	41件	19.5%	24.4%	43.9%	2.4%	9.8%	7.3%	43.9%	29.3%	46.3%	0.0%	12.2%	
		15年以上	31件	19.4%	45.2%	48.4%	6.5%	16.1%	19.4%	38.7%	19.4%	48.4%	0.0%	0.0%	
地域活動	している	187件	12.8%	35.3%	36.9%	9.1%	19.8%	15.5%	34.2%	26.7%	42.8%	2.7%	5.3%		
	していない	61件	16.4%	45.9%	29.5%	3.3%	24.6%	16.4%	29.5%	34.4%	18.0%	4.9%	6.6%		

問 19 あなたの地域の住民は、民生委員・児童委員、主任児童委員のことを理解していると思いますか。あなたのお気持ちに一番近いものをお答えください。(○は1つ)

- ・「理解している」(8.0%)と「やや理解している」(36.1%)と合わせた割合は44.1%です。一方、「やや理解していない」(9.9%)と「理解していない」(8.0%)を合わせた割合は17.9%です。また、「どちらともいえない」が35.0%となっています。
- ・「(やや)理解している」の割合は、「民生委員・児童委員」が45.2%、「主任児童委員」が27.8%です。また、「民生委員・児童委員」で、やりがいを「(強く)感じている」人では50.2%であるのに対し、「(あまり)感じていない」人では17.9%と、30ポイント以上の差がみられます。

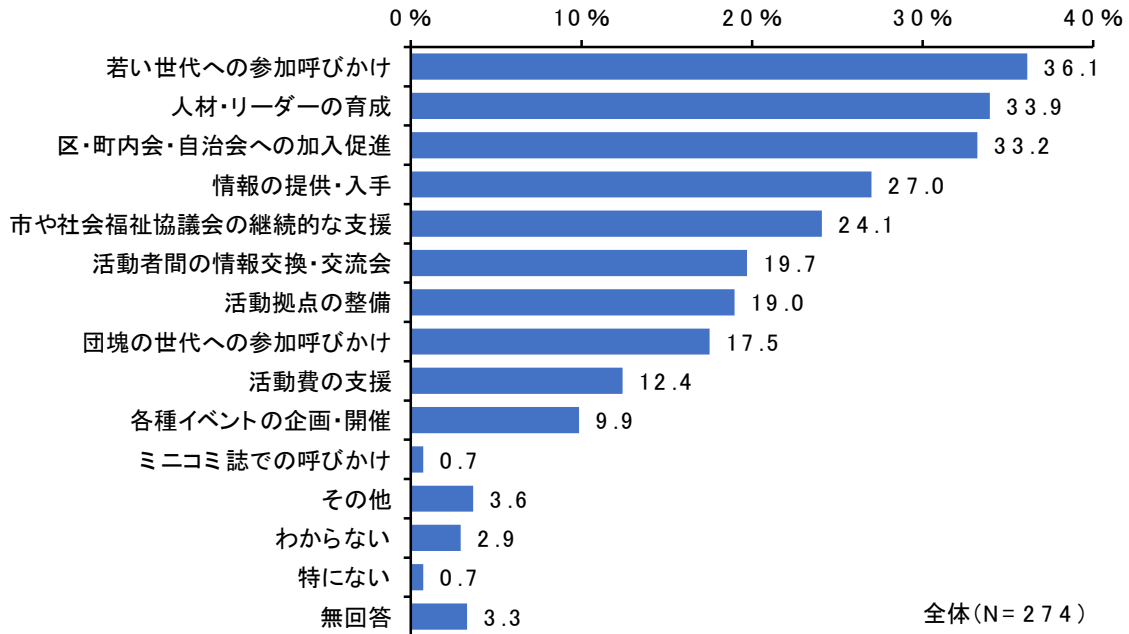


		合計	理解している	やや理解している	どちらともいえない	やや理解していない	理解していない	無回答	
全体		274件	8.0%	36.1%	35.0%	9.9%	8.0%	2.9%	
委員の種類	民生委員・児童委員	252件	8.3%	36.9%	34.9%	9.5%	7.5%	2.8%	
	主任児童委員	18件	5.6%	22.2%	44.4%	11.1%	16.7%	0.0%	
民生委員・児童委員	性別	男性	102件	9.8%	32.4%	33.3%	10.8%	10.8%	2.9%
		女性	149件	7.4%	39.6%	36.2%	8.7%	5.4%	2.7%
	所属圏域	坂下	16件	25.0%	37.5%	31.3%	0.0%	6.3%	0.0%
		高森台・石尾台	24件	16.7%	54.2%	25.0%	0.0%	4.2%	0.0%
		藤山台・岩成台	17件	5.9%	35.3%	35.3%	11.8%	5.9%	5.9%
		高蔵寺	12件	0.0%	58.3%	25.0%	16.7%	0.0%	0.0%
		南城	23件	8.7%	30.4%	26.1%	17.4%	13.0%	4.3%
		松原	21件	4.8%	33.3%	47.6%	9.5%	4.8%	0.0%
		東部	18件	0.0%	27.8%	50.0%	5.6%	11.1%	5.6%
		鷹来	14件	14.3%	42.9%	35.7%	0.0%	0.0%	7.1%
		柏原	18件	5.6%	33.3%	27.8%	11.1%	16.7%	5.6%
		中部	34件	2.9%	32.4%	47.1%	8.8%	5.9%	2.9%
	西部	20件	10.0%	30.0%	30.0%	10.0%	15.0%	5.0%	
	味美・知多	34件	8.8%	38.2%	29.4%	17.6%	5.9%	0.0%	
	地域活動	している	187件	8.6%	39.6%	33.2%	8.6%	8.6%	1.6%
していない		61件	8.2%	31.1%	39.3%	11.5%	4.9%	4.9%	
やりがい	(強く)感じている	211件	9.0%	41.2%	33.2%	7.6%	6.2%	2.8%	
	(あまり)感じていない	39件	5.1%	12.8%	43.6%	20.5%	15.4%	2.6%	

### 3-4 支え合いなど地域活動の推進について

問 20 今後、住民同士の地域活動の輪を広げていくために、どのようなことが必要だと思いますか（〇は主なもの3つまで）

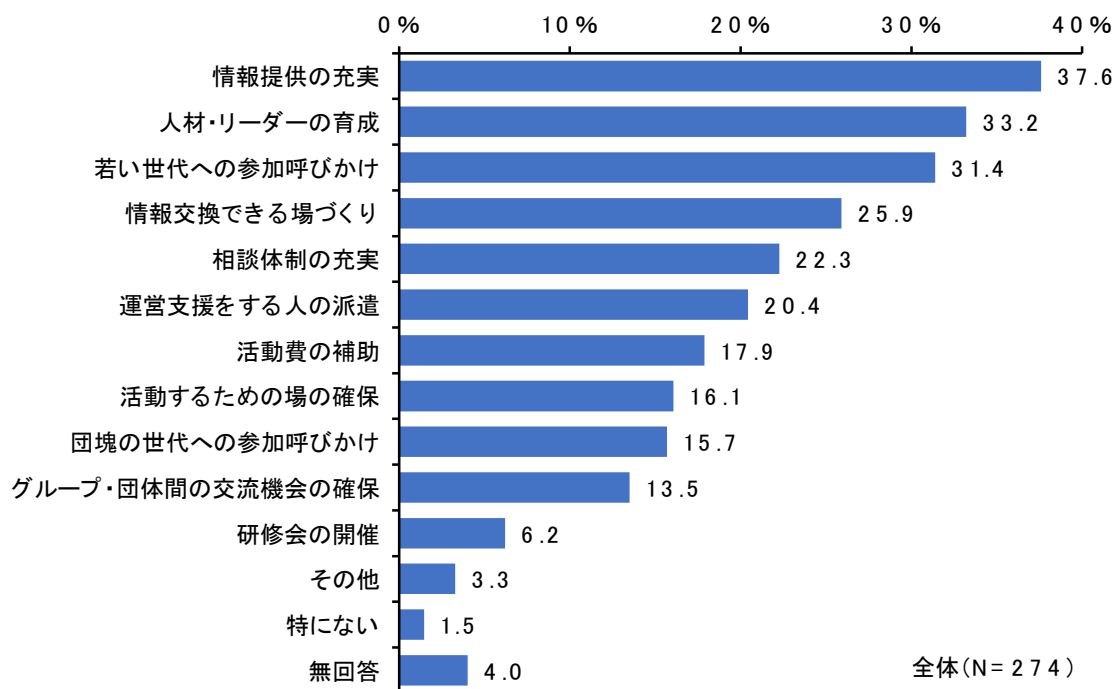
- ・「若い世代への参加呼びかけ」が36.1%と最も多く、次いで「人材・リーダーの育成」が33.9%、「区・町内会・自治会への加入促進」が33.2%、「情報の提供・入手」が27.0%、「市や社会福祉協議会の継続的な支援」が24.1%の順です。
- ・「主任児童委員」と比べて「民生委員・児童委員」での割合が10ポイント以上高いのは、「情報の提供・入手」「各種イベントの企画・開催」です。
- ・「人材・リーダーの育成」や「区・町内会・自治会への加入促進」の割合は、圏域により大きな差がみられます。



		合計	活動費の支援	活動拠点の整備	情報の提供・入手	人材・リーダーの育成	活動者間の情報交換	若い世代への参加呼びかけ	団塊の世代への参加呼びかけ	各種イベントの企画・開催	ミニコミ誌での呼びかけ	区・町内会・自治会への加入促進	市や社会福祉協議会の継続的な支援	その他	わからない	特にない	無回答
全体		274件	12.4%	19.0%	27.0%	33.9%	19.7%	36.1%	17.5%	9.9%	0.7%	33.2%	24.1%	3.6%	2.9%	0.7%	3.3%
委員の種類	民生委員・児童委員	252件	13.1%	19.0%	27.8%	34.5%	20.2%	36.1%	17.9%	10.3%	0.4%	33.7%	23.8%	3.2%	2.4%	0.8%	3.2%
	主任児童委員	18件	5.6%	22.2%	16.7%	33.3%	11.1%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	27.8%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%
民生委員・児童委員 所属圏域	坂下	16件	25.0%	31.3%	31.3%	62.5%	18.8%	43.8%	37.5%	12.5%	0.0%	6.3%	43.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	高森台・石尾台	24件	20.8%	25.0%	29.2%	41.7%	8.3%	41.7%	16.7%	16.7%	0.0%	12.5%	33.3%	4.2%	4.2%	0.0%	0.0%
	藤山台・岩成台	17件	11.8%	35.3%	17.6%	47.1%	23.5%	41.2%	17.6%	17.6%	0.0%	17.6%	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	高蔵寺	12件	16.7%	25.0%	8.3%	16.7%	0.0%	41.7%	16.7%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	16.7%	8.3%	0.0%	0.0%
	南城	23件	8.7%	30.4%	39.1%	26.1%	26.1%	21.7%	26.1%	13.0%	0.0%	26.1%	26.1%	4.3%	0.0%	0.0%	8.7%
	松原	21件	23.8%	9.5%	33.3%	38.1%	28.6%	19.0%	14.3%	0.0%	0.0%	38.1%	28.6%	0.0%	9.5%	0.0%	4.8%
	東部	18件	11.1%	16.7%	38.9%	16.7%	27.8%	44.4%	16.7%	11.1%	0.0%	22.2%	27.8%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%
	鷹来	14件	0.0%	14.3%	42.9%	7.1%	21.4%	21.4%	14.3%	7.1%	0.0%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%
	柏原	18件	5.6%	11.1%	33.3%	33.3%	11.1%	44.4%	27.8%	5.6%	0.0%	33.3%	11.1%	0.0%	5.6%	0.0%	5.6%
	中部	34件	11.8%	8.8%	23.5%	29.4%	23.5%	38.2%	17.6%	5.9%	2.9%	50.0%	23.5%	2.9%	2.9%	0.0%	2.9%
	西部	20件	10.0%	20.0%	20.0%	35.0%	20.0%	20.0%	5.0%	10.0%	0.0%	50.0%	5.0%	15.0%	0.0%	5.0%	5.0%
味美・知多	34件	11.8%	14.7%	20.6%	44.1%	23.5%	50.0%	8.8%	17.6%	0.0%	41.2%	20.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

問 21 地域福祉を推進していくうえで、地域の活動を活性化するために、市役所に期待されることは何ですか。(〇は主なもの3つまで)

- ・「情報提供の充実」が37.6%と最も多く、次いで「人材・リーダーの育成」が33.2%、「若い世代への参加呼びかけ」が31.4%、「情報交換できる場づくり」が25.9%の順です。
- ・「主任児童委員」と比べて「民生委員・児童委員」での割合が10ポイント以上高いのは、「情報提供の充実」「情報交換できる場づくり」です。
- ・「人材・リーダーの育成」の割合は、前問（問20）と同様に、圏域により大きな差（16.7%～68.8%）がみられます。

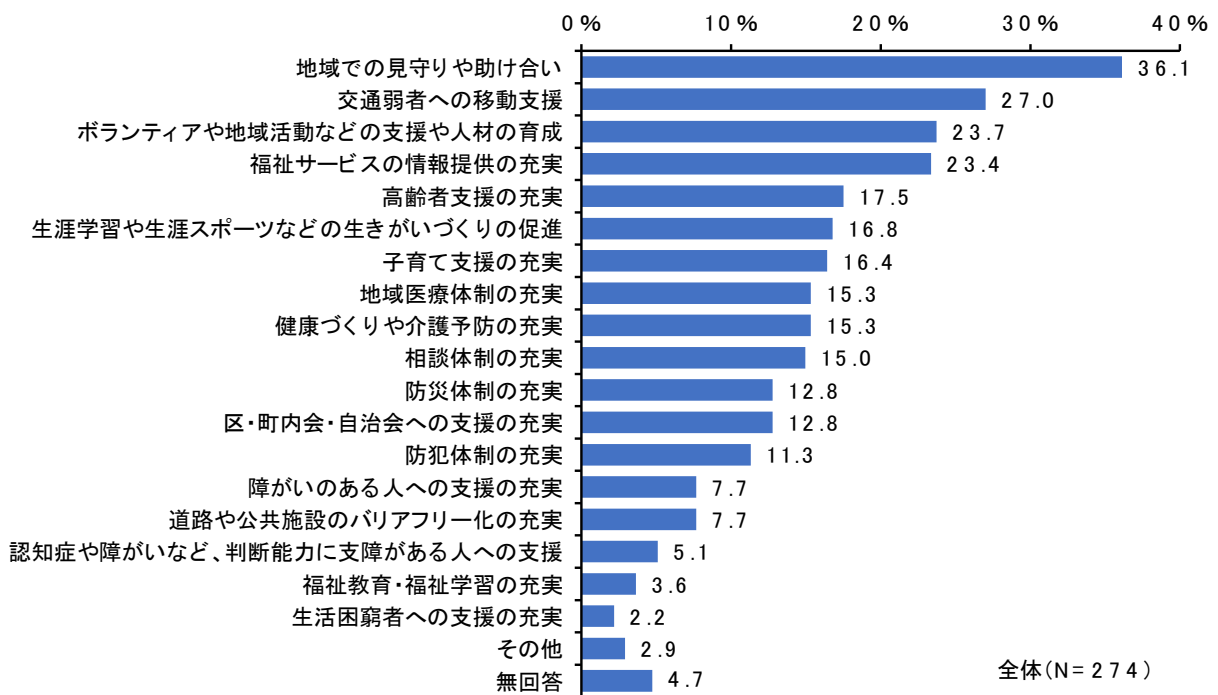


		合計	情報提供の充実	情報交換できる場づくり	相談体制の充実	若い世代への参加呼びかけ	団塊の世代への参加呼びかけ	人材・リーダーの育成	グループ・団体間の交流機会の確保	活動するための場の確保	研修会の開催	運営支援をする人の派遣	活動費の補助	その他	特にない	無回答
全体		274件	37.6%	25.9%	22.3%	31.4%	15.7%	33.2%	13.5%	16.1%	6.2%	20.4%	17.9%	3.3%	1.5%	4.0%
委員の種類	民生委員・児童委員	252件	39.3%	26.6%	22.6%	32.1%	15.9%	33.7%	13.9%	15.9%	6.7%	19.8%	16.7%	3.2%	1.2%	4.0%
	主任児童委員	18件	16.7%	11.1%	16.7%	27.8%	16.7%	33.3%	5.6%	16.7%	0.0%	27.8%	33.3%	5.6%	5.6%	0.0%
民生委員・児童委員 所属圏域	坂下	16件	50.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	68.8%	12.5%	12.5%	6.3%	31.3%	18.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	高森台・石尾台	24件	33.3%	20.8%	25.0%	25.0%	8.3%	29.2%	16.7%	29.2%	4.2%	12.5%	12.5%	4.2%	4.2%	0.0%
	藤山台・岩成台	17件	35.3%	29.4%	41.2%	35.3%	5.9%	35.3%	11.8%	23.5%	11.8%	29.4%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	高蔵寺	12件	33.3%	16.7%	16.7%	50.0%	16.7%	25.0%	8.3%	8.3%	8.3%	8.3%	33.3%	8.3%	0.0%	0.0%
	南城	23件	39.1%	26.1%	26.1%	21.7%	34.8%	30.4%	13.0%	21.7%	0.0%	21.7%	13.0%	4.3%	0.0%	4.3%
	松原	21件	33.3%	23.8%	14.3%	23.8%	14.3%	23.8%	23.8%	4.8%	9.5%	19.0%	28.6%	4.8%	4.8%	4.8%
	東部	18件	44.4%	27.8%	11.1%	44.4%	11.1%	16.7%	11.1%	16.7%	16.7%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	5.6%
	鷹来	14件	35.7%	42.9%	21.4%	21.4%	7.1%	21.4%	21.4%	7.1%	7.1%	14.3%	21.4%	0.0%	0.0%	7.1%
	柏原	18件	44.4%	22.2%	11.1%	38.9%	33.3%	27.8%	5.6%	16.7%	0.0%	27.8%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%
	中部	34件	38.2%	23.5%	26.5%	38.2%	11.8%	20.6%	11.8%	17.6%	11.8%	14.7%	26.5%	5.9%	0.0%	8.8%
	西部	20件	30.0%	25.0%	20.0%	30.0%	10.0%	55.0%	5.0%	5.0%	5.0%	20.0%	10.0%	10.0%	5.0%	5.0%
	味美・知多	34件	50.0%	23.5%	26.5%	32.4%	11.8%	47.1%	20.6%	17.6%	2.9%	20.6%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	地域活動	している	187件	40.1%	26.2%	21.9%	36.9%	19.3%	34.2%	16.6%	13.9%	5.3%	19.3%	18.2%	3.2%	0.5%
していない		61件	39.3%	29.5%	23.0%	19.7%	4.9%	31.1%	6.6%	21.3%	11.5%	21.3%	11.5%	3.3%	3.3%	4.9%

### 3-5 地域福祉全般について

問 22 誰もが安心して暮らせる春日井市にしていくために、市役所が重点的に取り組むべきことは何だと思われますか。(〇は主なもの3つまで)

- ・「地域での見守りや助け合い」が36.1%と最も多く、次いで「交通弱者への移動支援」が27.0%、「ボランティアや地域活動などの支援や人材の育成」が23.7%、「福祉サービスの情報提供の充実」が23.4%の順です。
- ・「民生委員・児童委員」の割合を圏域別にみると、「地域での見守りや助け合い」は、「坂下」(62.5%)、「交通弱者への移動支援」は、「高森台・石尾台」(45.8%)で高くなっています。



委員の種類	所属圏域	合計	地域での見守りや助け合い	ボランティアや地域活動などの支援や人材の育成	福祉教育・福祉学習の充実	福祉サービスの情報提供の充実	相談体制の充実	子育て支援の充実	高齢者支援の充実	障がいのある人への支援の充実	地域医療体制の充実	健康づくりや介護予防の充実	生きがいの促進	生涯学習や生涯スポーツなどの促進	防犯体制の充実	防災体制の充実	道路や公共施設のバリアフリー化の充実	交通弱者への移動支援	生活困窮者への支援の充実	区・町内会・自治会への支援の充実	認知症や障がいなど、判断能力に支障がある人への支援	その他	無回答	
			全体		274件	36.1	23.7	3.6	23.4	15.0	16.4	17.5	7.7	15.3	15.3	16.8	11.3	12.8	7.7	27.0	2.2	12.8	5.1	2.9
委員の種類	民生委員・児童委員	252件	36.9	25.0	4.0	22.6	13.1	15.5	17.1	7.9	16.7	15.5	18.3	11.5	12.7	7.1	27.0	2.4	12.3	4.8	2.4	5.2		
	主任児童委員	18件	33.3	11.1	0.0	27.8	38.9	33.3	16.7	5.6	0.0	5.6	0.0	11.1	11.1	16.7	27.8	0.0	16.7	5.6	11.1	0.0		
民生委員・児童委員	所属圏域	坂下	16件	62.5	43.8	12.5	31.3	6.3	18.8	12.5	12.5	25.0	18.8	31.3	6.3	0.0	0.0	18.8	0.0	12.5	6.3	6.3	0.0	
		高森台・石尾台	24件	33.3	29.2	8.3	8.3	12.5	4.2	12.5	0.0	20.8	8.3	4.2	25.0	20.8	16.7	45.8	4.2	4.2	0.0	0.0	8.3	
		藤山台・岩成台	17件	52.9	11.8	0.0	17.6	17.6	5.9	29.4	0.0	29.4	17.6	23.5	5.9	0.0	5.9	41.2	5.9	0.0	5.9	5.9	5.9	
		高蔵寺	12件	33.3	8.3	0.0	41.7	0.0	25.0	33.3	16.7	16.7	25.0	8.3	8.3	8.3	8.3	25.0	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	
		南城	23件	34.8	34.8	0.0	26.1	8.7	21.7	34.8	4.3	17.4	13.0	30.4	13.0	0.0	4.3	26.1	0.0	13.0	4.3	0.0	4.3	
		松原	21件	33.3	9.5	0.0	33.3	4.8	23.8	19.0	14.3	4.8	14.3	9.5	9.5	9.5	9.5	23.8	4.8	9.5	9.5	4.8	9.5	
		東部	18件	27.8	16.7	0.0	33.3	5.6	16.7	5.6	5.6	22.2	16.7	16.7	16.7	11.1	11.1	22.2	0.0	38.9	11.1	0.0	0.0	
		鷹来	14件	28.6	14.3	7.1	14.3	7.1	14.3	14.3	14.3	21.4	21.4	21.4	21.4	7.1	35.7	0.0	35.7	0.0	14.3	7.1	0.0	7.1
		柏原	18件	27.8	27.8	5.6	11.1	16.7	16.7	5.6	11.1	22.2	22.2	22.2	0.0	22.2	5.6	16.7	5.6	16.7	11.1	0.0	0.0	
		中部	34件	47.1	26.5	2.9	17.6	23.5	17.6	5.9	8.8	14.7	2.9	14.7	20.6	17.6	11.8	20.6	2.9	14.7	2.9	0.0	5.9	
		西部	20件	45.0	25.0	5.0	20.0	20.0	25.0	15.0	10.0	0.0	15.0	20.0	10.0	0.0	5.0	30.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0	
		味美・知多	34件	20.6	32.4	5.9	26.5	17.6	5.9	23.5	5.9	17.6	23.5	20.6	20.6	5.9	20.6	2.9	23.5	0.0	11.8	2.9	2.9	8.8

## 3-6 自由意見

問 23 誰もが安心して暮らせる地域づくりについて、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

「民生委員等の活動」「高齢者」「子ども」「地域や町内会」「地域の居場所」「プライバシー」「災害」「情報」「行政の役割」などに関する 74 件の意見がありました。

### 【主な意見】

- ・不安なこと、困ったことがあったとき、気軽に相談してもらえるように、民生委員の存在（誰かも含め）を周知してもらうことが大切なのは。
- ・高齢化が進む中、公共の乗り物の便数が少なく、免許返上後の生活が心配です。
- ・民生委員をはじめから高齢ではない（65 歳以下）働いているひとり暮らしの男性が思った以上に多いことを知りました。こういう方が将来地区から孤立しないような取り組みが必要ではないかと感じています。
- ・施設入所が望ましいと思われる方でも、費用や環境変化に対する懸念から、自宅で我慢して生活されている場合が多い
- ・学校に行けなくなり、家庭の中で閉じこもっている子どもが増えています。親もそのような子どもを抱え、精神的にも辛い状況です。学校ではない、子どもが息抜きできる場所、機会を提供してあげられたら、と思います。
- ・高齢者の手厚い福祉も大切だが、児童生徒数の減少で将来を担う子供達に支援をして欲しい。ひとり親家庭、特に父子家庭への支援が必要と思います。
- ・町内会に入っておられない方が居ます。近所付き合いが希薄になりますので、孤立させないことが重要です。
- ・今の現役世代には、余裕が感じられず、地域の協力も同じ。企業へ義務づけすれば、安心して地域支援する。
- ・地域の活動を見てみると、区・町内会、他のサークル活動等の縦の関係は良く結びつきはみられるが、横の関係が薄いため、民生活動していてもその弊害が邪魔になることがある。
- ・公民館や集会所をもっと利用しやすくする制度を整える。気軽に集まれる場所にする。
- ・地域に外国人の居住者が増していて、近隣者との交流が難しくなっています。
- ・災害時の要援護者支援の名簿をいただいても、緊急時、家が離れている方へ、どのような支援ができるのか、とても不安に思っています。
- ・問題点などを提案するとよくプライバシーの侵害になるからと処理されるが、これは一番楽な方法です。行政はもっと勇気をもって会議の席では検討処理して良いと思います。当事者の活動意欲がなくなると思う。
- ・地域の為に働きたい個人は増えていると思うが、その個人を結びつける団体、情報が不足していると感じる。
- ・何でもボランティアに頼らず、リーダーや管理者は市の職員に担ってもらおう。「ボランティア」の聞こえは良いが、無報酬だとなり手は多くないと思う。

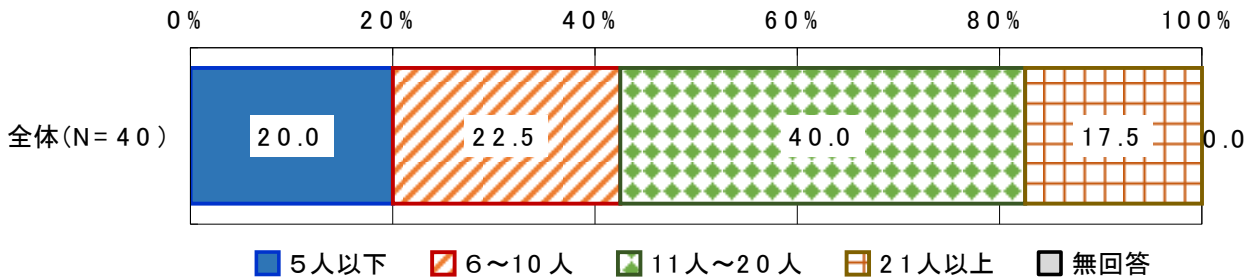


# 第4章 地区社会福祉協議会調査

## 4-1 地区社会福祉協議会の概要

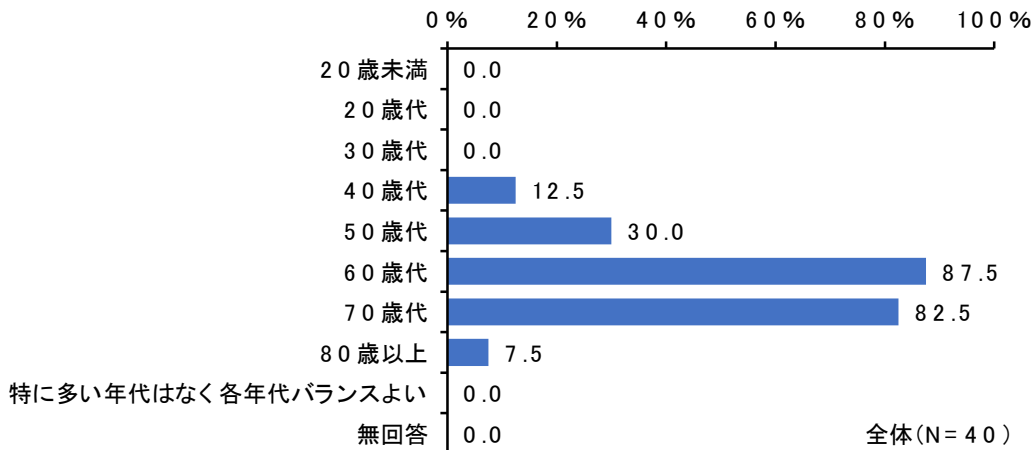
問1 貴地区社協の役員の数はいくつですか。(○は1つ)

- ・「11人～20人」が40.0%と最も多く、次いで「6～10人」が22.5%、「5人以下」が20.0%、「21人以上」が17.5%の順です。



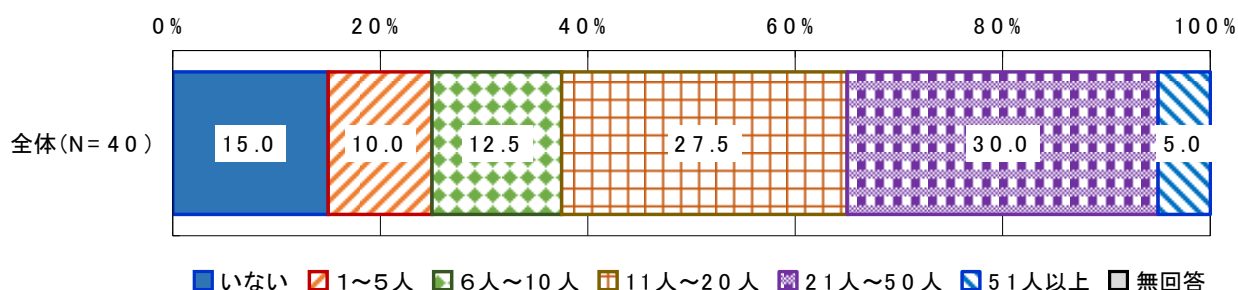
問2 役員の方の年齢層を教えてください。(○は多いほうから3つまで)

- ・「60歳代」が87.5%と最も多く、次いで「70歳代」が82.5%、「50歳代」が30%、「40歳代」が12.5%の順です。
- ・一方、「40歳未満」は0%です。



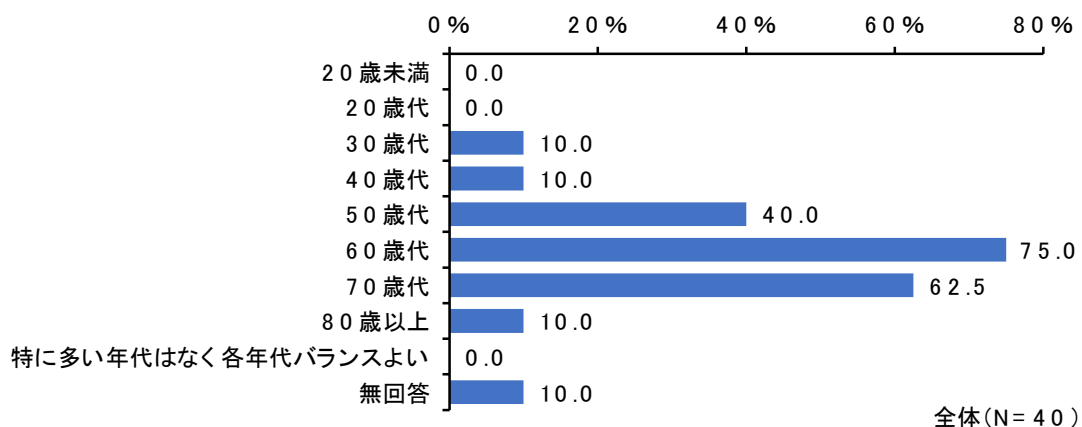
問3 貴地区社協の役員以外の構成員（子育て支援サロンの活動者等。以下同じ。）の人数はどのくらいですか。（○は1つ）

- ・「21人～50人」が30.0%と最も多く、次いで「11人～20人」が27.5%、「いない」が15.0%、「6人～10人」が12.5%の順です。



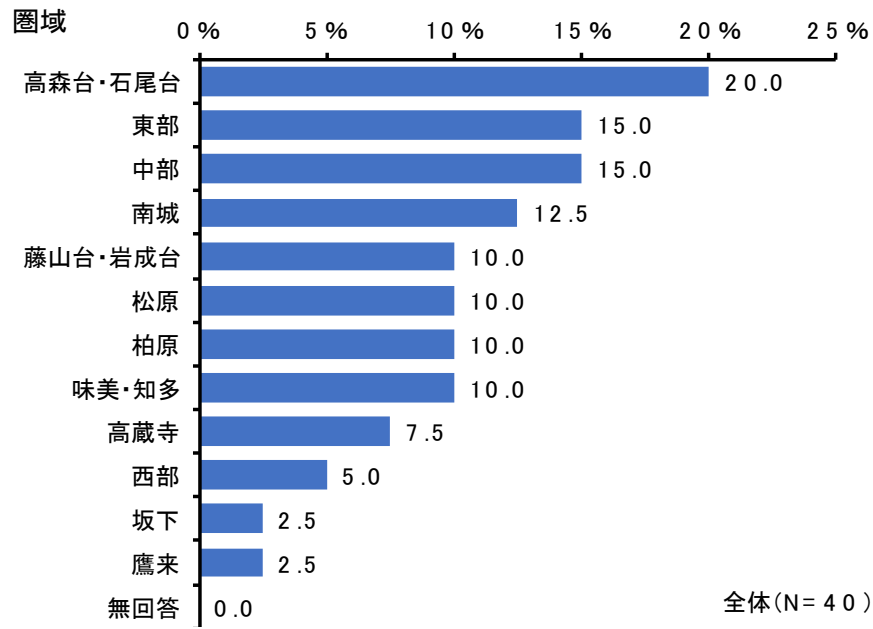
問4 役員以外の構成員の年齢層を教えてください。（○は多いほうから3つまで）

- ・「60歳代」が75.0%と最も多く、次いで「70歳代」が62.5%、「50歳代」が40.0%、「30歳代」「40歳代」が10.0%の順です。
- ・一方、「30歳未満」は0%です。



問5 貴地区社協が活動している地域（中学校区）はどちらですか。（〇はいくつでも）

・「高森台・石尾台」が20.0%と最も多く、次いで「中部」「東部」がともに15.0%、「南城」が12.5%の順です。

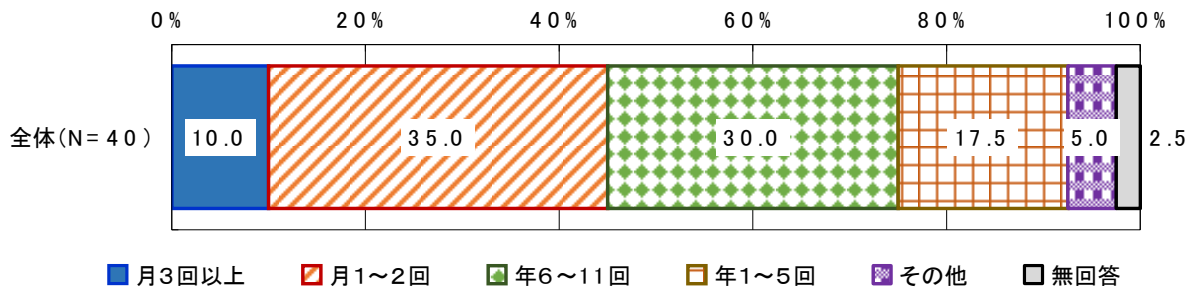


※中学校区を圏域で集計

## 4-2 活動の現状について

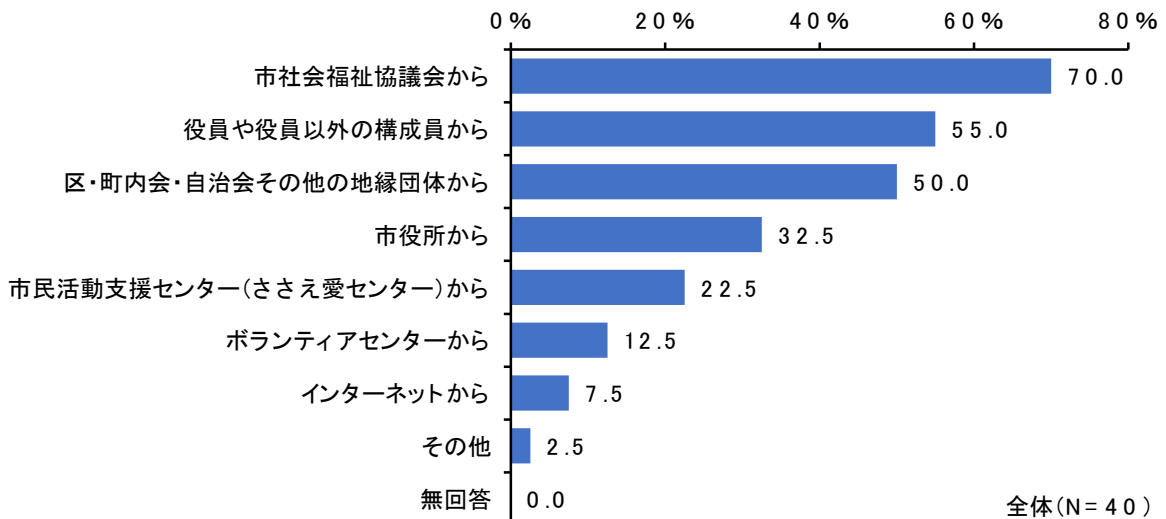
問6 貴地区社協の会合（役員会のほか各事業の準備のためのものを含む。）は、どれくらいの頻度で行っていますか。（○は1つ）

・「月1～2回」が35.0%と最も多く、次いで「年6～11回」が30.0%、「年1～5回」が17.5%、「月3回以上」が10.0%の順です。



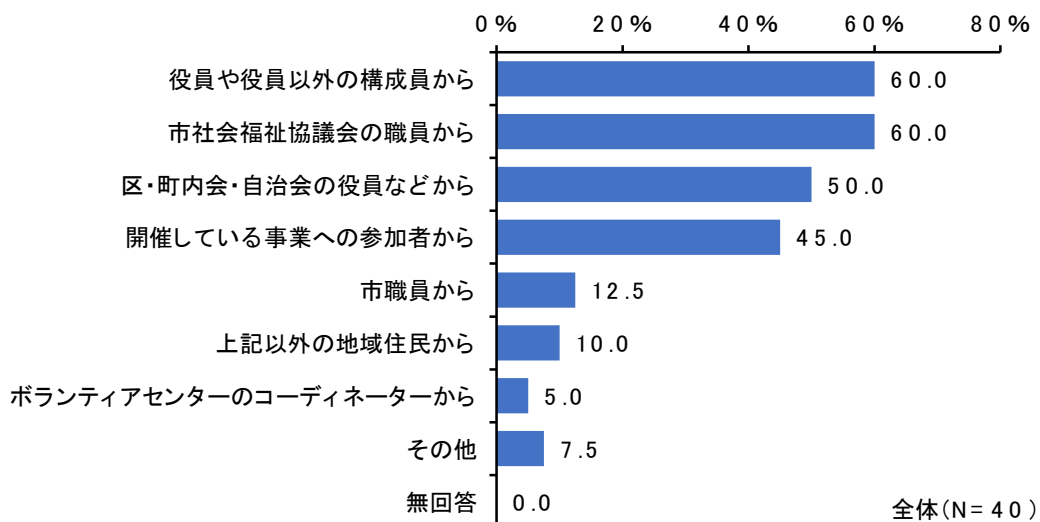
問7 貴地区社協では、地域活動に必要な情報（講師や物品、アイデアなど）をどのように（どこから）把握していますか。（○は主なもの3つまで）

・「市社会福祉協議会から」が70.0%と最も多く、次いで「役員や役員以外の構成員から」が55.0%、「区・町内会・自治会その他の地縁団体から」が50.0%、「市役所から」が32.5%の順です。



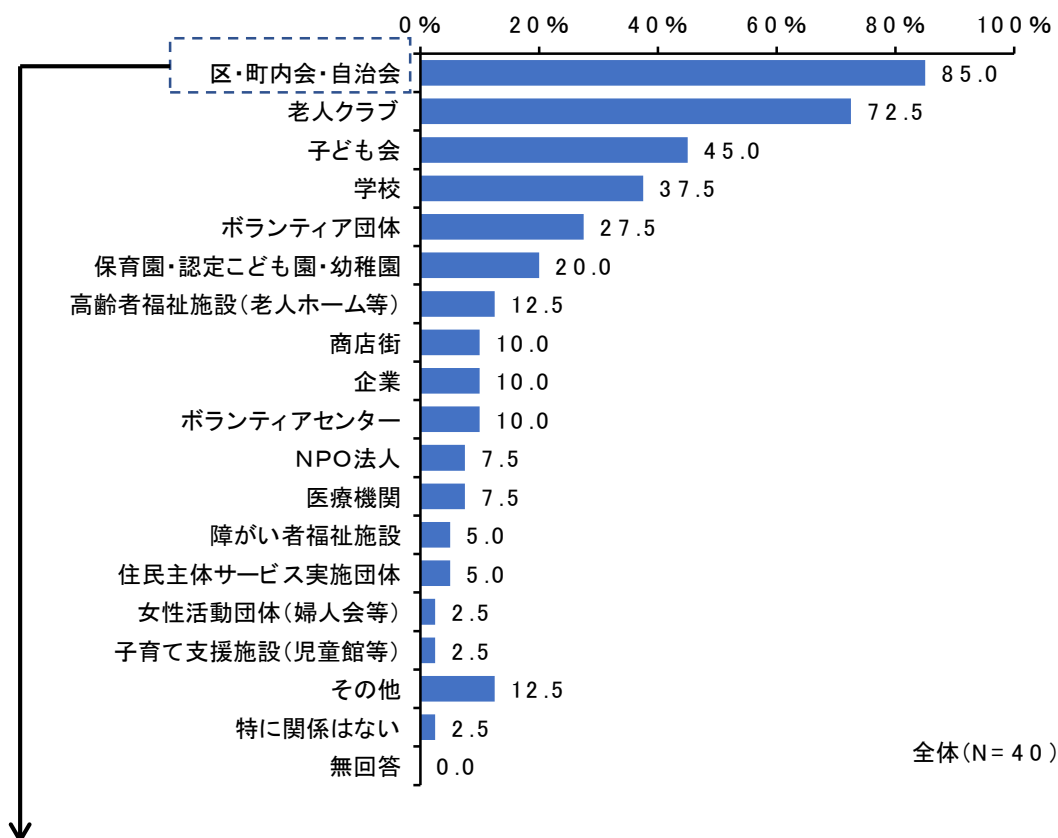
問8 貴地区社協では、福祉ニーズ（地域課題）をどのように（誰から）把握していますか。  
（〇は主なもの3つまで）

・「役員や役員以外の構成員から」と「市社会福祉協議会の職員から」が60.0%、次いで「区・町内会・自治会の役員などから」が50.0%、「開催している事業への参加者から」が45.0%の順です。



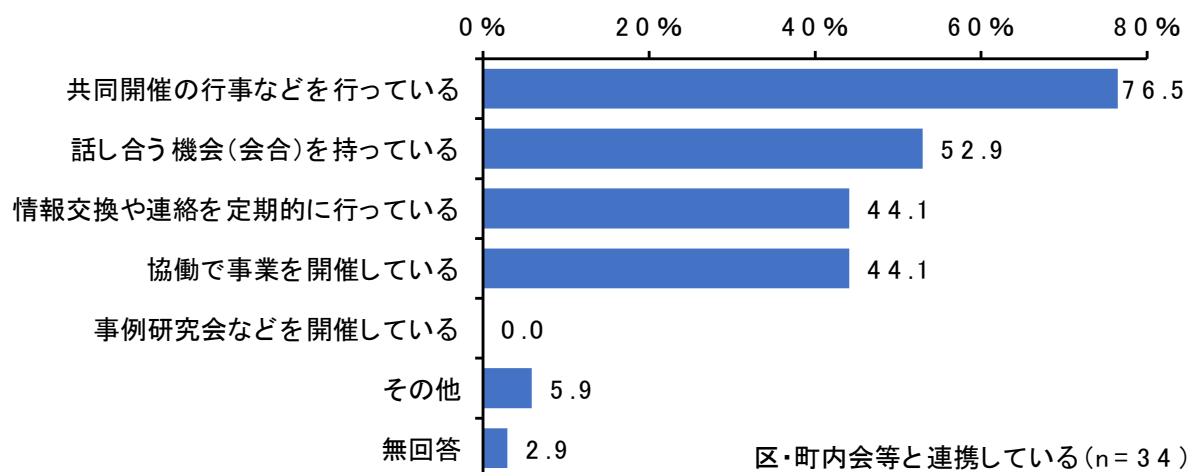
問9 貴地区社協では、他のグループ・団体や公共機関などとの交流や協力関係がありますか。(〇はいくつでも)

・「区・町内会・自治会」が85.0%と最も多く、次いで「老人クラブ」が72.5%、「子ども会」が45.0%、「学校」が37.5%の順です。



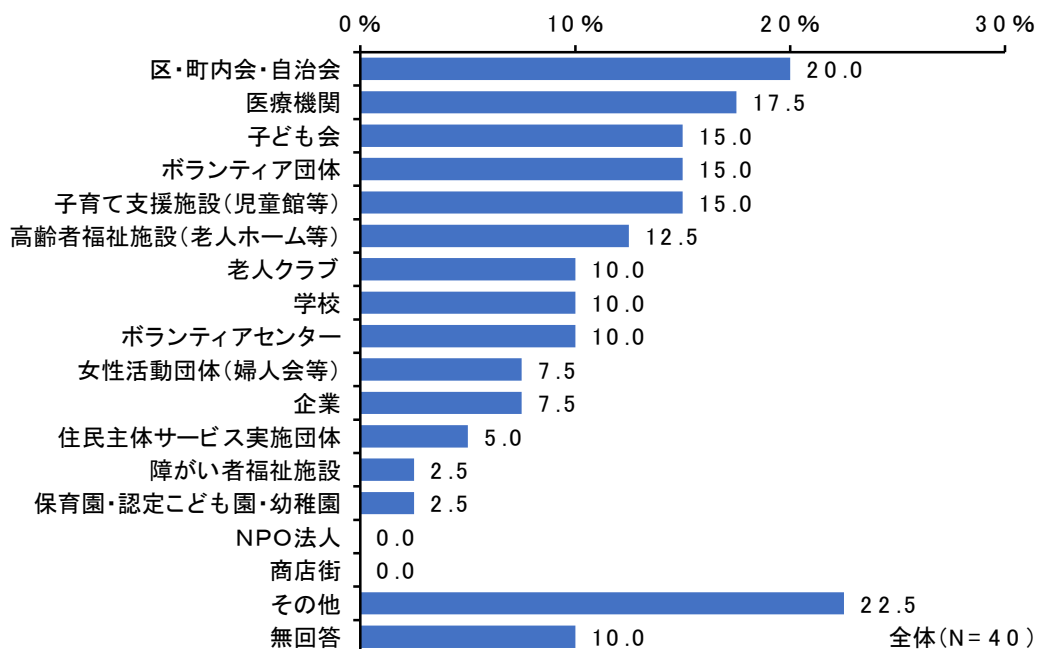
問9-2 (問9で「区・町内会・自治会」に〇を付けた方のみ) 活動するうえで、区・町内会・自治会とどのような連携をしていますか。(〇はいくつでも)

・「共同開催の行事などを行っている」が76.5%と最も多く、次いで「話し合う機会(会合)を持っている」が52.9%、「情報交換や連絡を定期的に行っている」「協働で事業を開催している」が44.1%の順です。



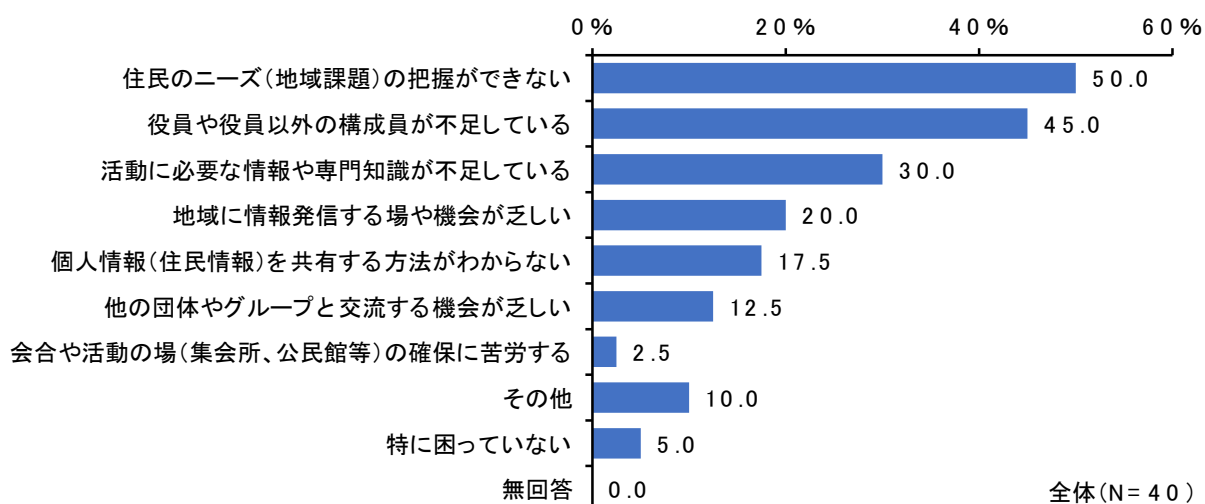
問 10 貴地区社協では、活動の進展のため、新たに関係を築きたいと思っているグループ・団体や公共機関などがありますか。(○は3つまで)

- ・「区・町内会・自治会」が 20.0%、「医療機関」が 17.5%、「子ども会」「ボランティア団体」「子育て支援施設(児童館等)」が 15.0%の順です。



問 11 活動資金以外で、貴地区社協が活動を行ううえで、困っていることは何ですか。(○はいくつでも)

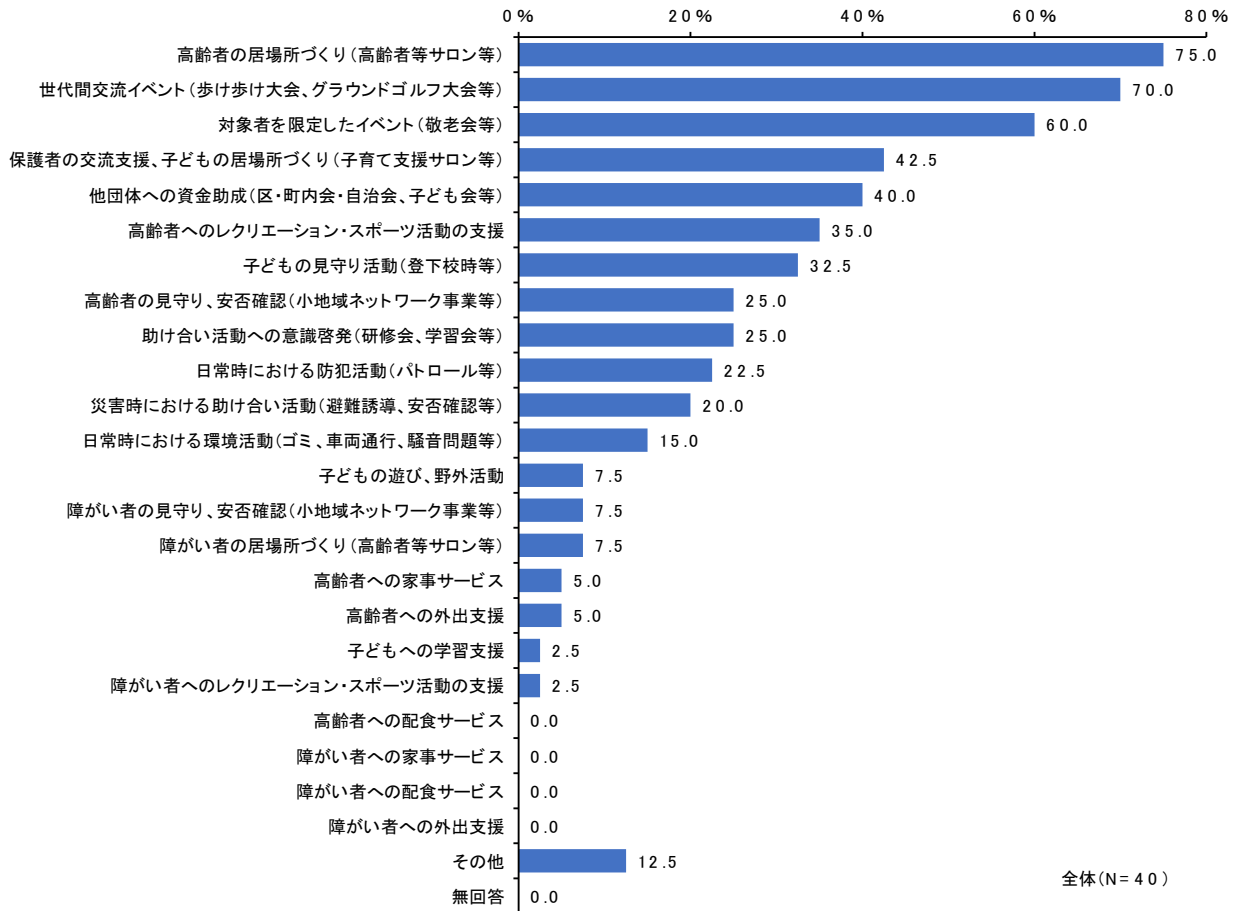
- ・「住民のニーズ(地域課題)の把握ができない」が 50.0%と最も多く、次いで「役員や役員以外の構成員が不足している」が 45.0%、「活動に必要な情報や専門知識が不足している」が 30.0%、「地域に情報発信する場や機会が乏しい」が 20.0%の順です。



### 4-3 活動・取組について

問12 現在、貴地区社協ではどのような活動を行っていますか。(〇はいくつでも)

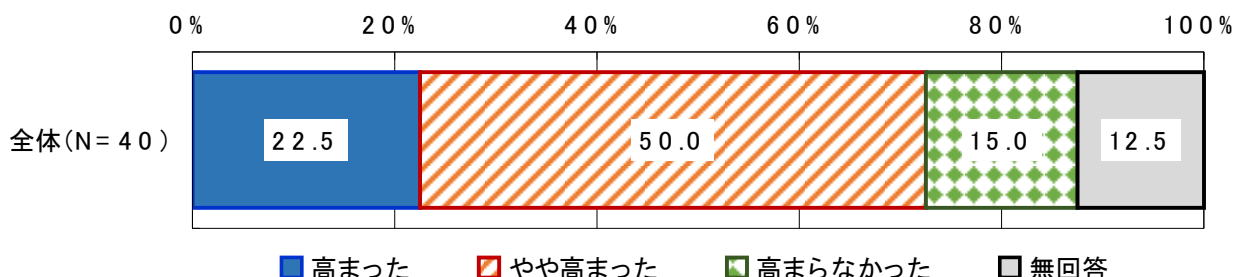
・「高齢者の居場所づくり(高齢者等サロン等)」が75.0%と最も多く、次いで「世代間交流イベント(歩け歩け大会、グラウンドゴルフ大会等)」が70.0%、「対象者を限定したイベント(敬老会等)」が60.0%、「保護者の交流支援、子どもの居場所づくり(子育て支援サロン等)」が42.5%の順です。





問 13 これまでの地区社協活動（問 12 で○印を付けた活動を含む。）を通して、地域福祉活動への関心は高まりましたか。また、そう考える理由を教えてください。

・「やや高まった」が 50.0%と最も多く、次いで「高まった」が 22.5%、「高まらなかった」が 15.0%の順です。



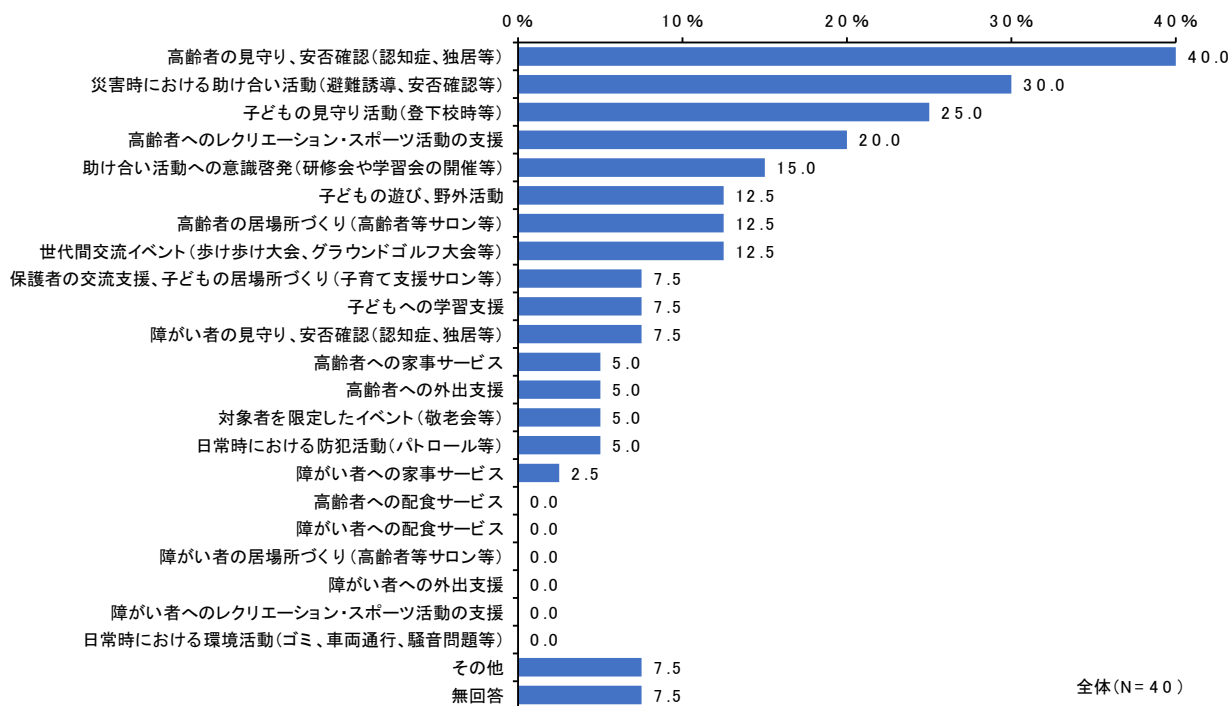
「高まった」理由
・地域住民の交流が深まったため。
・高齢者活動を通じて、今まで話をしなかった町内の住民同士の会話が多了くなった。各事業を通じて子ども同士のコミュニケーションが多了くなった。
・利用者が増えた。
・地区全体に高齢者が多いので
・多世代が参加できる行事を、コミュニティや体育振興会等と協力して、また、町内会、自治会に資金的にも応援してもらい、行事の最後に抽選会を行うなどの内容を工夫したことで、参加者が増えて、交流もできたように思います。
・色々な活動を通して、地域の方々に対して関心を持てるようになった。
・地区社協が開催する行事の参加者が増加した。
・地区社協が開催する行事について協力するグループ・団体が増加した。
・地区社協の取り組み（活動）について、役員の意識向上が図られた。
・[会合等を通じて] 以前は「社協は何をしているのか」「どういう団体か」などの質問がよくあったが、最近はあまり聞かなくなった。活動内容がある程度わかっている感じがしている。
・[会員募集を通じて] 町内会加入者は年々減少しているが、社協会員は数年前から増加、悪くても横ばい。
・社協会費、日赤、赤い羽根等の活動は、90%弱の世帯から協力が得られた。関心は皆さんあると判断しました。
・子育て支援は充実感が増大しつつある。

「やや高まった」理由
・三世代交流事業を企画した際、登校見守りしている小学生が参加してくれている。→地区に偏りがあり、浸透しているとは言いづらい。
・以前から関心は高いと思います。ただ高齢化のため無理のない範囲でと思っています。
・サロン会事業に参加して、今まで知らなかったお友達が出来ましたと喜ばれている。交流の輪が広がっているようです。
・福祉委員は各町内からの選出ですが、協力員は自分の意思でのボランティア参加ですので、協力員の関心は高まっていると思います。各事業の活動は80%が協力員によって実施。
・活動内容を15町内に回覧(毎月)している。
・役員として活動に参加することにより意識が変わってきている。ただし、役員終了と同時に意識は低下、参加機会が減少するため。
・各種行事の広報を回覧、公園等への掲示で行っているが、参加者の顔ぶれも決まっており、参加者は減少傾向にある。行事そのものに対する関心の高まりはある。
・「敬老会」「サロン」活動で地区社協の認識が高まった。
・参加者の増加
・活動は十分行っている。参加者は減少傾向であったが、このところ現状維持といった状況である。
・高齢者等サロンや子育て支援サロンの利用者が少しずつではあるが増加している。
・男性が参加しやすい、マージャン等のサロン、また、カラオケ開催で参加者増。
・サロン活動が地区社協の活動と思っていない人が多い(サロンを始める前よりは高いが)。まだまだ地区社協の認知度が低い。
・社協の活動内容(どういう内容で、どのような活動をしているのか)に関心なかった住民の方には、参加していただく事によって、知っていただく事が出来た。
・何度か地域ケア会議に出席させていただき、いろいろな問題が潜在していることを理解しました。他人事ではないことが多々あり、それを理解することが関心の始まりだと思います。
・見守り活動が7年目となり、一定の高まりがあると思う。

「高まらなかった」理由
・地区社協の存在を知らない。自分のことで手いっぱい。
・無関心な人が多いため。
・従来からの住民と新規に入居した住民の交流が必要かどうか全てにおいて考えがまとまらない。疑問ばかりです。
・機関紙を出しているのですが、多少は存在の認識は高まっているのかもしれないが、行事への参加状況を見ると高まったとは云えない。
・地区社協活動といっても、各区との交流はあるが、地域福祉活動という概念がよく認識できない。高齢者への活動(サロン等)は分かるが、子どもに対する活動があるのかどうか分からない。
・周知活動が不足。地区社協の意義と存在を区民が分からない。
・高齢者の交流は社会のシステムが変わり興味が浅くなった。

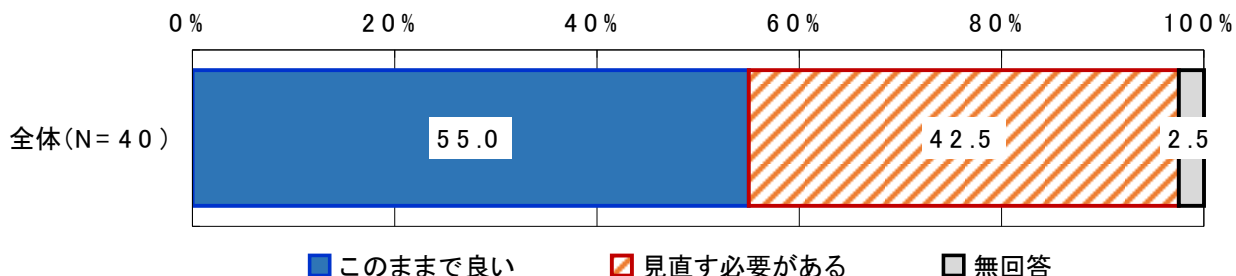
問 14 現在は行っていないが、貴地区社協で取り組むことができると考える活動で、特に必要と考えるものはどれですか。(〇は3つまで)

- ・「高齢者の見守り、安否確認（認知症、独居等）」が 40.0%と最も多く、次いで「災害時における助け合い活動（避難誘導、安否確認等）」が 30.0%、「子どもの見守り活動（登下校時等）」が 25.0%、「高齢者へのレクリエーション・スポーツ活動の支援」が 20.0%の順です。



問 15 これからの貴地区社協の活動はどうあるべきと考えますか。

・「このままで良い」が55.0%と最も多く、次いで「見直す必要がある」が42.5%となっています。



見直す必要がある	
・	地区社協の役員が協力員をお願いするにあたっては、年齢、居住地域、参加しているグループや団体など、幅広く考慮して人選できるようにしたい。
・	障がい者福祉についても目を向けていきたい。
・	住民が普段困っている事のニーズを把握して、もう少しきめ細かな支援が出来るようにすると良い。
・	地区社協の活動への理解を、より多くの住民にしてもらえるような啓発活動を考えていけると良い。
・	サロン会活動を、新たな方法で参加人員を増やすように皆で考えたい。
・	もっと活動の幅を広げたい。(協力者を増やす)
・	一般者、子どもの参加がもう少し多いとよい。
・	各町内会の役員を固定し、地区社協の活動を活性化したい。
・	区事業と連合会事業があり、連合会に一部地域が入っていない。話し合いが必要。
・	現在(発足以来)は、地域の有志で福祉委員会が構成され、地区社協活動が運営されている。組織的基盤を作りたいが、町内会はじめ他団体を巻き込んだ組織作りは、地域状況を考えると難しい。今やれることをやるなら、これで良いが(住民まかせ)、市社協や市が(地域の力を)必要と思うなら、組織作りに向けて、住民への意識啓発にも関わってほしい。
・	現在の活動を実施しつつ、地区の住民に対して、一層の認知度を高める努力を行う。
・	高蔵寺区の事業で行う各種団体では限界と活動範囲に限られる。現状維持も難しくなっている。
・	担い手不足と参加者減少が今後の問題と言われていることを考え、若い担い手の確保が必要。また、地区社協活動も新しい魅力ある活動へ転換していかないと低迷するため、活動内容、地区社協のあり方についても根本的に見直す必要がある。

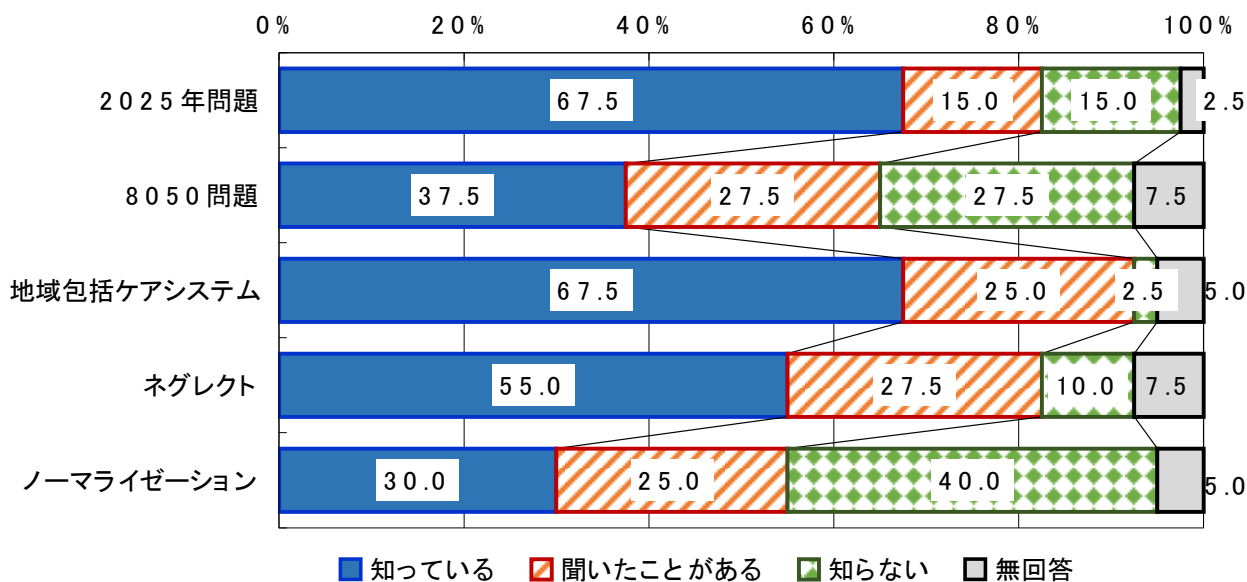
問 16 新たな活動に取り組むために、活動資金以外に市や市社会福祉協議会に対してどのようなことを期待しますか。具体的にお書きください。

市や市社会福祉協議会に対して期待すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサロンや高齢者サロンの交流会だけでなく、地域別役員の（ニュータウンだけの役員会はやっていますが、もう少し広い地域での）交流会などをやって、他地域との交流を図っていただけたらと思います。</li> <li>・講演会（住民が身近にかかえている問題や、地域コミュニケーションのノウハウ etc.）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・他市町における先進的な活動の紹介。</li> <li>・時代の変化に伴う福祉に関する課題について新しい情報の提供。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会会員の減少にともない、社協の会員も減っています。何とか増やす方法を一緒に考えて下さい。</li> <li>・今は、サロン活動しかやっていませんが、いずれ活動の幅を増していくつもりです。その為の先進地区の紹介や情報を得たい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・他地区社協が活動して良かった事例を共有し、次年度の事業計画に参考にできたら。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コピーサービス利用などで地域活動支援課を訪問すると、コピーなどの目的以外の情報が得られる。（例）回覧用紙の文案、レイアウトなどのアドバイスが得られる etc。→用事以外のプラスαが得られること。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロン会（2団体）・子ども会（2団体）・老人会（2団体）計6団体で構成されています。活動主体は、団体に委ねており、それぞれの規約等に基づき発足以来活動しておりますが、地域にとって、いかに魅力があるものか再検討しなければと考えております。特に、高齢者サロン活動に伴う、「指導者（協力員）」「時間（経験者）・場所」「諸費用」等含め、いかに継続させていくか、そして「後継育成」が必要かと思われまます。</li> <li>・福祉活動を志すボランティアの人を、地域内に見えましたらご紹介いただければ。</li> <li>・講師の派遣及びご紹介、軽体操・脳トレ等のビデオ（映像）等の貸出をご検討いただければ。パンフレットや文章による案内では、読まれない方々が高齢のため、増えたのではと感じています。私自身も含めて、知人による口コミが一番良い方法なのかもしれません。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在「すこやか送迎」の要望が多く、家事支援よりも活動回数が多い。しかし数年後にはドライバー不足が起ころう（現在70代が主体）。来年実験されるモビリティサービス（ニュータウンスタイル）が軌道に乗るよう願っています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地区社協の組織は各町内会への推薦者（1名）が1年交代であるため、継続的な活動は難しい。従って、各町内会の努力も必要であるが、自主的に活動して参加する人は少ない。よって、ボランティア活動を行う人が増える気運の方策を考えてもらいたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政の縦割（決して悪いとは思っていないが）のシステム（組織体制）であることから複数の活動（役員）をしていけば、社協の活動もその一部であり理解できる。（理解していただける）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の地区社協の連絡会等では活動がなかなか広がりません。情報がほしいです。以前実施されていた研修会等がありましたが…他市の勉強交流会もヒントになる事があったように思います。また、市、市社協の情報発信もとても重要です。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>市社会福祉協議会の活動事業は大変多いことを十分承知しています。これに対し地域住民は福祉と云った視点からの参加者は少ないように思います。この溝を埋め合わせることが大変です。特に高齢者は社協の福祉事業に関係なく老後を迎えている人が多いように思います。難しい問題です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>市や市社協による指導、助言。※新たな活動をするためには、活動資金が必要であり、子育て支援サロンや高齢者サロンの助成金減額をとりやめ、増額をお願いします。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>資金以外とありますが、現在の世帯数と助成金の割合の意味（根拠）が判らない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>新たに社協が立ち上げた「サロン事業」と、以前からある老人会組織との調整や相互理解。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>貸出用具の数を増やしてほしい。グラウンドゴルフ道具、カローリング道具。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で活動に参加しているのが区長など役員で、高齢者が多い。活動できていない（充分には）現状である。できれば市、市社会福祉協議会で活動をする。地域住民その他ボランティアに頼らないでできればと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地区役員も高齢化、後継者がいない問題をかかえている。（努力はしているもなかなか出てこない）後継者を見つけ、育てる方策の講演会の実施あるいは後継者問題について社協が先頭に立って取り組んでもらいたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>内容が難しくよく分かりませんが、区・町内会・自治会同様、活動が難しくなっておりま。この難局をいかに乗り切るかが鍵です。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉活動を始め、地域の活動には地元住民の信頼とつながりが基本です。昨今のように町内会を離脱する世帯、転入してきても町内会に入らない世帯が多くなると個々の世帯、地域の状況を把握することも大変な状態です。どこに人の手を必要としている人がいるのか、それを望んでいるのか否かすら判断できません。公人でない我々がどこまでできるのか、やっていいのかをいつも自問自答しています。何らかの指針を提示いただきたいと思います。</li> </ul>

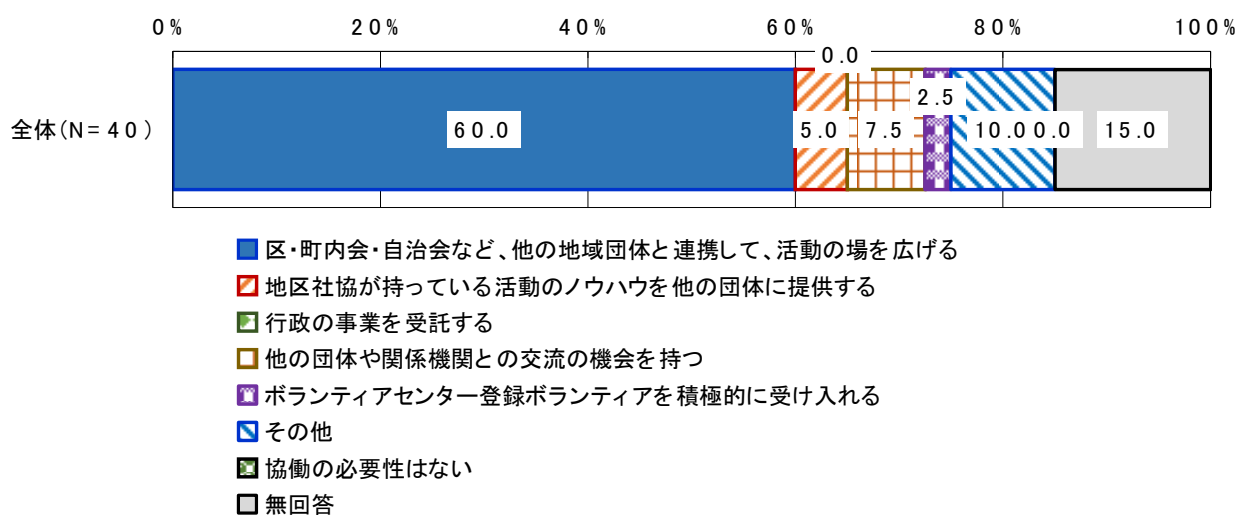
問 17 次の用語を知っていますか。

・「知っている」割合が高いのは、「2025年問題」「地域包括ケアシステム」(67.5%)となっています。一方、「知らない」割合が高いのは、「ノーマライゼーション」(40.0%)、「8050問題」(27.5%)となっています。



問 18 貴地区社協の協働のあり方として、今後進めていきたいものはどれですか。(〇は1つ)

・「区・町内会・自治会など、他の地域団体と連携して、活動の場を広げる」が60.0%と最も多く、「他の団体や関係機関との交流の機会を持つ」が7.5%、「地区社協が持っている活動のノウハウを他の団体に提供する」が5.0%の順です。



問 19 誰もが安心して暮らせる地域づくりについて、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

○「十人十色」とか申します。誰もが安心して暮らしたいという願いは同じはずなのに、それを目的とした事業や活動も四苦八苦しています。でも頑張ります。

○「少子高齢化」が話題になるたび、高齢者にとっては健康と介護施設の充実だと感じております。若者達には、子育てと仕事があり日々忙しくしており、老後の全てを託すわけにもまいりません。そこで大切なのが、健康な余生・社会福祉充実とサポートそして近所の交流かと思われませんが、町内会加入率が減少していくなか、役員の受け手がない現在、老後に向かって真剣に取り組まなければいけないと感じています。今後、ますます福祉事業活動の充実は大切なのではと受け止める昨今です。

○見守り活動を広げていき、多くの人を手助けしたい。

- ・空き家を何とかできないのか。
- ・車が運転できなくなっても気軽に外出できるようにしたい。
- ・老人は知識の宝庫だ。それをもっと生かそう。

○日本は昔からボランティアの習慣が薄いため、大変です。特に春日井市は区・町内会同様参加率が低い。

○根本的な改善が急務ですが非常に難しい。

○共助、共生の理念のもと、必要とされる際には遅滞なく発動できるネットワークや体制を整えておきたいと考えています。

○協調性の薄らいだ昨今、地域活動が難しくなりつつある。価値観の違う住民が増えているので団体活動は難しくなっている。コミュニケーション不足で打開策は…？

○現時点でも市役所、警察をはじめ、法律、生活、医療等、福祉関係団体が数多くあることから、その活用を一般の方々に知っていただくとともに、お手伝い出来る小さな力として個人的にも毎日を過ごしたいと思っている。

○高齢者が多い地域ですので、今年色々問題がありました。地域の団体と協力し、見守り隊を立ち上げたい。

○高齢者にとって、最大の不安は移動の問題である、最近移動についての研究が進められているが、身近に利用できるシステムの構築が望まれる。

○高齢者対応は大事だし取り組みが可能だが、若い世代（子どもの親世代）との連携、交流が難しい。地域の子どもが通う小学校と地域の関係を作っていけば、世代交代にもつながるのではないのでしょうか。それには、学校も地域も意識や視点を変える必要がある。商店も何もないこの地区で公的な場である学校を中心に地域活動が広がっていけば良いと思う。小学校が地域の人達に校庭の清掃や登下校の見守りを依頼し、地域の人もそこだけに目を向ける関係では、なかなか難しいですが。

○子供たちの下校や遊びから帰宅する時の見守りについて、今、「プラス防犯」とか「ながら見守り」等、日常活動の中で、子供たちの安全を見守る活動が行われています。当地区社協でも、「地域住民の目」で、子供たちを守ろうという提案をしています。この時間帯に、花壇の手入れや犬の散歩、ウォーキング等外での活動を行ってもらい、ちょっと子供たちに目を向けてもら



<p>う。大勢の目が集まれば、防犯につながると考えます。また、この時間帯は高齢者の力を借りなければできない事で、逆に高齢者の活動の場を作ることになると思います。全地区社協で連携できれば、より効果が高まると思います。</p>
<p>○私は地区社協に20年以上かかわっていますが、今の高齢者はまだ自分の暮らしに安心感があります。市、市社協もあらゆる活動を通じてバックアップしていただけていると思います。但し、これからの若人、子供達にとっては課題が多々あり、親としては未来の人達にもっと発信してもらいたい。ニュータウン地域は積極的に動いている人材がたくさんおられますので、他の地域と共に協力し合えたら…。まず地域の人々と挨拶から始まり、仲良く子供達を大事に育成できる地域作りをと願っています。</p>
<p>○社協が示している活動方針が各町内会で実施できるよう指導が出来れば、安心な地域が達成できると思う。</p>
<p>○とりあえずは住民の福祉活動の啓蒙が重要と思います。高齢者の割合が増々高まるなか、若い人達への喚起も重要と思います。誰もが歳をとり、老人になるといった意識も必要と思います。</p>
<p>○地域の諸団体が同じ方向（目的）に向かって連携していくことは重要。事業の協働、他団体への協力は大切だが、役割分担して各々の活動を精選して、協力員の負担を軽減することが永續のためには必要と思う。関心を深めるため、PRのためにはイベントも大切だが、見守り活動のような目立たない地道な事業を継続していくことが大切だと思う。</p>
<p>○地域活動活性化の根源は人づくり。近年若い人が特に多いが、町内会への入会者が減っている。入会は自由である。役員はやりたくない。ノーマライゼーションがうんぬんの社会、そのように育てた親が悪いのか、日本の文化なのか、教育制度か？自治体と町内会との融合が大切。世の中制約がなさ過ぎるのでは…？</p>
<p>○地域住民が安心、安全に暮らせるのが最高と考えているので、何をすべきか常に考えるが、いい方法が見つからない。まったくいやになります。御指導をお願いしたい。</p>
<p>○地区社協（坂下）の会長をしているが、私のいる神屋区では地域活動を何もしていない。（個々では活動している）ので地区社協のやっている事が分からなく困った。そのため、このアンケートに答えにくい。</p>
<p>○地区社協だけの活動だけでは制限があり、区・町内会等と一体となって活動を広げる必要があります。</p>
<p>○地区社協の会長会議の内容ですが、報告事項だけでは前進しないのではないのでしょうか。1つ、2つのテーマも決めて全員が意見を出し合う事が大切では。マンネリ化の改善で会長職を3年までに限る必要があります。</p>
<p>○当地区は「誰もが安心して暮らせる地域づくり」に関しては、賛同が得られており、活動にも協力的。現在リーダー役の人達がリタイアした後、若手の育成に努める時期ではないかと思いません。</p>
<p>○藤山台地区は公団住宅が多数あり、その住民の方たちの地域への関心が非常に低いと感じている。一緒に地域活動が出来るように、市と市社協の連携を密にさせていただきたいと願います。</p>
<p>○10年前に区長を拝命しました。この年に敬老会が地域開催に変更されました。この時点では、区民の年齢構成が把握できていませんでした。敬老会での対象者を明確にするため（敬老会では把握していた）区民を対象にした年齢構成の調査を実施しました。改めて、外之原も例外ではなく</p>

高齢化社会になっていた事を認識させられた。他方若年層は、数%に過ぎません。このような背景で、役員の拝命を受けましたが、玉野、木附、外之原中、細野・外之原上の4区の共通点や結び付きは、地区社会福祉協議会設立時に小学校区が同じであったことしか思いつきません。任期は1年です。いずれにしても、現在の業務を役員の任期、業務範囲の見直しを含め検討をしていく。他の区では民生委員を数年連続で職務に就いている話も聞きます。※民生委員の立場で逆に羨ましいと思いつつアンケートを記入しています。

○問 16 でも述べましたが、地域活動の基本は地元住民の信頼と繋がりにあると思います。

万が一災害が発生した時、自助、共助、公助と言いますが、地元住民間のつながりが希薄になりつつあるなかで、本当に共助が成り立つのか疑問が残ります。個が重要視される今だからこそ、もしもの時の共助について同じベクトルを共有できる関係を持てるようにしたいと思っています。



### **Ⅲ 住民座談会の意見の概要**

---



# 第1章 意見の分析

## 1-1 意見の数量的分析

### (1) 分類・分析の方法

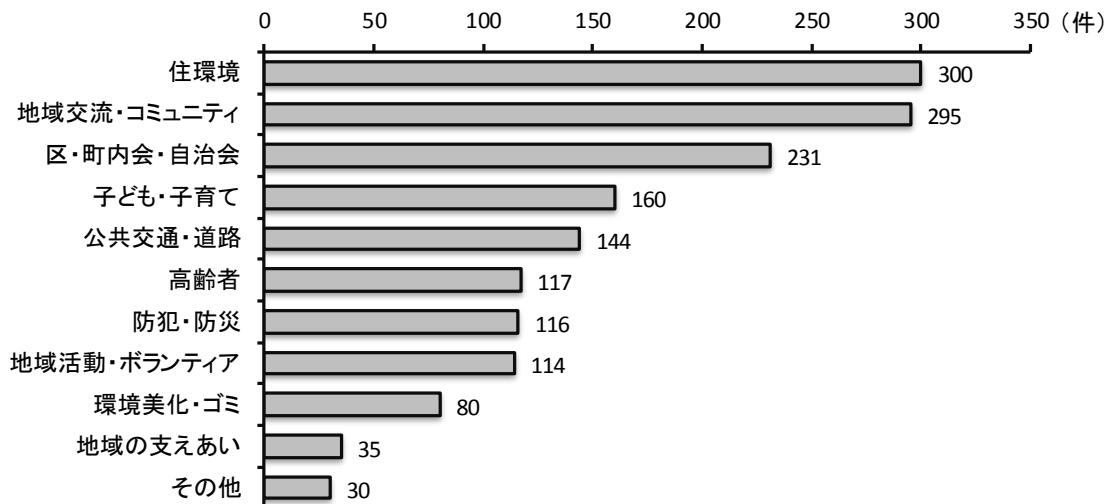
- ・住民座談会（12 地域、計 48 グループ）で出された意見カードは計 1,622 件（枚）でした。
- ・個々が記入した意見カードをもとに、各グループで意見交換が行われ、3～11 のカテゴリーに分類し、計 170 カテゴリーとなりました。
- ・ここでは、170 カテゴリーを 11 項目に分けて整理をし、分析を行いました。なお、カテゴリーに同じ用語（例：車）を含む場合でも、意見の内容により異なる項目（例「住環境」や「公共交通・道路」）に分類している場合があります。また、個々の意見カード（892 件）を 11 項目への分類作業を行ったものではなく、グループ討議でまとめた 170 カテゴリーを 11 項目に分類しました。

項目名	主なカテゴリー	今ある 良いこと	気がかり なこと
①地域交流・コミュニティ	地域とのつながり、あいさつ、 行事・集まり、近所づきあい、交流	174 件	121 件
②住環境	道路、住環境、生活のしやすさ、 買い物・商店、立地、自然、農業	150 件	150 件
③区・町内会・自治会	町会内、町内会活動、 町内会・自治会の担い手	82 件	149 件
④地域活動・ボランティア	地域活動、地域団体、活動が活発	57 件	57 件
⑤公共交通・道路	交通事情、交通機関、交通インフラ、 駐車、坂、通学路	30 件	114 件
⑥子ども・子育て	子ども、子ども会	87 件	73 件
⑦防犯・防災	防犯、防災、災害、街頭	45 件	71 件
⑧高齢者	高齢者、老人クラブ、老人会	32 件	85 件
⑨環境美化・ゴミ	環境、ゴミ、マナー	30 件	50 件
⑩地域の支えあい	見守り、助け合い、孤立、相談	14 件	21 件
⑪その他	市政全般に関する意見等		計 30 件

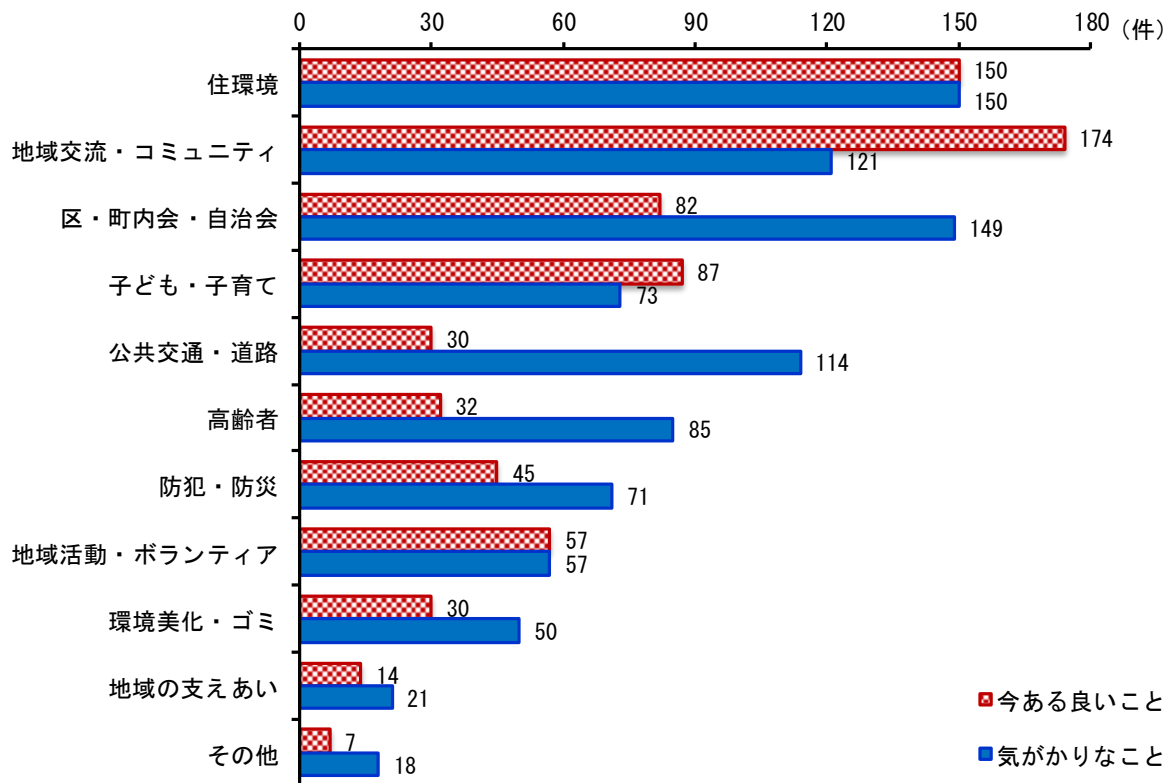
## (2) 数量的分析

- ・全体では「住環境」「地域交流・コミュニティ」「区・町内会・自治会」に関することが多くなっています。
- ・「地域交流・コミュニティ」に関することは『今ある良いこと』(強み)が『気がかりなこと』(弱み)を大きく上回っています。一方、「区・町内会・自治会」「公共交通・道路」「高齢者」「防災・防犯」「環境美化・ゴミ」に関することは『気がかりなこと』(弱み)の件数が大きく上回っています。

全体



※その他:「今ある良いこと」「気がかりなこと」のいずれにも該当しない意見を含む。



## 1-2 主な意見

### (1) 今ある良いこと(強み)

#### ①地域交流・コミュニティ(全 174 件)

- ・子どもの見守り活動が盛んで、地域で子どもを守る意識がある。小、中学生もよく挨拶をする。《坂下》
- ・地域内にある春日台特別支援学校と坂下小、坂下中の生徒との交流があり、障がいを持つ子の親からみると、他の地域に比べ障がい者に対して理解があると感じる。《坂下》
- ・地域住民による助け合い活動(「ネオポリスお助けマンの会」による草とり等)がある。《坂下》
- ・子どもと父兄等の交流行事の6輪ピック(坂下区を始め6地区の子供とその親が参加する運動会)の開催を推進している。《坂下》
- ・自治会活動が積極的になりつつあり、協力的で物事を推進しやすい。《坂下》
- ・老人クラブ内のサークル活動や老人クラブ間の交流行事などの活動が盛んである。《坂下》
- ・児童見守り活動を始めてから、子どもたちが挨拶するようになった。《高森台・石尾台》
- ・サロンで楽しかったメニューを趣味のクラブ活動として行っている人が多い。(卓球、歌声喫茶、絵画教室など)《東部》
- ・町内の人々が活動的で、公民館や集会所を趣味や活動で利用する人が多く、利用率が高い。《東部》
- ・自宅でラジオ体操を夫婦で始めたが、徐々に近所の人と一緒にやるようになり、自然な集まりになっている。《柏原》
- ・地区社協の行事や高齢者サロンの参加者が多い。《柏原》
- ・個人農園をしている人が多く、野菜のおすそわけ等で交流がある。《西部》
- ・公園が広く、子どもたちがたくさん集まって遊んでいる。《南城》
- ・地域にある障がい児・者の施設との交流があり、双方のイベントに協力して参加している。《藤山台・岩成台》
- ・町内会行事において、世代間交流がうまくできている。《高蔵寺》

#### ②住環境(全 150 件)

- ・店はないが高齢者でも食品等の宅配などをうまく利用している人がいる。《坂下》
- ・障がい児・者への治療の他、支援をする愛知県心身障害者コロニーが近くにあり、良い。《坂下》
- ・老人クラブが地域にある公園の手入れのため、草とりや清掃活動を定期的に行っており、常時綺麗な状態が保たれている。《東部》
- ・平成30年4月から春日井駅前に派出所が移転しており、駅前の治安が良くなった。平成20年に開設された駅前防犯ステーション「ふれあい」の存在もあり、駅前の雰囲気が全体的に良くなった。《柏原》



- ・開業医が多く、昔からかかりつけ医としてのつきあいがある。《味美・知多》
- ・グループふじとうができて、子どもの良い遊び場になっている。《藤山台・岩成台》
- ・病院、スーパーが近くにたくさんあって便利。《中部》
- ・ふれあい緑道、落合公園がある。《松原》

### ③区・町内会・自治会（全 82 件）

- ・三世代交流グラウンドゴルフや校区運動会などの行事が多く、自治会活動が活発である。《坂下》
- ・玉野台では、町内会に全世帯が加入している。《高森台・石尾台》
- ・町内会で行事等を行う時には、加入者同士が力を合わせて楽しく行うことができ、町内会活動に協力的な人が多い。《東部》
- ・世帯の少ない町内会は、役員が大変な反面、町内会に加入しているすべての世帯と顔見知りの関係が築けている。《東部》
- ・八事区では、各町内会の加入世帯が減少したため、近隣3つの町内会で区を作り、役員としての担い手を確保するなど協力して、近隣町内会同士協力して活動を継続している。《東部》
- ・ことぶき町では、3年前に新しくできた公民館が拠点となってサロン活動が活発化し、平成28年度に高齢者サロンを開設した。《東部》
- ・町内会の加入率はアパートを除き約70%、町内の総会出席率が80%と自治活動に関わっている人が多い。また、まとまりが良く、清掃活動などは一声かければ多くの住民の参加が得られる。《柏原》
- ・5年前から町内会長を若い人が担っている。10年先まで町内会長を決めている。《西部》
- ・昔から住んでいる人は分からないと思うが、名古屋より地域のつながりはあると思う。《味美・知多》
- ・町内会に元気な人が多い。《中部》
- ・町内会行事が多く、高齢者から子どもまで集うことが多い。《南城》

### ④地域活動・ボランティア（全 57 件）

- ・市が住民の地域活動を育てる方向にある。《高森台・石尾台》
- ・中央台では、住民によるパトロール隊、見守り協力員などの取組や運動会などの地域交流事業が行われている。《高森台・石尾台》
- ・高森台では、住民による認知症予防体操（コグニサイズ）が好評である。《高森台・石尾台》
- ・石尾台地区社協の独自の取組みとして、コーヒーサロンやすこやか助け合いサービスを行っている。《高森台・石尾台》
- ・柏原町内会では、町内会長などの役員が毎年変わると前年度の活動が分からなくて困るので、行事ボランティア団体（柏原コミュニティ協議会・柏原サロン）を作った。《柏原》
- ・単独の老人クラブによる活動だけでなく、他の老人クラブのメンバーや近隣の人が参加する麻雀の会がある。《柏原》

- ・町内の除草を個人で行ってくれている人がいる。《中部》
- ・伝統行事が多く、地域の活性化に繋がっている。《中部》

### ⑤公共交通・道路（全 30 件）

- ・はあとふるライナーは便も少なく経路も限られているが、安いのは良い。《坂下》
- ・小学校の近くに歩車分離の交差点が増え、交通量の多い交差点でも子どもが安心して通学できるようになった。《鷹来》
- ・高速道路のインターチェンジが近い。《松原》

### ⑥子ども・子育て(全 87 件)

- ・ネオポリスの中学生は、登下校時に元気に挨拶している。子どもも含めて住民同士で声を掛け合うことは大切である。《坂下》
- ・ネオポリスでは、高齢者が児童の通学時の見守りをしており、良い活動である。《坂下》
- ・働きながら子育てをする際、ファミリーサポート制度を活用して、子どもを預かってもらった。自分も預かる側に協力していきたい。《坂下》
- ・子どもの数が増加し、公園で遊ぶ人が増えている地区がある。《高森台・石尾台》
- ・上条町の駅前地区では、町内会が子ども会をフォローしている。子育て中の働く親に代わり、町内会や老人クラブのメンバーが子ども会の役員を務めている。《柏原》
- ・近所の公園でいつも大勢の子どもが遊んでいて、とても賑やかである。《南城》
- ・子育てサロンの活動が活発である。《藤山台・岩成台》
- ・保育施設が増加した。《中部》

### ⑦防犯・防災（全 45 件）

- ・災害時の緊急連絡網ができた。台風の時、連絡網があったから電話で避難場所の伝達ができた。《坂下》
- ・災害時要援護者支援制度に登録しており、民生委員が気にして声をかけてくれる。《鷹来》
- ・防犯カメラや防犯の看板が設置してあり、犯罪が減少した。《味美・知多》
- ・東野地区は防犯カメラが多い。《松原》

### ⑧高齢者（全 32 件）

- ・高齢者サロンの活動が活発である。《鷹来》
- ・ひとり暮らしの人が多くなり、声かけを意識して行っている。《味美・知多》
- ・地域のスポーツ、グラウンドゴルフ、清掃、草取りに高齢者が参加している。《東部》
- ・高齢者の身体機能低下予防の意識が高くなっている。《南城》

### ⑨環境美化・ゴミ（全 30 件）

- ・地域の防犯パトロールの人が、毎週ゴミ拾いを兼ねてパトロールをしている。《高森台・石尾台》

- ・街路をきれいにする清掃活動を始めた。《高森台・石尾台》
- ・大型商業施設は段ボールやペットボトルなど、あらゆる資源を受付けてくれてとても助かる。スーパーでも受付の種類を増やしてくれると良い。《鷹来》
- ・鳥居松町内会では、町内の草取りや防災活動が年に4、5回あるが、回覧掲示などの広報活動を活発にしているため、自主的な参加者が増えている。《柏原》
- ・赤堀区では、管理ができていない空き地の対策として、地主の了解を得て、住民ボランティアが除草活動を行った。《柏原》
- ・地域の人々の声掛けでゴミの分別が良くなった。一方で、まだできていない人もいる。《味美・知多》
- ・クリーン作戦などに協力的である。《南城》

#### ⑩地域の支えあい（全14件）

- ・免許返納してから、友達が車に同乗させてくれる。お互い歳をとったときが不安である。《坂下》
- ・新聞販売店が配達時、新聞が溜まっていないかなど気にかけてくれ、見守ってくれている。《藤山台・岩成台》
- ・高齢者に対する地域住民の見守りがある。《松原》

## (2) 気になること(弱み)

### ①地域交流・コミュニティ(全121件)

- ・人口減、特に子どもの減少に伴い、地域で行う伝統行事を今までどおり守っていけるかが心配である。これは各地共通の悩みであり、神事として男児に限ってきたが、女兒も容認する等で対応しているところもある。《坂下》
- ・神屋区では、今後の地域の担い手になってほしい30~40代の祭りへの参加が少ない。《坂下》
- ・地域を引っ張っている人達が高齢で、活動を引き継いでくれる次世代の人がいない。《高森台・石尾台》
- ・サロン活動に行きたくても行けない人(身体的な理由など)がいる。移送などの参加してもらおう方法がない。《東部》
- ・男性は地域の人とコミュニケーションをとることが苦手な人が多く、サロン活動への参加が少ない。《東部》
- ・どこでサロン活動が行われているのかが分かりにくい。サロンは多くでき始めているが、身近なサロンしか知らない人や実施されている事すら知らない人が多い。《東部》
- ・地域の縦のつながりは強いが、横のつながりが見えない(連携できると良い)。《鷹来》
- ・地域の子どもの見守りは必要だと思うが、自分自身が子育てを終えると、子育てをしている世帯や住んでいる子どもと関わりを持ちにくい。子どもに声をかけるだけで、不審者扱いされてしまう時代なので難しい。《柏原》
- ・世代間の交流があまりない。《藤山台・岩成台》
- ・老人会入会者が減っている。《高蔵寺》
- ・公民館を使いやすくして、子ども、大人、高齢者、障がい者が集える場にしてほしい。《中部》

### ②住環境(全150件)

- ・地域内に商店がない。坂道が多くバスの便も少ないので、車の運転をやめたときに買い物に困る人が多い。《坂下》
- ・櫛ヶ丘では、坂が多く買物に行くのが大変である。買物の負担が大きいことが課題である。《坂下》
- ・坂が多い地区であり、特に高齢者の移動の負担が大きい。《坂下》
- ・高蔵寺駅前の商店街は店が少なくなっている。買物できるところが減っていくのが心配である。《高森台・石尾台》
- ・個人商店がなくなった。《高森台・石尾台》
- ・施設入所や引越などで、空き家が増えている。空き家になった家が管理されず物騒である。《東部》
- ・道が暗い。《藤山台・岩成台》
- ・公園が少ない。《中部》

### ③区・町内会・自治会（全 149 件）

- ・人口減少により自治会役員の引き受け手がない。現役世代が地域の役を引き受けない。引越してきた人が町内会に加入しない。《坂下》
- ・若い世代の自治会の加入が増えない。《坂下》
- ・若い世代が自治会に加入すると、世代間で自治会の事業に対して意見が合わないことがある。《高森台・石尾台》
- ・引越してきても町内会に加入しなかったり、高齢になってからの退会も多く、加入世帯が減っている。高齢で役員ができなくなって退会する人もいるため、役員を免除することもあるが、町内会の維持が難しくなるうえに、特別扱いを嫌う人も多い。《東部》
- ・町内会の役員になること自体は良いが、資料の用意など、パソコンができないと務まらなくなっており、役員の負担が増えている。苦手な部分を請負ってくれる人がいれば、役員の担い手も増えるかもしれない。《東部》
- ・引越してきても、町内会活動に関心がなく加入しない人や、加入していても町内会活動には参加しない人が増えている。《東部》
- ・自治会役員の負担が少なくなるよう改革をしようとしても、役員が1年で交代するため、話をうまく進められない。《東部》
- ・町内会を退会する人が多くなり、加入者が減ってきている。背景には役員活動や掃除が負担になっている様子が見受けられ、跡継ぎのいる家庭でも退会してしまう。挨拶も減っており、地域力が低下している。《鷹来》
- ・町内会組織と民生委員との連携がとれていない。協力できることも見過ごされている。《鷹来》
- ・集合住宅が多く、関係性を作る意識が少ない。高齢者間や子育て世代間にも関係の希薄化が目立つ。居住地のおらが村意識が低い。《柏原》
- ・赤十字、社会福祉協議会の会員（募金）活動の負担が大きい。《味美・知多》
- ・町内会の活動に参加しない人が多い。《中部》
- ・町内会の活動がない。《南城》
- ・子ども会が減っている。《松原》

### ④地域活動・ボランティア（全 57 件）

- ・ボランティアの担い手が減少傾向にあり、色々な事業に手が出しにくい。《高森台・石尾台》
- ・定年の延長で、退職後にボランティアを担う人が高齢化している。《柏原》
- ・敬老会を校区で実施しているが、参加は町内会に加入している人に限られている。町内の高齢者全員に何とか声を掛けられないものか。《西部》
- ・地域活動・ボランティアの後継者が不足する傾向にある。《高蔵寺》

### ⑤公共交通・道路（全 114 件）

- ・病院の無料巡回バスに乗っている人が少ない。せっかくの地域資源なのにあまり利用者が少ないと運行がされなくなってしまうのではないかと心配である。《坂下》

- ・はあとふるライナーの路線が少ない。高蔵寺駅から国道19号エリア限定でもう少し小回りが利けば買い物、通院など東部地区の足になるのではないかと。《坂下》
- ・団地内の道路を抜け道にされ、危険である。《坂下》
- ・車の運転ができなくなったら、生活できなくなるのではないかと不安である。《高森台・石尾台》
- ・中学生の自転車通学のマナーが悪く、事故が心配である。子どもたち自身で考えさせる機会が必要である。《高森台・石尾台》
- ・買い物等に歩いて行くのは遠いため、気軽に乗れる乗合バスが町内単位であると良い。《東部》
- ・交通安全ゼロの日のパトロールを担う人が少ない。子ども向けに行っているが、高齢者向けの活動も必要である。《柏原》
- ・春日井区は交通機関が貧弱で、市民病院や市役所に行くことが大変である。《西部》
- ・交通の便が悪い。車の運転ができなくなった時のことを思うと不安である。《西部》
- ・小型バスなどの小回りが利く公共の乗り物が必要である。以前は、小型バスの運行があったが、利用者が少なく廃止になった。《味美・知多》
- ・通学路が狭く、危険な所が多い。《南城》
- ・子どもの通学路で信号がない横断歩道があるが、止まる車が少なくなかなか渡れない。《松原》
- ・最寄駅まで行くバスがない。《松原》
- ・交通ルールを守らない人がいる。《藤山台・岩成台》

## ⑥子ども・子育て（全73件）

- ・通学時間帯の車の往来が激しく危険である。通学時は交通規制がかかっているが、抜け道に使われている。《東部》
- ・子どもが非常に少なくなってきており、子ども会の存続が難しい。《東部》
- ・子どもの遊び場（公園）の規制が厳しい。《鷹来》
- ・塾が遠足などを行ってくれ、クラブ活動も充実しており、子ども会に入る必要がなくなってしまった。《柏原》
- ・子ども会の役を親が担うことが負担となってしまう、加入しない人や退会する人が増えている。《柏原》
- ・町内会に加入しないと子ども会にも加入できない。どちらかの活動をきっかけに加入することができず、連動していることで参加しにくくなっている。《柏原》
- ・子どもの遊び場が少ない。公園も少ない。《高蔵寺》
- ・小学生の下校時、登校時と違いバラバラに帰るので、見守りが難しい。《中部》

## ⑦防犯・防災（全71件）

- ・廻間町では、坂下小学校を指定避難所としているが、小学校の横に内津川があり、水害時における避難所としては不安がある。《坂下》
- ・災害時の避難場所の心配がある。最重度の身体障がい者なので小学校の避難所では、生活

するのが無理だと思う。障がいのある人にとって、小学校等の避難所における継続した生活は、本人・親族共に負担が大きい。《坂下》

- ・個人情報保護を理由に連絡先を教えてもらえないので、緊急時に知らせる方法に困る。町内によっては名簿を作るのが難しい。《坂下》
- ・台風の際、避難情報を伝える手段がなく、先日の台風の連絡は役員が1戸ずつ伝えに行くしかなかった。《坂下》
- ・大きな被災をしたことがないため、いまだに災害は他人事のように考えてしまいがちで、防災意識が低い。《東部》
- ・指定避難所まで行くことが精一杯の人も多く、中には避難所まで行けない人もいるかもしれない。避難所に行く事が難しい人がどこに住んでいるかも分からない。《東部》
- ・小学校に避難しても、赤ちゃんや障がい者、認知症高齢者が過ごせるのか心配である。居づらくなって、やむなく倒壊の危険がある自宅や車中で過ごすことになるのではないか。《柏原》
- ・障がいがあるため、近所の人に手を貸してほしいが、そもそも地域とのつながりが無い。《西部》
- ・避難場所が小学校になっているが、川より低い位置にあるので川が氾濫した際に避難場所にならない。《西部》
- ・ひとり暮らしや高齢世帯の災害時の支援体制が不十分である。誰が誰を助けるかを明確にできると良い。《西部》
- ・ひとり暮らしの高齢者が多く、災害時の対策・連絡方法が心配である。高齢者で近所付き合いをしない人がいる。《味美・知多》
- ・防犯カメラの設置数が少ないのではないか。《中部》
- ・近隣に長期避難所となる施設がない。《藤山台・岩成台》

## ⑧高齢者（全 85 件）

- ・自宅介護をどう支援するか心配である。《坂下》
- ・認知症の徘徊時の事故の賠償責任と保険の制度を市で作ってほしい。《坂下》
- ・認知症のある高齢者への声かけ等を中学生ボランティアに参加してほしい。《鷹来》
- ・近所に認知症になった人がいる。時間を問わず、近隣のお宅を訪ねることがあり、地域でどう支えていくかが気がかりである。《柏原》
- ・ひとり暮らし高齢者が増加しているが、人数が把握できない。町内会や老人クラブに参加しない人が多い。《柏原》
- ・地域から孤立した人は、地域で援助していく事が難しい。《柏原》
- ・町内会に加入していない人などは顔が見えないので、何かあったときに手助けが何もできない。《味美・知多》
- ・高齢者は増えているが、老人クラブに加入する人が少ない。《味美・知多》
- ・体が弱ってグラウンドゴルフに参加することができない人がいる。《味美・知多》
- ・一人暮らしの高齢者が増加し、コミュニケーションの場が無いいため、孤立しがちになる。《中部》

- ・地区社協のスタッフが高齢化しており、引継ぎできる人もいない。《松原》

### ⑨環境美化・ゴミ（全 50 件）

- ・町内会に加入していない人（若い世帯、外国籍の住民）のごみ出しのマナーが悪い。《西部》
- ・ごみ出しのレクチャーを受ける機会があるとよい。《西部》
- ・クリーン作戦の参加者が減っている。《中部》
- ・ゴミ出しのルールを守らない人がいる。《松原》
- ・最近、カラスが増え、ゴミを散らかしている。《南城》

### ⑩地域の支えあい（全 21 件）

- ・今は地域を見守る人が多いが、高齢化しているのでこれからが心配である。《高森台・石尾台》
- ・ひとり暮らし世帯が多い。配偶者が亡くなり、ひとり暮らしになった人が地域とのつながりもないまま生活していて心配である。《東部》
- ・地域との交流のない男性が多く、サロンが近くにあっても参加するきっかけがつかめない人が多い。町内会の活動にも消極的である。《東部》
- ・孤立死のない地域にしていきたい。《東部》
- ・知的障がい児・者のことをよく知らない人が多い。《東部》
- ・介護サービスの利用があっても、個人情報保護の観点から専門職と地域住民との情報交換の場がなく、有効な見守りができていない。《柏原》
- ・年金だけで生活をするのが厳しく、生活保護になりそうなくらいの生活を送っている人が増えている。《柏原》
- ・個人情報保護の観点から、情報を公開するのに抵抗がある人が多い。《味美・知多》



### 1-3 意見の可視化分析

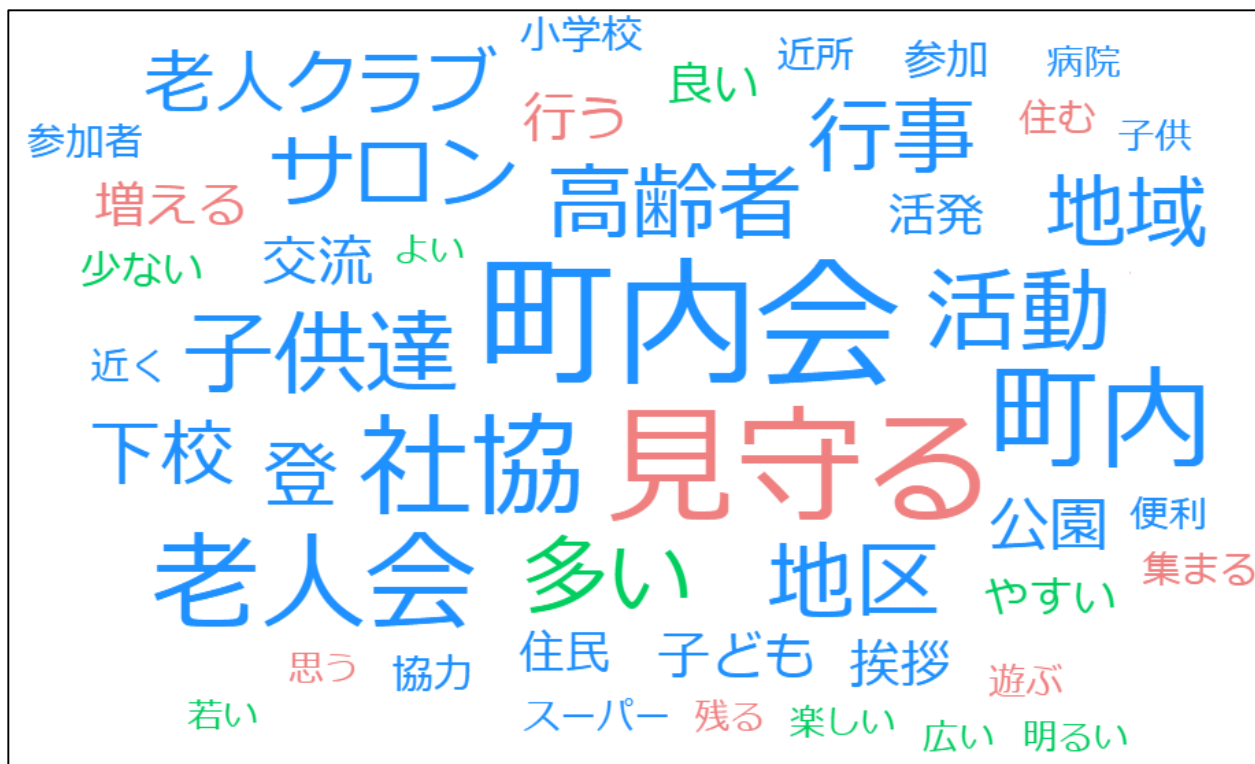
ワードクラウドは、文章中で出現頻度が高い単語を複数選び出し、その頻度に応じた大きさで可視化（図示）する手法です。ここでは、単に出現回数でなく、重要度を加味した値である「スコア」（点数）により、可視化しています。

図中の文字の大きさは、スコアの高さを表します。

#### (1) 今ある良いこと

- ・ワードクラウドにより『今ある良いこと』に関する意見の単語の特徴を分析すると、「町内会」が最も大きく、次いで「町内」「老人会」「社協」などとなっています。

#### ■ワードクラウド



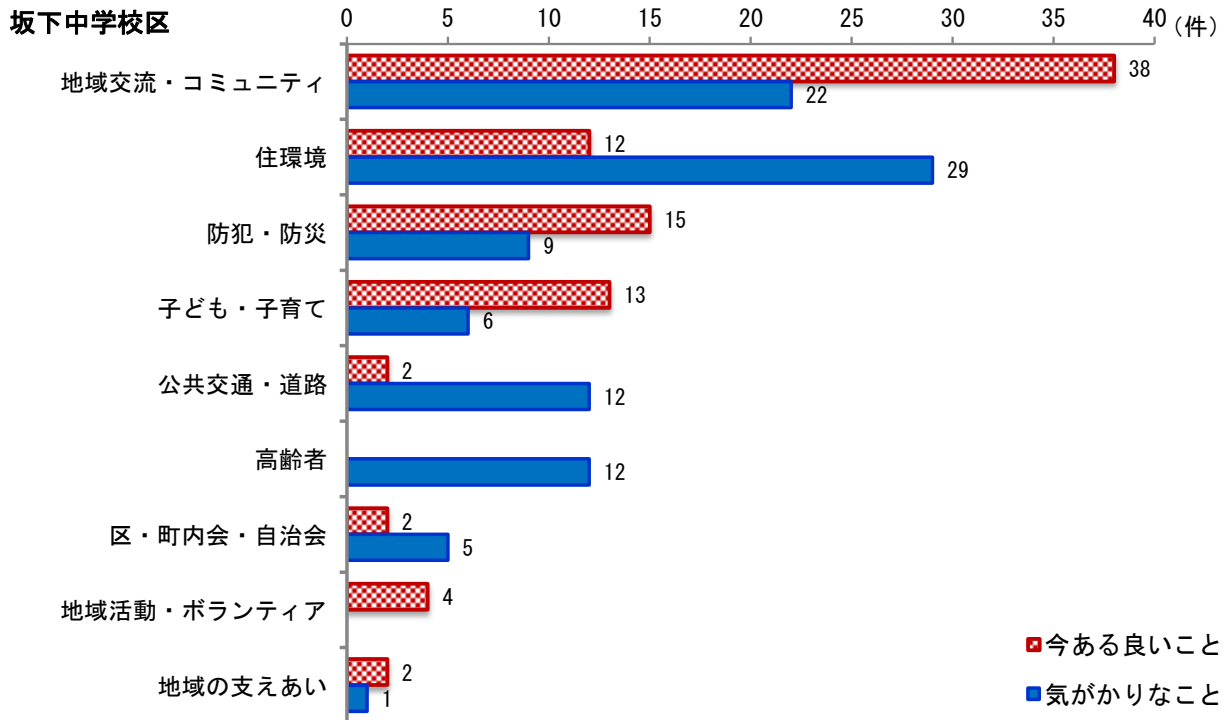
※単語の大きさはどれだけ特徴的であるかを表している。



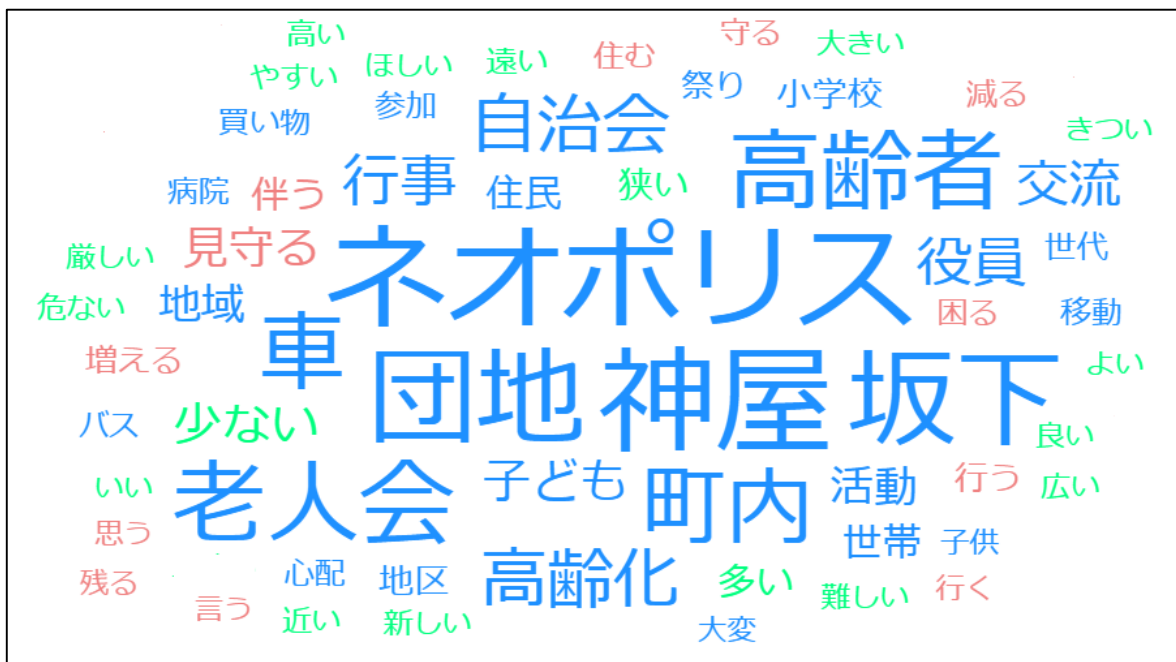
## 1-4 地域別の分析

### (1) 坂下中学校区

- ・『今ある良いこと』が多い項目は、「地域交流・コミュニティ」「防犯・防災」「子ども・子育て」「地域活動・ボランティア」などとなっています。一方、『気がかりなこと』が多い項目は「住環境」「地域交流・コミュニティ」「公共交通・道路」「高齢者」などとなっています。



- ・ワードクラウドによる特徴的な単語は、「ネオポリス」「団地」「神屋」「坂下」などとなっています。





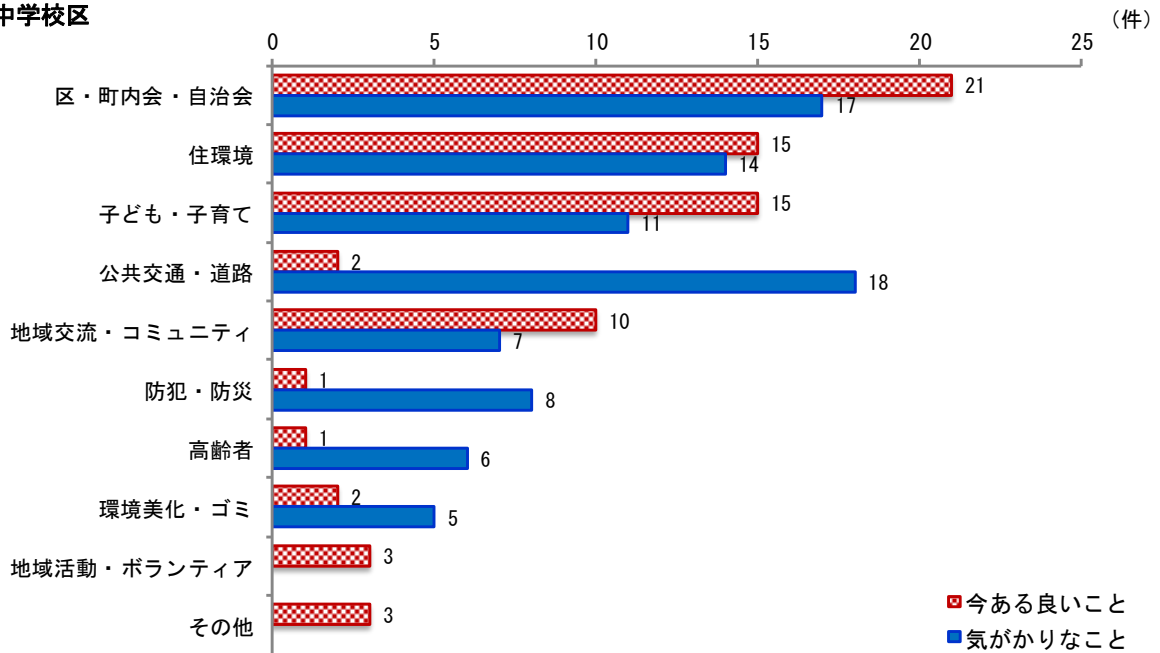




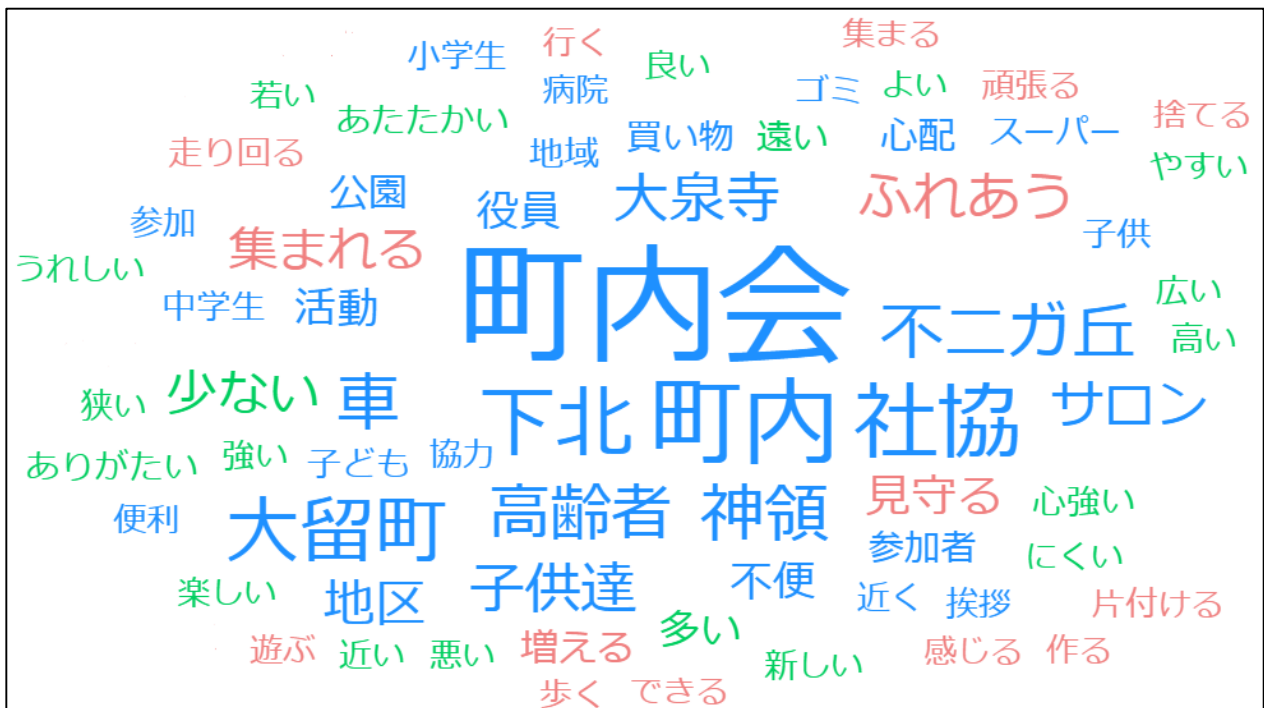
## (5) 南城中学校区

- ・「区・町内会・自治会」「住環境」「子ども・子育て」に関する意見が多く、それぞれ『気がか  
りなこと』よりも『今ある良いこと』に関する意見が多くなっています。
- ・一方、「公共交通・道路」「防犯・防災」「高齢者」「環境美化・ゴミ」に関する意見は、『気がか  
りなこと』が多く、特に「公共交通・道路」に関する意見が多くなっています。

南城中学校区



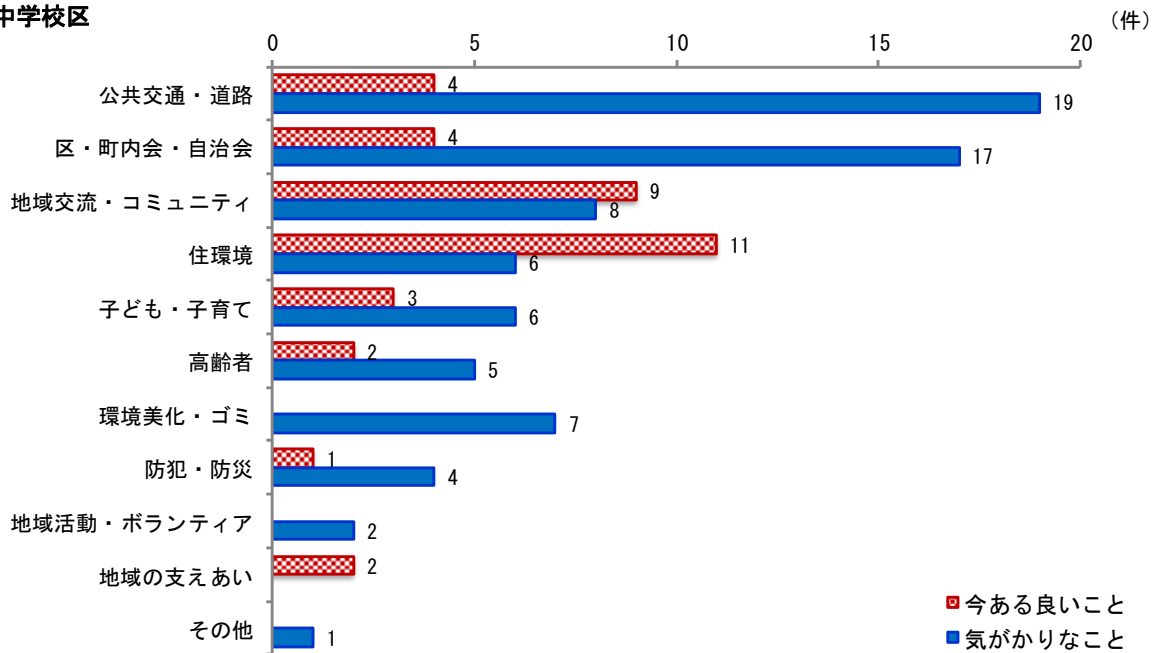
- ・ワードクラウドによる特徴的な単語は、「町内会」「下北」「大留町」「社協」などとなっています。



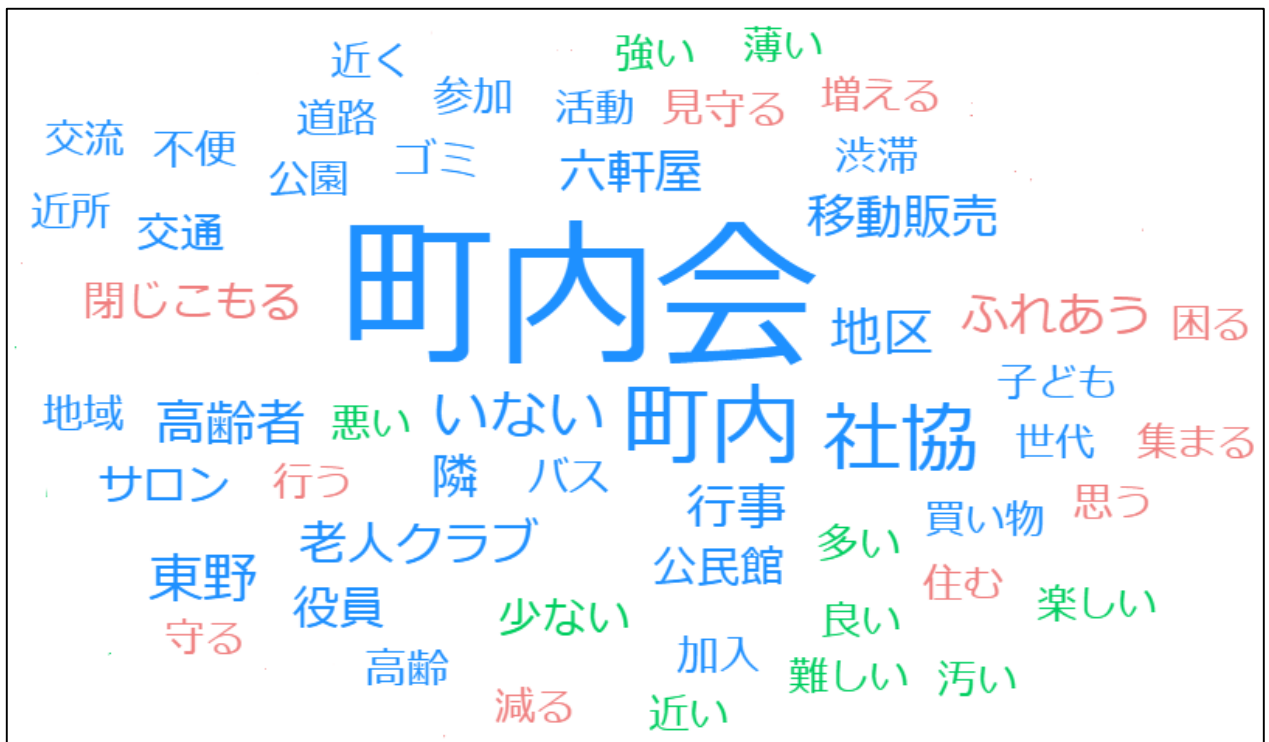
## (6) 松原中学校区

- ・「公共交通・道路」「区・町内会・自治会」に関することは、『気がかりなこと』が多くなっています。一方、「住環境」に関することは、『今ある良いこと』が多くなっています。また、「地域交流・コミュニティ」に関することは、『今ある良いこと』と『気がかりなこと』が同程度となっています。

松原中学校区



- ・ワードクラウドによる特に特徴的な単語として「町内会」があげられ、ほかに「町内」「社協」などとなっています。



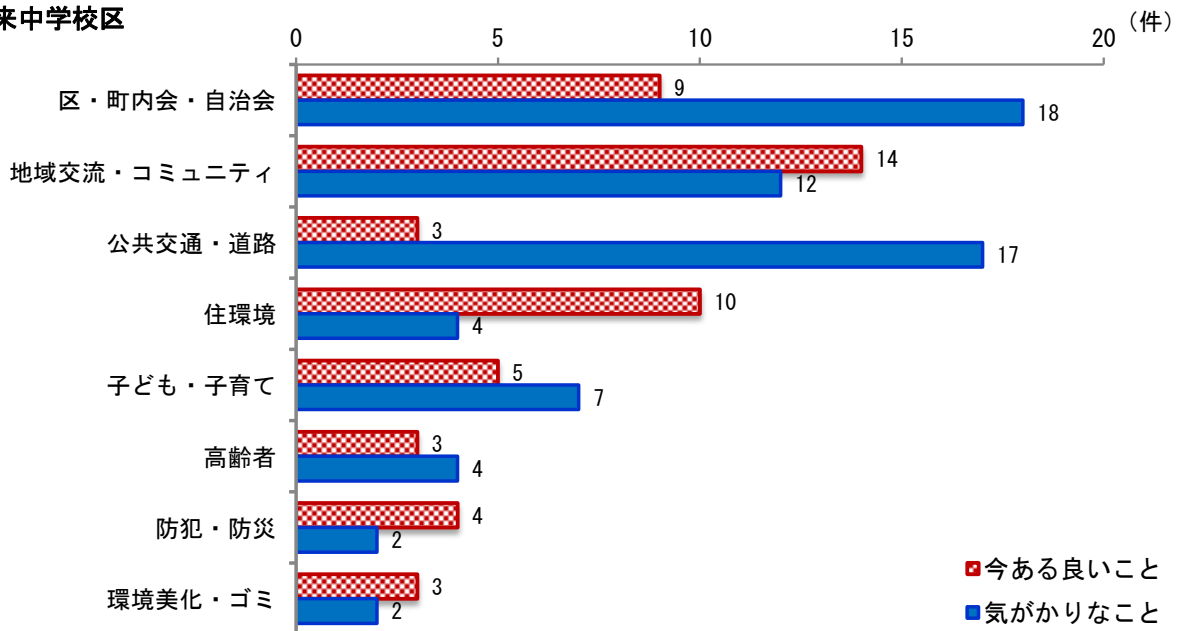




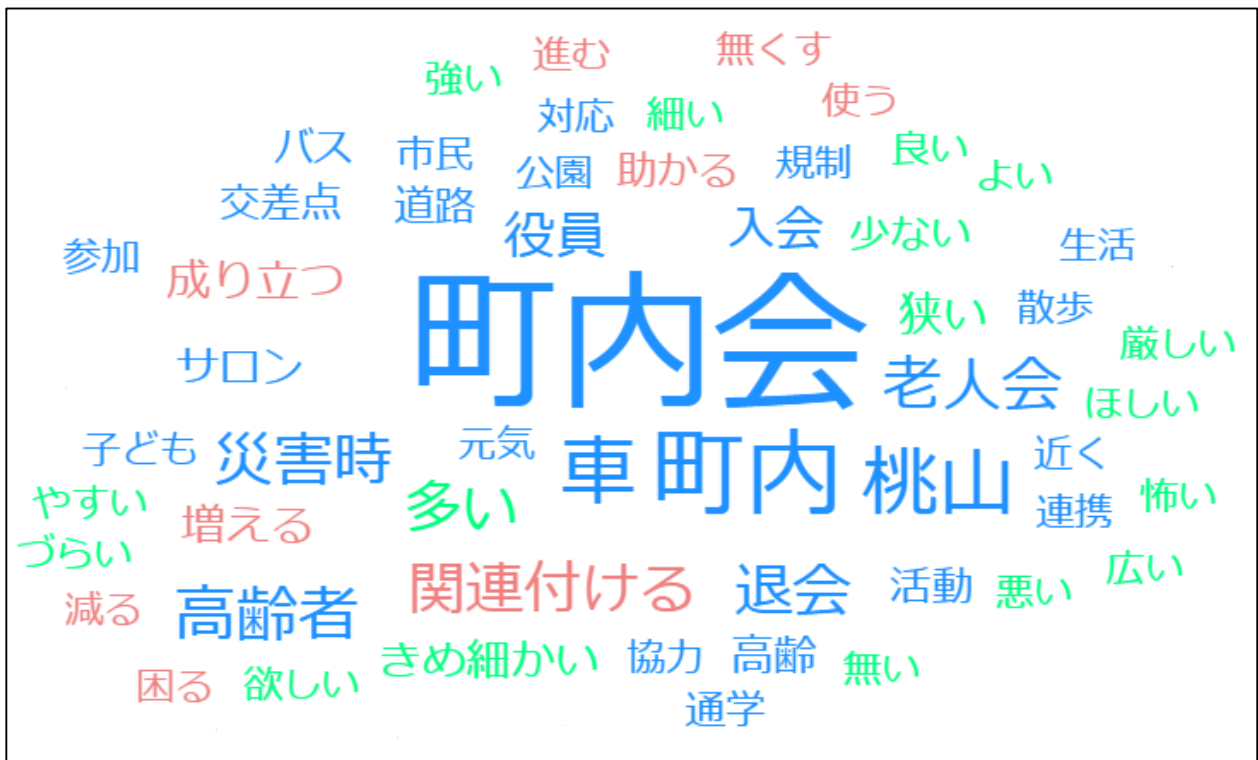
## (8) 鷹来中学校区

- ・「区・町内会・自治会」や「公共交通・道路」に関しては『気がかりなこと』が大きく上回っています。一方、「住環境」に関しては『今ある良いこと』が大きく上回っています。

鷹来中学校区



- ・ワードクラウドによる特に特徴的な単語として「町内会」があげられ、ほかに「災害時」「車」「桃山」などとなっています。

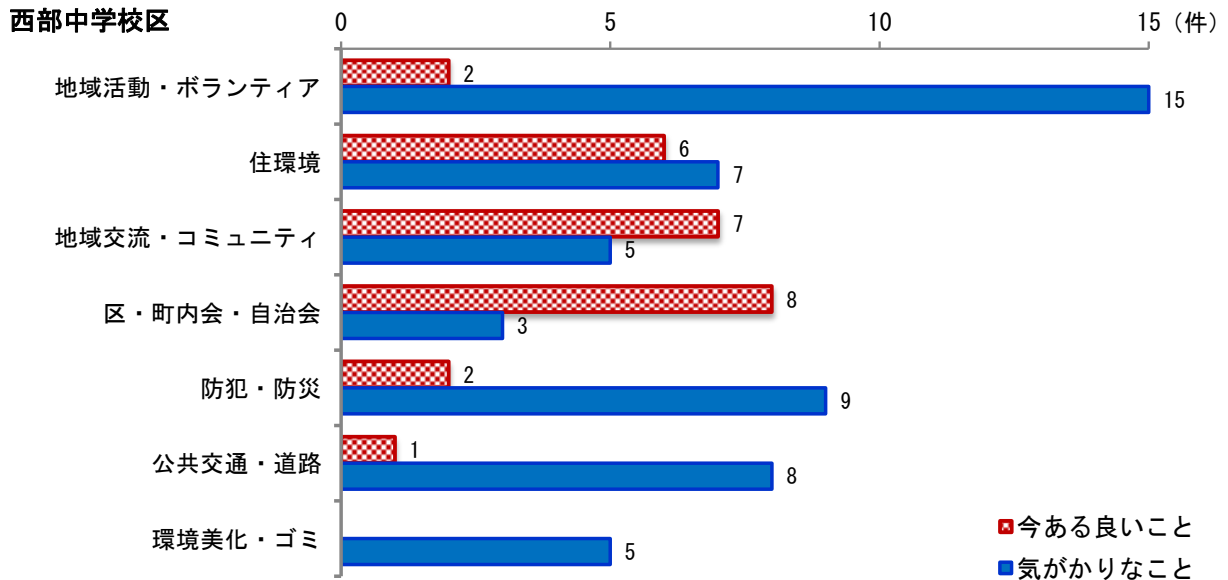




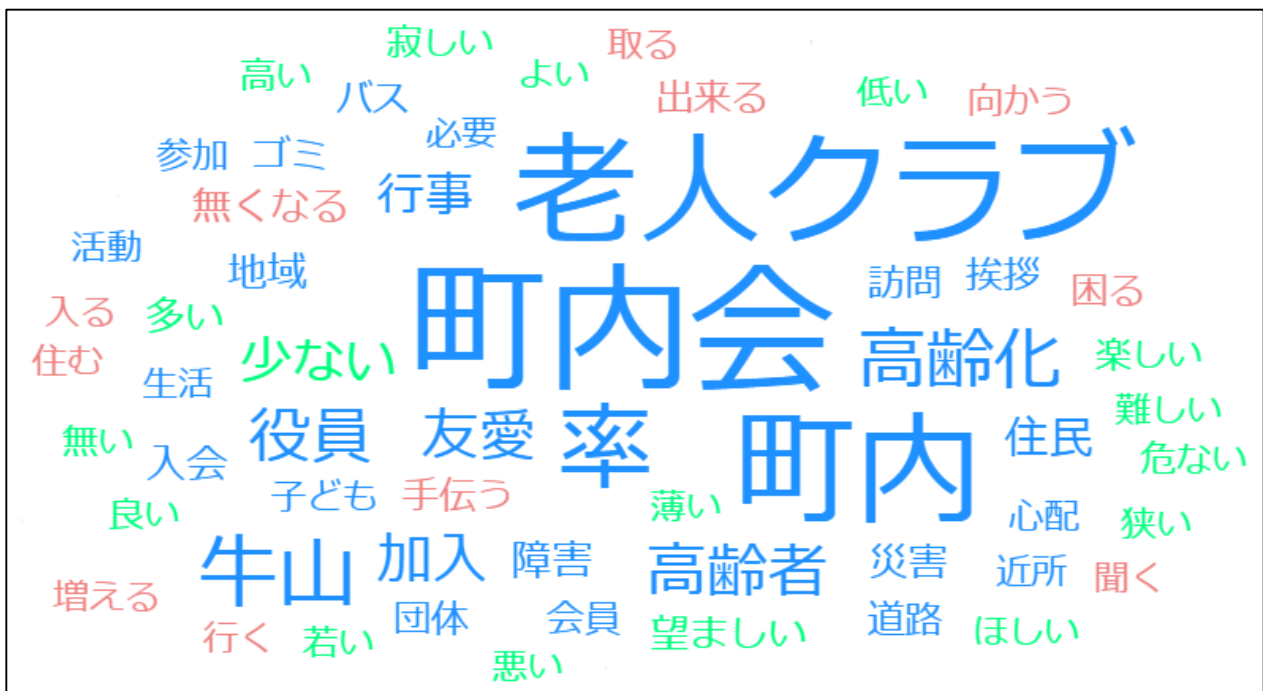


## (11) 西部中学校区

- ・「地域交流・コミュニティ」「区・町内会・自治会」に関する意見は『今ある良いこと』が多くなっています。一方、「地域活動・ボランティア」「防犯・防災」「公共交通・道路」「環境美化・ゴミ」に関する意見は『気がかりなこと』が大きく上回っています。



- ・ワードクラウドによる特徴的な単語は、「老人クラブ」「町内会」「町内」が特に大きくなっています。







## **IV 地域団体アンケート調査の概要**

---



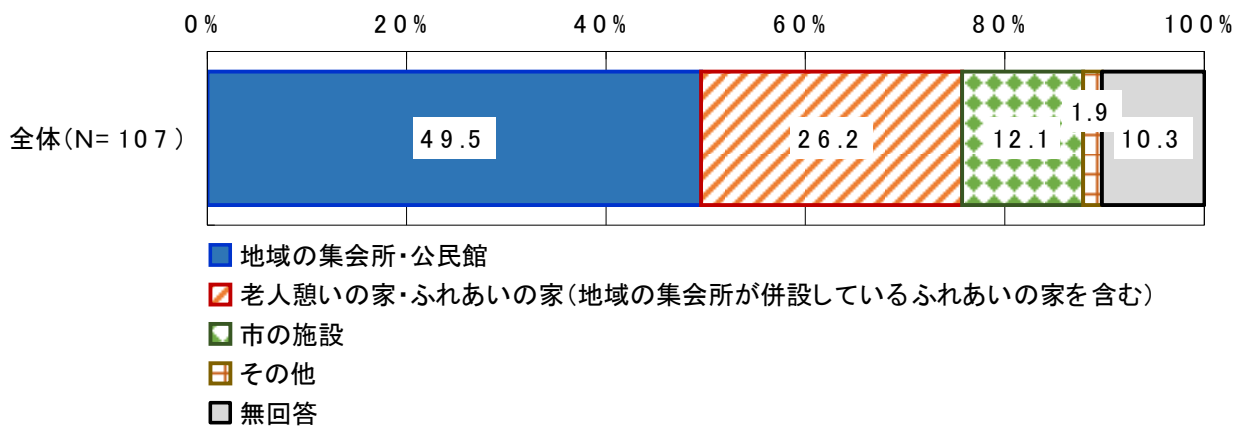


# 第1章 老人クラブ調査

## 1-1 クラブの概要について

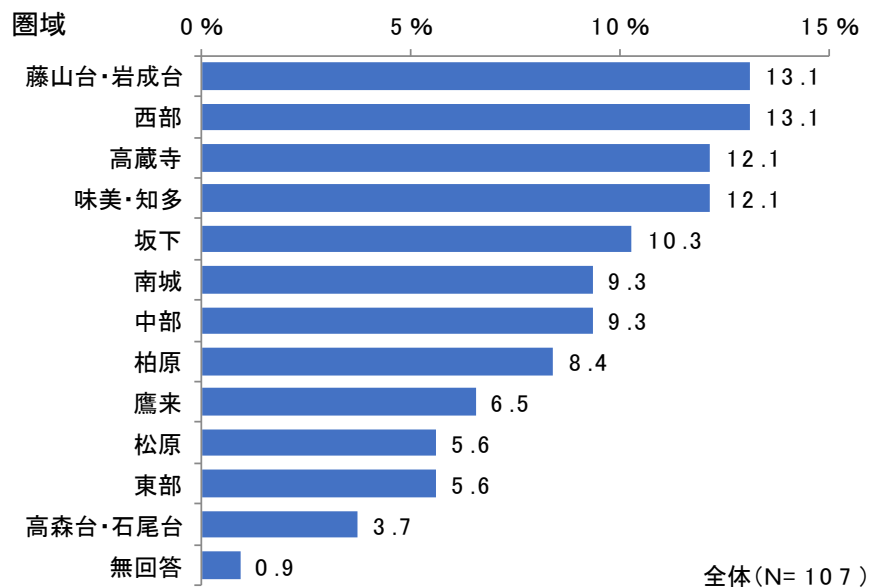
問1 クラブの活動拠点はどちらですか。(〇は1つ)

・「地域の集会所・公民館」が49.5%と最も多く、次いで「老人憩いの家・ふれあいの家（地域の集会所が併設しているふれあいの家を含む）」が26.2%、「市の施設」が12.1%の順です。



問2 クラブが主に活動している地域（中学校区）はどちらですか。（またがっている場合、〇はいくつでも）

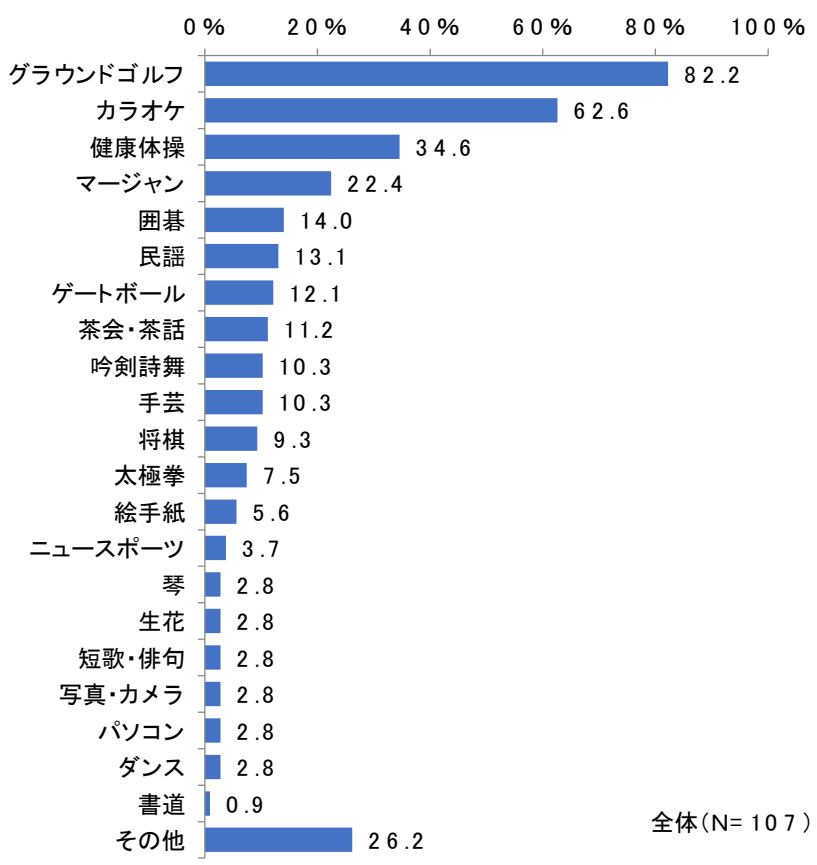
・「藤山台・岩成台」「西部」がともに13.1%と最も多く、次いで「高蔵寺」「味美・知多」がともに12.1%となっています。



※中学校区を圏域で集計

問3 クラブ内にあるサークル・同好会等を教えてください。(〇はいくつでも)

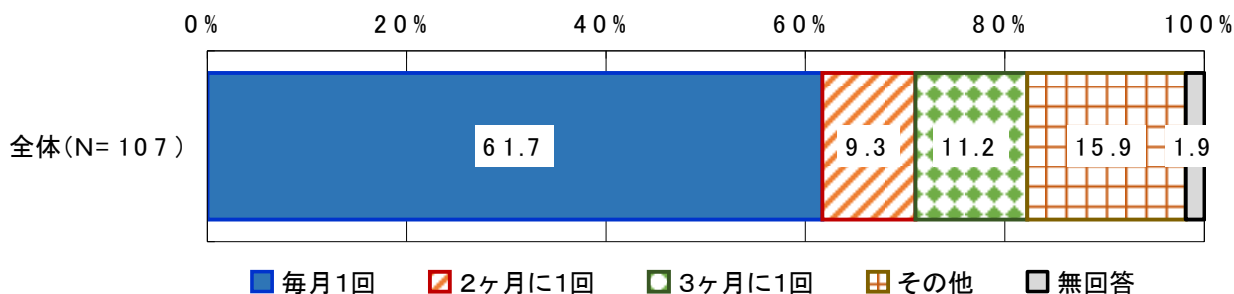
・「グラウンドゴルフ」が82.2%と最も多く、次いで「カラオケ」が62.6%、「健康体操」が34.6%の順です。



## 1-2 クラブの運営状況について

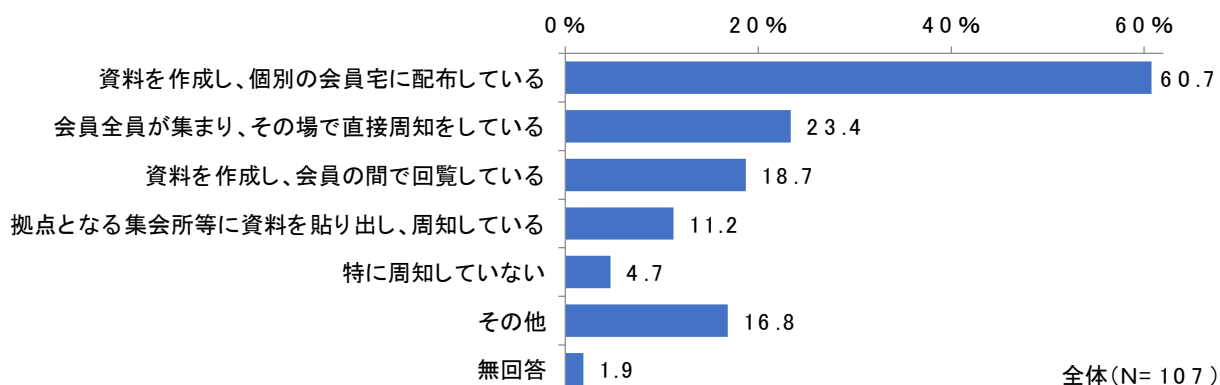
問5 定例会の開催状況について教えてください。(〇は1つ)

- ・「毎月1回」が61.7%と最も多く、次いで「3ヶ月に1回」が11.2%、「2ヶ月に1回」が9.3%の順です。



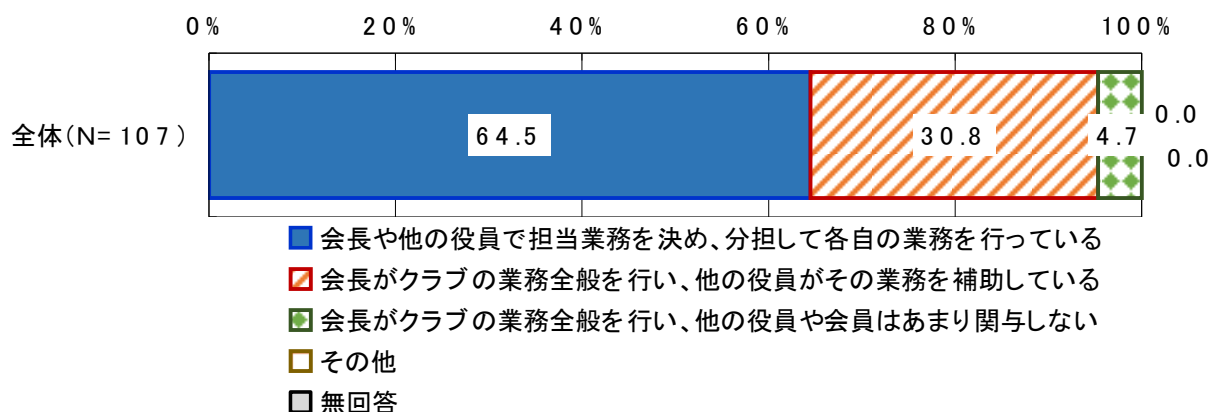
問6 定例会で話し合われた内容を会員に周知する方法を教えてください。(〇はいくつでも)

- ・「資料を作成し、個別の会員宅に配布している」が60.7%と最も多く、次いで「会員全員が集まり、その場で直接周知をしている」が23.4%、「資料を作成し、会員の間で回覧している」が18.7%の順です。



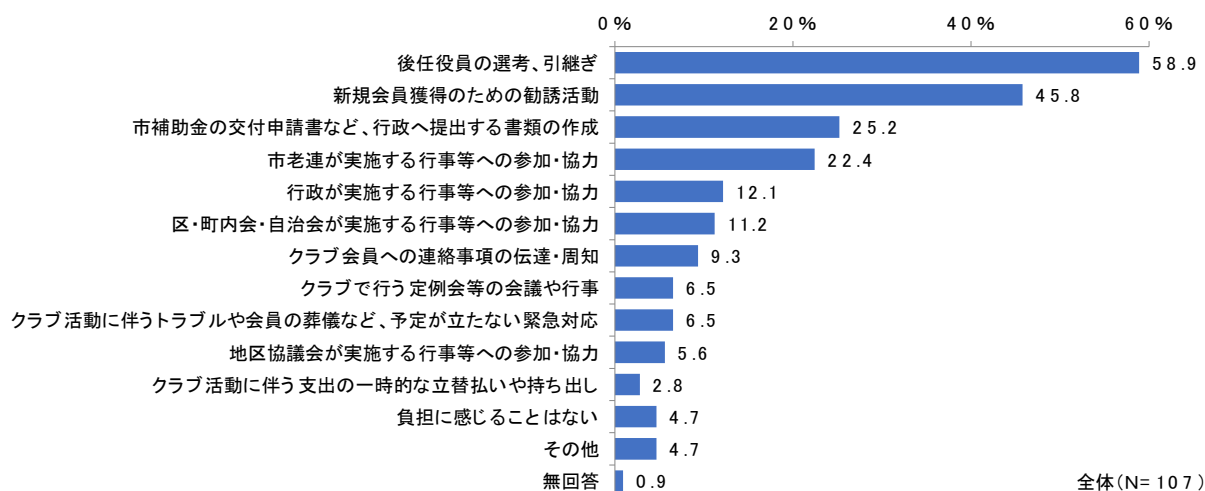
問7 クラブ運営の役割分担について、現状を教えてください。(〇は1つ)

・「会長や他の役員で担当業務を決め、分担して各自の業務を行っている」が64.5%と最も多く、次いで「会長がクラブの業務全般を行い、他の役員がその業務を補助している」が30.8%、「会長がクラブの業務全般を行い、他の役員や会員はあまり関与しない」が4.7%の順です。



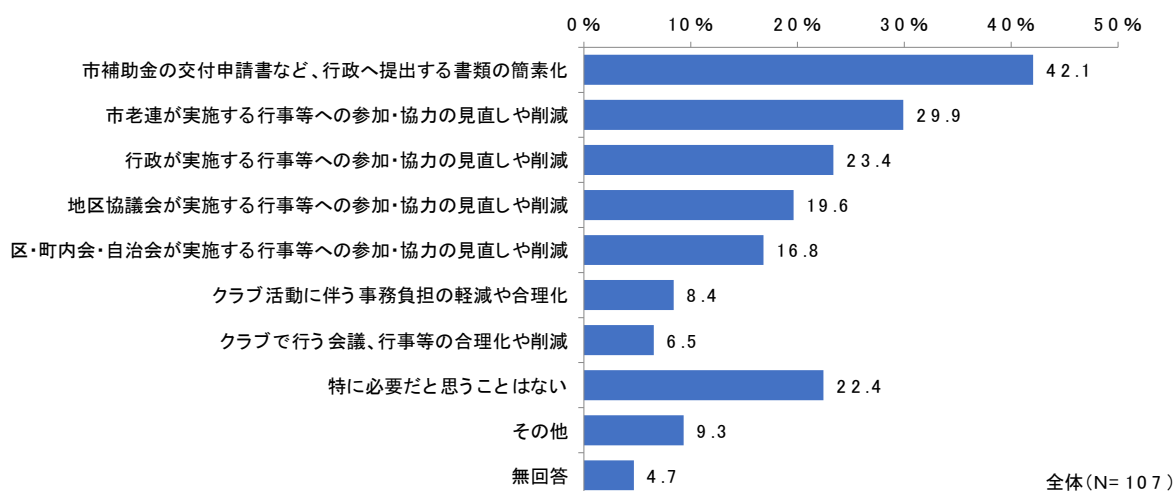
問8 会長や役員として活動する中で、特に負担に感じることはどれですか。(〇は3つまで)

・「後任役員を選考、引継ぎ」が58.9%と最も多く、次いで「新規会員獲得のための勧誘活動」が45.8%、「市補助金の交付申請書など、行政へ提出する書類の作成」が25.2%、「市老連が実施する行事等への参加・協力」が22.4%の順です。



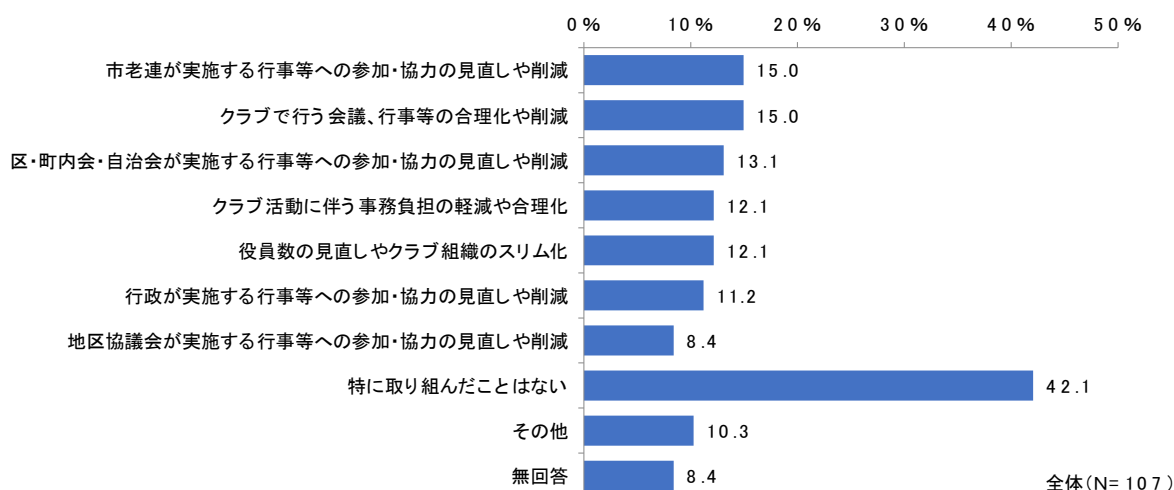
問9 会長や役員の負担軽減に向けて、特に必要だと思うことはどれですか。(〇は3つまで)

- ・「市補助金の交付申請書など、行政へ提出する書類の簡素化」が42.1%と最も多く、次いで「市老連が実施する行事等への参加・協力の見直しや削減」が29.9%、「行政が実施する行事等への参加・協力の見直しや削減」が23.4%の順です。



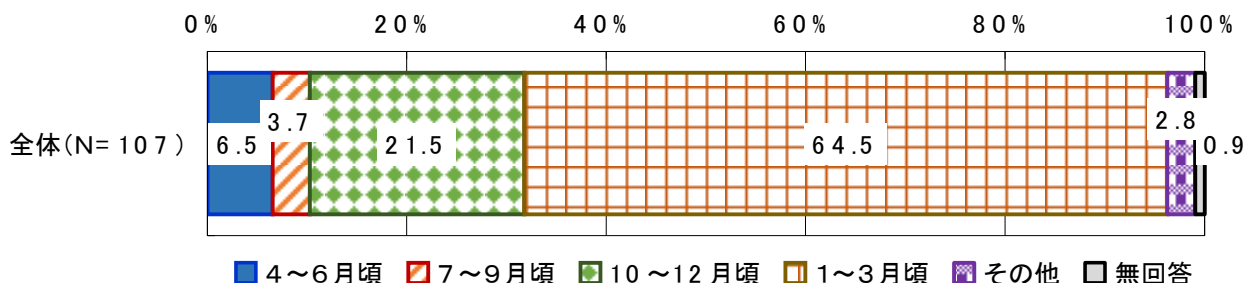
問10 会長や役員の負担軽減に向けて、クラブですでに取り組んだことがあれば教えてください。(〇はいくつでも)

- ・「特に取り組んだことはない」が42.1%と最も多く、次いで「市老連が実施する行事等への参加・協力の見直しや削減」と「クラブで行う会議、行事等の合理化や削減」が15.0%、「区・町内会・自治会が実施する行事等への参加・協力の見直しや削減」が13.1%の順です。



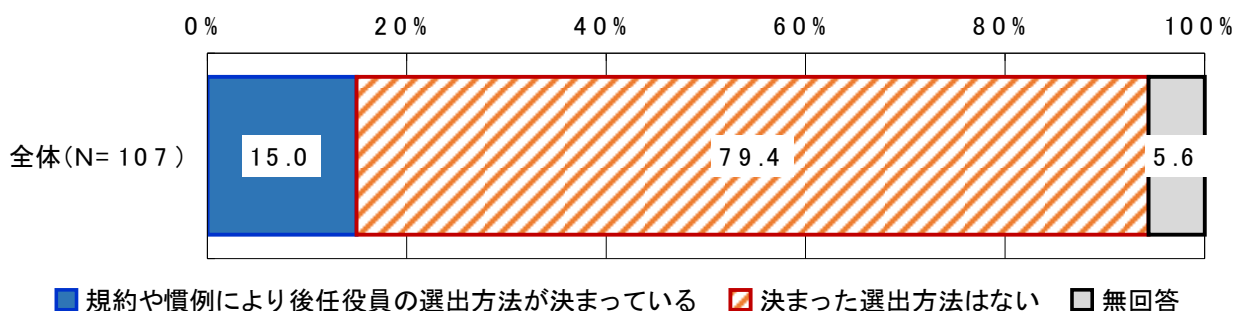
問 11 次年度の後任役員を選考する時期はいつ頃ですか。(〇は1つ)

・「1～3月頃」が64.5%と最も多く、次いで「10～12月頃」が21.5%、「4～6月頃」が6.5%、「7～9月頃」が3.7%の順です。



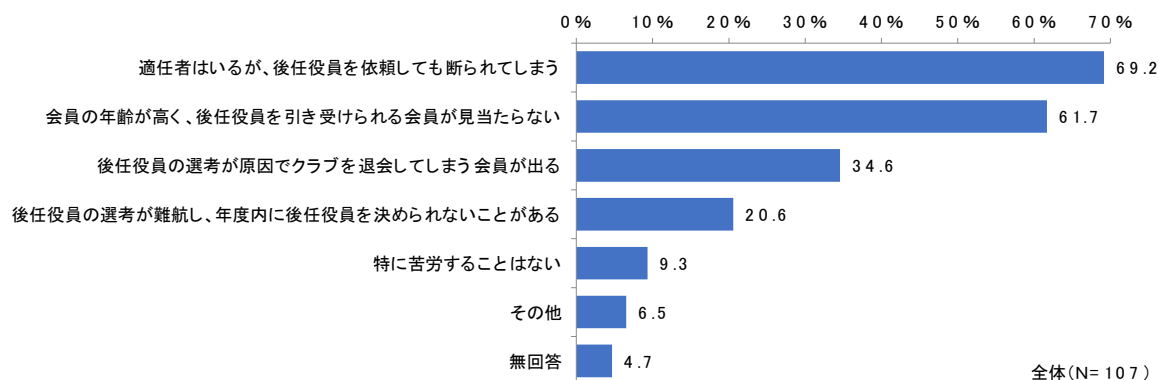
問 12 次年度の後任役員を選考方法について教えてください。(〇は1つ)

・「決まった選出方法はない」が79.4%、「規約や慣例により後任役員を選出方法が決まっている」が15.0%です。



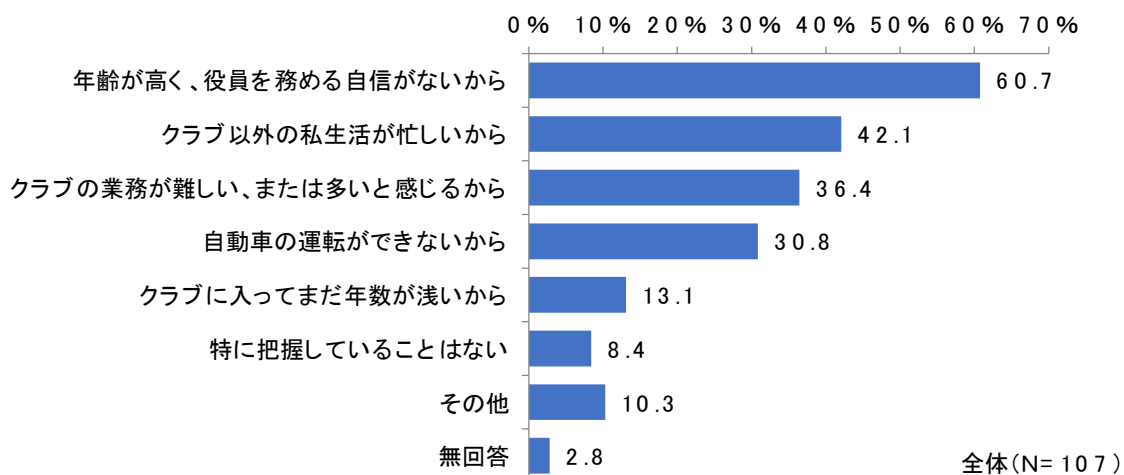
問 13 次年度の後任役員を選考で特に苦労することはどれですか。(〇は3つまで)

・「適任者はいるが、後任役員を依頼しても断られてしまう」が69.2%と最も多く、次いで「会員の年齢が高く、後任役員を引き受けられる会員が見当たらない」が61.7%、「後任役員を選考が原因でクラブを退会してしまう会員が出る」が34.6%、「後任役員を選考が難航し、年度内に後任役員を決められないことがある」が20.6%の順です。



問 14 後任役員を依頼し、断られる理由として多いものを把握していれば教えてください。(〇は3つまで)

・「年齢が高く、役員を務める自信がないから」が60.7%と最も多く、次いで「クラブ以外の私生活が忙しいから」が42.1%、「クラブの業務が難しい、または多いと感じるから」が36.4%、「自動車の運転ができないから」が30.8%の順です。

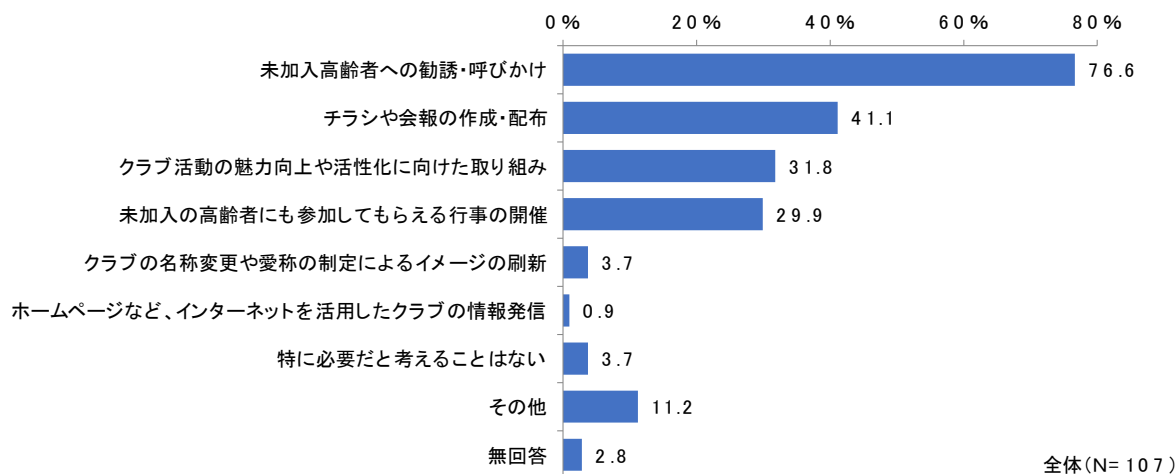




### 1-3 新規会員の加入促進等について

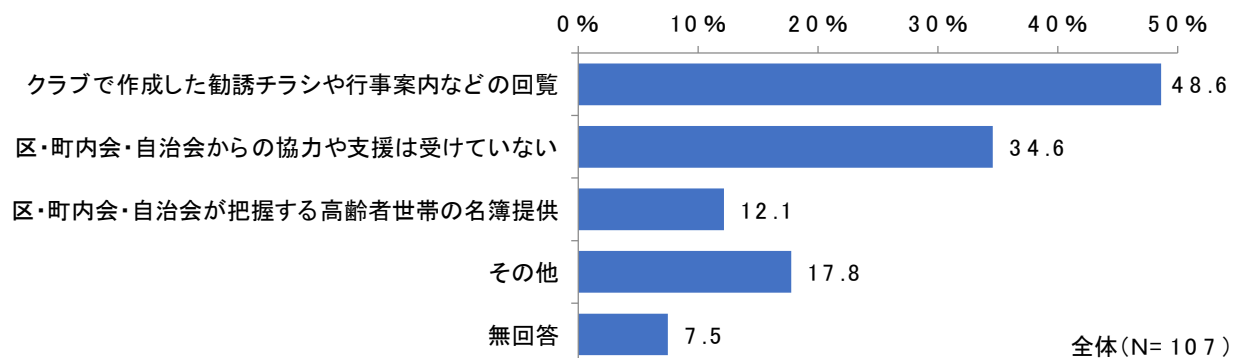
問 15 新規会員の獲得のためクラブとして実施していることはどれですか。(〇はいくつでも)

・「未加入高齢者への勧誘・呼びかけ」が76.6%と最も多く、次いで「チラシや会報の作成・配布」が41.1%、「クラブ活動の魅力向上や活性化に向けた取り組み」が31.8%、「未加入の高齢者にも参加してもらえらる行事の開催」が29.9%の順です。



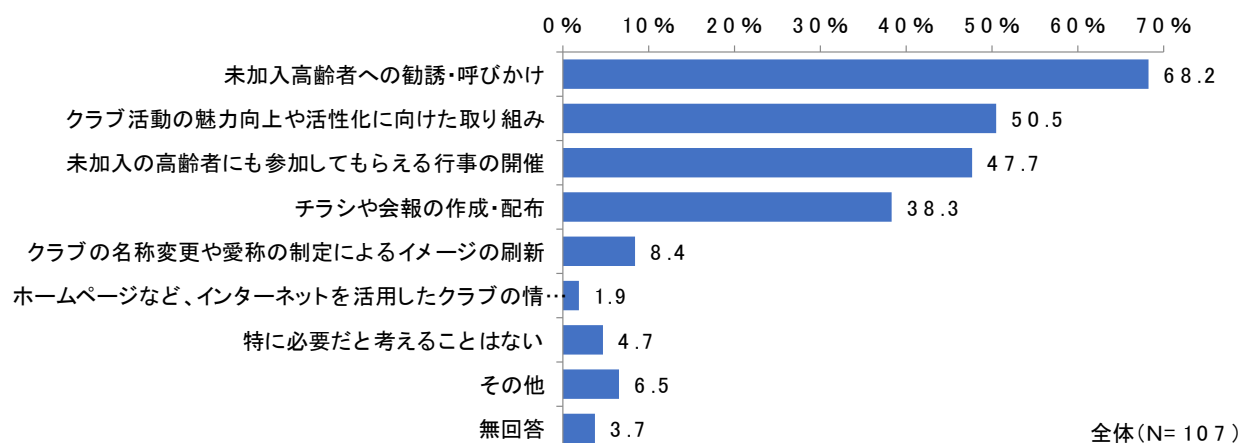
問 16 クラブの勧誘活動に対し、区・町内会・自治会からはどのような協力や支援を受けていますか。(〇はいくつでも)

・「クラブで作成した勧誘チラシや行事案内などの回覧」が48.6%と最も多く、次いで「区・町内会・自治会からの協力や支援は受けていない」が34.6%、「区・町内会・自治会が把握する高齢者世帯の名簿提供」が12.1%の順です。



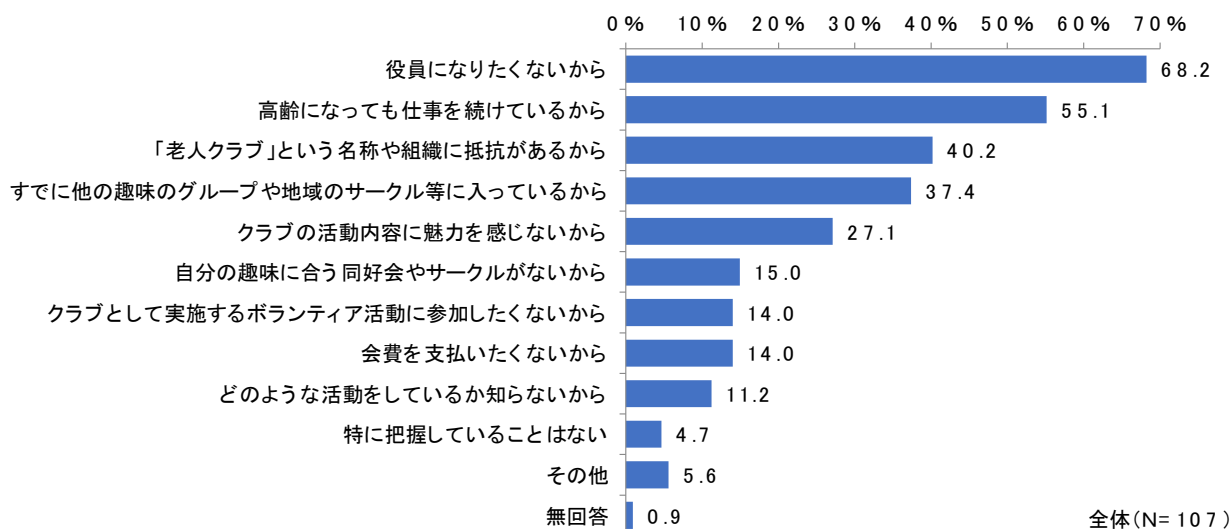
問 17 新規会員の獲得のためにクラブで必要だと考えることはどれですか。(〇は3つまで)

- ・「未加入高齢者への勧誘・呼びかけ」が 68.2%と最も多く、次いで「クラブ活動の魅力向上や活性化に向けた取り組み」が 50.5%、「未加入の高齢者にも参加してもらえらる行事の開催」が 47.7%、「チラシや会報の作成・配布」が 38.3%の順です。



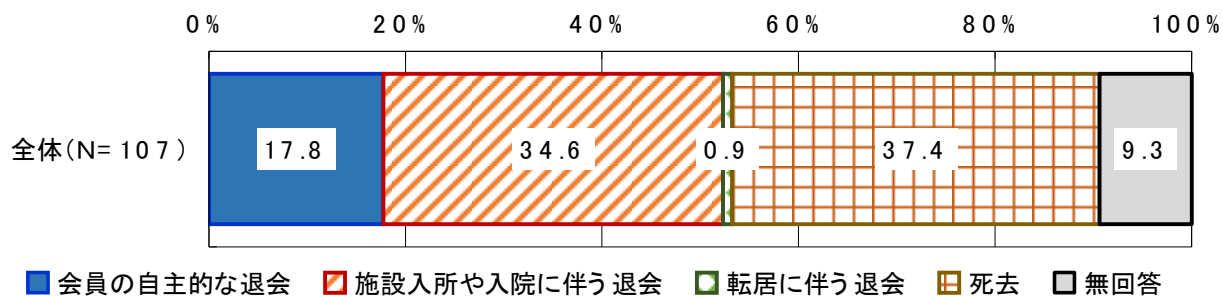
問 18 勧誘などの際に、入会を断られる理由として多いものを把握していれば教えてください。(〇はいくつでも)

- ・「役員になりたくないから」が 68.2%と最も多く、次いで「高齢になっても仕事を続けているから」が 55.1%、「『老人クラブ』という名称や組織に抵抗があるから」が 40.2%、「すでに他の趣味のグループや地域のサークル等に入っているから」が 37.4%の順です。



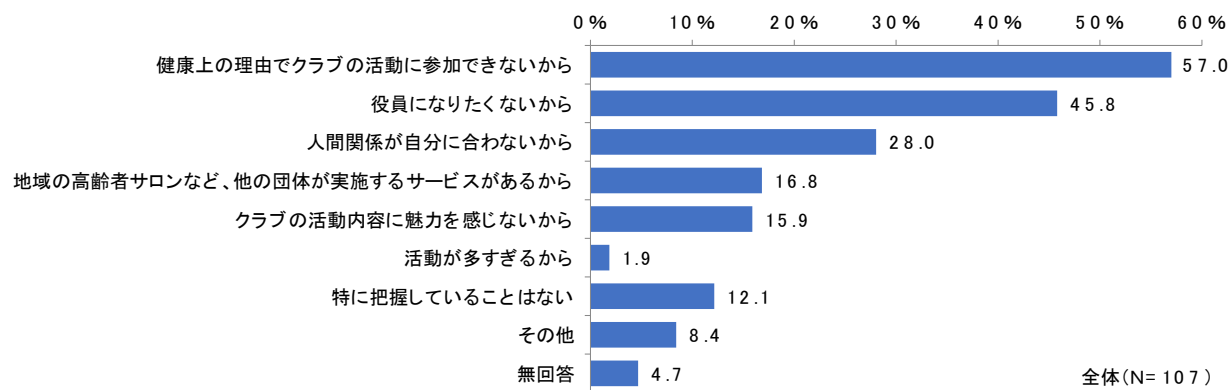
**問 19 クラブの会員数の減少要因の中で最も多いものはどれですか。(〇は1つ)**

・「死去」が37.4%と最も多く、次いで「施設入所や入院に伴う退会」が34.6%、「会員の自主的な退会」が17.8%、「転居に伴う退会」が0.9%の順です。



**問 20 会員が自主的に退会する理由として多いものを教えてください。(〇は3つまで)**

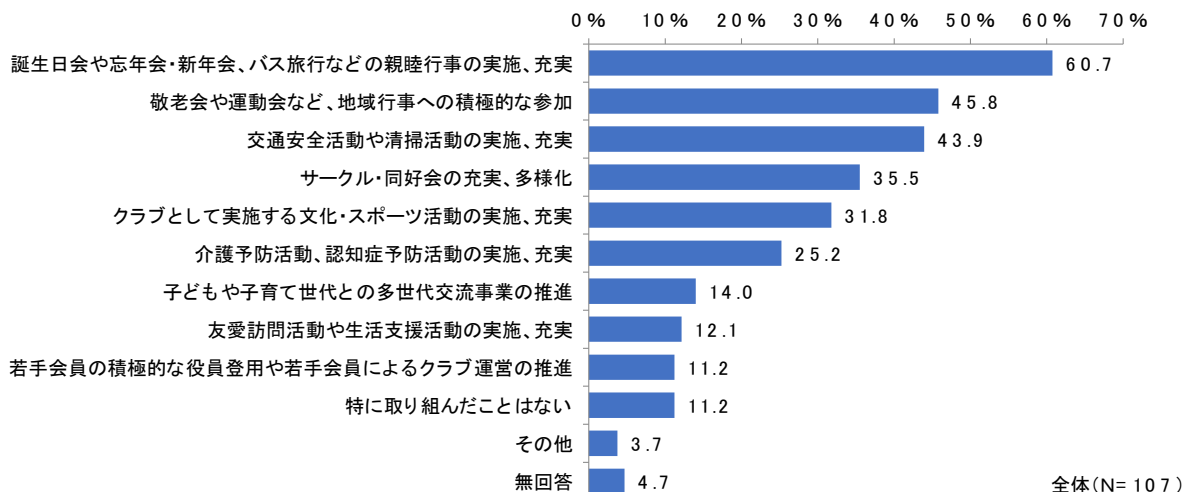
・「健康上の理由でクラブの活動に参加できないから」が57.0%と最も多く、次いで「役員になりたくないから」が45.8%、「人間関係が自分に合わないから」が28.0%の順です。



## 1-4 クラブ活動の活性化について

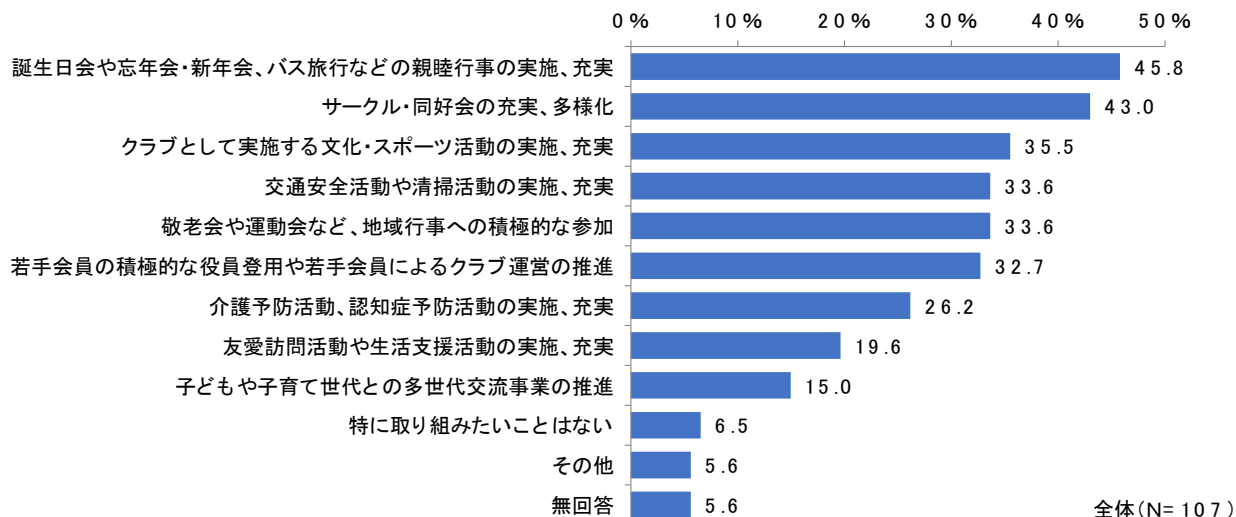
問 21 クラブ活動の活性化に向けてこれまでクラブとして取り組んできたことはどれですか。  
(○はいくつでも)

- ・「誕生日会や忘年会・新年会、バス旅行などの親睦行事の実施、充実」が 60.7%と最も多く、次いで「敬老会や運動会など、地域行事への積極的な参加」が 45.8%、「交通安全活動や清掃活動の実施、充実」が 43.9%、「サークル・同好会の充実、多様化」が 35.5%の順です。



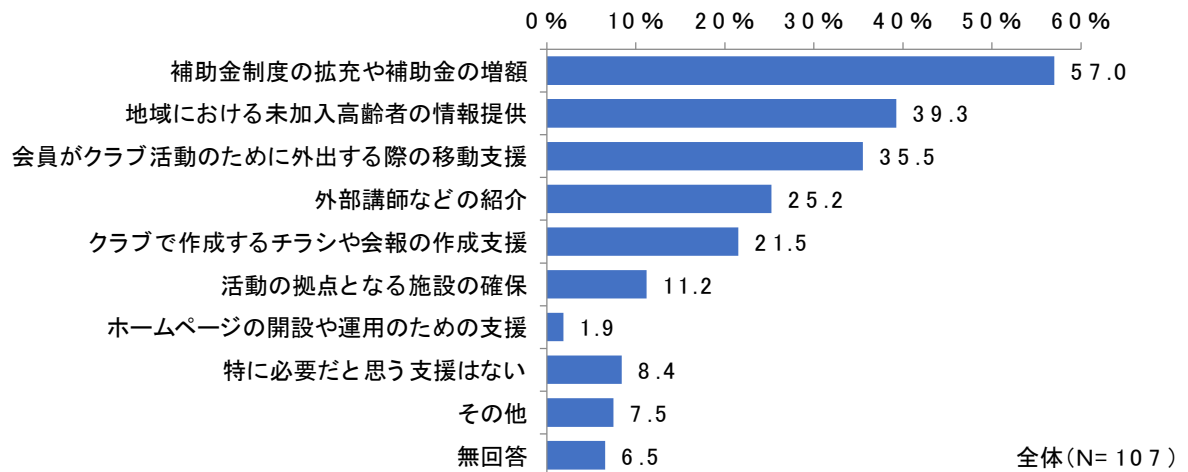
問 22 クラブ活動の活性化に向けて、今後クラブとして取り組んでみたいと考えていることがあれば教えてください。(○はいくつでも)

- ・「誕生日会や忘年会・新年会、バス旅行などの親睦行事の実施、充実」が 45.8%と最も多く、次いで「サークル・同好会の充実、多様化」が 43.0%、「クラブとして実施する文化・スポーツ活動の実施、充実」が 35.5%、「交通安全活動や清掃活動の実施、充実」と「敬老会や運動会など、地域行事への積極的な参加」が 33.6%の順です。



問 23 今後、クラブ活動の活性化を図っていく上で、クラブとして必要だと思う支援等があれば教えてください。(〇は3つまで)

・「補助金制度の拡充や補助金の増額」が 57.0%と最も多く、次いで「地域における未加入高齢者の情報提供」が 39.3%、「会員がクラブ活動のために外出する際の移動支援」が 35.5%、「外部講師などの紹介」が 25.2%の順です。

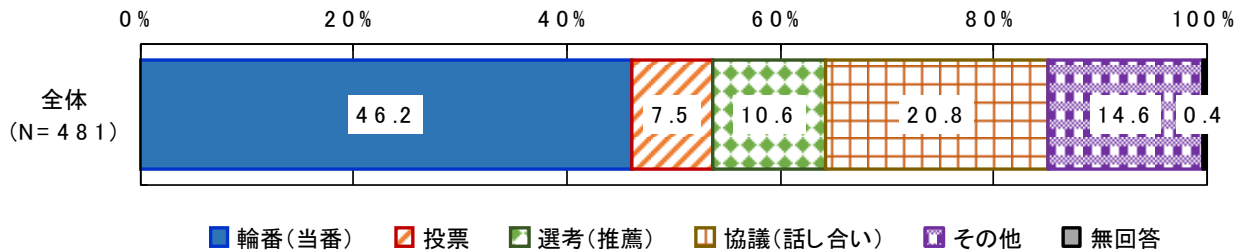


## 第2章 町内会調査

### 2-1 役員の状況

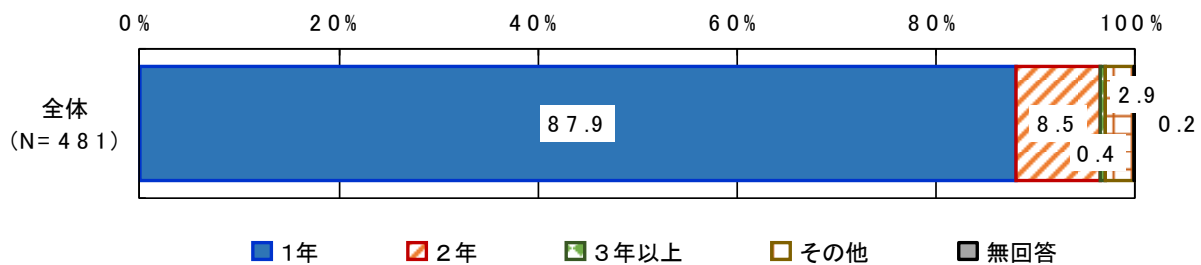
問1 代表者の選出方法について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ・「輪番（当番）」の割合が46.2%と最も多く、次いで「協議（話し合い）」が20.8%、「選考（推薦）」が10.6%の順です。



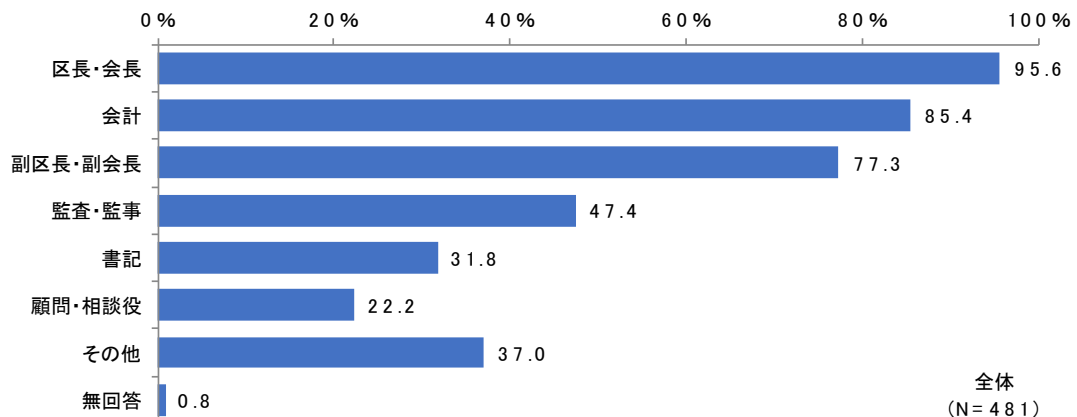
問2 代表者の任期について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- ・「1年」の割合が87.9%を占め、「2年」は8.5%、「3年以上」が0.4%です。



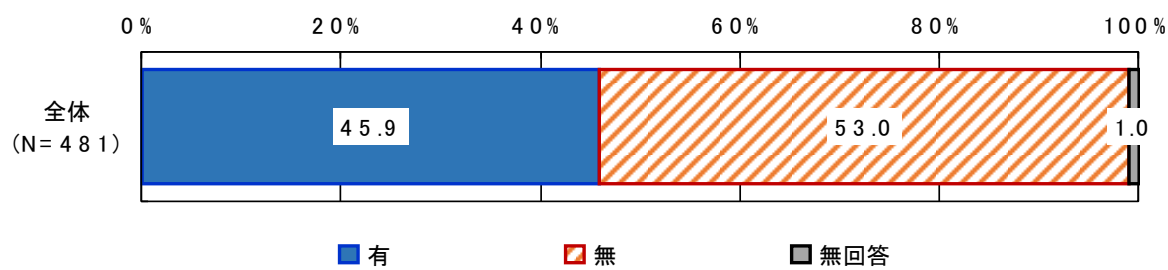
問3 役員の構成について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・「区長・会長」の割合が95.6%と最も多く、次いで「会計」が85.4%、「副区長・副会長」が77.3%、「監査・監事」が47.4%の順です。



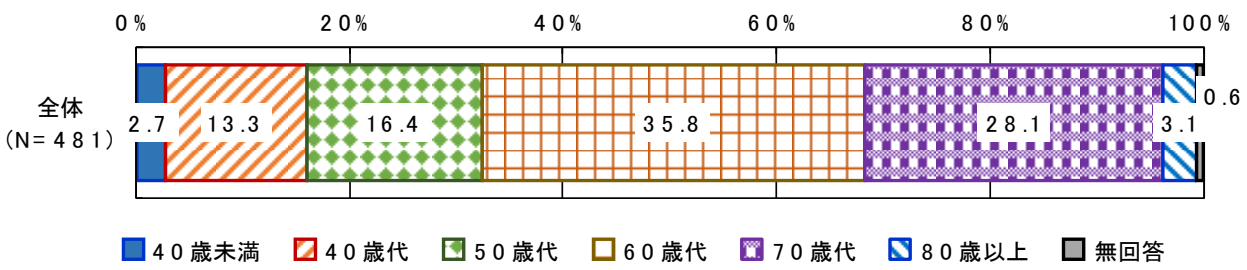
問4 役員への手当の支給の有無について、○をつけてください。

・「有」が45.9%、「無」が53.0%です。



問8 代表者であるあなた様の年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

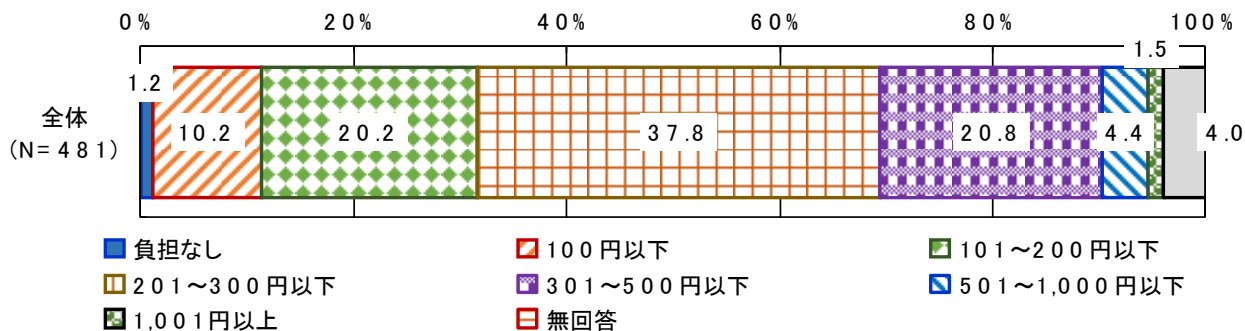
・「60歳代」の割合が35.8%と最も多く、次いで「70歳代」が28.1%、「50歳代」が16.4%、「40歳代」が13.3%の順です。



## 2-2 加入状況

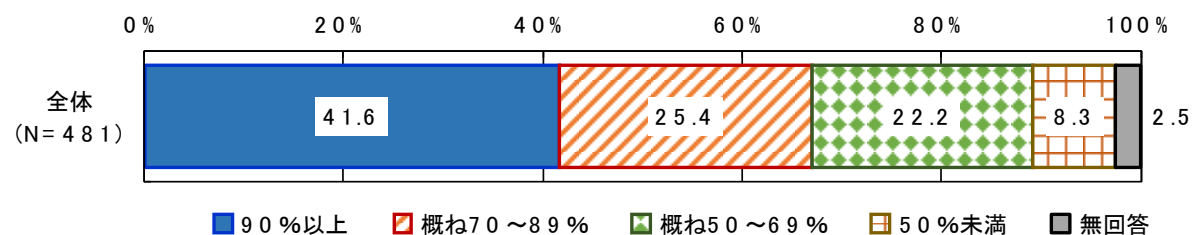
問5 会費は、1世帯あたりいくらですか。

・「201～300円以下」の割合が37.8%と最も多く、次いで「301～500円以下」が20.8%、「101～200円以下」が20.2%、「100円以下」が10.2%の順です。



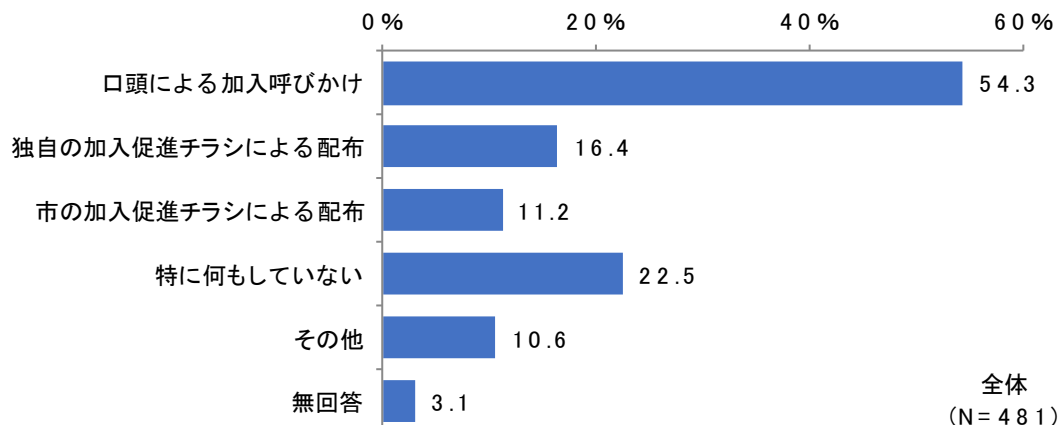
問6 加入率について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

・「90%以上」の割合が41.6%と最も多く、次いで「概ね70～89%」が25.4%、「概ね50～69%」が22.2%、「50%未満」が8.3%の順です。



問11 未加入世帯や転入者に対する加入促進活動について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

・「口頭による加入呼びかけ」の割合が54.3%と最も多く、次いで「特に何もしていない」が22.5%、「独自の加入促進チラシによる配布」が16.4%、「市の加入促進チラシによる配布」が11.2%の順です。

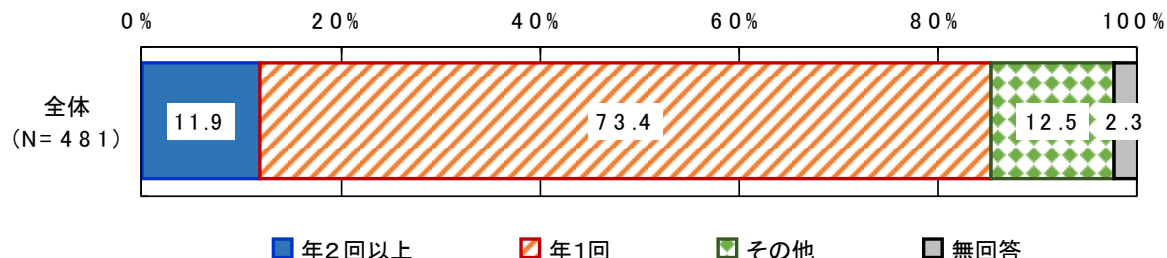




## 2-3 会の運営

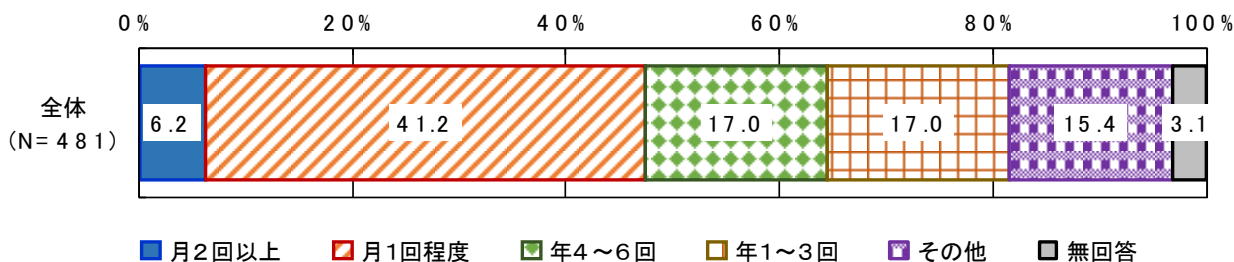
問9 総会の開催について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

・「年1回」の割合が73.4%と最も多く、「年2回以上」が11.9%です。



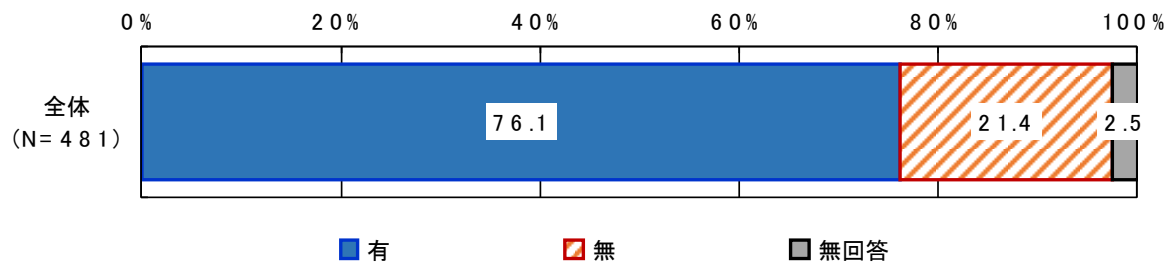
問10 会合（総会を除く）の開催について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

・「月1回程度」の割合が41.2%と最も多く、次いで「年4～6回」「年1～3回」がともに17.0%となっています。



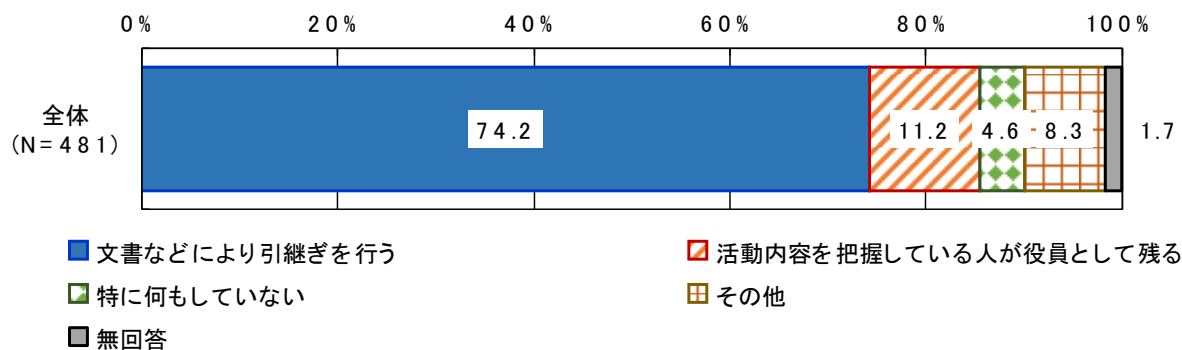
問7 近隣の区・町内会・自治会の役員等が集まる機会（会合等）の有無について、○をつけてください。

・「有」が76.1%、「無」が21.4%です。



問 12 貴会の運営継続の方法（取組）について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

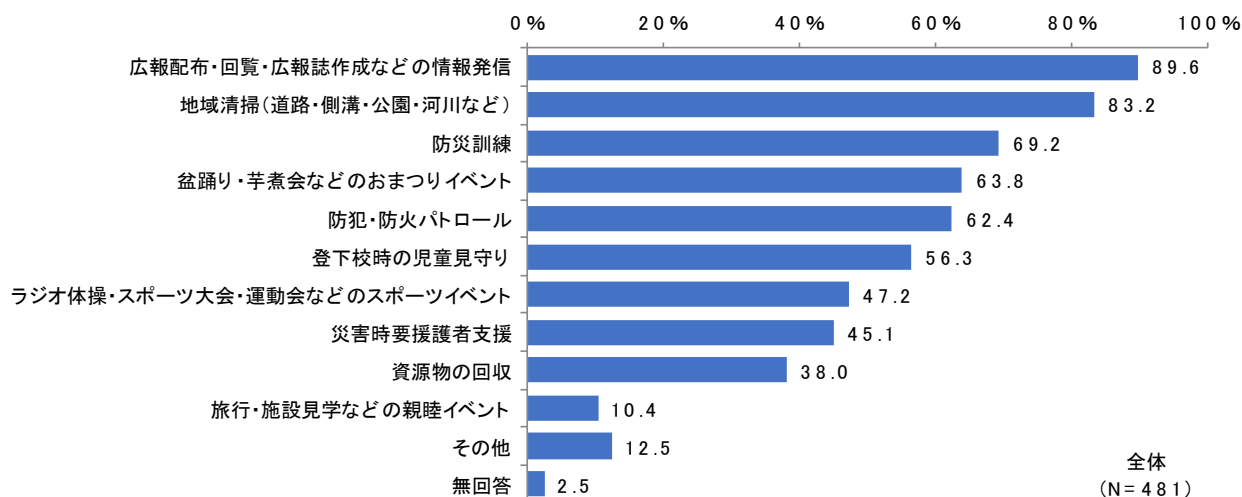
・「文書などにより引継ぎを行う」の割合が74.2%と最も多く、次いで「活動内容を把握している人が役員として残る」が11.2%、「特に何もしていない」が4.6%の順です。



## 2-4 活動状況

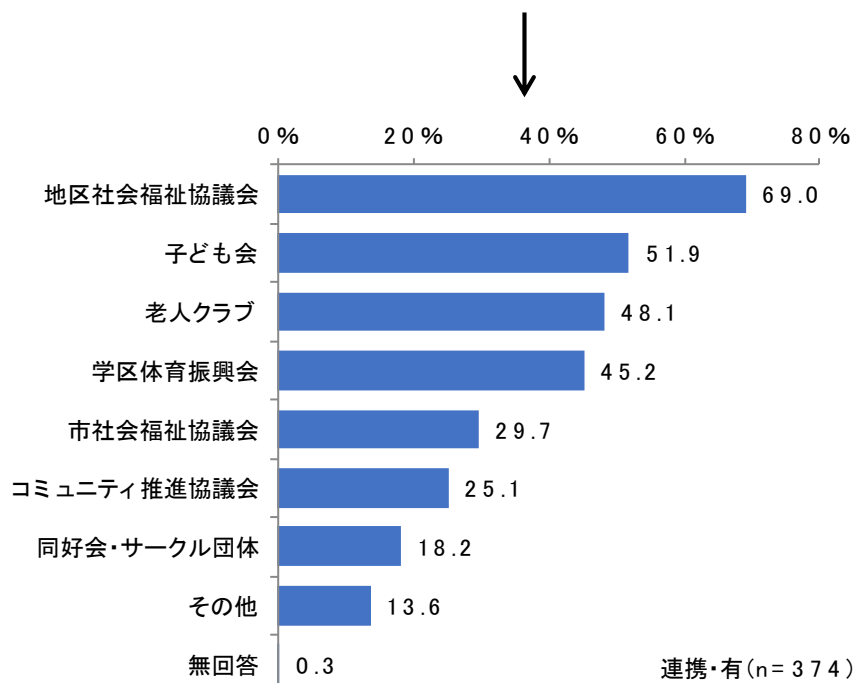
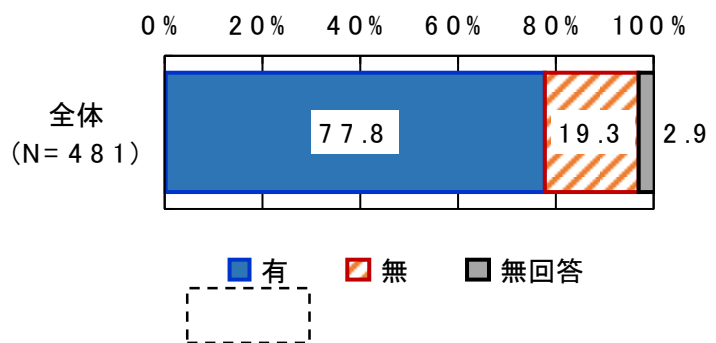
問 13 現在行っている活動について、あてはまるものすべてに○をつけてください。（共催、協力、受託を含む）

・「広報配布・回覧・広報誌作成などの情報発信」の割合が89.6%と最も多く、次いで「地域清掃（道路・側溝・公園・河川など）」が83.2%、「防災訓練」が69.2%、「盆踊り・芋煮会などのおまつりイベント」が63.8%の順です。



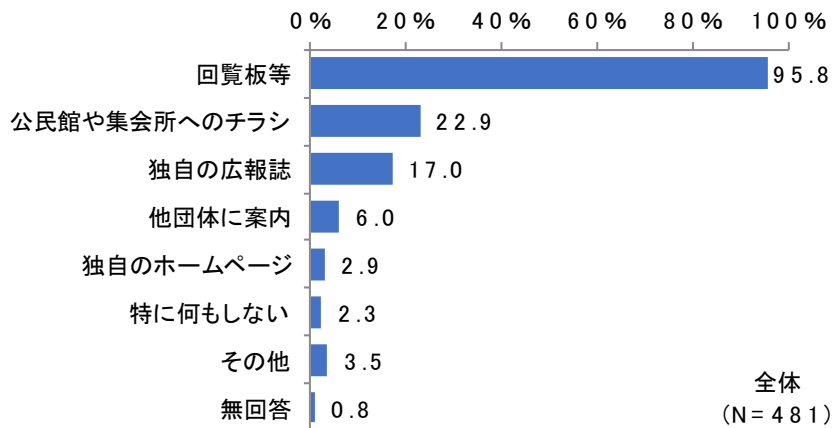
問 14 他団体と連携して行う活動の有無について、○をつけてください。また、“有”の場合、連携する団体ではまるものすべてに○をつけてください。（共催、協力を含む。委託、受託は含まない。）

- ・「有」が 77.8%、「無」が 19.3%です。
- ・他の団体と連携して行う活動が「有」と回答したものの内、「地区社会福祉協議会」の割合が 69.0%と最も多く、次いで「子ども会」が 51.9%、「老人クラブ」が 48.1%、「学区体育振興会」が 45.2%の順です。



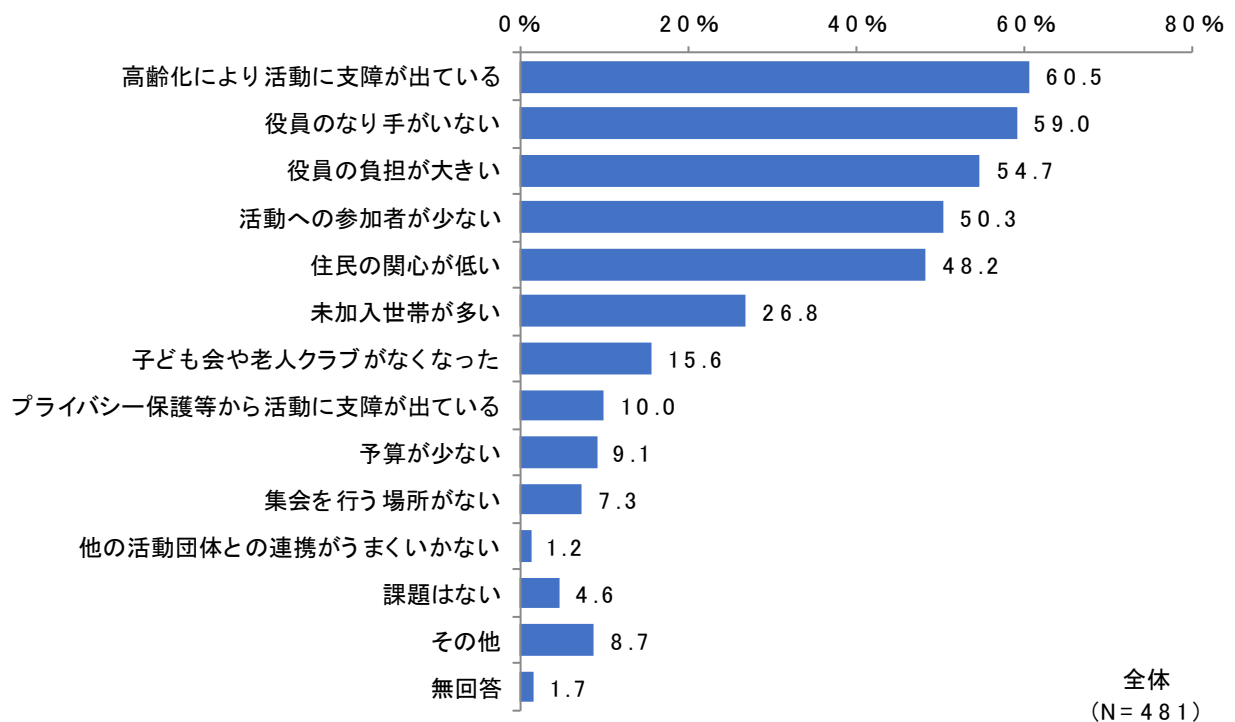
問 15 活動情報の周知について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・「回覧板等」の割合が 95.8%と最も多く、次いで「公民館や集会所へのチラシ」が 22.9%、「独自の広報誌」が 17.0%、「他団体に案内」が 6.0%の順です。



問 16 活動を行う上で、課題となっていることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- ・「高齢化により活動に支障が出ている」の割合が60.5%と最も多く、次いで「役員のなり手がいない」が59.0%、「役員の負担が大きい」が54.7%、「活動への参加者が少ない」が50.3%の順です。

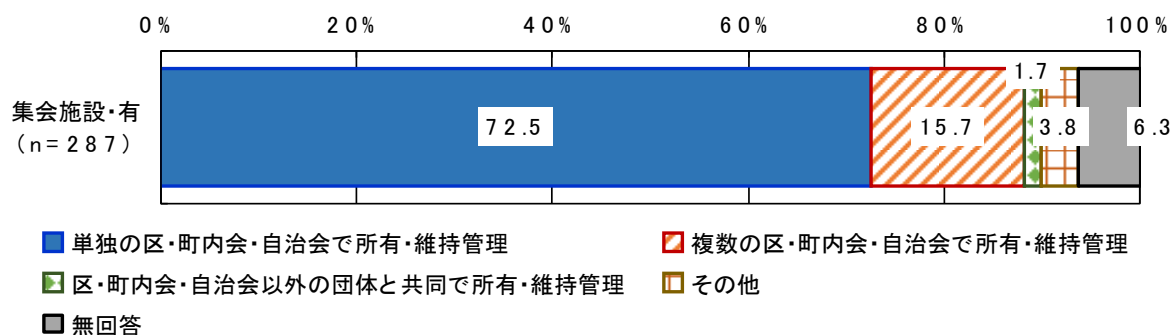


## 2-5 集会施設について

アンケートに回答があった団体で、所有・管理する集会施設が有るのは、287 団体（59.7%）です。

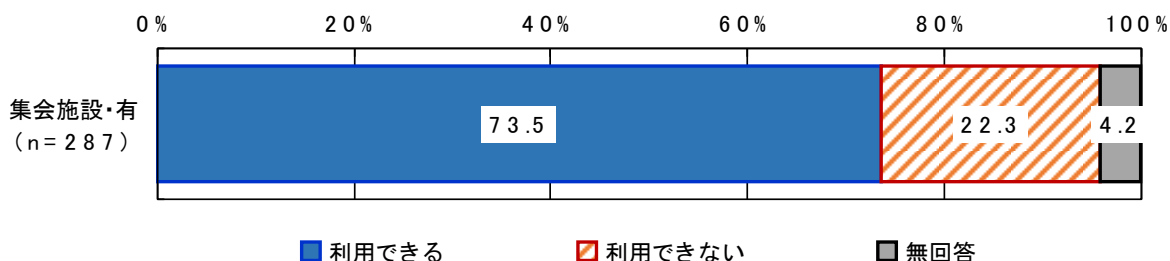
問 19 集会施設（建物）の所有状況について、あてはまるもの1つに○をつけてください。また、複数の区・町内会・自治会で所有している場合は、団体名を記入してください。

・「単独の区・町内会・自治会で所有・維持管理」の割合が72.5%と最も多く、次いで「複数の区・町内会・自治会で所有・維持管理」が15.7%、「区・町内会・自治会以外の団体と共同で所有・維持管理」が1.7%の順です。



問 20 集会施設は貴団体の会員以外の方も利用できますか。

・「利用できる」が73.5%、「利用できない」が22.3%です。



問 21 集会施設を主に利用する団体について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

・「区・町内会・自治会」の割合が92.7%と最も多く、次いで「子ども会・老人クラブなどの町内会との関わりのある団体」が66.2%、「町内会等内の同好会・サークル」が60.3%、「塾・教室などを運営する企業・団体」が22.6%の順です。

